

總督兼名探ヲ虜ニシテ之ヲ印度ニ囚禁シ更ニ舟師ヲ率キテ北京ニ至ル。清廷之ト報ヲ讓シタルモ中途ニシテ變ズ。兩國ノ師邊ニ北京ヲ陷レ圓明園ヲ焚ク。文宗熱河ニ奔リ其弟奕訢ヲシテ成ヲ求メシム。露國公使其間ヲ調停シ和約始メテ定マル。世ニ之ヲ「英法聯軍之役」ト稱ス。

盈 (部首) (韻)

【盈坎疏源】「結繩啓路」ノ對句トシテ唐律名例ニ用キルノ語。盈坎ハ易ニ坎水流而不盈。行レ險而不失ニ其信トアルニ出ヅ。又坎ニハ法律ノ義アリ。爾雅ニ坎、律也。云云トアルハ其一例ナリ。即チ法律ノ天下ニ在ルハ猶ホ坎水ノ流行シテ信ズベキガ如シトノ謂ナリ。(同書)

【盈餘】正項即チ國家正稅ノ定額ニ過剩シタル分ヲ謂フ。關稅收入ノ如キハ之ヲ正項ト盈餘トニ區別シテ決算スルヲ定例トス(清會典)

衛 (部首) (韻)

【衛尉】秦代創設ノ官名。九卿ノ一。門衛屯兵ノ事ヲ掌ル。漢初メ「中大夫令」ト改メ後ニ復タ「衛尉」ト爲ス。長樂衛尉「建章衛尉」「甘泉衛尉」等アリ。各其掌ル所ノ官名ヲ以テ官名ト爲ス。北齊ハ「衛尉寺」ト曰ヒ卿、小卿各一人アリ。隋ニハ其職掌ヲ改メテ軍機儀仗帳幕ノ事ヲ掌ラシメ、門衛屯兵ノ事ハ監門衛ヲシテ之ヲ掌ラシム。唐之ニ因リ宋ハ「衛尉官」ト改メ其官衛ヲ「衛尉院」ト曰フ。明ニ至リ之ヲ廢ス。

【衛尉院】(前條ヲ見ヨ)

【衛官】職事官、散官等ニ對シテ近衛等ノ現職ニ在ル官吏ヲ指稱ス。(唐律卷二名例、以「理去官」ノ條疏議)

【衛關】宮闕ト官ヲ同ジ。宮闕(即チ)ハ兵士護衛スルガ故ニ衛關ト謂フ。(唐律「關防篇」疏議)「於二衛關之下」ノ條疏議以求ニ上開(卷二)

【衛所】明ノ太祖天下ヲ定ムルヤ要害ノ地ヲ

度リ一部ニ係ルモノハ所ヲ設ケ連都ニハ衛ヲ設ケ、大率五千六百人ヲ衛ト爲シ、千一百二十人ヲ「千戶所」ト爲シ百十有二人ヲ「百戶所」ト爲ス。(明史)

【衛隊】唐代近衛隊ノ稱。「唐書」儀衛志、左右威衛隊正各一人。又左武衛隊正一人。右武衛隊正一人。云云。

【衛夫人字】朝鮮ノ銅製活字版ヲ謂フ。「史記英選」(正祖)「世宗朝甲寅、以爲三善陰陽字」爲本。命ニ金墩等一範、銅爲字。俗稱「衛夫人字」是也。我殿下在春邸。命ニ宮僚一校正。銅二十萬字。藏ニ于雲閣。印ニ經書正文啓蒙集等。是爲壬辰字。元年又命ニ國西道臣。鑄ニ十五萬字。藏ニ于內閣。是爲三丁酉字。皆以三甲寅字爲本。云云。(卷六)

【衛率】秦代創設ノ官名。營事ニ屬シ門衛及ビ衛士ノ事ヲ主トル。漢之ニ因ル。晉分チテ左右衛率ト爲シ唐時ニ及ビテハ太子十率ノ首ト爲ス。(車、十)

曳 (部首) (韻)

【曳白】科擧ノ受験者ガ試験ノ問題ニ對シテ何等ノ答ヲ爲ス能ハズ。白紙ノ卷子(答案)ヲ呈出スルコト、俗ニ「交白卷子」ト謂フ。「六部成語註解」不能「做」之。亦不成「一」字。只以「白紙卷子」呈交。謂之「曳白」。俗名「交白卷子」。但シ、是レハ唐代ノ故事ニ出ヅ。「唐書」苗晉卿傳、天寶二載。判入等者凡六十四人。以「張曠」爲第一。曠即史中丞倚之子。倚新得「幸」於子帝。晉欲「附」之。曠本無「學」。議者「置」然。帝御「花萼樓」。覆實。與持「紙」。終日筆不下。人謂之「曳白」。又「事物紀原」左ノ如ク記ス。

唐天寶元年冬。選六十四人判入等。時御史中丞張倚男與人「高等」。有「下第者」。當「爲」之。以「其事」。白「安祿山」。祿山奏。之。來年正月玄宗御「勤政樓」。親重試。惟十二人比類稍優。張爽不「措」。辭。時人謂之「曳白」。即「拖」白是也。

妖 (部首) (韻)

【妖書妖言】人心ヲ惑亂シ社會ノ治安ヲ妨害スル所ノ怪異ナル圖書及ビ妖怪ノ邪說ヲ謂フ。約言スレバ妖書ハ未來記、妖言ハ豫言ノ類ナリ。「明律」刑律賊盜篇「造妖書妖言」ノ條、凡造「說謊妖書妖言」。及傳用。惑衆者皆斬。若私「有妖書」。隱藏不送。官者。杖一百徒三年。「清律」附註「說謊如「赤伏符圖錄」之類。凡造「爲一應妖誕文字」。組「織」已往怪異之事。妄載「未來興廢」之徵。或假「鬼神」作「爲妖妄」不經。奸邪不順之語。云云。(明律卷二十八清)

【妖】(部首) (韻)

【妖】(部首) (韻)

【妖】(部首) (韻)

青紅ノ二色アリ。「廣東新語」衣用布。或青或紅。推「花機」草。名「搖錦」。

【搖戶】湖南、廣東ノ搖族ノ歸化シタル者ノ戶籍。其頭目ヲ搖目ト曰フ。(清會)

【搖】(部首) (韻)

【妖教】妖教ノ何者タルカハ明ナラザルモ、「西溪叢語」ニハ、貞觀五年傳法。羅何羅妖教ヲ傳フ。帝長安化樂坊ニ設寺ヲ建テ「大秦寺」ト稱スト記ス。「唐會要」及ビ「杜氏通典」ニモ各記スル所アリ。而シテ其妖教ト曰フハ、「ア」ノ如キモ、其大秦寺ト曰フヨリ觀レバ、景教即チ基督教ヲ指シタルモノノ如シ。但シ「源」ニハ「波斯火教」ノ神ヲ火妖ト名ヅク。故ニ其教ヲ稱シテ「妖教」ト曰フト記ス。

義、法規違犯ナリ。(明律卷十七、清律卷二十ノ條)

【遞取回】 實封ノ公文ヲ他ノ者ガ中途ノ驛ニ送ヘテ其途ヲ遮斷シ之ヲ取返スコトヲ謂フ。(明律卷十七、清律卷二十一兵律郵驛篇、遞取實封公文ノ條)

【驛】 交通機關ノ名、昔時ハ惟ダ馬匹ニ依リテ書類ノ發送ヲ掌ルノミナラズ、官吏往來ノ便ニ備ヘタリ。但シ其官吏ノ往來ハ郵便物ヲ携送スル吏吏ヲ含ムコト勿論ナリ。其沿革ヲ按ズルニ、驛ノ字ハ『書經』洪範篇『詩經』周頌内ニモ現ハルル所ナルモ後世ノ驛驛ノ義ニアラズ。周禮【地官、遺人之職、三十里有驛。宿有路室。五十里有市。市有候館。云云。】ノ路室及ビ候館ハ後世驛ノ因リテ出ヅル所ナルモ宋ダ驛ノ名ハ見エズ。春秋時代、駟ト曰ヒシハ後世ノ驛ニ當ル。事物紀原左ノ如ク記ス。周禮曰。地官遺人之職。凡國野之道三十里有

廣。廣有二飲食。三十里有宿。宿有路室。路室有委。五十里有市。市有候館。候館有積。今二十里馬館有二飲。馬亭。即路室之遺事也。六十里有驛。驛有二餼。餼。即候館之遺事也。漢自郵莊置驛以迎送賓客。故後世亭傳有二驛名。通典曰。唐三十里置一驛。其非二通途大路。則曰館。由是通謂之館驛。雖事起於周。名出於漢。左傳有楚子乘驛。驛驛馬也。則馬遞之制已見於周矣。漢文帝乃詔太僕見馬。餘皆給二傳置也。(七卷)

右ハ其概要ヲ揭ゲタルノミ。以テ其一斑ヲ知ルベシ。秦代始テ既置、乘傳、副車食制ノ法アリ。漢初メ之ヲ承ケテ改メズ。(後、費用多ク之ヲ省ク)後漢ハ驛置ヲ設ケテ車馬律ナク、惟ダ空文ヲ存ス。故ニ魏ハ既律ヲ刪修シテ驛驛令ヲ作ル。唐ハ之ヲ職制篇ニ規定ス。明ハ之ヲ分チテ兵律内ニ入レ驛驛ト爲ス。清律之ニ因ル。(イ、部、郵驛參照)

【驛券】 旅行者ニ驛馬ヲ給スル證明書ナリ。

【宋史】職官志、凡内外支供及奉給。驛券賞賜衣物錢帛。先期擬度。時而予之。

【驛丞】 驛長ノ助役、但シ盛京驛ノ如キハ驛丞事務ヲ管理シ、其上ニ正副監督ヲ置キ驛務ヲ稽察セシム。(清會典兵部驛驛)

【驛站】 驛ト站トノ二種、共ニ通信機關ナルモ各省ノ内地ニ設ケテ一般官吏ノ往來ニ便シ、官文書ノ遞送ヲ掌ルヲ驛ト曰ヒ、特ニ軍報ノ爲メニ設ケタルモノヲ站ト曰フ。(清會典兵部驛驛)

【驛站銀】 驛站附近ノ人民ハ驛站ノ使役ニ服スルノ義務アリ。此場合ニ本人ノ便宜上、官ニ銀ヲ納メテ力役ニ代フルコトヲ聽ス。之ヲ驛站銀ト謂フ。(上同)

【驛程】 驛遞ノ里程ヲ定メタル規則ナリ。(上同)

【驛遞】 鋪遞即チ人夫ニ依リテ送達セラルル郵便ニ對シ特ニ馬匹ニ依リテ送達セラルル郵便ニ對シ特ニ馬匹ニ依リテ送達セラルル郵便

便ヲ謂フ。(上同)

【驛路鈴】 鋪遞(人夫)從業員ノ携フル鈴、警戒ノ用ニ備フルナリ。元經世大典「凡文書往來。卒腰革帶。帶懸鈴手槍。換撥。奏文書。以行。夜則持火炬。道狹。車馬者。負荷者。聞鈴。則遙避。諸旁。夜亦驚。虎狼不若。又響及所之鋪。則鋪人出以俟其至。」大明會典【兵部驛驛、遞送公文。照依古法。一晝夜一百刻。每三刻一行。一鋪。晝夜須行三百里。無分晝夜。鳴鈴走遞。前鋪聞鈴。鋪司預先出鋪交收。】

【越】 (部首) (月) (韻) 越(部首) (月) (韻)

【越】 (一) 國名、初メ、於越ト曰フ。夏ノ小康ノ後此地(稽)ニ封セラレ、春秋ノ季、吳ヲ滅シ江蘇、浙江及ビ山東ノ一部ヲ奄有シタルモ後ニ楚ノ爲メニ滅サル。今ハ浙江省ヲ稱シテ越ト曰フ。(二) 種族ノ名、昔時江、浙、閩越ノ地ハ越族ノ居ル所ニシテ之ヲ百越ト謂フ。於越ハ浙江ニ在リ。閩越ハ福建ニ在リ。揚越

ハ江西ニ在リ。南越ハ廣東ニ在リ。略越ハ安南ニ在リ。此等皆百越ノ種別、越亦粵ニ作ル。

【越宮律】 漢ノ張湯ガ作ル所二十七篇アリ。禁宮(宮城)侵害ヲ罰スル法ナリ。【晉書】刑法志、張湯。越宮律二十七篇。積馮。朝律六篇。云云。

【越俎】 己レノ本職ヲ越エテ他人ノ權限ヲ侵スノ義、越權ト云フニ同ジ。【莊子】逍遙遊篇「庖人雖不レ治庖。尸祝不レ越俎。而代也人矣。」

【越訴】 支那法ニ於テハ唐律既ニ聞訟篇ニ「越訴」ノ禁ヲ規定ス。【明律】清律之ヲ沿用ス。元來訴訟事件ハ先ツ下級審ニ提起シ、一定ノ階級ヲ經由スベキコトヲ原則トシ、其順序ヲ經由セズ、直チニ上級審ニ提起スルコトヲ「越訴」ト稱シ、之ヲ罰ス。但シ車駕ヲ迎ヘ、又ハ登聞鼓ヲ擊チテ冤枉ヲ申訴スルモノハ此限ニ在ラズ。

【越隄】 堤防ノ一種ニシテ對岸ニ越過スルガ限ニ在ラズ。

故ニ此名アリ。(會典事例)

【越度】 畿邊關塞(長城ニ沿ヒテ設ケ)等科通人民ノ通過スベカラザル處ヲ通過スルコトヲ謂フ。故ニ文引(旅行)ノ有無ニ拘ラズ越度シタル者ハ之ヲ罰ス。(明律清律兵律關津條)

【越渡】 關門ヲ過ケルニ正口ニ由ラズ河川ヲ渡ルニ津渡ニ由ラズ、即チ法ヲ犯シテ私ニ間道ヨリ出ヅルコトヲ謂フ。(明律清律兵律關津條)

【越幅】 試験ノ答案ヲ書クトキ、誤リテ一幅ヲ隔テ前後相連接セザルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「書」卷之時。誤隔二一幅。不ニ相連接。謂之越幅。」

【越王約髮】 江東、兩頭ノ蛇ヲ呼ビテ越王約髮ト爲ス。越王ノ約髮ノ化スル所ナリト云フ。(附雅註)

【越王餘算】 珊瑚ノ屬、南越王趙佗嘗テ高一丈二尺ノ珊瑚ヲ漢ニ貢ス。故ニ此名アリ。其實堅緻眞ノ珊瑚ト同ジ。惟ダ色白ク幹直ニ

シテ枝ナシ。多ク箸杖等ノ用ヲ爲ス。俗ニ白珊瑚ト稱ス。(西京雜記)

【粵】(越ニ同ジ)

【粵省】 廣東、廣西ノ兩省ヲ指シテ「兩粵」ト曰ヒ、專ラ廣東省ヲ指シテ「粵省」ト曰フ。

【粵東】 廣東廣西ヲ稱シテ「粵省」ト曰ヒ、廣東ヲ指シテ「粵東」ト曰フ。

【粵匪】 粵匪トハ道光三十年洪秀全ノ廣西省桂平縣金田村ニ亂ヲ唱ヘタル匪徒ヲ指ス。(清國行政法卷四)

【園】(部首)

【園口】(元韻)

【園】(一)疏果花木ヲ植エタル地ニシテ藩籬アルモノヲ謂フ。(二)別墅及ビ遊息ノ處總テ之ヲ「園」ト謂フ。(三)歷代帝王ノ陵寢之ヲ「園」ト謂フ。後世ハ親王、妃嬪公主ノ墓亦「園」ト稱ス。

【園戶】 茶ヲ采ルヲ業トスルノ家ヲ謂フ。唐書「園戶私蓄二百斤以上杖背」。宋史「斬、

黃、廣、舒、光、壽六州。官自爲場。謂之山場者十三。六州采茶之民羣焉。謂之園戶。歲課作茶輪租。」

【園寢】 墓所ニ建テ、以テ祭ヲ致スニ備フル所、即チ靈場ナリ。後漢書「祭祀志」漢諸陵。皆有「園寢」。

【園廡】 園園ト居廡トヲ合稱ス。(禮)

【園廟】 陵寢所在ノ宗廟ヲ謂フ。漢書「蘇武傳」詔「武奉一太牢一鬪武帝園寢」。

【園廡】 園園ト廡舍トヲ合稱ス。(宋史張去華傳)

【園丘】(部首)

【園丘】(先韻)

【園丘】 天ヲ祭ル所、圓形ノ丘ヲ作ルガ故此名アリ。禮記「祀天圓丘。祀地方丘。云云。」(園丘見)

【園光】(一)呪術ノ名、術者ガ鏡或ハ白紙ヲ用キテ施スニ呪語ヲ以テ童子ヲシテ之ヲ視セシム。見ル所アルガ如シ。俗ニ占事又ハ治病ニ之ヲ用フ。稱シテ「園光」ト曰フ。(二)佛

菩薩ノ頂上ヨリ放ツ所ノ光ヲ園光ト曰フ。(義集)

【圓寂】 釋氏ハ死ヲ謂ツテ「圓寂」ト爲ス。(釋氏)喇嘛教教主ノ如キハ圓寂スルニ當リテハ化身轉生スルモノト信ジタリ。

【圓滿】 滿尼ニシテ缺點ナキノ義ナリ。南史「梁武帝紀」中大通五年。祀「南郊」。奏「樂迎」神畢。有「神光」圓「滿」壇上。朱黃白雜色。

【圓明園】 北京ノ西直門外ニ在リ。清ノ世宗憲「雍正」時ニ賜ヒタルノ名ナリ。中「正大光明殿」、勤政殿アリ。雍正年間每歲初春此ニ於テ政ヲ聽ク。歷朝以テ常ト爲ス。咸豐ノ時英佛聯合軍ノ爲メニ燬却セラル。

【園】(部首)

【園丘】(先韻)

【園丘】 天ヲ祭ルトキ土ヲ築キテ丘ト爲シ、圓形ニシテ天ニ像ル。六部成語註解「天壇之祭。築土成丘。形圓以像天。於此設祭謂之園丘。」

15017

【園牆】 園土ト云フニ同ジク監獄ノコトヲ謂フ。(書漢)

【園陣】 兵制、陣法ノ一種、兵陣ヲ圓形ニ布置スルコトヲ謂フ。史記「項羽傳」爲「園陣」外向。云云。

【園土】 園土トハ一定ノ地界ヲ限リ罪人ヲ監置スル場所ニシテ、近世ノ監獄ニ當ルト雖モ、通常ノ監獄ト同ジカラズ。主トシテ過失犯者及ビ惡習ニ恒レ、未ダ教化ニ感浴セザル者ヲ收容シ、勞役ニ服セシメ、其改悛ヲ促スコトヲ目的トス。周禮「大司寇職」以「園土」聚「教」罷民。凡害レ人者。實ニ之園土。而施「職事」焉云云。トアルハ是ナリ。園土ノ義ニ就キテハ同書地官比長ノ註「園土」獄城也。必園者規。主「仁」心「求」其情。古之治「獄」。聞ニ於出「之」。

【園法】 幣制ノコトヲ謂フ。漢書「食貨志」齊太公(即太)爲「周立」九府園法。ト曰ヒ註ニ「園。謂均而通」。ト記ス。

【奄】(部首)

【奄】(大韻)

【奄尹】 宦官ノ別名、周ニ於テハ「內宰」ト爲ス。禮記「月令篇」命「奄尹」申「宮命」。蔡邕「月令問答」奄尹者內官也。「奄」ニ「園」ニ作ル。

【奄宦】 宦官ノ別名、周代ニ始マル。周禮「秋官掌宰」宮者使「守門」。宮ハ宮刑ナリ。(ノ)部「宮刑」。「清國行政法」沿革ヲ敘スルコト頗ル詳ナリ。(卷一)

【奄人】 宦官ノ稱「周禮」春官ニ奄人アリ。其註「奄。精氣閉藏者。今謂之宦人。」

【奄遲】 兵略上ノ語、敵迫リ來ルモ動カザルノ義ナリ。兵略「敵迫而不動曰「奄遲」。普通ハ「淹留遲緩」ノ略語ト爲ス。

【奄甸】 奄ハ覆フノ義、甸ハ治ムルノ義、廣ク萬邦ヲ治ムルノ義ナリ。書經「立政篇」奄「甸萬邦」。

【婉】(部首)

【婉】(阮韻)

【婉儀】 女官ノ名、北齊始メテ置キ八十一御女ノ一トシ、唐ハ六儀(女官)ノ一(其四)トス。事物紀原「北史后妃傳叙曰。北齊文宣河清中

置「婉儀」。爲「八十一御女」。唐初亦無。唐志注云。明皇置「六儀」。婉儀其四也。至「宋朝」。眞宗復增置。餘見「婉容」。

【婉華】 女官ノ女、北齊時代世婦ノ名、從三品待遇ナリ。北史「婉華爲二世婦。比從三品」。

【婉容】 女官ノ名、宋代六官ノ一、位、從一品ナリ。事物紀原「宋朝會要曰。大中祥符六年正月二十一日。眞宗增「淑儀」以下至「婉容」凡六官。並從一品。在「昭儀」之上」。

【愆】(部首)

【愆】(先韻)

【愆犯】 奴婢賤隸ノ徒ガ家長ノ命ニ背キ失錯ヲ爲シタルノ類ヲ謂フ。唐律「鬪訟篇」毆部曲死決罰ノ條。諸主歐部曲。至死者徒一年。故殺者加一等。其有「愆犯」。決罰至死。及過失殺者。各勿論。ト規定ス。(同書卷)

【淹】(部首)

【淹】(水韻)

【淹禁】 未決囚ノ判決及ビ已決囚ノ處分ハ一定ノ期限内ニ之ヲ行ハザルベカラズ。法官故

ラニ之ヲ淹滞シテ獄内ニ置クコトヲ「淹禁」ト曰フ。【明律】刑律斷獄篇「淹禁」ノ條「凡獄囚情犯已完。監察御史。提刑按察司審錄無冤。別無追勘事理。應斷決者。限三日內一斷決。不三起發者。限二十日內一三起發。若限外不三起發者。當該官吏三日管二十。每三日一加一等。罪止杖六十。因而淹禁致死者。若因該三死罪杖六十。流罪杖八十。徒罪杖一百。杖罪以下杖六十徒一年。【清律】ハ之ヲ襲用ス。但、監察御史云云ヲ改メテ「法司督撫」ト爲ス。(明律卷二十八)

【淹殺】 淹ハ溺水ノ義即チ水ニ沈メテ死ニ致スコトヲ謂フ。【六部成語註解】「沈水而死也。」

【演武廳】 民國ノ制、陸軍演習ノ時、長官ガ校閱ヲ爲ス官所ヲ謂フ。

【演禮】 各省ヨリ京師ニ來リ引見ヲ受クル者ガ引見ノ前日、吏部ニ赴キテ引見ノ場合ニ於ケル禮式ヲ學習スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「應行引見。於引見前一日。赴吏部學習禮儀。」

【爰書】 判決文ノコトナリ。【史記】張湯傳「湯父爲長安吏。出湯爲兒守舍。還而鼠盜肉。怒答湯。湯相竊得鼠及餘肉。勸鼠掠治。傳爰書訊鞠論報。取鼠與肉。堂下。其父見之。視其文辭。如老獄吏。大驚。遂使書獄。」其義ニ付テハ數說アリ。(一)蘇林ノ註「傳。謂傳囚也。爰。易也。以此書易其辭。處。鞠窮也。」(二)張晏ノ註「傳。考證驗也。爰書。自證不如此言。反受其罪。訊考三日。復問之。知與前辭同否也。」辭源「鞠囚考。實之判辭也。爰。調易。古者重刑。錄有爰惡。故變易其判辭。使他官考實。」(ノ註ニ取)即今制。罪狀確定之判決書也。

【爰田】 春秋時代、晉ノ公田、爰ハ易ヘルノ義。周制ハ田ニ上中下三等アリ、三年毎ニ其耕主ヲ易ヘテ耕作セシメテ公平ヲ期スルコトヲ旨トシタルガ晉制ハ有功者ヲ獎勵スルノ主義ヲ取リ。漸次有功者ニ上田ヲ給ス。故ニ「易田」ト曰フ。但シ、是レニハ異說アリ。從來ハ地租ハ全部國家ノ收入タリシガ易田ハ其方針ヲ易ヘテ有功者ヲ賞スルノ田ト爲ス。故ニ「易田」ト曰フト爲ス。【左傳】僖公十五年「晉於是乎。爰田。」服虔註「爰。易也。賞也。以田。易其疆畔。」是レ第一說ナリ。「注疏」ノ注「分公田之稅。舊入公者。爰之所賞之。說。爰。易也。謂舊入公者。乃改易於所賞之。」是レ第二說ナリ。相互參稽スベシ。

【爰立】 爰ニ宰相ヲ立ツルノ義、即チ宰相ヲ拜スルコトヲ謂フ。【書經】說命篇「爰立作相。王置諸左右。」【書經】指掌「拜。宰相曰爰立。」

【捐】 本來ノ意義ハ義捐的ニ自ラ進ミテ私財ヲ投出スルノ義ナリ。【漢書】賈恩傳「僕自我得之。自我捐之。無所恨。」然レドモ清朝ニ於テハ義捐ノ義ニ限ラズ公課、又ハ地方稅ノ如キ之ヲ「捐」ト謂フ。其用例ハ【會典】戶部篇內枚舉ニ暇アラズ。要スルニ清朝ニ於テハ新ニ稅目ヲ設クルモノハ皆稅ト云ハズシテ捐ト云フ。家屋稅ヲ「房捐」ト云ヒ屠猪稅ヲ「猪捐」ト云ヒ關稅稅(廣東ニ行ハル)ヲ「關捐」ト謂フガ如シ。然ルニ「捐」ハ義捐ノ捐ニ取ルガ故ニ普通ノ租稅ノ如ク強制セザルヲ本則トス。

【捐加級紀錄】 清制、文武官員及候補候選人員(本條ヲ)ハ金銀ノ捐納ニ依リテ「加級紀錄」(官等級ヲ加ヘテ官吏)ヲ申請スルコトヲ得。之ヲ「捐加級紀錄」ト謂フ。一級ヲ加フル毎ニ其捐納額ニ定額アリ。(清國行政)

【捐監】 明ノ代宗景泰年中各府州縣學生ニ對シ實ヲ捐スレバ國十監々生ト爲ルコトヲ准ズ。(黃瑜雙)清康熙三年噶爾丹ヲ征スルニ當

(乾隆會典卷十)

【捐栽】 清制、文武官員、監生及私人家族舉的ニ自ラ進ミテ樹木ノ栽培ヲ爲スノ義、政府ハ之ヲ獎勵スル爲メニ種々議敘ノ方法ヲ設ク。例セバ康熙十五年ノ議准ニ依リ、文武官ガ植柳一萬株以上ハ紀錄二次、三萬株以上ハ紀錄三次、四萬株以上ハ一位一級ヲ加フルノ類ナリ。(清國行政)

【捐修】 清制、各省城垣等ノ修繕費ハ大ナルモノハ各省ノ公費ヲ使用スルヲ例トスルモ其小工事ハ地方官ノ自費ヲ以テ修葺セシム。之ヲ「捐修」ト謂フ。(法卷三)

【捐升】 清制、官吏ガ成規上後日陞進スベキ職官ニ就キテ捐納ヲ申請スルトキハ之ヲ稱シテ「捐升」ト謂フ。之ニ反シテ、官吏候補者ガ其資格ヨリ下級ノ職官ニ就キテ捐納スルトキハ之ヲ「降捐」ト謂フ。蓋シ是ハ候補候選(官吏補)人員多ク容易ニ其應ニ得ベキ實職ヲ得難

キ場合ニ於テスルヲ例トス。(清國行政) 法卷六
【捐瘠】 病死スルコトヲ捐瘠ト謂フ。(史記) 吳起

【捐積監穀】 清制、荒凶ノ年ハ富民等ニ米穀ヲ捐納セシメテ國子監生ニ補シ(即チ捐積) 納ムル所ノ米ヲ積ミテ貧民ヲ賑救スルコト、セリ。六部成語註解、荒年開捐、富民納穀、准ア作ニ國子監生ニ積、其所ヲ納以賑貧民。

【捐納】 士、庶人ガ官職ヲ得ンガ爲メニ金又ハ米ヲ上納スルコト、其由来スル所久シ。即チ漢武帝ノ「賣爵令」ノ如キハ其較著ナルモノニシテ又其因リテ起ル所ナリ。要スルニ捐納授官ヲ聽スハ財政ノ缺乏ナル場合ニ於テ財源ヲ得ルノ目的ニ出ヅルヲ例トス。清朝ノ如キモ建國ノ當初ハ此事ナカリシト雖モ、康熙初年三藩ノ變アリテ經費ノ不足ヲ生ジタルガ爲メニ此例ヲ開クニ至レリ。然ルニ其弊甚ダシキニ及ビシカバ光緒二十七年上諭ヲ發シテ實

官ヲ報捐スルコトヲ停ムルト同時ニ一般ヲ警戒スルニ至レリ。(清國行政) 法卷一下
【捐納房】 清制、捐局ノ京師ニ在ル(即チ在京) モノハ戸部ノ管轄ニ屬ス。之ヲ「捐納房」ト謂フ。常設機關ニ係ルト雖モ專員ナク戸部ノ職官ヲ以テ兼任セシム。(上) 同

【捐復】 清制、懲戒處分ニ處セラレタル官吏ガ捐納ニ依リテ原職原職ヲ回復スルコトヲ謂フ。其種類左ノ如シ。
一、捐復降革留任 (降革留任ノ處分ヲ免カレ、原職ヲ回復スルコト)
二、捐復降革離任 (降革離任ヲ免カレ、原職ヲ回復スルコト)
三、降革加五捐復 (捐復降革留任ヲ准サキ者ハ捐復銀額ニ十分ノ五ヲ加ヘテ捐納セシムルノ義)
四、捐復原銜 (捐納ニ依リテ原銜ヲ在リテモ奸賊等ノ罪情ナキ者ハ亦均シク捐納ニ依リテ原銜ノ回復ヲ准スルコト)
五、捐復原資 (文武進士、舉人、生員等事ニ係リテ出身資

格ヲ失ヒタル者ガ捐納ニ依リテ復スルコト) (清國行政) 法卷六
【捐封典】 清制、捐納ニ依リテ一品以下、從九品ニ至ル品級ヲ給與セララルルヲ「捐封典」ト曰フ。(上) 同

【捐免】 清制、官吏ノ當然經由スベキ特定ノ事項ヲ捐納ニ依リテ免除セララルルコトヲ「捐免」ト曰フ。其次第左ノ如シ。
一、捐免試用 (候補官ガ實官ニ補セ期間内試用トシテ執務セシメタル後、事務見習ノ類) 實官ヲ授クルヲ法トスルモ、捐納ニ依リテ之ヲ免ズルコト)
二、捐免期滿 (筆帖式及ビ滿蒙教習後試験ヲ爲シテ合格者ヲ本職ニ任ズルヲ法トスルモ捐納ニ依リテ之ヲ免ズル直ニ本職トスルコト)
三、捐免實授試俸及ビ歷俸滿年限 (地方官ノ昇級榮轉ハ一定ノ年限アルモ捐納ニ依リテ其年限ヲ免ズルコト)
四、捐免赴部引見 (一般官吏ガ所屬本部見テ要スル場合ニ在リテモ捐納ニ依リテ其形式ヲ輕ルヲ免ズルコト)

【掩骼埋瘠】 (骸骨ヲ掩ヒ) (禮記) 月令篇ニ出ヅルノ語、骼ハ枯骨實ハ骨ノ尙ホ肉アルモノ及ビ禽獸ノ骨ヲ總稱ス。孟春ノ月其地面ニ露ハレタル者ヲ掩埋覆藏スルコトヲ謂フ。(禮記義疏) 周禮秋官司屬ニ「婦氏」アリ。贊月令卷一「周禮秋官司屬ニ「婦氏」アリ。贊ヲ除クコトヲ掌ル。即チ掩埋覆藏ノ任ニ當ル者ナリ(周官義疏) 卷三十七

【掩骨會】 清制、遠地貧民ノ死亡者ヲ堆葬スルコトヲ謂フ。北京西門外ニ義地數所アリ。(刑部奏) 門雜記(津)

【掩埋】 犯人ヲ其不意ニ乘ジテ逮捕スルコトヲ謂フ。(唐律) 名例篇「同居爲隱」ノ條疏議「假有二錢及盜之類。事須掩捕追收。」(卷六)

【掩埋】 旅人等ノ死亡シタル場合ニ其死骸ヲ引取人ナキガ爲メニ、官ニ於テ假埋葬ヲ爲スコトヲ謂フ。(習禮所章程) 因病死(略) 如無ニ家屬。或道途遙遠者。別暫行掩埋。樹標待

五、捐免赴部投供 (候選官ハ每ノ吏部ニシテ選ヲ待ツヲ法トスルモ捐納ニ依リテ其形式ヲ免ゼラルルコト)
六、捐免赴部驗看 (候選候補人員ガ本部大官或ハ九卿科道ヨリ其年輪容貌等ヲ察視セラルコトヲ「驗看」ト云フ。捐納ニ依リテ其形式ヲ免ゼラルルコト)
七、捐免遠省 (捐納ニ依リテ僻遠ノ免ゼラルル) (省ハ赴任スルコトヲ免ゼラルル)

尙ホ以下數種アルモ要スルニ依リテ特別ノ取扱ヲ受クルモノニシテ一一之ヲ列舉スルコトヲ略ス。(清國行政) 法卷六

【捐翎支】 清制、捐納ニ依リテ花翎藍翎(孔雀翎)ヲ給與セララルルヲ「捐翎支」ト曰フ。前ニ翎支勳徽ヲ有スル者ニシテ事ニ縁リテ職掌セラレタル者ハ復官ノ後更ニ捐納ニ依リテ其職用ヲ許サルコトヲ得、之ヲ「捐復原翎」ト謂フ。(上) 同

【捐手】 (部首) (元韻) (才手) (元韻)

【援救】 恩赦其他ノ救例ヲ援用シテ罪ヲ赦シ又ハ減ズルノ義ナリ。六部成語註解「援。引也。固有之恩赦。援例減罪。或予寬免。」

【援例】 成例ヲ援用スルノ義、裁判ヲ爲ス場合ニ於テ判決例ヲ引用スル等ノ類ナリ。

【烟】 (煙) (同) (煙) (同)

【烟釐】 烟釐トハ烟草ニ課スル釐金ニシテ、黑龍江省呼蘭ノ如キ特殊ノ地方ニ限リテ賦課シタルモノナリ。

【燕】 (部首) (元韻) (火) (元韻)

【燕】 (一) 國名(イ) 北燕ハ姬姓、周ノ召公奭ノ後戰國ノ時王ト稱ス。七國ノ一ニシテ今ノ奉天、直隸及ビ朝鮮北部ノ地ヲ奄有シタルモ終ニ秦ノ爲メニ滅サル。今ハ直隸省ヲ稱シテ「燕」ト爲ス。(ロ) 南燕ハ胡姓、今ノ河南省衛輝府汲縣ニ在リ。(ハ) 東晉ノ時鮮卑慕容氏帝ト稱シ國ヲ燕ト號スルモノ五アリ。(一) 前燕、

慕容儼ノ建ツル所ニシテ苻秦ニ滅サル。
 (2)後燕、慕容垂ノ建ツル所ニシテ後魏ニ滅サル。(3)西燕、慕容仲ノ建ツル所ニシテ後燕ニ滅サル。(4)南燕、慕容德ノ建ツル所ニシテ晋ニ滅サル。(5)北燕、慕容盛ノ建ツル所ニシテ馮跋之ニ繼ギ後魏ニ滅サル。(二)飲酒ノ宴筵ナリ。語又ハ宴ト相通ズ。(三)安ナ息ナリ。【禮記】孔子燕居ノ如キ是ナリ。
 【燕衣】天子ガ燕會ニ用ケルノ服ナリ。【禮記】夏后氏收而祭。燕衣而養老。其許群臣ヲ燕スルノ服ヲ謂フ。今ハ一般ニ私服ヲ、燕衣ト曰フ。【源】
 【燕飲】宴飲ニ同ジク、宴ヲ開キテ相親ムコトヲ謂フ。【詩經】大雅鳧鷖篇「爾酒既清。爾既既馨。公尸燕飲。福祿來成。』【史記】齊悼惠王世家「朱虛侯管入侍。高后燕飲。云云。』
 【燕桁】宴筵ニ用ケル樂ナリ。【詩經】
 【燕居】閑居ト言フニ同ジ。【論語】述而篇「子之燕居。申申如也。』

【燕京】(一)今ノ北京ナリ。(二)山ノ名、即チ山西省ノ管涔山ナリ。(三)種族ノ名、殷ニ燕京ノ戎アリ。周公季歷ノ敗ル所ト爲ル。其地ハ今ノ山西省舊太原府地方ニ在リ。
 【燕支】染紅ノ草ノ名、製シテ顔料ト爲ス。故ニ紅粉ヲ「燕支」ト曰フ。種種ノ異名ナリ。燕支粉「紅藍」「焉支」「燕脂」「胭脂」等是ナリ。
 【燕出】天子ノ微行セラル、コトヲ謂フ。【漢書】王嘉傳「多言燕出之害。』
 【燕毛】祭事終リテ行フ燕飲ノ儀式ナリ。此儀式ハ毛髮ノ色ヲ以テ長幼ヲ別ナ席次ヲ定ムルヲ法トス。故ニ「燕毛」ト曰フ。【禮記】中庸篇「燕毛。所以序齒也。』
 【緣坐】他人ノ犯罪ニ關係シテ罪セラルル義ナリ。【北史】齊後主紀「諸家緣坐。配流者。所在令還。』
 【緣坐流】反逆罪ニ關與シタル者ハ流罪ニ處ス。

セラル。之ヲ「反逆緣坐流」ト謂フ。【唐律】名例篇「應議請減ノ條「反逆緣流。其疏議。謂ア緣ニ坐反逆。得二流罪一者云云。』(卷)
 【緣法】(法ニ) (一)國政ヲ爲スニ古代ノ王法ニ準據スルノ義ナリ。【史記】商君傳「因民而教者。不勞而成。緣法而治者。吏習而民安之。』(二)佛教ニ於テハ因緣アリテ相契ルノ義ト爲ス。
 【緣邊關塞】長城ニ沿ヒテ設ケタル關門及ビ塞ヲ謂フ。【明律清律兵律關津篇】(私越河洩關津ノ條)
 【苑】(部首) (類) 又物
 【苑窳婦人】窳ノ神、一ニ「苑窳婦人」ニ作ル。【晉書】漢儀。皇后親桑東郊苑中窳室。祭ニ窳神。曰「苑窳婦人。』【後漢書】禮儀志註「苑窳婦人ニ作ル。
 【苑柳之刺】(苑柳) 苑柳ハ【詩經】小雅ノ篇名、周ノ幽王暴虐ニシテ親ナリ、刑罰中セザルヲ刺ルノ詩ナリ。【唐律疏議】通表「周幽獸

繁。詩人致二苑柳之刺。』(首) (卷)

【衍】(部首) (類) 又義

【衍聖公】漢ノ元帝始メテ孔子ノ後孔誦ヲ襲シテ「褒成君」ト爲シ、平帝孔均ヲ封ジテ「褒成侯」ト爲ス。魏ノ文帝孔羨ヲ封ジテ「宗聖侯」ト爲シ、晋ノ武帝孔震ヲ封ジテ「奉聖亭侯」ト爲ス。後魏ノ孝文帝孔珍ヲ封ジテ「崇聖侯」ト爲シ北齊改メテ「恭聖侯」ニ封ジ周ノ武帝改メテ「鄒國公」ニ封ジ、隋ノ煬帝改メテ「紹聖侯」ニ封ジ、唐ノ太宗孔德倫ヲ封ジテ「褒聖侯」ト爲シ、玄宗其嗣ヲ以テ「文宣公」ト爲シ、宋ノ仁宗改メテ「衍聖公」ニ封ズ。嗣後元明清ヲ經テ改ムルコトナク孔子ノ直系宗家ノ子孫ヲシテ之ヲ世襲セシム。
 【延】(部首) (先) (類)
 【延英】宮殿ノ名、皇帝奏ヲ受クルノ所ナリ。【事物紀原】「唐書。韓昇曰。延英之置。肅宗以二苗晉卿年老難歩故設之耳。後代因以爲二故事。宋朝會要曰。康定二年八月。宋庠奏。唐

自ニ中葉一已還。雙日及非時。大臣奏事。別開二延英一賜對。今假日御二崇政延和一是也。』(卷)

【延閣】長ク延ビ續キタル高殿。【拾遺記】「有善二星文一者。處ニ于層樓延閣之上。以望二氣象。』漢代ニハ圖書館ニ代用セリ。因テ圖書館ノ名ト爲ス。

【延生社】清朝ニ於ケル貧民救恤ヲ掌ル官署ノ一、西關外ニ在リ。【清國行政】

【延接】客ヲ室ニ延イテ接見スルノ義ナリ。【宋史】王沔傳「自今宰相及樞密使。不レ得子ニ本廳一見客。許於二都堂一延接。』

【延宕】猶ホ延引ト云フガ如シ。清末【違警律】「督二促條理。而延宕不レ遵者。』

【延納】延ハ人ヲ延見スルコト、納ハ其人ノ說ヲ納レルコトナリ【後漢書】北海靖王傳「子敬王陸少好學。博通二書傳。光武愛之。數被二延納。』

【延表】斜ニ長キコトヲ謂フ。【史記】
 【延攬】人材ヲ延見シテ其心ヲ收攬スルノ義ナリ。【漢書】「方今之計。莫如下延二攬英雄。務悅民心。』
 【遠】(部首) (類) 又物
 【遠猶辰告】(遠猶辰) 遠猶ハ永遠ノ謀ヲ云フ。即チ國家將來ノ爲メニ謀ヲ定メ時ヲ以テ之ヲ公布スルコトヲ謂フ。【詩經】大雅「抑篇「計謀定レ命。遠猶辰告。』
 【遠交近攻】(遠交攻) 戰國時代ノ外交政策、遠國ト親交シ、近國ヲ征伐スルノ義ナリ。【史記】范雎傳「范雎告二秦王一曰。不レ如遠交而近攻。得寸則王之寸。得尺亦王之尺也。』
 【遠郊】郊ハ行政區劃ノ名、遠郊近郊ニ分ル。王城ヲ距ル百里ヲ遠郊ト爲シ、五十里ヲ近郊ト爲ス。【周禮】地官載師「以二宅田士田買田。任二近郊之地。以二官田牛田賣田牧田。任二遠郊之地。一鄉莊。五十里爲二近郊。百里爲二遠郊。』
 【遠流】僻遠ノ地ニ流スコト五刑中「流罪」ノ

重キモノナリ。【北魏書】源懷博、藏寶者。悉遠流。云云。

【關】(部首) (鹽)

【關】 關ハ豐、宮中ノ門ヲ閉閉スルコトヲ掌ル。宦官之ニ當ル。【說文】豐也。宮中關閉。

閉門者。云云。【前漢書】敘傳「關尹之啓」。註「謂宮人爲關者。謂其精氣奄閉不洩也。」

一日主在閉門者。蓋シ關ハ本ト在ニ作ル。用キテ門ノ閉閉ヲ掌ラシムルガ故ニ門ヲ附シテ「關」ト作ス。

【關尹】 關豐ヲ領スル者、即チ宦官ノ長ヲ謂フ。【前漢書】敘傳「關尹之啓。云云。」

【關九】 陰曆正月十九日都人ガ白雲觀ニ群遊スルコトヲ謂フ。白雲觀ハ元ノ長春宮ニシテ邱處機ノ居リシ所ナリ。俗ニ傳フ元ノ太祖公

主ヲ以テ處機ニ妻サント欲ス。處機因リテ是日ヲ以テ自ラ腐ス。【釋丸ヲ除】故ニ附會シテ

關九ト爲スト、或ハ又處機ハ金ノ皇統、戊辰正月十九日ヲ以テ生ル。即チ其誕生日ナリトモ

云フ。

【關割】 肉刑ノ一トシテ釋丸(勢)ヲ割去スルノ刑ナリ。之ヲ「官刑」ト謂フ。官刑ニ處セラ

レタル者ヲ「關割」ト曰フ。後宮ノ侍官ハ多ク之ヲ用フ。即チ宦官ナリ。一ニ又「太監」トモ稱ス。

【關割火者】 關割ハ男子ノ釋丸(勢)ヲ去ルコト、古ノ官刑ナリ。然ルニ此ニ言フ關割ハ

官吏又ハ富豪ノ家ガ他人ノ子ヲ乞養シテ去勢スルコトヲ謂ヒ、火者ハ去勢シテ勞役ニ驅使

スル者ヲ謂フ。【明律】刑律雜犯篇ノ同條「凡官民之家。不得得乞養人之子。關割火

者。違者杖一百流三千里。其子給親。清律ノ附註「關割即古之官刑。惟王家得役使關

割之人。云云。」同輯註「舊時閩粵等處。豪戶之家。多有乞乞他人之子。關割驅使。名曰「

火者。」(明律卷二十六) (清律卷三十二)

【關割之刑】 官刑ノ別稱、男子ハ釋丸(勢)ヲ除キ、女子ハ子宮ヲ閉ヅルノ刑【大學衍義

補】聖祖作爲條訓(中)以後子孫。做二皇帝時。止守律與三大語。並不許用二諷刺割割之刑。

【關人】 宦官ノ別名、男子官刑ヲ犯シタル者ハ勢ヲ割ギテ門ヲ守ラシム。故ニ「關人」ト曰フ。(唐律釋文卷三)

【關茂】 太歳ノ成ニ在ルヲ謂フ。即チ成ノ歲ナリ。(爾雅)

【關】(部首) (鹽)

【鹽】 【書經】禹貢「海岱惟青州。厥貢鹽。」是レ鹽ノ名ガ經書ニ現ハレタルノ始メナリ。

海岱トハ東海ト泰山トノ間ニ在ルノ地、青州二州ノ域皆、海岱ト稱ス。此地ヨリハ鹽ト稱

(布)トヲ買セリ。鹽ノ種類ニ付キテハ呂祖謙ノ註「世所共知者有三。如「出於海。出於井。出於池。三種之外。又有「出於地」者。

出於山」者。出於木石」者。大抵鹽。生民之日用。不可一日闕者。所以天地之間。無二處

不有也。」又【周禮】鹽人ノ制ニハ鹽ヲ分チテ苦鹽、散鹽、形鹽、飴鹽ノ四種ト爲ス。苦鹽

ハ自然鹽、散鹽ハ海水ヲ熬タル鹽、形鹽ハ食鹽、飴鹽ハ其味ノ甜キモノナリ。都註ニハ「鹽

之飴者。今戎鹽。ト曰ヒ賈疏ニハ「石鹽ト曰ヒ劉彝ノ註ニハ「風ニ其水」而成者。産於土中。其味甘焉。ト曰ヘリ。

【鹽引】 官鹽(官督)小賣鹽札ナリ。鹽ハ春秋時代齊ハ管仲ノ謀ニ基イテ官督主義ヲ採レ

リ。其後幾多ノ變遷アリト雖モ漢代以降多クハ官督ナリ。明清時代ハ特ニ私鹽(密)ノ禁ヲ

嚴ニス。其鹽札ニハ地方ニ依リ、各其行商小賣ノ區域ヲ明記スルヲ法トス。【六部成語註

解】商人承領官鹽一貫費。各有二一定地界。由官發給憑單。謂之鹽引。」

【鹽貨】 鹽ト貨物トノ合稱ナリ。(納錢部) (見)

【鹽差】 清初各省皆巡撫御史ヲ置ク。之ヲ「鹽差」ト謂フ。差ト云フハ中央政府ヨリ官ヲ差

遣シテ其事務ヲ掌ラシムルガ爲メナリ。康熙以後漸ク各省皆撫ノ管理ニ歸ス。(會典事例)

【鹽筴】 筴ハ簡書即チ鹽ヲ食スル者ノ戶口簿冊ヲ謂フ。齊管仲鹽ヲ官督トスルニ際シ先ツ

鹽筴ヲ與シ民ノ鹽ヲ賣ルコトヲ禁ズ。故ニ鹽筴ハ鹽ノ官督ヲ意義ス。【管子】齊桓公問管

仲「何以爲國。管仲曰。海王之國。謹正鹽筴。於是說桓公。代董(枯)薪。煮海水

爲鹽。令北海之衆無得聚薪而煮鹽。此レ實ニ鹽禁ノ始メナリ。(大學衍義補卷二十八參照)

【鹽人】 【周禮】天官ノ屬ニ鹽人ノ官アリ。鹽ノ政令ヲ掌ル。其職制、掌鹽之政令。以共百

事之鹽。祭祀共其苦鹽散鹽。賓客共其形鹽散鹽。王之膳羞共其鹽。后及世子亦如之。苦

鹽ハ煉治セザルモノ即チ自然鹽、散鹽ハ海水ヲ煮テ爲リタルモノ、即チ通常ノ鹽、形鹽ハ鹽ヲ築キテ虎形ト爲シタルモノ、飴鹽ハ鹽ノ

飴キモノヲ曰フ。即チ土中ヨリ産スル鹽ナリ。(同書鄭注)

【鹽井】 鹽ヲ産スルノ井、四川ニ在ルモノハ鹽源縣ノ黑白鹽井ヲ以テ最著ト爲シ、雲南ニ在ルモノハ鹽豐縣ノ白鹽井、鹽興縣ノ黑鹽井ヲ以テ最著ト爲ス。

【鹽鈔】 宋代、鹽販賣ノ鈔札、明清時代ノ「鹽引」ノ如シ。【事物紀原】兵部員外郎范祥始爲鈔法。令商人就邊郡「入錢至三解池。請任私

賣。得錢以實塞下。行之既久。鹽價時有二低昂。又於二京師。置二都鹽院也。(卷一)

【鹽鐵官】 漢武帝ノ時、鹽鐵ヲ官督ト爲スト同時ニ始メテ專官ヲ置キ之ヲ「鹽鐵官」ト謂フ。孝元ノ時之ヲ廢シタルモ後三年ニシテ之ヲ復ス。(大學衍義補卷二十八)

【鹽鐵使】 漢武帝ノ時、孔僅ヲ以テ鹽鐵ノ事ヲ掌ラシム。唐中葉始メテ鹽鐵使ヲ置キ其稅課ヲ掌ラシム。當時此官ニ任ジタル者劉晏ヲ以テ最著ト爲ス。宋之ニ因リ三司使ニ屬セシム。(使) (見)

【鹽鐵丞】 漢ノ武帝孔僅ヲ以テ鹽鐵丞ト爲

シ、其議ニ基キテ四十郡ニ鐵官ヲ置キ郡、鐵ヲ出サザル者ハ小鐵官ヲ置キテ所在ノ縣ニ屬セシメ敢テ私ニ鐵器ヲ鑄ル者ハ右趾ヲ缺(足ヲ挟ム)シ其器物ヲ没入セリ。(大學衍義補ノ利)

【鹽鐵論】 書名、漢桓寬ノ編スル所ナリ。其内容ハ漢武帝ノ時大農令孔僅、同中丞桑弘羊等鹽鐵權歸即チ政府專賣法ヲ制シテ實行スルヤ國民ヲ苦ミシカバ昭帝ノ世ニ及ビテ郡縣ノ鹽者ヲ招キテ其當否ヲ議セシム。執レモ皆其非ヲ論難ス。桓寬之ヲ編輯シテ此書ヲ作ル。十二卷六十篇(十九篇)ヲ以テ成ル。

【鹽徒私販】 無賴ノ徒ガ鹽ヲ密賣スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】無賴之徒。不納稅課。私販鹽斤。私運各處。售賣例有二嚴禁。【鹽梅】 鹽ハ鹽梅ヲ用キテ調理シ、國家ハ賢臣ヲ用キテ經綸ス。故ニ鹽梅ヲ以テ經綸ノ義ニ使用ス。【書經】 說命篇「若作三酒醕爾惟蠲。若作三和羹爾惟鹽梅。」是レ商ノ高宗ガ其

宰相傳説ニ告グタル辭ナリ。蓋シ國家一日モ鹽梅ナカルベカラザルノ義ニ取ル。

【鹽票】 鹽引ニ同ジク、鹽販賣ノ證札ナリ。(鹽引ノ見ヨ)

【鹽釐】 鹽ノ販賣ニ對シテ課スル釐金ヲ謂フ。(釐金參照)

【鹽漏】 鹽ヲ澄明ニスル器、鐵ヲ以テ之ヲ作ル。俗ニ「漏子」ト名ツク。【六部成語註解】「使鹽澄明之器。以鐵製之。俗名漏子。」

オ(ヲ)ノ部

【淤】 (部首) (韻御)

【淤閘】 泥水ノ爲メニ灌漑水利ノ塞ガルコトヲ謂フ。【唐書】孟簡傳、孟簡出爲常州刺史。州有二孟漢久淤閘一簡治導漑田凡四千頃。

【淤漑】 泥水ヲ以テ澆田ニ漑グコトヲ謂フ。【宋史】「陽武縣民邢晏等三百六十四戶。言田

沙鹹薄。乞漑漑。」

【淤賜】 恩賜物ノ豐饒ナルコトヲ謂フ。【馬融廣成頌】「淤賜輻功。」

【應】 (部首) (韻蒸)

【應差船】 應付ノ部ニ記スルガ如ク差使ノ要求ニ應ジテ其用ニ供スル船ヲ謂フ。(清會典)

【應鐘】 (二律) (見ヨ)

【應制】 唐宋時代ノ詩題ニ應制ナルモノアリ。皆天子ノ詩題ニ和スルカ或ハ上命ヲ受ケテ作ルモノナリ。從テ頌風ノ語多シ。後世此種ノ文字ヲ謂ツテ「應制體」ト爲ス。一ニ又「應制」トモ稱ス。

【應勅】 (二同ジ)

【應付】 他ノ要求ニ應ジテ給付スルノ義、即チ兵部ノ如キガ差使(公務ヲ帶ビテ差)ノ勅令又ハ火牌(即チ差使ニ給)内ニ記入セル數ニ照シテ驛馬及ビ人夫ヲ給付スルガ如キ類ナリ。【元典章】戶部條例篇、今後驛路官吏遇二省部勾

集。若騎ニ長行馬一對酌定立起發。整經騎ニ鋪馬一

者。不須應付。(卷十)【清會典事例】「昭勸合火牌境ニ給大ニ之數。應ニ付驛官抄。」(清會典事例兵部)

【應副】 應ニ副ヘテ給付スベキノ義ナリ。【元典章】戶部條例篇「軍官有停休。應副飲食上ノ條アリ。(卷十)

【應捕人】 犯罪人ヲ逮捕スル權能ヲ有スル者、捕役汛兵ノ如キ者ヲ謂フ。(明律、清律)

【應卯】 役ニ應ズルコトヲ謂フ。官衙ハ概シテ卯ノ刻ヲ以テ人役ヲ點呼ス。故ニ之ヲ「應卯」ト謂フ。

【應門】 (一)宮城ノ正門ナリ。【詩經】大雅、迺立應門。應門將將。(二)門ノ啓閉ヲ司トル者ヲ謂フ。【李密、文】「內無應門五尺之僮。」

【屋】 (部首) (韻韻)

【屋下架屋】 物ノ重複セルコトニ喻フ。(世說)

【屋課】 家屋ニ課スル稅、【宋史】「取三州縣田租屋課息錢之類。增爲學資。」

【屋稅】 家屋稅ナリ。【宋史】潘美傳、潘美定湖南。計家輸租。謂之屋稅。同書、李處耘傳、奏減二城中居民屋稅。皆悅服。

【屋粟】 【周禮】記スル所ニ佐レバ、土地ノ利用ヲ怠リ、田ニ穀ヲ種エザル者ハ、其罰トシテ「里布」ヲ徵シ、宅地ニ桑ヲ植エザル者ニハ其罰トシテ屋粟ヲ徵セリ。里布トハ二十五家ノ稅布ヲ曰ヒ、屋粟トハ三家ノ稅粟ヲ曰フ。(周禮地官司徒)

【屋誅】 此語ハ【周禮】秋官、邦若屋誅。則爲之明罰焉トアルニ出ヅ。二說アリ、一ハ三夫ヲ「屋」ト曰フ。即チ三族ヲ誅スルノ義ト爲ス。(鄭衆) 他ノ一說ハ屋ハ讀、刑罰ノ訓ノ如シ。副誅ハ市ニ於テ殺サズ、隱所ニ就キテ殺スノ義ト爲ス。(周禮秋官司寇鄭注)

【屋頭】 俗ニ「關」屋頭ト謂フ。并州人ハ皆土

ヲ醫チテ室ヲ爲シ、厨ハ居ル所ノ上ニ在ルガ故ナリ。尙ホ一說ニハ北齊ノ文宣帝魏郡ノ巫崔叔寶ニ怒リ酒汁ヲ以テ頭ニ沃グ。後人酒ト正言スル能ハズ稱シテ「沃頭」ト爲シ遂ニ轉化シテ「屋頭」ト爲スニ至レリトモ云フ。(資暇)

【屋漏】 此語ハ【詩經】大雅、抑ノ篇「相在爾室。尙不懼ニ于屋漏。」トアルニ出ヅ。古來數說アリ。(一)朱子ハ爾推「西北隅謂之屋漏。」トアルニ本ツキテ「古人ノ室ハ東南ノ隅ニ在リテ門ヲ開ク、東南ノ隅ヲ「突」ト爲シ、西北ノ隅ヲ「屋漏」ト爲シ、西南ノ隅ヲ「奧」ト爲ス。人纔ニ進ムトキハ便チ先ツ東南ノ隅ニ見テ却テ西北ノ隅ニ到リ、然ル後ニ始メテ西南ノ隅ニ到ル、此レ是レ深密ノ地、會子問ニ之ヲ「當室之白」ト爲ス。孫炎曰ク當室ノ白ハ光ノ漏レル所ナリ云云ト説明シ(二)史伯論ハ「屋漏ハ室ノ西北ノ隅、上ニ四竅ヲ爲リテ以テ明ヲ通ズ。則チ其下反リテ暗シ。人其地ニ處レバ則チ獨リ人ノ己レヲ見ルコト分曉ナラザル

ノミナラズ、自ラ其身ヲ視ルコト猶ホ分曉ナラズ、以テ君子ハ但ダ人ノ知ラザル所己レノ獨リ知ル所ノ地ニ於テ之ヲ慎ムノミナラズ、己レノ知ラザル所ニ於テモ亦當ニ慎ムベキコトニ喻フルナリト註明シ、(三)郵箋ニハ、屋ハ小帳ナリ、漏ハ隱ナリト記シ、(四)孔疏ニハ「屋漏ハ室內處ル所ノ名、小帳ヲ施シテ漏隱スベキノ處ナリト記ス。通俗ハ暗室ニ在リテ欺カザルノ意ニ使用ス。」

恩 (部首) (元韻)

【恩愍官】 清制、國家ニ大慶典ノ行ハルルニ際シ、文武官ノ子ニ官位ヲ授タルコトヲ「恩愍官」ト謂フ。恩ハ君恩、愍ハ父讜ナリ。但シ恩愍ニ與カル者ハ其父ガ文官ナレバ京官四品以上、外官三品以上ナルコト、武官ナレバ京官外官ヲ論ゼズ二品以上ナルコトヲ要ス。(清國典) 監子

【恩蔭生】

在京四品以上、在外三品以上ノ文

官及ビ京外二品以上ノ武官ノ嫡子孫ハ、恩詔ヲ以テ國子監ニ入レ肄業セシムルコトヲ得、之ヲ「恩蔭生」ト謂フ。(清會典) (國子監)

【恩榮宴】

清制、殿試ノ成績發表ノ翌日讀卷、執事各官及ビ進士ヲ禮部ニ召キテ宴ヲ賜フ。之ヲ「恩榮宴」ト曰ヒ又「瓊林宴」トモ稱ス。(會典)

【恩監生】

清制、皇帝辟雍殿ニ親臨ノトキ、聖賢ノ後裔ニ入監肄業ヲ許ス、之ヲ「恩監生」ト爲ス。其生員若クハ監生ニ係ル者ハ恩貢生ニ准ジ、武生又ハ俊秀ニ係ル者ハ恩監生ニ准ズ。但シ八旗官學生及ビ漢軍學生ハ三年一舉ノ恩監試験ニ應ジ合格スルニ非ザレバ恩監生タルコトヲ得ズ。(嘉慶會典) (國子監)

【恩紀】

人ヲ待ツコト寛厚ニシテ而カモ法ヲ枉ガザルコトヲ謂フ。「南史」劉恩傳「推士卒。甚有恩紀。」

【恩科】

科舉(舊制ノ官史)ノ開試ハ一定ノ年

分アルモ朝廷ニ慶典アル場合等ニ於テハ恩意ヲ以テ臨時ニ試験ヲ行フ例トス之ヲ「恩科」ト謂フ。其例ハ宋代ヨリ起ル。(科舉參照)

【恩貢生】

清制、皇帝辟雍殿臨幸ノトキ、恩意ヲ以テ生員又ハ監生ノ地位ヲ進メテ貢生ト爲スコトヲ謂フ。貢生ハ朝考ニ應ズルコトヲ得、會試及第者ト同様ノ資格アリ。

【恩賞地】

清制、初メ八旗(旗)ノ部ハ、京師附近ノ馬場(牧場)ノ地ヲ分給シタルモ、後ニ場所不便ノ爲メ不用ニ歸シタルヲ以テ一般民人ニ給與シ、墾種セシムルニ至ル。之ヲ「恩賞地」ト稱ス。(會典) (戶部)

【恩澤侯】

漢制、功勞ニ因ラズ朝廷ノ恩惠ニ因リテ封爵ヲ受クル者ハ總テ之ヲ「恩澤侯」ト謂フ。(漢書外戚傳) (澤侯表參照)

【恩波】

恩澤ノ波及スルコトニ喻フ。(開天) (恩澤表參照)

【恩豐倉】

清制、倉場衙門ヨリ交付スル米穀ヲ收貯スル所ニシテ、倉廩大小合シテ十二座

か(カ)ノ部

下 (部首) (韻) (馬)

【下帷】 漢ノ董仲舒帷(マ)ヲ下シテ書ヲ講ズルヲ弟子次ヲ以テ聽受ス。故ニ後世塾ヲ開キテ諸生ニ教フルノ義ト爲ス。「漢書」董仲舒傳「爲博士。下帷講誦。三年不復視園。」

【下游】 (一)猶ホ河川ノ下流ト云フガ如シ。(二)河川ノ附近ノ地亦此稱アリ。江蘇省ヲ謂フテ、長江下游ト爲スノ類ナリ。

【下降】 天ノ氣ガ下ニ降ルノ義、因ツテ天子ノ女ガ諸侯ニ嫁スルノ義ニ用フ。「禮記」樂記「地氣上齊。天氣下降。」宋史「禮志、公主下降。初被三選尙者。即拜。關馬都尉。」

【下官】 諸王國ハ本ト臣ノ稱ヲ避ケテ「下官」ト稱ス。宋孝武帝猜忌多シ。故ニ皇帝ニ對シ

アリ。毎年ノ貯藏額米粟共計三萬石ニシテ内務府收入ノ一部ト爲ス。(嘉慶會典戶部) (及ビ内務部)

【下帷】 漢ノ董仲舒帷(マ)ヲ下シテ書ヲ講ズルヲ弟子次ヲ以テ聽受ス。故ニ後世塾ヲ開キテ諸生ニ教フルノ義ト爲ス。「漢書」董仲舒傳「爲博士。下帷講誦。三年不復視園。」

テノミ下官ト稱シ諸國ノ官吏ハ自國ニ於テハ下官ト稱スルコトヲ得ズ。後世ハ官吏自稱ノ諱詞ト爲ス。「事物紀原」通典曰。宋孝武帝多猜忌。諸國吏人於本國君。不得稱下官。事在二孝武書中一也。本爲王國避二臣之稱。而今人或以自謂也。(卷) 又下級官吏ノ稱ト爲ス。「莊子」下官以レ此相尙。」

【下官不職】 官吏ノ心力衰弱、其任ニ勝ヘザルノ謂、免官ニ處セラル。下ハ上ニ對シテ下等ヲ意義ス。「賈子新書」古者。大臣。坐罷軟不勝任者。不謂罷軟。曰下官不職。漢書「賈誼傳」同出。

【下掃】 堤防ノ下ハ別ニ土堤ヲ作ル之ヲ下掃ト曰フ。「六部成語註解」河堤之下。另作二土堤。曰下掃。以重其防也。」

【下殤】 男女未ダ成人ナラズシテ死スルヲ「殤」ト曰ヒ、八歳以上十一歳マテヲ「下殤」ト曰フ。(義禮喪) (義禮喪)

【下庠】 上庠(學)ニ對シ小學ヲ謂フ。有虞氏

(舜)時代ノ學校ナリ。「禮記」王制篇「有虞氏養國老于上庠。養國老于下庠。」

【下手】 騎ホ著手ト云フガ如シ。「傳燈錄」慧藏對三馬祖曰。若教某甲自射。直是無下手處。」

【下水】 清制、河岸ノ稅關ハ開門通過ノ貨物ニ對シ、上水下水ノ別ヲ設ケテ稅ヲ課セリ、上水トハ該關ヲ經テ流ヲ溯ルモノヲ指シ、下水トハ流ヲ下ルモノヲ指ス。

【下直】 當直ノ任務ヲ終了スルノ義ナリ。「李華翰林志」學士每三下直。謂之小三昧。出三銀臺門。上レ馬。謂之大三昧。言。去羅襪。就三解脫。」

【下秩】 (一)妾御ノ輩ヲ曰フ。「楚辭」九歌。擊命。逐下秩於後堂。(二)地位ノ卑キコト、劉大定撰「房州刺史杜府君碑」優三游下秩。想三象高冥。」

【下馬碑】 明ノ成化十八年天下ノ學校ニ詔シテ孔子廟所在ノ地ヲ過ギル者ハ皆馬ヨリ下ラ

シム。爾後、廟門外ノ東西各下馬石碑ヲ立ツルハ此ヨリ始マル。

【下服】 上服(首ヨリ上ニ刑)ニ對シテ首ヨリ以下ニ刑ヲ加フルコトヲ謂フ。(服ヲ見ヨ)

【下忙】 清制、租稅徵收ハ通常夏秋兩期ニ分チ毎年二月ニ徵收ヲ開始シ、四月ニ稅額ノ半ヲ納付セシメ、五月徵收ノ手續ヲ停止シ、八月再ビ續行シ、十一月ニ全部完納セシムルヲ例トス。其前期ヲ上忙ト曰ヒ、後期ヲ下忙ト曰フ。(戶部)

【下幣】 古ハ貨幣ヲ分チテ上、中、下ノ三等ト爲ス。下幣ハ下等ノ幣ナリ。(幣ヲ見ヨ)

【假(部首) (頭馬)】 (假版官)

【假官】 假版官ノ略稱ナリ。(假版官)

【假子】 (一) 養子ノ別稱ナリ。(唐書)王世充傳、初殺二文都、欲龍乘取信、乃謂二事、假母劉太后爲假子。(二) 母ノ再嫁ニ附隨スル男子

ヲ謂フ。【獻帝春秋】「隨母男曰假子。」

【假借不廉】 官職ヲ濫用シテ人民ヨリ財物ヲ借入スルノ謂、不廉恥罪ヲ構成ス。(漢律)雜律篇ニハ此規定アリ。李悝ノ雜律ニ始ル。

【唐律】雜律篇ニハ、負債違契ノ條アリ。皆其實質ヲ同クス。

【假釋】 現行刑律ノ語、我刑法ノ「假出獄」ニ當ル。

【假請官物】 官吏ガ吉凶其他ノ必要上所司ニ請ヒテ官物ヲ借用スルコト、事訖リテ後十日内ニ還納スルヲ要ス。若シ十日ヲ過ギテ還納セザル者ハ答三十二處ス。十日毎ニ一等ヲ加ヘ杖一百ニ止ム。私ニ服用シタル者ハ一等ヲ加フ。亡失シタル者ハ所司ニ告ゲテ辦償セシム。【唐律】既庫篇「假請官物不還」ノ條、諸假請官物、事訖過十日、不還者答三十。十日加二。一等、即止杖一百。私服用者、加二。一等。若亡失所假者、自言所司、備償如法。不自言者、以亡失論。(卷十)

【假錢】 唐ノ王璵ノ造ル所ノ紙幣ナリ。但シ焚キテ神ニ事フルノ用ニ供スルモノ、通用ノ目的ニ供スルモノニアラズ。【大學衍義補】「楮之造始、于漢三代之來未嘗有也。其初用之、以代木簡竹冊、以書文字。唐王璵乃用爲假錢。焚以事神云云。(卷十七)

【假馬】 田獵シテ獲ル所ノ禽類ヲ計算スルモノヲ謂フ。【周禮】註「爭禽而不審者、罰以假馬。」

【假版】 假版官ノ略稱、攝官(兼攝)ナリ。唐律釋文、稱「假版官」者、即攝官也。假借也。謂「此等之身無正官、故權假他借官版、以令攝事。故名之曰假版官也。」

【假版官】 攝官、他ニ代リテ事務ヲ掌ル官ヲ謂フ。假ハ猶ホ借ノ如シ。正官タル資格ナキ者ニ對シ一時權リニ相當ノ官名ヲ假借シテ或ル事務ヲ取扱ハシム。故ニ之ヲ「假版官」ト稱ス。【唐律】名例篇「以理去官」ノ條「其假版官犯三流罪以下、雖以贖論、其疏議、假版授官。」

不著令式云云。(卷二)又同【釋文】稱「假版官」者、即攝官也。假猶借也。謂此等之身無正官、故假借他官版、以令攝事。故名之曰假版官也。

【假父】 【史記】秦紀及【戰國策】「車裂假父。」其所謂假父ハ始皇ノ母ノ寵臣嫪毐ヲ指ス。尙ホ【說苑】「呂不韋曰吾乃皇帝假父也。」太后ハ本ト不韋ノ情婦姪媛後之ヲ宮ニ入レテ始皇ヲ生ム。始皇ハ實ニ不韋ノ子ナリ。故ニ不韋自ラ假父ト稱ス。後世ハ異姓ノ父(後夫)ヲ指シテ「假父」ト稱ス。

【假母】 繼母又ハ父ノ旁妻(即チ)ヲ謂フ。【漢書】「有賊傷后假母」者、其註「繼母也。一曰父之旁妻。」今俗ハ養母ヲ稱シテ「假母」ト爲ス。

【假與人官】 (人ニ官ヲ) 官廳ノ主任ガ人ノ身分ヲ僞リテ奏請シ或ハ辭令ヲ假作シテ人ニ官ヲ授クルコトヲ謂フ。【唐律】名例篇「略和誘人」ノ條疏議「假與人官」者、謂「所司假授

人官、或僞奏擬、或假作曹司判補云云。(卷四)

【價(部首) (頭)】 (價)

【價值】 一ニ價值ニ作ル、物價ヲ謂フ。【北史】「食、雞、鵝、何不還他價值也。」今ハ近世經濟學ノ義ニ採リ、主觀價值、客觀價值、使用價值、交換價值等ニ區別ス。

【價目】 貨物ノ代價表ヲ謂フ。(郵便)

【加(部首) (力) (麻)】 (加)

【加運】 清制、雲南京銅ヲ運送スルニ正運ト加運トアリ、正運ハ四起ニシテ毎年八月十日ヨリ開始シ、加運ハ二起ニシテ次年二月ヨリ開始ス。(會典事)

【加祭】 清制、最モ榮譽ナル爵位ヲ加フルノ義、即チ聖人ノ後昆中其本支嫡長ヲ以テ「衍聖公」ニ封スルコトヲ謂フ。【清會典】禮部「四曰加祭。以殊聖裔。其附例、至聖先師後裔、以本支嫡長爲衍聖公。其承襲。」

【加役流】 唐代流刑ノ最モ重キモノニシテ三年ノ役ヲ附ス。故ニ加役流ト曰フ。舊ハ死刑ナリシモ武德年中改メテ斷趾ト爲シ、貞觀六年更ニ改メテ加役流ト爲シタルモノナリ。【唐律】名例篇「應議請減」ノ條疏議「加役流者、舊是死刑、武德年中改爲斷趾。國家惟利是恤。恩弘博愛。以刑者不可復屬。死者務欲養生之。情軫二向隅。恩覃二視網。以二貞觀六年、奉制。改爲加役流。」(卷二)【事物紀原】「唐刑法志曰。太宗即位。長孫無忌議「較刑三十。皆免死而斷二右趾。裴洪獻以謂五刑而刑足。是六也。於是除二斷趾法。爲二加役流。蓋自唐太宗始也。」(卷十)

【加耗】 正租ヲ上納スル場合ニ雀鼠ノ被害其他ノ消耗ヲ見積リテ附加徵收スルコトヲ謂フ

【五代史】 王章傳「往時民租一石。輸三升。爲雀鼠耗。章乃增三石。輸三斗。爲雀鼠耗。」是レ加耗ノ始ニシテ後世遂ニ沿ヒテ例ト爲ス。

按ズルニ一石ニ二升ヲ輸スルノ制ハ後唐明宗ノ時ニ起ル。(餘詳)

【加耗銀】火耗銀ト云フニ同ジテ、正賦ノ附加税ヲ謂フ。(火耗銀)

【加銜】清制、一定ノ官職ヲ有スル者ニ對シ、更ニ上級ノ官名ヲ與ヘテ其秩ヲ顯ハスコトヲ謂フ。【會典】吏部、有ニ加銜。以顯ニ其秩。【六部成語註解】、在本任官以上。另加ニ虛銜。民國モ亦此制ヲ襲用ス。

【加議】清制、嚴加議處ノ略語、官吏ガ公罪ヲ犯シタルトキ其罪狀ノ重キ者ニ對シ、特ニ嚴重ニ譴責ヲ加フルコトヲ謂フ。(吏部)

【加級】(一)秦法、敵首一箇ヲ斬ル者ニハ爵一級ヲ賜フ故ニ斬首ヲ謂フテ殺ト爲ス。後世ノ官階中一級ニ加フルハ之ニ始マルト云フ。然レドモ官階一級ニ加フルハ春秋時代ニ始マリ、秦ヨリ始マルムアラズ。【職官考】齊魯【左傳】僖公九年王使宰孔賜齊公胙。即有テ加ニ勞賜一級之文。二十三年又云。公子降拜稽首。公降二級。則官階之一級ニ加フル。明非ニ自レ奉始一也。(二)清制、官吏ガ功勞アリタルト

キ、又ハ多額ノ捐納ヲ爲シタルトキハ現在ノ品級ニ一等級ヲ加賜ス。之ヲ「加級」ト謂フ。【六部成語註解】、在本來之品級。上加ニ賜一等級。【會典】文武官及候補候選(吏部)ノ人員ガ捐納(銀兩ヲ納メテ官)ニ由リテ品級ヲ加ヘテ、官吏任用ノ帳簿ヘ記録セラレ、コトヲ謂フ。(吏部)

【加級請封】清制、捐納ニ依リテ官等ヲ進メ、又ハ官職ヲ給スルニハ一定ノ制限アリ、蓋ニ之ヲ越エルコトヲ得ズ。但シ多額ノ捐納ヲ爲シタル者ハ等級ヲ加ヘテ封典ヲ請フコトヲ得、之ヲ「加級請封」ト謂フ。(會典)

【加官】古例ハ兼官ノ義ニ使用ス。【漢書】侍中左右曹諸吏散騎中常侍皆加官。今ハ官吏升進ノ辭ト爲ス。

【加減罪例】罪刑ノ加重ト減輕トノ法例ヲ定メタルモノ、加ト稱スルハ本罪ノ上ニ就キテ加重ス。例セバ管四十ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ加フレバ管五十ニ坐シ(管ハ十ヨリ杖一

百ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ加フレバ杖ヲ減ジテ徒一年ニ坐シ(杖ハ五十ヨリ)杖六十徒一年ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ加フレバ杖七十、徒一年半ニ坐スルノ類ナリ。(徒ハ一年ヨリ)減ト稱スルハ本罪ノ下ニ就キテ減輕ス。例セバ管五十ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ減ズレバ管四十ニ坐シ、杖六十徒一年ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ減ズレバ杖一百ニ坐スルノ類ナリ。惟ダ二死(斬)三流(二千里、二千里)ハ同ジク一減ト爲ス。例セバ死罪一等級ヲ減ズレバ流三千里ニ坐シ、二等ヲ減ズレバ流二千五百里トセズシテ直ニ徒三年ニ坐シ、流三千里ヲ一等級減ズレバ流二千里トセズシテ直ニ徒三年ニ坐スルノ類ナリ(明律卷一、清律卷四) (名例加減罪例ノ條)

【加減例】加ハ刑ヲ加フルコトニテ重大ニ就クテ法トシ減ハ減ズルコトニテ輕次ニ就クテ法トス。(唐律卷六名例篇) (稱加者就重ノ條)

【加估和羅】(估ヲ加ヘ)官、時價ヨリ幾分

ノ價ヲ加ヘテ民粟ヲ買上グルコトヲ謂フ。【太學衍義補】貞元四年詔三京兆府。於三時價外。加估和羅。(卷二)

【加功】謀殺人等ノ場合ニ於テ其犯罪ニ助力シタル者ヲ謂フ。(明律清律刑律人) (命篇謀殺人ノ條)

【加功力】(功力ヲ)自然物ニ對シテ人功ヲ加フルノ義、例セバ山野ノ草木ヲ伐採積聚スルノ類ナリ。【唐律】賊盜篇「山野物已加功力」ノ條「諸山野之物。已加功力。刈伐積聚。而輒取者。各以盜論。」(卷二)

【加實封】虛封ニ對シテ、實際食封(地)ヲ給スルコトヲ謂フ。【事物紀原】唐封公侯。無ニ國土。其加實封者。則食其所封之戶。分給諸郡。以租庸調一給。(四)

【加斯】我邦ノ瓦斯ナリ。

【加成過班】官吏ガ銀粟ヲ納メテ(即チ)一等以上ノ官職ニ改補セララルコトヲ謂フ。(海防新章)

【加租】清制、小作契約ノ場合ニ豫メ數年間ノ租銀ヲ徵收スルコトヲ謂フ。然レドモ法ノ禁ズル所ナリ。(會典事)

【加等捐封】上掲ノ加級請封ヲ認容シテ封典ヲ加フルコトヲ謂フ。(封典)

【加銅青】(銅青ヲ)銅ヲ以テ青色ニ點スルコトヲ謂フ。【酉陽雜俎】晉令。奴始亡。加銅青。若最點兩眼。從再亡。點兩額上。三亡。橫點目下。皆長一寸五分。(同書)

【加率】一定ノ稅額ノ外ニ幾割ヲ追加スルコトヲ謂フ。法ノ禁ズル所ナリ。【唐書】食貨志「穆宗即位。兩稅之外。加半一錢者。以枉法賦論。」

【哥】(部首) (韻)

【哥】(一)兄ヲ呼ビテ「哥」ト曰フ。【廣韻】「哥。今呼爲兄。白居易祭浮屠大兄文。大兄ヲ「大哥」ト爲ス。(二)父ヲ稱シテ「哥」ト曰フ。【唐書】玄宗泣曰。四哥仁厚。蓋シ睿宗ヲ指ス

百ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ加フレバ杖ヲ減ジテ徒一年ニ坐シ(杖ハ五十ヨリ)杖六十徒一年ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ加フレバ杖七十、徒一年半ニ坐スルノ類ナリ。(徒ハ一年ヨリ)減ト稱スルハ本罪ノ下ニ就キテ減輕ス。例セバ管五十ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ減ズレバ管四十ニ坐シ、杖六十徒一年ヲ犯シタル者ニ一等級ヲ減ズレバ杖一百ニ坐スルノ類ナリ。惟ダ二死(斬)三流(二千里、二千里)ハ同ジク一減ト爲ス。例セバ死罪一等級ヲ減ズレバ流三千里ニ坐シ、二等ヲ減ズレバ流二千五百里トセズシテ直ニ徒三年ニ坐シ、流三千里ヲ一等級減ズレバ流二千里トセズシテ直ニ徒三年ニ坐スルノ類ナリ(明律卷一、清律卷四) (名例加減罪例ノ條)

【加減例】加ハ刑ヲ加フルコトニテ重大ニ就クテ法トシ減ハ減ズルコトニテ輕次ニ就クテ法トス。(唐律卷六名例篇) (稱加者就重ノ條)

【加估和羅】(估ヲ加ヘ)官、時價ヨリ幾分

ナリ。(三)父ヲ呼ビテ「哥」ト爲スト共ニ亦子ヲ呼ビテ「哥」ト爲ス。(日知錄卷二十四) (四)兄弟ノ稱ト爲ス。【會韻】「穎川語小曰。哥。今人以配三姐字。爲兄弟之稱。」蓋シ哥ハ歌ト同字【漢書】藝文志「哥永言。」【唐書】劉禹錫傳「屈原作三九哥。歌字ニ父又ハ兄等ノ義ナシ。此等ノ稱ハ唐代ヨリ始マル。

【哥哥】(一)兄ノ稱(參照) (二)父、子ニ對シテ自ラ「哥哥」ト稱ス。【淳化閣帖】唐太宗與高宗書「哥哥勳。ノ語アリ。

【哥哥會】哥哥會ノ別稱ナリ。(下條ヲ) (見ヨ)

【哥哥會】一ニ「哥哥會」ト稱ス。秘密ノ結社ナリ。其成立ハ清、乾隆年間ニ在リ。同治年間湘軍ノ撤營スルヤ衣食ニ窮シ多ク此會ニ入り人數増加スルト共ニ會運漸ク盛大ト爲ル。賭博強盜ヲ以テ業ト爲ス者ハ自ラ「紅幫」ト曰フ。其私鹽ヲ販運(鹽ヲ運搬シテ)スル者ハ「青幫」ト曰フ。亦「安慶道反」トモ稱ス。

【嘉師】 善長ナル國民ヲ謂フ。【書經】呂刑篇「受王嘉師。監于茲祥刑。嘉ハ善、師ハ衆ノ義ナリ。夏價註「民受天地之中。以生。未嘗不嘉。其陷於罪惡。非其本然也。故民曰嘉師。」

【嘉祥章】 (ホノ部 褒章) 【嘉石】 嘉石ハ文石即チ其面ニ文理アル石ノコトニシテ、良心ノ純キ者又ハ輕罪犯ニシテ未ダ刑法ニ抵觸セザル者ハ、之ニ坐セシメテ其石面ノ文理ヲ思ヒ、改悛セシムルモノトス。【周禮】大司寇ノ職制「以嘉石平罷民。」トアルハ前者ヲ指シ、其次項ニ「凡萬民之有罪過。而未罷於禮。而害於州里者。桎梏而坐。嘉石。」云云。トアルハ後者ヲ指ス。

【嘉納】 其言ヲ善トシテ之ヲ聽受スルノ義ナリ。【後漢書】朱暉傳「朱暉上便宜陳密事。深見嘉納。」

【嘉平】 臘月、即チ十二月ノ稱ナリ。夏代「嘉平」ト曰ヒ、商代「清祀」ト曰ヒ、周代「大蜡」ト曰ヒ、秦漢「臘」ト曰フ。【風俗通】「禮傳曰。夏曰嘉平。商曰清祀。周曰大蜡。秦漢曰臘。」但シ是レニハ異説アリ。周代已ニ臘名アリ。秦始皇改メテ嘉平ト曰フ。即チ夏代ノ稱ニ從フト爲ス。(宮之奇)

【嘉禮】 五禮即チ吉、凶、軍、賓、嘉ノ五禮ノ一。飲食、冠昏、賓射、饗燕、厭勝、賀慶ノ諸禮ナリ。【周禮】大宗伯「以嘉禮親萬民。」

【夏】 (一) 中國ヲ夏ト爲ス。【書經】康誥篇「用肇造我區夏。」正韻「晉下。中國曰華夏。」(二) 朝名、舜ノ子商均不肖乃チ禹ヲ天ニ薦メテ其跡ヲ禪ル。禹位ニ即キ國ヲ夏ト號シ又夏后氏ト稱ス。(今ノ山西)ニ莫メ黃河楊子江兩流域及ビ奉天省ヲ奄有ス。位ヲ其子啓ニ傳フ。子ニ傳フルノ制此ニ始マル。禹以下凡テ十七主、四百二十年、封ニ至リ堯處ヲ遷クシ遂ニ商ノ滅ス所ト爲ル。(三) 夏ハ極ニ同ジ。以テ刑具ト爲ス。

【夏五郭公】 【春秋】桓公十三年ノ經文ニ「夏五」ト書シテ「月」ノ字ナシ。又莊公二十四年ノ經文ニ「郭公」ト書シテ其下ニ記文ナシ。故ニ凡ソ同文ヲ言ツテ皆「夏五、郭公」ト曰フ。

【夏采】 大輿ヲ掌ルノ官名ナリ。(周) 【夏作禹刑】 (夏、禹刑) 夏刑三千ヲ指ス。(同條ヲ) (見ヨ)

【夏稅秋糧】 【明律】清律ノ規定ハ租稅徵收ヲ夏秋ノ二期ニ分チ夏稅ハ小麥ヲ以テ稅物ト爲シ、五月十五日ニ倉ヲ開キ七月末日ニ齊足シ(定額ニ達セシムルコト)「秋糧ハ糧末ヲ以テ稅物ト爲シ十月初一日ニ倉ヲ開キ十二月末日ニ齊足スルヲ法トス。若シ夏稅限ヲ過ギテ八月末日ニ至リ秋糧次年正月末日ニ至ルマデ齊足セザルトキハ稅務長官(即チ)佐貳首領(即チ部)以下及ビ欠糧人戶(納稅不足)各十分ヲ以テ率ト爲シ一分不足ノ者ハ杖六十ニ處シ一分每ニ一等ヲ加ヘ罪杖百ニ止ムルヲ法トス。(明律卷七、清律卷十) 收糧運限ノ條)

【夏刑三千】 夏刑三千ハ【尙書大傳】ノ記スル所ナリ。其内容ハ明ナラザルモ、呂刑(穆王ガ呂侯ニ命ジテ作)ヲ以テ史家ノ傳フル如ク夏ノ贖刑ニ基キテ作りタルモノナリトセバ、呂刑畢ゲル所ノ三千ト其種類ヲ一ニスベシ。呂刑ハ五刑ヲ分チテ(一)墨刑及ビ(二)劓刑各一千(三)剕刑五百(四)宮刑三百(五)大辟二百合計三千ト爲ス。

【禮記】學記篇「夏楚二物。收其威。」註「夏極也。楚荆也。」

【夏肄】 杞ノ別稱、即チ杞ハ夏ノ後ナリ。猶ホ夏ノ餘類ト言フガ如シ。【左傳】「晉國不レ恤ニ周宗之闕。而夏肄是屏。」

【夏禹幣】 禹王造ル所ノ錢幣ノ名、形略ボ堯布ニ似タリ。其文ニ「安邑化二金」ト記ス。化ハ即チ貨ノ省ナリ。背文ヲ安ト爲シ、安上ノ一字奄ニ似タリ。

【夏課】 進士ガ合格シテ入選スルコト、之ヲ「春闈」ト謂ヒ合格セズ退イテ肄業スルコト之ヲ「過課」ト謂ヒ、業ヲ執ツテ出ヅル之ヲ「夏課」ト謂フ。(補) (國史)

【夏官】 周六官ヲ置キ司馬ヲ以テ夏官ト爲シ軍政及ビ警察ノ事務ヲ掌ラシム、其長官ヲ大司馬ト曰ヒ次官ヲ小司馬ト曰フ。其下ニ各種ノ補助機關ヲ設置ス。(周禮夏官司) 【夏官刑】 夏代ニハ每歲春初法刑ヲ公布シテ

【夏楚】 夏ハ極、楚ハ荆ナリ。此ヲ以テ扑(後世)ヲ作り學校ノ刑ト爲ス。【書經】典「扑作二教刑。其註「夏楚二物學校之刑也。【禮記】學記篇註「夏極也。楚荆也。爾雅ノ註「楸。今之山楸。孔安國曰「不レ動ニ道業。則楚之。」即チ學生ヲ懲戒スルノ刑ナリ。

【夏臺】 夏代ノ監獄ノ名、夏ノ桀王、湯ヲ夏臺ニ囚フ。【史記】夏紀「桀召レ湯。囚之夏臺。其地ハ今ノ河南鞏縣ノ西南ニ在リ。(唐)【獄官疏】等註)

【夏鼎】 夏ノ禹王九牧(九州)ノ金ヲ收メテ鼎ヲ鑄リテ物ニ象トリ、民ヲシテ魘魅罔兩(山林)ヲ知ラシム。故ニ民ノ山林川澤ニ入りテ不若(怪)ニ違ハズ。(左)今人骨董ヲ稱シテ「夏鼎商彝」ト曰フ。其古ニ喩フルナリ。

【夏ノ贖刑】 夏ノ贖刑ハ五刑ヲ三段ニ分チ死罪ヲ千鎰トシ、中罪ヲ五百鎰トシ、下罪ヲ二百鎰トセリ。【路史後紀】夏后禹紀「罪疑從輕。死者千鎰。中罪五百。下罪二百。云云」トアル

ルハ是ナリ。路史ハ宋ノ羅泌ノ撰ニ係リ後世ノ作ナルガ故ニ悉ク信ズベカラザルモ、參考ノ爲メニ之ヲ記ス。

【夏苗】夏獵ノ名、夏時ハ獸ノ苗害ヲ爲スヲ獵ス。故ニ「苗」ト曰フ。(唐律釋文)

【夏約】周代、天子行フ所ノ夏祭ノ稱、約ハ禮ニ同ジ。【禮記】明堂位篇「夏約。秋嘗。冬蒸。春社。」夏殷ハ春祭ヲ「約」ト爲ス。

【夏臘】僧侶ノ年輪ノ稱、猶ホ常人ノ年輪ヲ稱シテ「春秋」ト曰フガゴトシ。蓋シ僧侶ハ夏ト臘(月十二)トヲ以テ安息ノ時ト爲スニ因ルナリ。

【嫁】(部首)(韻) 女

【嫁】(一)女子ガ人ノ妻ト爲リテ家ヲ出ヅルノ義、一ニ「家」又ハ「歸」ト曰フ。【說文】「女適人」也。一曰「家」也。故婦人謂レ嫁曰「歸」。【揚子方言】「自「家」而出。謂之「嫁」。【禮記】曲禮「女子二十而嫁。」(二)惡ヲ他人ニ推スノ義【史記】趙世家「平陽君豹曰。是秋嫁三禍于趙也。」

【家邑】大夫ノ領地ヲ謂フ。【周禮】載師ノ註「家邑。謂大夫之采邑也。」(家ノ部)

【家仗】俗ニ什物ヲ稱シテ「家仗」ト曰フ。(源)

【家口】大ニシテハ戶主權ニ屬スル家族、(律例)ノ「家口」ハ多ク小ニシテハ親權ニ服スル者、即チ父母ノ罪ニ連坐スル者ヲ謂フ。【福惠全書】連坐父母二者。稱「家口」。(卷十)

【家憲】山憲ニ對シテ家内ニ於テ飼養スル豎ヲ謂フ。山豎ハ欄、椽、柞等ニテ放養シ、其豎ヨリハ綯織ヲ製シ、家豎ハ桑柘ヲ以テ飼養シ其豎ヨリハ綯織ヲ製ス。

【家室】夫婦ノ稱【詩經】桃夭篇「之子于歸。宜其室家。」即チ夫ハ婦ヲ以テ室ト爲シ婦ハ夫ヲ以テ家ト爲スノ義ナリ。

【家主翁】俗ニ家中ノ尊者ヲ呼ブニ此語ヲ以テス。(録) 耕

【家主婆】今、郷村ノ小民其妻ヲ呼ブニ此語ヲ以テス。(源)

【嫁資】嫁女ノ持參スル財産即チ今ノ「嫁資財産」ナリ。【東軒筆談】爲「吾女」管「辦嫁資」。其所有權ハ嫁女ニ屬ス。(臺灣私法)

【嫁殤】女子十九以下ニシテ死シ、死後之ヲ婚姻豫約ノ家ニ嫁スルノ義、禮制ハ之ヲ非倫ト爲ス。【周禮】司徒謀氏ノ章「禁「遷葬者。與ニ嫁殤者。其註「殤。十九以下未嫁而死者。生不以禮相接。死而合之。是亦亂二人倫者也。但シ是レニハ異說アリ。(拙著「支那法」)

【嫁娶】嫁ハ女ノ出嫁スルコト、娶ハ男ガ妻ヲ娶ルコト、周代以前ハ後世ノ「婚姻」ノ義ニ用フ。【史記】三皇本紀「太皞庖犧氏(略)於レ是始制ニ嫁娶。以ニ配皮ニ爲レ禮。」(卷首)

【嫁娶日】江淮(江蘇、安徽ノ地ヲ江淮ト爲ス)其江淮兩水ノ間ニ在ルヲ以テ「俗ハ辛、壬、癸、甲ノ日ヲ以テ「嫁娶日」ト爲ス。(水經)

【嫁母】父ノ死亡後他家ヘ再嫁シタル實母ノ稱ナリ。其子女トノ法律關係ハ其母ニ隨伴セ

【家塾】周代最下級ノ學校ヲ稱ス。二十五家ヲ闔ト曰ヒ、其門側ニ塾ヲ設ケ闔中ノ子弟ヲ教育ス。【禮記】學記篇「古之教者。黨有「序」。家有「塾」。」

【家人】法規ノ上ニ於テハ家族ト同義ニ使用スルモ(家屬)本來ノ意義ハ「易經」離下巽上「家人」ノ卦ニ出ヅルノ語、即チ父子ノ親、夫婦ノ義、尊卑長幼ノ序ヲ正シクシ、倫常恩義ヲ明ニスルヲ旨トス。即チ親族ノ團體ヲ稱ス。雇傭人若クバ奴婢ノ如キ者亦之ニ加フルハ一家ノ取締上及ビ外部ニ對スル責任上、家長ノ權義ニ屬セシメタルモノナリ。

【家人子】(一)漢代官人ノ稱「上家人子」中家人子「アリ。其家ノ子弟ヲ採用シテ宮中ニ入レ未ダ一定ノ職號アラザル者ヲ稱シテ「家人子」ト曰フ。(二)皇孫妻妾ノ位號ナキ者亦「家人子」ト稱ス。(漢書外)

【家生奴】某家ノ奴婢生ム所ノ子、尙ホ其家ニ隸屬スル者ヲ謂フ。(漢書、奴)

ラレテ扶養セフルト否トニ因リテ一様ナラズ。(サノ部「三父」)

【家】(部首)(韻) 家ニハ種々ノ意義アリ。(一)有形上ノ家即チ一家族ノ住居スル建造物ヲ謂フ。(二)公法上ノ家即チ國家ニ對シ一家族ノ團體ヲ謂フ。之ヲ以テ國家組織ノ單位ト爲ス。此觀念ハ易ノ家人(離下)ノ卦ヨリ起ル。爻辭「父父。子子。兄兄。夫夫。婦婦。而家道正。正レ家而天下定矣。」又傳「家人之道。必有「所尊嚴而君長者。謂ニ父母也。雖ニ一家之小。先「尊嚴。則孝敬衰。先「君長者。則法度廢。有ニ嚴君ニ而後家道正。家者國之則也。」(三)封建制度ニ於テハ天子ノ直轄地ヲ天下ト曰ヒ諸侯ノ管轄地ヲ國ト曰フニ對シ大夫ノ領地ヲ家ト曰フ。【大學】「秋平天下」者。先治ニ其國。欲「治ニ其國」者先齊ニ其家。(四)婦、姑ヲ稱シテ家ト曰フ。【馬令南唐書】「翁媪怒曰。自家「官。自家「家。何用多拜耶。今ハ閭族姑ヲ稱シテ大家ト爲ス。」

【家生婢】世僕ノ女、仍ホ其家ノ婢タル者ヲ稱ス。(苑)

【家小】夫又ハ父ノ罪ニ連坐スル妻子ヲ謂フ。【福惠全書】連坐妻子者稱「家小」。(卷十)

【家積而國】(家積リテ一國ヲ成スノ謂)【大學衍義補】丘濬按「先王制「爲刑法」以弼「世教」之大。在ニ此三者「忠、孝、」人人孝ニ其親。忠ニ其君。尊ニ夫聖人。則天下大治矣。否則大亂之道焉。然三者。其根本起ニ於一家。家積而國。國積而世。故尤嚴ニ於不孝之罪。云云。(大學衍義)

【家祚】家族相承クル所ノ世系ヲ謂フ。(後漢傳)

【家屬】家屬ハ家長ニ對スルノ語、法制上ニ於テハ或ハ「家屬戶口」ト書シ、或ハ「家口」又ハ「家人」ト書シ一様ナラザレドモ、要スルニ家長權ニ服スベキ者ヲ總稱スルノ語タルコトハ明ナリ。【清律】刑律篇「家人求索」ノ註「家人

【家口】大ニシテハ戶主權ニ屬スル家族、(律例)ノ「家口」ハ多ク小ニシテハ親權ニ服スル者、即チ父母ノ罪ニ連坐スル者ヲ謂フ。【福惠全書】連坐父母二者。稱「家口」。(卷十)

【家憲】山憲ニ對シテ家内ニ於テ飼養スル豎ヲ謂フ。山豎ハ欄、椽、柞等ニテ放養シ、其豎ヨリハ綯織ヲ製シ、家豎ハ桑柘ヲ以テ飼養シ其豎ヨリハ綯織ヲ製ス。

【家室】夫婦ノ稱【詩經】桃夭篇「之子于歸。宜其室家。」即チ夫ハ婦ヲ以テ室ト爲シ婦ハ夫ヲ以テ家ト爲スノ義ナリ。

【家主翁】俗ニ家中ノ尊者ヲ呼ブニ此語ヲ以テス。(録) 耕

【家主婆】今、郷村ノ小民其妻ヲ呼ブニ此語ヲ以テス。(源)

指「官吏之兄弟子弟姪奴僕」皆是。

【家族】 大體ニ於テハ家屬ト同様ナルモ家族ハ血統ヲ同ジクスル同居者ノ義ナリ。唐張籍詩「文場繼續成三代。家族輝華在一身。」

【家長】 支那法ニ於テハ家ヲ以テ國家組織ノ單位ト爲スガ故ニ、一家ニハ必ズ家族ヲ監督スルト共ニ一家ヲ代表スル責任者アルコトヲ必要トス。所謂「家長」ナル者ハ即チ是ナリ。故ニ家長ナル語ハ一家ノ代表者タル意義ヲ有シ、公法上ノ責任者ヲ指ス。【詩經】侯主侯伯ノ疏「家無二主。主是一家之尊。故知主ニ家長也。【墨子】天志篇「惡有處シ家得二罪于家長一而可也爲也」此等ハ其出所ノ古キモノナリ。唐律「等ニ於テハ家長ノ責任ヲ規定セル條項少カラズ。」

【家奴】 其家ニ專屬スル奴隷、法律上其家族ト看做ス。且ツ奴ハ男子ヲ本義トスレドモ、奴婢ヲ略シテ奴ト云フノ例少ナカラズ。(清會典戶部(隷)參照)

【柳脰】 脰ハ項、即チ罪人ノ項ニ柳ヲ掛ケルコトヲ謂フ。【韓愈文】「取之江中。柳脰械手。」

【柳問】 犯人ニ柳ヲ施シテ罪狀ヲ訊問スルノ義ナリ。(柳重ノ見ヨ)

【河運】 河道ヨリ米粟ヲ運ビテ之ヲ京師ニ致スノ謂、漢代ヨリ始マル。隋ノ文帝ノ時渭水ヲ引キテ東ハ潼關ニ至リ廣通渠ヲ作ル。煬帝又穀洛水ヲ引キテ河ニ達シ以テ淮海ニ通ジ通濟渠ヲ作り運道始メテ通ズ。唐ノ劉晏江淮轉運使ト爲リ揚州造船ヲ始メ每十艘ヲ一綱ト爲シ其制大ニ備ハル。元、會通河ヲ開キテ河運ト爲ス。是レ北京ニ至ルノ始トス。明ノ永樂年間重ネテ會通河ヲ濬シ並ニ衛所ヲ設ケ官軍ヲ以

テ轉運ス。清之ニ因ル。其後汽船ノ便開タニ及ビテ河運始メテ廢ス。

【家僮】 (一)婢妾ノ總稱【前漢書】衛青傳註「僮者婢妾之總稱。」(二)年若キ下男下女ノ通稱【史記】貨殖傳「卓王孫家童八百人。」

【家督】 督ニハ察視又ハ董等ノ義アリ(說文註)家督ハ即チ家事監督ノ義、嫡長子ヲ意義ス。【史記】越世家「家有二長子。曰家督。」即チ我民法上ノ「法定相續人」ニ當ル。

【家廟】 品官(位階ヲ有)ニハ各父祖ノ靈ヲ祭ル廟アリ之ヲ「家廟」ト謂フ。三品以上ノ廟ハ五門ニシテ中三間ヲ堂ト爲シ、左右各一間アリ之ヲ隔ツルニ壁ヲ以テシ、北ヲ夾堂ト爲シ、南ヲ房ト爲ス。尙ホ之ニ附スルニ庭ヲ以テシ、東西廡各三間トス。四品以下七品ノ廟ハ三間ニシテ中ヲ堂ト爲シ左右ニ夾室及ビ房ヲ爲シ廡ハ東西各一間トス。八品以下ノ廟ハ三間ニシテ而モ夾室及ビ兩廡ナシ。(禮通)

【架閣】 官名、宋舊ト管幹架閣庫官アリ。諸職ノ輒籍文案ヲ掌ル。後之ヲ廢ス。南渡後復タ架閣(部首)(示)

【河淤地】 河流淤泥ノ爲メニ塞リテ田土ヲ成シタルモノヲ謂フ。民有地ノ一名稱ナリ。(清會典戶部)

【河銀】 河防ニ要スル費銀ニシテ河防ニ關係ヲ有スル州縣ヨリ徵收シ布政司ヨリ各道庫ニ解送シテ保管ス。

【河工】 黃河流域ニ於ケル治水工事ノコトヲ謂フ。【六部成語註解】河道堤岸之工程也

【河工錢糧】 堤防ノ修築及ビ河身ノ浚深等ニ供スル費用ヲ謂フ。(工部則例)

設ケテ各部員ヲ差シテ尙書某部ノ架閣ヲ主管スルヲ以テ名ト爲ス。其官ヲ「架閣」ト爲ス。又「六部架閣」トモ曰フ。金、元皆架閣庫アリシガ明ニ至リテ廢ス。

【架田】 一ニ葑田トモ云フ。深水藪澤ハ木ヲ以テ縛シテ田坵ト爲シ水面ニ浮繫シ葑泥ヲ以テ木架ノ上ニ附シテ種藝ヲ爲ス。水瘠、陸地少ナキ所多ク之ヲ用ユ(欽定康濟錄卷)

【枷】 刑具、項械(クビニ掛)清制ハ乾木ヲ以テ之ヲ作り。長三尺、徑二尺九寸、重二十五斤ヲ制トス。(柳重ノ見ヨ)

【柳重】 柳ノ重、宋以前ハ長短アリテ斤重ナカリシガ宋淳化二年勅シテ徒流罪ニハ重二十斤ノ柳ヲ用キ、死刑囚ニハ二十五斤ノ柳ヲ用キルヲ法トス。柳ニ等重アルハ此ニ始ル。【事物紀原】宋朝會要曰。淳化二年九月勅二所司一置枷。徒流罪重二十斤。死罪二十五斤。蓋舊制有二長短一而無斤重。則枷之有二等重。自此其

【河道溝梁大臣】 (上條ヲ見ヨ)

【河道總督】 (見ヨ)

【河防】 河川堤防ノ略語ナリ。之ニ關スル法律ヲ「河防法」ト曰フ。河防法ヲ適用スル河川ハ黃河、淮水、運河及ビ直隸省ノ諸河川ナリ。(清工部則例)

【河泊所】 明代ニ於テハ江海沿岸ニ河泊所(漁獵監督及ビ)ヲ設ケテ漁戶ヲ隸屬セシメ以テ漁課(漁業)ヲ徵收シタリ。清朝ニ入リテハ初メ澤梁ノ禁ヲ弛ムルヲ以テ施政ノ方針トシ河泊所ハ江西ニ二ヶ所、廣東ニ三ヶ所ヲ留ムルノ外ハ之ヲ撤去シタリ。(清國行政)

【河標】 河東江南河道總督ノ管轄ニ屬スル綠營ヲ謂フ。【會典】兵部「河東河道。江南河道總督所屬綠營爲「河標」トアルハ是ナリ。

【牙行】 「牙人」、「牙儈」、「阻儈」等ノ別名アリ漢以來存在セル一種ノ營業、本來ノ業務ハ賣

主ト買主トノ間ニ立チテ取引ヲ爲シ、其多寡ニ應ジテ手数料ヲ受クルモノニ係リ、即チ問屋、仲買業ノコトヲ謂フ。【六部成語註解】、說ニ合商務。從レ中作レ保之人也。【乾隆會典卷十八詳出】但シ其營業範圍ハ漸次擴張セラレ種々ノ商行爲ヲ爲シ或ハ又商人ノ爲メニ客室ヲ備ヘテ止宿セシムル等甚ダ多端ト爲レリ。然レドモ買買ヲ以テ介紹スルノ範圍ヲ脱セズ。【清國行政】

【牙旗】 古ハ天子又ハ大將軍出ツルトキ象牙ヲ以テ竿上ヲ飾リタル旗ヲ建ツルヲ例トス。故ニ之ヲ「象牙旗」ト稱ス。【振衛東京】

【牙儔】 仲買人ノコト「牙行」「牙人」等ノ別名アリ。【參照】

【牙市】 互市、即チ貿易ノ義ナリ。唐ハ互ノ字ヲ牙ニ作ル。後世誤リテ牙ト爲ス。【劉眞父詩話】「今人謂三國雖一爲牙。本謂三之互。即互市事也。唐人書互作牙。」

【牙城】 本城ノ義、牙ハ牙旗、大將軍ノ本營ニハ牙旗ノ旗ヲ立ツルヲ法トス。【唐書】李愬

傳「愬入駐三元濟外宅。元濟聞之。號令始驚曰。何常侍得至此。車三左右。登牙城。」

【牙璋】 【周禮】春官六瑞。牙璋以起三軍。旗トアリ。即チ兵ヲ發スル場合ニ用ケル札、牙ヲ以テ作レルガ故ニ此ノ名アリ。【同書】

【牙人】 牙行營業人ノコトナリ。【六部成語註解】代レ人領ニ貨物者。曰「牙人」。【牙行】

【牙稅】 問屋仲買業等ニ課スル稅金ヲ謂フ。【六部成語註解】代レ人領ニ貨物者。曰「牙人」。亦須ニ領ニ稅金。謂之「牙稅」。

【牙錢】 牙行ガ賣人ト買人トノ間ニ立チテ取引ヲ爲ス手数料ヲ謂フ。

【牙刀】 宋制、金吾上將軍、將軍、六統軍、千牛中郎將等、大駕(天子)ニ扈從スルトキニ佩アル所ノ刀ナリ。象牙ヲ以テ飾リタルガ故ニ此名アリ。【宋史儀衛志】

【牙籌】 素呂盤ノコト、獸ノ牙ヲ以テ珠ト爲スニ因ルナリ。

【牙帖】 牙行營業ヲ免許シ、其營業人ニ給スル免許證札ノ一種ナリ。

【牙帖釐金】 牙行ガ其營業ニ依リテ得タル利益金ニ對シテ賦課スル稅ナリ。下ノ「牙釐」ニ詳解アリ。【牙釐】

【牙米】 牙ハ牙ニ同ジ生芽ノ米(刈取リタル米)ヲ謂フ。【說文】

【牙保】 他人ヨリ物品ヲ接受シ代リテ販賣ヲ爲ス者ヲ謂フ。即チ委託販賣業ノ謂ナリ。

【牙門】 大將軍ノ軍門、牙旗ヲ立ツルガ故ナリ。牙ヲ飾トスレバ國家ノ爪牙ヲ意識ス。【後漢書】公孫瓚傳、拔其二牙門。今、官署ヲ衙門ト爲スハ「牙門」ノ訛ナリ。

【牙郎】 市場ノ貿易ヲ主トスル者、一ニ「互郎」トモ稱シ今人又「顯倫」トモ稱ス。【續編】

【牙釐】 牙行ガ其營業ニ依リテ得タル利益金ニ對シテ賦課スル稅ナリ。其性質ハ所得稅ニ屬シ、一般釐金ノ如ク消費稅トシテ之ヲ觀ルベカラズ。【清國行政】

衙 (部首) (麻韻)

【衙】 (一) 官署ナリ。【衙門】 (二) 唐制天子ノ「居」ヲ衙ト曰ヒ行(行)ヲ駕ト曰フ。【儀衛志】中外各衙門ノ賤役ニ服スル者ヲ謂フ

【衙參】 詳吏ガ大府衙門ニ參集シテ政務ヲ決行スルコトヲ謂フ。【元稹詩】「科試銜衙局。衙參與校尉。」

【衙內】 唐代ニハ禁衛ノ官ヲ稱シテ「衙內」ト曰フ。唐末ヨリ宋初ニ至リテ「藩鎮親衛」ノ官ト爲リ、多ク己レノ親子弟ヲ以テ之ニ任ズ。世俗相沿ヒ後世遂ニ貴顯ノ子弟ヲ呼ビテ「衙內」ト爲ス。

【衙門】 唐代近衛兵ヲ「衙兵」ト稱ス。南北兩衙兵アリ。南衙ハ諸衛兵。北衙ハ禁軍(近衛兵)是ナリ。【唐書】

【衙門】 本、牙門ノ訛、古ハ營門立ツル所ノ旗、兩邊繪ツ刺ム牙狀ノ如シ之ヲ牙旗ト謂フ。因

テ營門ヲ牙門ト曰フ。令ヲ聽ク者ハ必ズ牙門ノ下ニ至ル。初ハ第ダ之ヲ軍旗ト稱シタルガ後漸ク移リテ朝署ノ名ト爲ル。一説、木ヲ刻シテ牙ト爲シ門側ニ立テ獸牙ニ象ル故ニ牙門ト稱スト云フ。我國ノ官廳ニ當ル。清代ニハ中央官廳ヲ在京衙門ト曰ヒ、地方官廳ヲ在外衙門ト曰ヒ中央及ビ地方ノ各官廳ヲ總稱シテ中外大小衙門ト曰フ。裁判權ヲ有スル官廳ヲ問刑衙門ト曰フ。【史部】蓋シ、衙門ノ名ハ晉代ヨリ已ニ之アリシガ如シ。【晉書】王濟傳、臣衙門將軍馬潛。云云。

衙 (部首) (麻韻)

【近】 (部首) (韻)

【近衛】 (近衛) (部首) (韻)

【駕】 (部首) (韻)

【駕馬】 (部首) (韻)

【駕部】 天子ノ車駕ヲ奉行スル士ナリ。【宋史】與服志「禮制局官所履有駕士衣服。尚書舊六引之制。宜行更正。」

【駕部】 官名、魏晉尚書ニ「駕部郎」アリ。歷朝

之ニ因ル。唐代「駕部郎中員外郎」ヲ置キ兵部ノ副司ト爲ス。與輿、傳乘、郵驛版收等ノ事務ヲ掌ル。明代改メテ「車駕司」ト爲ス。清末之ヲ廢ス。

【駕部曹】 駕部ハ前記駕部ノ如クナルガ隋ニ至リ始メテ兵部尚書ヲ設ケ侍郎以下ノ官屬ヲ置キ、兵部、驍騎、駕部、車部ノ四曹ヲ設ケ其職掌ハ駕部ト異ルコトナシ。【清國行政】

【駕部郎】 (駕部) (部首) (韻)

効 (部首) (麻韻)

【効】 (一) 推鞠ノ別稱、即チ法官ガ被告人ヲ訊問スルコトヲ謂フ。【說文】「法三有罪一也。」【唐律】名例篇「犯罪未發自首」ノ條ノ疏議「効者。推鞠之別名。」(五) (二) 事實ヲ究明スルノ義【六書故】「効、猶裁也。考三効其實一也」

【効繫】 彈劾シテ拘留スルノ義ナリ。【史記】「上使御史簿責三錢其所言灌夫頗不覺。狀。」

【海塘捐輸】 清制、海塘工事ノ爲メニ民間

ヨリ捐輸(義捐)ヲ本義トスルモ清朝ノ名ニ依リ

テ其費用ヲ輸納セシムルコト、光緒以前モ數

々之ヲ行ヒシガ光緒以後ハ政府ノ豫算短絀

(乏)シタル場合ニハ之ヲ行ヒ且ツ雜捐(雜)ヲ

加抽シテ之ニ當テタリ。(部則例卷五十三)

【海防股】 股ハ官廳ノ一課、二課又ハ某課ト

云フ課ニ當ル。清、光緒二十四年以後地方長

官タル總督巡撫ヲシテ總理各國大臣ノ衙(美)

ヲ兼ネシメ、二日更代トシテ五股ニ分直シテ

事務ヲ辦理セシム。(一)英國股(二)法國股

(三)俄國股(四)美國股(五)海防股是ナリ。海

防股ハ南北洋ノ海軍、沿海ノ砲臺、造船場並

ニ汽船銃砲彈藥ノ購入、機械、電信、鐵道ノ

建設、礦山ノ開採ニ關スル事務ヲ綜辦ス。

【獬豸】 (部首) (獸) 東北僻荒ニ棲ム獸名、一角ニシテ

性忠、人ノ闕ヲ見レバ不直者ニ觸レ、人ノ

取ル。(文獻通考) 考選舉

【解戶】 明制、糧米ヲ解納(解ハ送)スル差役

ヲ「解戶」ト曰フ。(部國利) 病書

【解交】 漢制、官ヲ拜(拜ハ官職ヲ)シ以テ對

拜スルヲ「交禮」ト爲シ、赴任ノ日對拜シテ去

ルヲ「解交」ト謂フ。(文獻通考) 藝文

【解裝】 旅裝ヲ解クコト、休息ノ義ナリ。(延頤

賦) 賦

【解侍】 (侍ヲ) 父母老疾(唐律ハ八十以上

ヲ疾ト)ナルトキハ其子タル者親ヲ委シテ他

ニ之クコトヲ得ズ。在官者ハ職ヲ退キテ侍養

セシム。(イ)ノ部「委親」若シ已ムヲ得ザル

事故アルトキハ其旨ヲ官ニ届出ツルコトヲ要

【解元】 解試(見ヨ)ニ合格シタル最優等

者ヲ「解元」又ハ「解頭」ト曰フ。蓋シ解試ニ合

格シタル者ヲ「省試」(解試ハ後ノ擧試、省)ニ

解送スルガ故ニ、解送ノ先登者ト云フノ義ニ

人ノ上ニ立チテ指揮監督スルコトヲ謂フ。即

チ人間最後ノ活動時期ナリ。七十ニ達スレバ

之ヲ「老」ト曰ヒ、仕ヲ致シテ隱居スルヲ進則

トス。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

十曰艾。服ニ官政。

【艾老】 人生五十歳以上ヲ稱ス。【靈鑑論】五

【解脫】 囚人が破獄逃走スルコトヲ謂フ。唐律斷獄篇「與囚金刃解脫」ノ條アリ。(卷二十九)

【解儲】 金穀ノ收蔵ヲ司ル官廳ガ、其管轄内ノ官廳ヨリ送納スル銀兩等ヲ保管スルコトヲ謂フ。(清會典)

【解南錢糧】 官中所用ノ物件ヲ辦達セシムル費用トシテ戶部ヨリ江南等ノ省へ解送シ、織造等ニ給與スル錢糧ヲ謂フ。【六部成語註】「由二部庫二撥二發銀兩。解二送江南等省二交二織造等官。置二辦宮中所用物件。」

【解任】 官吏ガ罪ヲ犯シ、若クバ罪ヲ犯シタル嫌疑ヲ以テ訊問中(即チ未)暫ク其職務ヲ解クコトヲ謂フ。【六部成語註】「官員犯罪。應レ行二傳訊。則暫停二其職守。」

【解發】 發送ノ義ナリ。科擧ニ於テハ鄉試ニ及第シタル者ハ各省ヨリ京師ニ發送シテ會試ニ應ゼシム。故ニ鄉試及第者ヲ謂フ。(ノ)部「科擧」ヲ見ヨ。
【解流外任】 (流外ノ任) (ノ)部「流外官」ヲ見ヨ。

該 (部首) (灰韻)

【該】 (一) 備ハル、又ハ兼ヌル、皆等ノ義(韻) (二) 俗ニ該當ノ稱ト爲ス。凡ソ事ノ應ニ此ノ如クナルベシトノ義ニ用フ。(正字) (三) 今ハ備用シテ指定ノ義ト爲ス。公文ニ「該衙門」該案」等ト稱スルノ類ナリ。(四) 「三輪執事」等ニハ「該ハ俗辭、猶ホ「當」ノ字ノゴトシト記ス。

【該藏】 兼ニ藏ムルノ義ナリ。【前漢書】律曆志「該藏萬物。」

【該博】 博學ニシテ多識ナルコトヲ謂フ。【南史】「義理該博。【搜神記】「經書靡不該博。」

【該部】 該部トハ某部ガ専ラ一部(吏部トカ)ヲ指スニ對シ、或ル部ト云フノ義ナリ。【皇朝政治學問答】「該部非專指二部一矣。」

遊 (部首) (又聲) (韻) 【遊】 元ト「詩經」鄭風、野有蔓草篇「遊且相適。適我願兮」トアルニ出ヅルノ語、偶然ト云フニ同ク。例セバ他人ヲ殺スノ意ナク誤リテ死ニ致シタル場合ノ如キ、之ヲ「遊致死」ト云フノ類ナリ。【明律】刑律斷獄篇「遊致死。及自盡者各勿論。」

遊致死】 元ト人ヲ殺スルノ意思アキモ争闘其他ノ結果偶然對手方ヲ死ニ致シタルコトヲ謂フ。(前條ヲ) (見ヨ)

開 (部首) (灰韻) 【開印】 清制、諸官廳皆歲ノ十二月下旬事務取扱ヲ停止ス。之ヲ稱シテ「封印」(官印ヲ封用セザ)ト曰ヒ。明年正月月中旬末ヲ以テ事務取扱ヲ開始ス。之ヲ稱シテ「開印」(封印ヲ開用スル)ト曰フ。事務ノ取扱ニハ官印ヲ使用スルニ由リテ此名アリ。

【開印紙價】 鹽引(鹽販賣ノ)ヲ開寫スル用紙ノ費用ヲ謂フ。【六部成語註】「開二寫鹽引一所用之紙。應レ領二價銀。」

【開可】 許可ノ義ニ用フ。【後漢書】「陳統傳、統陳二便宜。以爲宜重二刑罰。議者以爲隆二刑峻レ法非二明主急務。統今所定不レ宜二開可。」

【開具】 開ハ開列、具ハ具區ノ約語ナリ。(各)於先生。

條ヲ見ヨ

【開礦執照】 礦山ノ探掘ヲ許可スル證明書ノ義ナリ。(戶部) (則例)

【開皇律】 (ノ)部「隋」ヲ見ヨ

【開缺】 現職官ニシテ過失アリ罪尙ホ小ニシテ降級革職ニ至ラザルトキハ之ヲ誥責シ、暫ク其現職ヲ退キテ命ヲ待タシム。此ノ如キ場合ヲ「開缺」ト謂フ。【六部成語註】「凡實缺官員。或有二過失。而罪尙小。不レ至二於降級革職。即飭二其開缺。」要スルニ開缺ハ或ル官職ガ當該官ノ革職轉任等ノ爲メニ空位ト爲ルノ謂ナリ。

【開元格】 唐玄宗ノ開元年中ニ制定公布シタル法令、禮式ニ關スル法規ナリ。【大學衍義補】「唐高宗時。又詔二長孫無忌等。增二損格勅。其曹司常務曰二留司格。頒二之天下。曰二散分格。其後武后時有二垂拱格。玄宗時有二開元格。憲宗有二開元格後勅。文宗有二大和格。又有二開成詳

定格。云云。(卷百) (三)

【開元格後勅】 唐憲宗ノ編、前格ノ補充ノ義ナリ。(戶部) (則例)

【開元禮科】 試験ノ科目、唐ノ開元禮ヲ以テ試験シ出身ヲ賜フノ制、即チ唐代ノ制ナリ。(禮) (ノ)部「三」ヲ見ヨ

【開戶】 某家ノ戶籍ヨリ開除スルノ義例セバ某家ニ隸屬シタル奴婢(即チ)ガ或ル事情ノ爲メニ其戶籍ヨリ開除セラル、ノ類、其場合ニハ別ニ簿冊ヲ設ケテ註記ス、之ヲ「另記檔案」ト稱ス。(戶部) (則例)

【開國功勳】 國家創業ノ元勳ヲ謂フ。(ノ)部「公侯世襲」ヲ見ヨ
【開差赴防】 新兵ヲ募集シ之ヲ督練公所ニ送付スルコトヲ謂フ。(清國行政) (法第四卷)
【開罪】 罪ヲ得ルノ義ナリ。【戰國策】「孟嘗君謝二馮煊。曰。文性傳患。沈二於國家之事。開二罪

於先生。

【開除】 會計四柱ノ一、既ニ支用ヲ經タル項目ヲ謂フ。(ノ)部「四」ヲ見ヨ

【開成詳定格】 (ノ)部「開元格」ヲ見ヨ

【開折】 封書ヲ開披スルコトヲ謂フ。【明律】「兵律軍政篇「飛報軍情」ノ條「具二賞封布政司。一差レ人行二移兵部。一具二賞封。俱至二御前。開拆。云云。(卷二) (十四)

【開阡陌】 (阡陌ヲ) 秦商鞅井田ヲ廢シテ阡陌ヲ開ク。是レ實ニ支那田制ノ大變革ナリ。阡陌ハ田畝ヲ區別スルニ疆界ヲ以テスルコト【風俗通】「南北曰阡。東西曰陌」又「河南以二東西二爲レ阡。南北爲レ陌。即チ一般ノ通説ハ井田ノ制ヲ廢シ之ニ代フルニ阡陌ノ制ヲ以テセリト爲ス。然ルニ朱子ハ獨之ニ反シテ曰ク「阡陌ノ言タル百ナリ。阡ノ言タル千ナリ。古ハ田ノ疆畔ニ因リテ其廣狹ヲ制シ其縱橫ヲ辨シ以テ人物ノ往來ヲ通ズ。即チ周禮ニ所謂達上ノ徑、溝上ノ畛、塗上ノ塗、滄上ノ道ナリ。田

開ニ此ヲ爲シ疆界ヲ正シ使爭ヲ止メ蓋洩ヲ時ニシ水旱ニ備ヘ永久ノ計ヲ爲シタル所以ナリ。商君苟且ノ政ヲ爲シ盡ク阡陌ヲ開キ悉ク禁限ヲ除キタリ。所謂開クハ乃チ破壊剽削ノ意ニシテ創置建立ノ名ニ非ラズ。所謂阡陌ハ乃チ三代井田ノ舊ニシテ秦ノ置ク所ニ非ラザルナリ。ト丘濬ハ之ニ對シテ、説者皆開ヲ謂フテ開闢ノ開ト爲ス。惟ダ朱熹ハ以テ開除ノ開ト爲スト附記ス。(大學衍義 補卷十四)

【開闢人】 戸籍簿ヨリ不要人ノ名字ヲ削除シテ戸籍ヲ整理スルコトヲ謂フ。【六部成語註】「將ニ其名字。由ニ冊上一開ニ除不要之人也」
【開中】 明代商人ヲ招キテ粟ヲ邊境ニ輸セシメ引(札)ヲ授テ鹽ヲ支給ス。之ヲ「開中」ト謂フ。一ニ「中納」トモ稱ス。
【開徵】 租稅徵收ノ手續ヲ開始スルノ義ナリ。成例ハ二月ニ開徵シ四月ニ半額ヲ徵收シ、八月ニ續徵シ、十一月ニ完徵ス。【乾隆會典】戸部「二月開徵。四月輸半。五月停徵。八月續徵。十一月完徵。」

徵。十一月完徵。

【開通元寶錢】 唐ノ高祖武德四年五銖錢ヲ廢シ本錢ヲ鑄ル。開通ハ開キ通ズルノ義、年號ニアラズ。十錢毎ニ重サ一兩ヲ加ヘ計一千、重サ六斤四兩。輕重大小ノ中ヲ得タリ。丘濬曰ク「大公圖法。凡泉輕重以銖。今之一兩。即古之二十四銖。計二錢則重二銖半以下。古秤比二今秤三之一。則今一錢爲古之七銖以上。凡造二錢。用三銅一錢。此開通元寶。所以最得輕重大小之中也。云云。(大學衍義補 卷二十六)

【開坊】 清制、翰林院修撰、編修、檢討、等ノ官、升轉ヲ得ル者、之ヲ「開坊」ト謂フ。蓋シ、修撰等ノ官升格スルニハ必ズ詹事府ヲ經ルヲ例トス。詹事府ハ之ヲ「春坊官」ト爲スニ由ルナリ。
【開發】 (一)書面ヲ開封スルノ義。(漢書王(二)教導ノ義ナリ。(北史崔(職傳)

モ漢末李傕、張楊、董承等ハ將軍ヲ以テ府ヲ開キ、開府ノ名此ニ始マル。後世ハ總督、巡撫ノ府ヲ稱シテ「開府」ト稱ス。

【開復】 官吏ガ職責處分ヲ受ケテ一定ノ期間其職ヲ解カレタル者ガ、謹慎ヲ表シ改悔ノ事實明ナルトキ、原職ニ復セラレ、コトヲ謂フ。【會典(吏)】「定ニ開復之法。降級留任者。三年無過。則開復。革職留任者。四年無過。則開復。云云。」

【開物成務】 (物ヲ開キ) 【易經】聚辭傳ニ出ヅルノ語、天下ノ志ヲ通シ天下ノ務ヲ成スコトヲ意義ス。【唐律疏議】ノ進表ニ此語ヲ使用スルハ即チ此義ニ取ル。(同書)
【開閉之言】 市場ノ奸商ガ種々ノ掛引ヲ弄シテ市價ヲ高低シ己ノ物ヲ高ク賣リ、他人ノ物ヲ安ク買フコトヲ謂フ(唐律雜律卷二十六)
【開列】 氏名又ハ事項ヲ列記スルコト、例セバ官吏ヲ任命スル場合ニ其所屬長官ヨリ應選

ノ資格アル官吏中ヨリ適任者若干名ノ官職及ビ其氏名ヲ列記シテ具奏シ勅選ヲ仰グ等ノ類ナリ。(會典)
【開列具題】 皇帝ガ官吏ヲ補任スル場合ハ形式上吏部ヨリ候補者ノ氏名ヲ列記シテ奏聞スルヲ法トス。之ヲ「開列具題」ト謂フ。(制)【骸骨】 (部首) (佳韻) 枯骨又死骸ト云フニ同ジク、人臣仕ヲ致スコトヲ「乞骸骨」ト謂フ。蓋シ人臣一タビ質ヲ君ニ委シテ奉職シタル以上ハ其身體ヲ舉リテ君主ニ委シ敢テ自リ有セズ、既ニ老イテ用ヲ爲サザルニ至リ、殘軀ヲ求メテ郷土ニ葬ルノ義ニ取ル。【史記】項羽傳(上)「項王乃疑范增與漢有私。稍奪其權。范增大怒曰。天下事大定矣。君主自爲之。願賜骸骨。歸卒伍。」

【交引】 宋ノ雍熙(太宗)後、兵ヲ用キテ餽輸ニ急ナリシカバ商人ヲシテ器糧ヲ塞下ニ輸

送セシメ給スルニ要券ヲ以テシ之ヲ「交引」ト謂フ。京師ニ至リテ給スルニ緡錢ヲ以テシタリ。(宋史食)
【交易】 【易】繫辭傳「致天下之民。聚天下之貨。交易而退。シタルニ出ヅルノ語、昔時ハ物物交換ノ義ニ使用セラレタルガ後世物ノ賣買ニ使用スルニ至レリ。

【交會】 父子及ビ會子ナリ。(各本條) 【交割】 此レ與ヘテ彼レ之ヲ受ケ雙方關係ヲ絶ツノ義、因テ新舊兩官ガ事務ノ授受ヲ爲スノ意ニ使用ス。【明律】清律吏律職制篇官員赴任過限ノ條同文ヲ以テ(上)「代官已到。舊官各照已定期限。交交割戶口錢糧利名等項。及應有卷宗籍冊。完備。トアルハ此意ナリ。(明律卷五)

ノ條ノ疏議「問。有レ人知ニ是賊婢。故買自幸。因而生子合レ入ニ何人。答曰。知ニ是賊婢。本來不レ合ニ交關。トアルハ其一例ナリ。(同書)(三)吳語ハ極メテ多キコトヲ交關ト曰フ。
【交關強牽】 官私交渉シテ債務者ノ財產ヲ強制的ニ引キ取ルコトヲ謂フ。【唐律】雜律篇「負債強牽畜產」ノ條ノ疏議「公私債負。違レ契不レ償。應ニ牽掣者。皆告官司。聽斷。若不レ告官司。而強牽。掣財物及奴婢畜產。過二本契者。坐。贓論。若強牽官。共三所部。交關強牽過二本契者。計三過剩之物。準於三所部。強市有二利。利之法。トアリ。(卷二)
【交子】 宋ノ眞宗ノ時張詠蜀ニ鎮タルヤ鐵錢重クシテ貿易ニ便ナラザルヲ患ヒ周禮ノ質劑法ニ倣ヒテ兌換券ヲ作り一文一緡三年ヲ以テ一界ト爲シテ之ヲ交換シ(三年毎ニ一換ス)六十五年ヲ二十二界ト爲ス之ヲ「交子」ト謂フ。富民十六月ヲ指定シテ之ヲ主ラシメタリ。然ルニ其後富民貨力稍衰ヘテ負フ所ヲ償フコト

能ハズ争訟屢起ルニ至レリ。故ニ寇域ガ蜀ニ守ルルヤ、交子ヲ禁ゼンコトヲ乞フ者アリシモ之ヲ廢スレバ貿易ニ不便ナルヲ以テ益州交子務ヲ官設シ官ニ於テ交子ノ取扱ヲ爲スコトトシ民ノ私造ヲ禁ジタリ。(大學衍義補)要スルニ初メハ商賈貿易上ノ必要ヨリ其私造ニ任シタルモノニシテ一種ノ手形ニ過ギザリシモ官交子務ヲ設ケテ官業ト爲スニ至リ遂ニ紙幣ノ性質ヲ帶ブルニ至リタルモノナリ。(呂祖謙及丘濬ノ説參照)

【交子務】 交子ノ發行及ビ取扱ヲ爲ス官署ナリ宋神宗ノ時改メテ「錢引務」ト爲ス。(同上)

【交趾】 昔時皇帝南、交趾ヲ遣スノ語アリ、當時ハ五嶺以南ノ地ヲ指シテ言ヘリ。漢ニ及ビテ交趾郡ヲ置キ、始メテ事ヲ今ノ安南北部ノ東京州ヲ指スニ至レリ。交趾ノ名ハ北方民族ヨリ南方民族ヲ指稱スルモノニシテ足相鄰ヲノ義ト爲ス。

【交趾支那】 安南ノ南部沿海ノ地ニシテ米

棉花、砂糖、肉桂、水産物等ヲ産ス。木ト安南ノ一部ナリシモ西曆一千八百六十三年佛國ニ割讓ス。首府ヲ西貢ト曰フ。

【交卸】 職務ヲ解キ去ルコトヲ謂フ。

【交鈔】 金ハ宋ノ四川(即チ)交子法ニ循ヒテ桑皮ヲ以テ交鈔ヲ造ル(但宋ノ交子ハ楮一貫ヨリ十貫ニ至ル五等ヲ「大鈔」ト曰ヒ一百ヨリ七百ニ至ルノ五等ヲ「少鈔」ト曰フ。初メ七年ヲ以テ限ト爲シ舊ヲ納レテ新ニ易ヘタルモ其後此制限ヲ罷メ文字不明ノ者ハ之ヲ交換スルコトトシタリ。交鈔ノ制ハ外ヲ關ト爲シ花紋ヲ作り其上ニ貫例ヲ書シ左ニ號ヲ書シ右ニ料ヲ書シ其外ニ篆字ヲ以テ「偽造者斬」告捕者賞ト書シ衛關ノ下ニ「中御交鈔庫」準ニ尙書戸部文移。及納レ錢換レ鈔、納レ鈔換レ錢等官司ト書シ四圍ニ籠籠ヲ畫キテ飾ト爲ス。(大學衍義補)卷二十七

元亦世祖ノ時交鈔ヲ造ル。元ノ交鈔ハ紙ヲ以テ本ト爲シ銀五十兩毎ニ紙鈔一千兩ニ易ヘ諸

物ノ直並ニ絲ノ例ニ從フ。其後又「中統元寶鈔」ヲ造リ十ヲ以テ計ル者四等百ヲ以テ計ル者三等貫ヲ以テ計ル者二等トシ一貫毎ニ交鈔兩一ニ同ジク兩貫ハ白銀一兩ニ同ジトセリ。丘濬曰ク「臣按。元交鈔之制。銀五十兩。易二鈔。千兩。是銀一兩直二鈔二十兩也。中統元寶鈔。兩貫同。白銀一兩。其所。直銀亦與。交鈔。同焉。」(大學衍義補)卷二十七

【交涉】 本ハ國際ノ義ニ使用セラレタルガ清代ニ入りテ以來外交ノ義ニ使用セラレ、ニ至レリ。「辭源」國與外國之利害關係。彼此磋商。以求適當之辦法。者。今謂之交涉。ト記ス

【交綏】 古ハ兩軍相退クコトヲ交綏ト曰ヘリ「左傳」乃皆出戰交綏。トアルハ其一例ナリ。今ハ交戰ノ義ニ使用セラレ。(辭源)

【交代】 (一) 彼此相接替(イリカ)スルコトヲ「交代」ト曰フ。「爾雅」疏「泰山一曰。岱宗。岱始也。萬物之始陰陽交代。」(一) 故ニ前後ノ官相接替ハルコトヲ交代ト曰フナリ。「漢書」蓋寬

饒傳「及二歲盡」交代。自請願復留。」「後漢書」

「范陽爲漢陽。與二傳」交代。」「六部成語註解」

「前任官將一切未了事件。並倉庫錢糧。」「交二

付新任官。」「(三) 臺灣ニ於ケル商庫慣習ノ一事

項、即チ委託契約ノ一種ナリ。然レドモ其普通

ノ委託ト異ナルハ、普通ノ委託ハ當事者ノ一

方ガ他ノ一方ニ對シテ或ル事務ヲ爲スベキ權

限ヲ依賴スルノ義ナルモ交代ハ當事者ノ一方

ガ他ノ一方ニ對シテ或ル事務ヲ爲スベキ義務

ヲ負フコトヲ約スルノ義ナリ。然レドモ民間

ノ實際ニ於テハ普通ノ委託ノ義ニ使用スルコ

トナキニアラズ。故ニ實際ノ事實ニ就キテ判

斷スルコトヲ要ス。

【交通部】 民國新設ノ中央官廳、長官ヲ總長ト曰ヒ鐵路、郵政、電政、航政ヲ管理ス。

【交白卷子】 受験者ガ試験問題ニ對シテ答フルコト能ハズ、白紙ノマ、ニ答案用紙ヲ呈出スルコトヲ謂フ。(「エ」ノ部「曳」)

【交盤】 官吏交代ノトキ庫中ニ存在スル錢根

其他ノ物件ヲ檢査シテ引接ヲ爲スコトヲ謂フ。」「六部成語註解」交代之特。將二庫中存項。盤運押免無差。新任乃接受。」

【交片】 清制、軍機處ヨリ各衙門ニ交與スル文書ヲ、交片ト稱セリ。民國ニ及ビテモ國務卿ガ面アタリ大總統ノ諭ヲ奉ジテ各部院ニ典

フル行文亦之ヲ交片ト稱ス。

【廠】 (一) 版(二) (部首) (家) (組)

【廠經】 版ハ米ヲ藏スル處、日々徵收スル稅米ヲ記入スル帳簿ヲ謂フ。(「リ」ノ部「流水」)

合(部首) (合) (口) (合)

【合格】 試験ニ及第スルコト、即チ官吏タル資格ニ合スルノ謂ナリ。「宋史」選舉志、合格及第者。列ニ名放榜於尙書省。」

【合干部分】 (合サニ干ス) 或ル事件ニ關係ヲ有スル官署ヲ指稱スルノ語ナリ。「明律」

邊將帥。但有取索軍器錢糧等物。須要差

人一行。布政司。二行。都指揮使司。再差人一行。五軍都督等。一行。合干部分。云云。(「明律」卷十)

【合香】 婚姻儀式ノ一、「禮記」昏儀篇、共牢而食。合卺而醴。其註ニ依レバ卺ハ牛瓠即チ一瓠ヲ分チテ兩瓢ト爲シタルモノヲ謂ヒ、新

婚婦各共一片ヲ執リ以テ隨スルヲ法ト爲ス。隨ハ飲ノ義ナルト共ニ又其氣ヲ演ベ安ンズルノ義アリ。即チ邦俗ノ「三三九度ノ杯」ニ

當ル。臺灣ニ於テハ俗ニ「食婚卓」ト稱シ、新

婚婦洞房ニ入り、新婿、新婦ノ幃蓋ヲ揭起シ

交々相拜シ相對シテ卓ニ就キ、紅團ヲ食シ喜

酒ヲ飲ミ、然ル後ニ床ニ上ルヲ例トス。

【合夥】 二人以上ノ者ガ共同出資シテ組合又ハ合社ヲ組織スルコトヲ謂フ。其當事者ハ之ヲ「合夥人」ト稱ス。

【合夥人】 (前條ヲ)

【合股】 合股ハ數人相集リテ資金ヲ分出シ、同一店號ノ下ニ共同シテ事業ヲ營ム組織ヲ謂

フ。其目的ハ個人營業ノ不便及ビ煩勞ヲ避ケ結合的勢力ニ由リテ利益ヲ得ントスルニ在リ故ニ一見スレバ現今ノ組合又ハ會社ニ似タル所アリト雖モ、支那及ビ臺灣ニ於ケル合股ハ支那系統ノ家族制度ニ起リ概シテ親族間ノ組織ニ係リ、業務執行者ヲ家長ト稱シ、乃チ家長タル權利ヲ以テ、内外ニ於ケル業務ヲ成辦スルコトヲ得、必シモ事毎ニ各股東ノ決議ヲ待チテ行動スルコトヲ要セズ。是レ今日ノ組合、會社等ト其實質ヲ異ニスル要點ナリ。然レドモ近來ノ合股ハ東西ノ例ニ倣ヒテ組織スルニ至リタルガ故ニ、概シテ合資會社ノ性質ヲ有スルヲ通例トス。

尙ホ曰ク、數人相合シテ商業ヲ營ムノ義、即チ組合營業ナリ。支那ニ於テハ管仲ト鮑叔トノ共同營業ヲ以テ合股ノ起源ト爲ス。【史記】管晏列傳管仲傳、吾始困時。嘗與鮑叔一賈。分財利。多自與。云云。漢代ニ於テハ孝文學堂ノ時代、富商ノ貸借ヲ業トスル者股ヲ募リテ資金

ヲ集メ一種ノ手形ヲ發行セリ。以テ其由來スル所久シキヲ知ルベシ。然レドモ後世ニ於ケル合股ハ羅馬法ニ於ケル組合ガ數人ノ相續人、各其相續財產ヲ維持シ、共同經濟ヲ營メルニ淵源スルガ如ク、相續制度ト密接ノ關係ヲ有シ、即チ其尊長タル祖父、父母死シ、家産ノ各卑幼ニ分割セラル、場合ニ、之ヲ各人ニ分割スレバ、極メテ少額ト爲リ、不利益ナルコト明ナルヲ以テ、之ヲ分割セズ、相續人共同シテ父祖傳來ノ商業、若クハ新ナル共同商業ヲ營ミテ利益損失ヲ相俱ニスルノ慣習行ハル。是レ則チ合股ノ原ヲ成スコトハ支那及ビ臺灣ニ於ケル合股モ初メハ親族ノ間ニ行ハレ、其長ヲ家長ト稱ス。後ニ知己友人ノ間ニ擴マリ、漸次一般ニ行ハル、乃至リシ來歴ヲ有スルニ徴シテ推知セラル。【清國通商條約】第三卷

【合祭】 天地ノ祀ヲ合シテ祭ルコト、周禮ハ天地分祭ノ法ヲ取リ有虞氏ハ合祭ノ法ヲ取

ル。明聖祖ノ時ハ南北郊ヲ作り天地分祭ノ法ヲ取リタルガ變異多カリシヲ以テ合祭ノ法ニ改ム。【大學衍義補】卷五十六

【合葬】 夫婦ハ偕老同穴ヲ本則トス。故ニ其死ノ前後ヲ問ハズ同穴ニ合葬ス。蓋シ其制ハ周代ヨリ始マルガ如シ。【事物紀原】禮記曰。禮弓云。季武子曰。合葬非古也。自二周公以來未之有改。又云葬葬者積之野。蓋二紀未之從一也。注謂古不三合葬。又季武子曰。周公蓋附。注云。附謂三合葬。自二周公以來。是則周公初制ニ比禮也。故周桓王之詩曰。死則同穴。【九卷】

【合徒】 (合ニ徒) 徒刑ニ處スベシトノ義、合ハ應ト相通ズ例ヘバ、應レ徒ヲ合レ徒ト曰ヒ、應レ死ヲ合レ死ト曰ヒ、應レ免ヲ合レ免ト曰フノ類、【唐律】名例篇「犯罪共亡」ノ條疏議「律稱應レ死。未レ須ニ斷訖。準ニ犯合レ死逃亡」【五卷】

【合龍門】 堵塞ノ口ヲ開キテ一缺ヲ留ムルヲ

「龍門」ト曰ヒ、工事竣ルノ日之ヲ塞クヲ「合龍門」ト曰フ。【六部成語註解】ニ「堵塞決口留三缺」曰「龍門」工竣之日。乃塞之曰「合龍門」。

【合面街】 單面ノ街ニ對シテ兩側ノ街ヲ稱ス。【福惠全書】卷二十一

孝 (部首) (效)

【孝弟力田】 漢惠帝ノ時ニ設ケタル科舉ノ目、孝弟力田トハ二目ニシテ皆獎勵ニ基ク科目、之ニ合格スル者ハ力役ヲ免ジタリ。

【漢書】惠帝紀「舉民孝弟力田一者。復其身」。同文帝紀「詔曰。孝弟。天下之大順也。力田。爲生之本也」。

【孝廉】 選舉科目ノ名、漢ノ武帝ヨリ始マル。【漢書】武帝紀「元光元年。初令郡國舉孝廉各一人」。歷朝之ニ因ル。州ハ「秀才」ヲ舉ゲ、郡ハ「孝廉」ヲ舉ゲルヲ定例ト爲ス。隋唐ニ及ビテ秀才ノ科ハアリタルモ孝廉ノ科ハ廢ス。宋、明ハ偶々一たび之ヲ舉ゲタルノミ。清ハ康熙雍正ノ年詔シテ「孝廉方正」ヲ舉ゲシム。古ノ

「賢良方正」ノ號ニ取ル。惟ダ俗ニハ「舉人」ヲ以テ孝廉ト稱ス。

【孝廉方正】 清制、科舉(官吏)ノ特別法、府州縣ノ保舉ニ由リ皆推ヨリ之ヲ中央政府ヘ具題シテ一應ノ試験ヲ爲シ、才識兼秀ノ者ハ吏部ニ送リテ試験ヲ爲シ其任用ヲ定ム。

寇 (部首)

【寇賊姦宄】 人ヲ却スヲ寇ト曰ヒ、人ヲ殺スヲ賊ト曰ヒ外(部)ニ在ルヲ姦ト曰ヒ、内(部)ニ在ルヲ宄ト曰フ【書經】大禹謨「命曰。皋陶。蠻夷猾夏。寇賊姦宄。云云」其註「却人曰レ寇。殺人曰レ賊。在外曰レ姦。在內曰レ宄」。

庚 (部首) (庚)

【庚帖】 庚ハ年齒ノ義、婚約ヲ結ブトキハ媒人ヲ以テ男女兩家ノ籍貫三代ノ經歷及ビ配偶者ノ姓名生年月日ヲ書シテ互授スルヲ證トス。其書ヲ稱シテ「庚帖」ト曰フ。臺灣ニ於テハ「八字」又ハ「婚仔」トモ稱ス。

【強姦】 暴力ヲ用キテ姦ヲ強行スルコトヲ謂フ。已行ハ較ニ處シ未成ハ杖一百流三千里ニ處ス。十二歳以下ノ幼女ヲ姦シタル者ハ和合ト雖モ強姦罪ニ依リテ論ズ。【明律】「清律」刑律犯姦篇「犯姦」ノ條同文ヲ以テ「強姦者杖一百或者杖一百流三千里。姦幼女十二歳以下者。雖同和合強論」。清律ノ脚註「凡間強姦。須有強暴之狀。婦人不レ能レ掙脫之。亦須有外人知聞及損傷身體。及損裂衣服之屬」。【明律】卷三十一

【強盜】 支那法上強盜ノ定義ハ「唐律」賊盜篇「強盜」ノ條註「謂以三威若力二而取二其財。先強後盜。先盜後強等。若與二人乘酒及食。使二狂亂。取レ財亦是。即得二開遣之物。賊二擊財主。而不レ

還。及強盜發覺。棄財逃走。財主追捕。因相拒
押。如レ此之類。事有「四條」。非「強盜」。疏議
ノ數行スル所ヲ摘要センニ威若クハ力ヲ以テ
ストハ「假リニ威ヲ以テ人ヲ脅シ兇力ヲ加ヘ
ズ。或ハ直ニ兇力ヲ用キテ威脅ヲ作サズ。而シ
テ劫掠取財スル者ヲ謂フ」ト説キ、先強後盜ト
ハ「先ツ迫脅ヲ加ヘ然ル後ニ取財スルヲ謂フ」
ト説キ、先盜後強トハ「先ツ其財ヲ劫ミ事覺ハ
レタル後始メテ威力ヲ加フ。此ノ如キノ例俱
ニ強盜ト爲ス。若シ人ニ藥酒ヲ飲マシ、或ハ
食中藥ヲ加ヘテ迷謬セシメ而シテ其財ヲ取ル
者ハ亦強盜ノ法ニ從フ」ト説ク。即チ準強盜
ノ謂ナリ。更ニ「關遺ノ物(即チ遺)ヲ得タルト
キ、財主來リ認ムルヤ因テ之ヲ毆撃シテ肯
テ物ヲ還ヘサズ、及ビ強盜人財ヲ取ルトキ、
財主ニ知覺セラレ途ニ財ヲ棄テ逃走シ財主
之ヲ逐フヤ因テ相拒押ス。此ノ如キノ類ハ、
是レ事ニ因縁アリ並ニ強盜ニアラズ、自ら關
毆及ビ拒押追捕ノ法ニ從フ」ト註明ス。(卷十)

【強却】 多數黨ヲ組ミ兇器ヲ持シテ人ノ財物
ヲ強奪スル者ヲ謂フ。【清律】刑律賊盜篇「白
晝搶奪ノ條脚註ニ「人少而無兇器。搶奪也。
人多而有兇器。強却也。」(卷十三)

【恒】 (部首) (心) (蒸) (韻) 恒ハ「易」下經ノ第二卦タル巽下震上
ノ卦ノ名、巽ハ長女、震ハ長男、恒ハ恒久不變
ノ義、即チ男女兩性ノ終生ノ結合ヲ意義シ、
近世法ノ所謂「婚姻」ノ卦ナリ。恒ノ前卦ハ
「咸」ニシテ咸ハ感ニ通ジ、男女ノ相感應シテ
意思ヲ表示シ、茲ニ締約成立シ、恒ニ至リテ
夫婦ノ關係ヲ生ズルモノトス。特ニ注意スベ
キハ、上經ニハ乾ト坤トノ二卦ヲ首ニ置キ、
下經ニハ咸ト恒トノ二卦ヲ首ニ置キタルコト
是ナリ。乾坤ハ天地ヲ卦ニシテ天地地位シ、萬
物此ヨリ生ズルコトヲ示シ、咸恒ハ婚姻ノ卦
ニシテ、夫婦定マリテ親族、家族ノ關係此ヨ
リ生ズルコトヲ示ス。且ツ咸ハ少男、少女ノ下
ニ在リ、是レ男女交感ノ義、恒ハ長男、長女ノ

上ニ在リ、是レ夫婦室ニ在ルノ象ナリ。(周
折中易
經集註)
【抗糧】 (部首) (手) (漾) (韻) 民人ガ上納スベキ稅糧ヲ拒ミテ上納
セザルコトヲ謂フ。【六部成語註解】抗。抵拒
也。民人於下應上納錢糧之時。抗。拒官府。不
肯ニ交納ニ也。
【拷】 (部首) (手) (皓) (韻) 拷杖ヲ加ヘテ訊問スルコト、拷問、
拷(才)手(皓) (韻)
【拷決孕婦】 (孕婦ヲ) 懷孕中ノ婦人ガ罪
ヲ犯シテ拷又ハ管杖ヲ決行スルトキハ產後一
百日ヲ待チテ決行スルヲ法トス。【唐律】「斷獄
篇」拷決孕婦ノ條、諸婦人懷孕。犯罪應拷
及決ニ杖管。若未產而拷決者。杖一百。傷重者。
依前人不合ニ推拷一法。產後未滿百日。而拷
決者。減二等。失者各減二等。蓋依前人不
合ニ推拷一法トハ、監臨ノ官ガ推拷スベカラ
ザル者ヲ推拷シタル罪ニ依リテ論ズルノ義ナ

【拷囚】 (卷三) (四) (拷) (囚) 拷ハ打ツナリ、罪情ヲ自白
セザル犯人ニ對シ杖ヲ加ヘテ訊問スルコトヲ
謂フ。然カモ拷ハ三度ニ過ギルヲ得ズ、杖數
ハ二百ニ過ギルヲ得ズ。三度拷問スルモ猶ホ
自白セザルトキハ保人ヲ取リテ放免スルヲ法
トス。【唐律】「斷獄篇」拷囚不過三度ノ條、
「諸拷囚。不得過三度。數總不得過三
百。杖罪以下。不得過三所犯之數。拷滿不
承。取保放之。」(卷十九)

【拷訊】 拷杖ヲ加ヘテ訊問スルコト、拷問、
又ハ「拷問」ト云フニ同ジ。拷訊(拷問、拷問)
ハ每訊二十日間ヲ隔テテ之ヲ爲スヲ法トシ引
キ續キテ之ヲ爲スコトヲ得ズ。【唐律】「斷獄篇」
「拷囚不得過三度」ノ條疏議「依三獄官令。拷囚
每訊相去二十日。若拷未畢。更移他司。仍
須三拷。即通計前訊。以充三度」云云。(卷十九)

【拷滿不承】 (拷滿) (承) (不) (承) 犯罪人が自白セザ
ルコトキハ拷問(杖ヲ加ヘテ訊問)ヲ爲スコトヲ得
ルモ三度ヲ過ギルヲ得ズ、又其杖數ハ總テ二
百ヲ過ギルヲ得ズ、拷滿トハ三度拷問ヲ如ヘ
杖二百ニ滿チタルヲ謂フ。不承トハ杖滿ツル
モ猶ホ自己ノ罪ヲ承認セザルコトヲ謂フ。支
那法ハ犯人ノ自白ヲ以テ唯一ノ要件ト爲スガ
故ニ拷滿ヲ承セザル者ハ保人ヲ立タシメテ
放免スルヲ法トス。之ヲ「取保放之」ト謂
フ。(拷囚)
【拷問】 (拷訊) (訊) (訊) (訊) 拷囚及ビ「拷
拷掠」囚人ヲ拷問スルトキニ法杖(法律ヲ
メタル)以外ノ物ヲ以テ拷打スルコトヲ謂
フ。【唐律】「斷獄篇」囚拷不得過三度ノ條「若
拷過三度。及杖外以他法拷掠者杖一百。杖
數過者。反三坐所罰。以故致死者徒二年。」疏
議「杖外以他法一項。謂拷囚於三法杖之
外。或以繩懸縛。或用棒拷打。但應行杖外。
悉爲他法。犯者合杖一百」云云。(卷十九)

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

【更代冊】 前任官ト後任官トノ更代スルコトキ
ニ前年來ノ租稅雜稅ノ收支計算ヲ明ニスル帳
簿ニシテ、其作製程式ニ四項アリ、(一)舊管
收、(二)新收、(三)開除、(四)實在是ナリ。略シテ管
收、除、在ト謂フ。之ヲ會計法上ノ四柱ト爲ス。
舊管トハ上手即チ前任官ノ庫ニ存ジテ、下手

綱紀。一國則有二國之綱紀。若乃鄉總於縣。縣總於州。州總於諸路。諸路總於省。省總於天子宰相。宰相兼統衆議。以與天子相可否。而出政令。此則天下之綱紀也。ト、要スルニ綱ハ張ノ義、紀ハ治ムルノ義ナルコトハ諸家説ヲ一ニス。

【綱典】官物及ビ因徒畜産ノ類ヲ部送(本條ヨ)スル官吏ニシテ主任ヲ綱ト爲シ、副ヲ典ト爲ス。故ニ其責任自ラ輕重アリ。【唐律】職制篇、奉使部送履寄人ノ條、即綱典。自相放代者。管五十。取財者坐レ賊論。關事依寄履關事法。仍以綱爲首。典爲從。(卷十)

羔(部首) 羊(部首) 羔羊之節 羊ハ四時モテ代ヘズ、進退度數アリ。故ニ卿大夫ノ潔白ノ行爲、節儉ノ意思堅固ナルコトヲ謂フ。【詩經】召南、羔羊篇、ハ即チ此行爲ヲ稱ス。【福惠全書】以忠君愛民一爲レ心。雖ニ衣敝履瀟。亦愈彰ニ其羔羊之節一矣。ト記ス。

考(部首) (皓)

【考校】一ニ「考校」ニ作ル。【禮記】王制篇ニ「中年考校」トアルニ出ヅルノ語、即チ學者ノ德行道藝ヲ考察スルコトヲ謂フ。故ニ法制上ニ於テハ年末ニ至リ文武官吏ノ功績ト過失トヲ調査スルノ義ニ用フ。【唐律】職制篇、買舉非其人ノ條疏議、謂内外文武官寮。年終應考校ニ功過。(卷九)

【考格】官吏ノ成績ヲ考校スル成法ヲ謂フ。【杜氏通典】北魏孝文太和中。作考格一以レ之黜陟。

【考覈】二義アリ(一)獄中ニ死スルコト、大罪人ニ對スル裁判ノ結果罪情ヲ考得シタル後其生命ヲ獄中ニ竟ハラシムル義ナリ。【釋名】「獄死曰考覈。考覈者。考ニ得其情。覈ニ其命於獄ニ也。」(二)犯罪ノ事實ヲ考究シ其事件ヲ按ハルノ義。【唐律】斷獄篇、死罪囚。辭窮竟レノ條、諸死罪囚辭窮竟。及故舊爲囚所造。或雇人備而殺訖者云云。【後漢書】賈帝紀、其令中

都官繫囚。非ニ殊死。考未レ竟者。一切任出。以須立秋。

【考課院】宋代ノ官署、吏部ノ外ニ之ヲ設ケ官吏ノ考選ヲ掌ラシム。(大學衍義 補卷十三)

【考課法】官吏ヲ任用スル法規、【錦字箋】魏文帝因遷シ人以ニ毀譽ニ進退。眞偽混淆上詔ニ虛誠一作ニ考課法。(同書 卷一)

【考工】後漢、工作ヲ典トルノ官。【漢表】少府有考工室令丞。大初元年。更名考工室ニ爲考工。【臣瓚ノ註】冬官爲考工。主レ作ニ機械。

【考工室】後漢考工ノ前名、器械ヲ作ルコトヲ主トスルノ官。(前條 對照)

【考工廠】商品陳列所ナリ。工商業ノ進歩ヲ計ルヲ以テ目的ト爲スガ故ニ此名アリト云フ。(考工ノキョウゴウ)

【考功員外郎】州縣選出ノ貢士ヲ選取スルノ官、唐ニ始マル。(錦字箋 卷一ノ部、知ノ部、參照)

【考授】考授トハ官吏タルベキ資格ヲ有スル者ヲ實缺ニ任用スルトキニ、部ヨリ大臣ノ欽派ヲ奏請シ、一定ノ試験(即チ 銜衛)ヲ行ヒタル後補スル爲メニ備フル所ノ銅ヲ謂フ。(會 典)

【耗米】正月十六日ヲ謂フ、此日ハ必ズ酒ヲ飲ムヲ例トス。(丹鉛 雜錄)

【興功】國家ニ功アル者ヲ舉用スルノ義ナリ。【周禮】夏官大司馬、進レ賢興レ功。以作ニ邦國。ト註、興、猶レ舉也。

【興軫】興軫(ノ部、納障)ト云フ。【興軫】ト見ヨ。

【興毗】興毗(毗ハ田民ノ義ナルモ興毗トアルトキハ民間ノ賢者能者ヲ推舉スルコトヲ謂フ)。【周禮】遂大夫、三歲大比。則帥ニ其吏ニ而興レ毗。ト註、舉ニ民之賢者能者。

【號旗】軍隊ニハ豫メ一定ノ符號ヲ作り以テ上官ノ命令ヲ傳達ス。其符號ヲ「號旗」ト稱ス。舊ハ形式數目ヲ用キテ意思ヲ表示シタルガ今ハ各國旗語ノ法ニ倣ヒ、兩旗ヲ執リテ其手ヲ

ニ任命スルコトヲ謂フ。(會 典)

【考成】官吏ノ成績ヲ調査スルコトヲ謂フ。(見下條)

【考績】考課ト云フニ同ジク、官吏ノ成績ヲ調査スルノ義ナリ。(春秋、サノ部、三載) 繁露(考績)ヲ見ヨ。

【考堂】戶部ノ一課ニシテ會計ヲ掌ル所ナリ。(唐書)

【考亭】地名、福建省建陽縣ノ西南ニ在リ。朱子幼年ノ時父ニ從ヒテ之ニ居リ、後復タ崇安ヨリ此ニ移居シ子弟ヲ教育ス。故ニ朱子ノ學派ヲ「考亭學派」ト稱ス。

【考槃】詩經衛風ノ篇名ニシテ考ハ成スノ義、槃ハ隱居所ノ義即チ賢者ガ隱居所ヲ成シテ之ニ棲遲セルヲ美メタルノ詩ナリ。故ニ後世隱居又ハ隱居所ノ義ニ使用ス。

【考妣】古ハ父母ノ別稱トス。後世ハ死セル父ヲ考ト曰ヒ母ヲ妣ト曰フ。【爾雅】釋親、父爲レ考。母爲レ妣。【書經】舜典「百姓如レ喪」考

妣。是レ前者ニ當ル。【禮記】曲禮篇、生日ニ父母。死曰ニ考妣。是レ後者ニ當ル。考ハ成、德行ノ成ルノ義、妣ハ繼考ニ繼ブノ義ナリ。(鄭玄ノ註)

【考滿替代】官吏任期滿了シテ新任官ト交代スルコトヲ謂フ。(明律卷三吏律公式) 考滿

【考掠】答ヲ加ヘテ考問スルコトヲ謂フ。(世說)

【耗羨】清制、地稅ノ附加稅、其耗羨ト稱スルハ稅物ノ銀納ナルト穀納ナルトニ論ナク、地方ヨリ中央政府ヘ解送スル間ニハ、若干ノ損耗ヲ生ズベシ。例セバ穀ナレバ鼠雀ノ害ヲ受クルコトアリ。之ヲ「鼠雀耗」ト稱ス。銀ナレバ布政司使衙門ニ於テ一旦鑄解シ、銀塊ト爲シテ解送スルガ故ニ、鑄解ノ爲メニ若干ノ損耗アリ、之ヲ「火耗」ト稱ス。故ニ徵稅ノ際其損耗額ヲ見積リ附加稅トシテ加徴スルヲ例トス。

【耗銅】銅貨鼓鑄ノ際、銅色ノ低キモノヲ抵

上下シ種種ノ形状ヲ爲ス即チ一定ノ字母ニ依

リテ語言ヲ構成スルモノナリ。

【號金】 書留郵便ノ手数料ナリ。(信局)

【號軍】 明制、科擧ノ試驗場之ヲ「貢院」ト謂ヒ

受験者ノ席舎之ヲ「號房」ト謂ヒ、一定ノ順序

ニ依リテ番號ヲ附ス。軍人ヲ置キテ看守セシ

ム。之ヲ「號軍」ト謂フ。(明史選)

【號碼】 計數ニ用キル符號文字ナリ。(ノ部)

【號房】 (一) 明清時代科擧ノ受験者ハ一定ノ

番號ニ從ヒテ受験室ニ入ル。故ニ其室ヲ「號

房」ト曰ヘリ。尙ホ(二)官署ノ面會室、及ヒ文

書ヲ傳達スル所亦之ヲ號房ト稱ス。

【號喪】 京師ノ俗、他ニ喪アルトキ奴僕又ハ

他ノ賤者ヲ履ヒテ代哭セシムル者多シ。其代

人ヲ「號喪」ト曰フ。是レ概ニ從ヒテ號哭スル

ニ因ル。(張爾岐語) 今ハ各地ニモ此風行ハル

【行】 (部首) (韻) 庚、陽

【行】 支那及ビ臺灣ニ於テ行ト云フハ、「牙

行」又ハ「行家」ノ略語(支那ニ於テハ「ハンス

」ト曰フ)ニシテ、問屋營業ノ一種ナリ。(或ハ日

列ノ義ニシテ同業者) 然ドモ牙行ト行家トハ

ヲ指スノ語ナリト) 實際上區別アリ、問屋ヲ行家ト稱シ、仲立業

ヲ牙行ト稱ス。

【行移】 行文移轉ノ略語、即チ官署照會ノ文

ナリ。明代ハ此文體書式ヲ試驗ニ課シタリ。

【行營】 唐制、節使度ガ暫時兵ヲ留ムル所ヲ

謂フ。柳宗元撰「段太尉逸事狀」:「汾陽王子晞

爲ニ尙書、領ニ行營節度使、寓ニ軍部州。」

【行役】 行ハ巡狩(即チ兵)ヲ謂ヒ役ハ役作ヲ

謂フ。【周禮】ノ疏、行、謂ニ巡狩ノ役。謂ニ役作。」

【行鹽地面】 鹽ノ販賣區域ヲ謂フ。一ニ亦

「行鹽境界」トモ謂フ。(大清

律例)

【行鹽課】 鹽引(鹽課)ヲ發行シテ引稅

ヲ徵收シ、國稅ニ充納スルコトヲ謂フ。【六部

成語註解】「發行鹽引、納辦國家稅」

【行礮一逼】 石礮(即チ「マ」)ヲ以テ地ヲ壓

シテ地面ヲ均平ニスルコトヲ行礮ト謂ヒ、之

ヲ行フコト一週スルヲ一逼ト謂フ。【六部成語

註解】「以ニ石礮一逼壓一次也。」

【行藥】 藥ハ米ヲ量ル(トカ)即チ藥ヲ以テ

米ヲ量ルコトヲ謂フ。(ノ部) (ノ部) (ノ部)

【行香】 (香ヲ) 明、洪武十七年勅シテ每月朔

望(十五日) 國子祭酒(國子) 釋菜ノ禮ヲ行ヒ郡

縣ノ長官等學校ニ詣リテ香ヲ行ハシム。即

チ燒香スルコト蓋シ宋ニ始マル。明ノ丘濬曰

ク「朔望行レ香之禮古未レ有也。北齊每月朔。

祭酒博士諸生展三拜階下。郡縣朔朝。是時未

熟。今所レ謂香一也。然朔日行レ禮。則始ニ於此

焉。其後遂以三朔望二行レ香。宋熹曰。謂三宜聖

焚レ香。不ニ是古禮。捻レ香不レ當三叩頭。只直上捻

レ香了。却出レ笏叩頭而拜。由レ是言レ之。則在

宋已有。云云。(大學衍義補)

【行郊】 行ト郊トヲ兼併シタルモノニシテ、

即チ臺灣ニ於ケル問屋營業者ナリ。一ニ「頂

手」又ハ「九八行」トモ稱ス。九八行ト云フハ販

賣ノ委託ヲ受ケタル商品ノ賣上代金ノ百分ノ

二ヲ仲錢トシテ取得シ、其殘額即チ百分ノ九

十八ヲ委託者ニ交付スルガ爲メナリト云フ。

【私法】

【行館】 清制、每歲巡防官員ノ暫居ニ充ツル

所ニシテ、河南省「城行館」ノ如キハ其一例ナ

リ。

【規行】 行ノ規則、一ニ「同規」又ハ「公議」ト

モ曰フ。同業組合ノ規約ノ義ナリ。(經濟大辭

典參照)

【行悉】 道家ノ語、吐納ノ術ニシテ一ニ服悉

(息ノコト)トモ稱ス。【抱朴子】「行悉ニ數法

アリ、初學ノ行悉ハ鼻中悉ヲ引キテ之ヲ閉ヂ

陰ニ心ヲ以テ數ヘ一百二十ニ至ル。乃チ口ヲ

以テ微シツ、之ヲ吐クナリ。一日一夜十二時

アリ半夜ヨリ日中ニ至ルヲ生悉ト爲シ、日中

ヨリ夜半ニ至ルヲ死悉ト爲ス。死悉ノ時ハ行

悉スルモ益ナシ。故ニ曰ク仙人六悉ヲ服スト

此レノ謂ナリ。云云」行悉ハ百病ヲ治ムルノミ

ナラズ、水中ニ居リ水中ヲ行キ機湯ヲ避ケテ

命ヲ延スコトヲ得ト云フ。著者之ヲ實行ス。

效果アリ。因テ之ヲ附記ス。

【行求】 (イノ部) (以財)

【行官】 唐制、四方ハ出役スルコトヲ掌ル官

ナリ【資治通鑑】註、節鎮州府。皆有ニ牙官。有ニ

行官。牙官供ニ牙前驅使。行官、使ニ之行役出ニ四

方。

【行在】 天子巡幸シテ居スル所ヲ謂フ。【獨斷】

天子以ニ天下ニ爲レ家。不ヲ以ニ京師宮室居處ニ

爲レ常。則當ニ乘ニ車輿ニ以テ行ニ天下。車輿所ニ至

去ニ處。皆曰ニ行在。トアルハ其一例ナリ。蓋

シ天子ハ四海ヲ以テ家ト爲ス。故ニ京師宮室

ヲ出テ、ハ其居ル所ヲ謂ツテ「行在」又ハ「行

宮」ト稱スナリ。

【行事人】 事件ヲ取り扱フ人、即チ當局者ト

云フガ如シ。【後漢書】杜根傳、私語ニ行事人。云

【行省】 魏晉時代ニ起ル官衙、初ハ「行臺」ト

謂フ。隋ハ「行臺省」ヲ置ク。尙書令、僕射、

都事侍郎等ノ員アリ。蓋シ其管スル所ノ道ニ

隨ヒテ外州ニ置ク。之ヲ「行臺尙書省」ト謂フ。

唐ハ武徳ノ初、諸道軍務繁キヲ以テ行臺尙

書省ヲ分置シ貞觀以後之ヲ廢ス。後諸道只ダ

各「採訪」等ノ使ヲ置キ尙書ノ事ヲ兼判ス。蓋

シ行臺ノ遺制ナリ。宋ハ行臺省ナシ。元ハ中

書省ノ外ニ於テ各路ニ行中書ヲ設ケ之ヲ「行

省」ト爲ス。左右丞、參政等ノ官ヲ置ケリ。

(古今事文類) 明清ハ地方行政區域ノ名ト爲シ

(聚新集卷五) 略シテ省ト爲ス。

【行商釐捐】 行商人ノ貨物ニ課シテ徵スル

釐金ヲ謂フ。(金ノ部) (釐)

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

【行狀】 死者ノ平生ノ行事ヲ述アル文ヲ謂フ

ニ下シテ謀法ヲ議セシム。近世ハ則チ其子孫先人ノ德業ヲ敘述シテ銘誄ヲ徵求スルノ用ト爲ス。一ニ亦「行述」トモ稱ス。

【行取】 行取トハ特別職任ノ一種ニシテ、地方官中才能衆ニ拔ンデ名聲大ニ著ハル、者ハ吏部ヨリ行文シテ調取シ御史又ハ部員等ニ任ズルコトヲ謂フ。此例ハ康熙年ニアリタルモ、其後ハ絶エテ之ヲ見ズ。(六部成語註解)

【行述】 (行狀) (ヲ見ヨ)

【行人】 他國ヨリ來ル賓客ヲ接待スルコトヲ掌ル官、大行人、小行人アリ。【周禮】秋官大行人、掌二邦國賓客禮節以待四方使者。一、掌二邦國賓客禮節以待四方使者。一、掌二邦國賓客禮節以待四方使者。

【行鎖引】 茶ノ行商ヲ爲ス者ニ下渡ス免許證札ノコトナリ。(戶部則例)

【行折漕截銀】 漕米ヲ截留シテ或ル費用ヲ協濟スル場合ニ、便利上銀ニ代ヘタルモノヲ謂フ。【六部成語註解】「截漕留漕米。協濟他所。」

折銀而行。取ニ其輕便。

【行棧】 港岸ニ建設セル私人營業ノ倉庫ニシテ一ニ「商棧」トモ稱ス。(長江通商各關通行章程)

【行錢】 錢ヲ貸シ利子ヲ取ルヲ業トスルノ義ナリ。【清尊錄】「富人以錢委人。取其子半。」曰「行錢。」

【行走】 清制、行走ニハ二種ノ義アリ。一ハ官吏ガ其職務上ノ責任ニ本ツキ、他ノ官廳ノ緊要ナル官房ニ出勤シテ其事務ヲ管掌スルコトヲ謂フ。【會典】吏部「有行走」以供其職。其附例「入直商書房。上書房。憲勤殿及軍機處。奏事處。批本處。皆曰行走。」他ノ一ハ京師各衙門ニ分配シテ事務ヲ練習セシムル者ヲ謂フ前掲「會典」下項ニ「有三分發」以練其事。云云。其附例「京官。曰二分衙門學習行走。云云。」尙ホ「辭源」ニハ「不設專官之處。及非專任者。謂之行走。」ト記ス。

【行臺尙書省】 (行省) (ヲ見ヨ)

【行單】 貨物ヲ運送スルトキノ送狀ヲ行單ト

謂フ。(百貨行商)

【行中書省】 (行省) (ヲ見ヨ)

【行年】 行ハ經歷ノ義、即チ人ノ年ヲ取ルコトヲ謂フ。【國語】晉語「行年五十矣。」【列子】天瑞篇「吾既已行年九十矣。」

【行媒】 行媒ハ「禮記」曲禮「男女非有行媒。不互相知名」トアルニ出ヅルノ語、媒ハ媒約人ノ義、行ハ往來ノ義、即チ媒約人ノ交涉ノ意義ス。支那法ニ於テハ婚姻ヲ以テ家族制度ノ基礎ト爲スト共ニ男女ノ交際ヲ監視スルコト極メテ嚴ナリ。故ニ未婚ノ男女ハ媒約人ノ交涉アルニ非ザレバ、互ニ相接近セザルヲ本義ト爲ス。媒約ナキ婚姻ハ之ヲ「野合」ト爲シ、正式ノ婚姻ト做サザルヲ本來ノ通義トス。(ハ部) (參照)

【行販】 猶ホ「行商」ト云フガ如シ。【晉書】石勒載傳「年十四。隳邑人一行販洛陽。王衍見而異之。」

【行夫】 通信交通ノ用ヲ辦ズル小吏ナリ。【周禮】「掌邦國傳達之小事微惡而無證者。凡其使也。必以旌節。」鄭玄註「行夫。邦國使之小體者也。傳達。若今時乘傳騎驛而使者也。」丘游按「後世乘傳騎驛。其原蓋出於此。」(大衍義補卷)

【行文】 官署文書ヲ以テ相往復スル之ヲ「行文」ト謂フ。

【行名】 市中街上ニ物ヲ陳列シテ賣ル者其賣品ノ種類ニ因テ店名ヲ異ニス。行名ハ商店ノ名稱ナリ。【關市合義解】「凡市。每肆懸二行名」註「謂。肆者。市中陳物處也。題二行名者。假如題二標條。一云「綳布」。一云「綳布」之類也。」

【行濫】 器用物件及ビ絹布等ヲ製造スルニハ一定ノ方式アリ。堅牢ナラザルヲ行ト謂ヒ。眞ナラザルヲ濫ト謂フ。【唐律】雜律器器用絹布行濫ノ條アリ。其註「不牢謂之不行。不眞謂之濫。」(卷二)【關市合義解】「凡出賣者。勿爲二行濫。」註「謂。不牢爲不行也。不眞爲濫也。」

【行濫短狹】 行濫ハ前解ノ如シ。短狹トハ吳服反物類ノ長ノ短ヲ幅ノ狹ヲ、一定ノ制ニ足ラザルコトヲ謂フ。【唐律】雜律器器用絹布行濫ノ條疏議「行濫。謂器用之物。不牢不眞。短狹。謂綳布不充四十尺。幅闊不充二尺八寸二之屬。」(卷二)

【行李】 古ハ行人(旅人)ヲ謂ツテ行李ト爲セリ。【左傳】「亦不使一介行李告于寡君。」唐時ハ官府導從ノ人ヲ稱シテ行李ト曰ヒタルガ後遂ニ旅行携帶スル所ノ物ヲ行李ト曰フニ至レリ。

【行理】 周代ノ官名、賓客ノ接待ヲ掌ル。【國語】周語「周秩官有之曰。敵國賓至。國尹以告。行理以節逆之。」

【行糧】 兵丁ガ役ニ出ア其在營中給與セラル、所ノ口糧(ヲ)ヲ謂フ。【六部成語註解】「兵丁出征。在二行營中。所領之口糧也。」

【行糧脚力】 行糧ハ旅中ノ口糧(即チ脚力)ハ人足ナリ。官吏ノ出張ニハ當該官廳ヨリ

當然支給スルモノナリ。【明律】兵律軍政篇「優恤軍屬」ノ條「凡陣亡。病故。官軍回鄉。家屬行糧脚力。有司不即應付者。遲二月。笞二十。云云。」(明律卷十四)

【衡】 (部首) (度) (衡)

【衡】 (一) 度量衡ノ衡、物ノ輕重ヲ稱ルノ器ナリ。(ト) (部) (度量) (二) 亦一般の平準ノ義ニモ使用ス管子「先王以守財物」以御二人事。而平天下也。是以命之曰衡。云云。【大學衍義補】「上刀布。則是泉布之制。後世公私通行以錢而亦兼用金銀珠玉。其原蓋起於此。是三幣也。人君守之以財庫。通之以財賄。而平天下之食貨。則適其輕重高下。使之以成得二其平。此所以有三衡之名歟。後世所謂平準。其義蓋出乎此。」(卷二) (三) 天象ヲ測ルノ器ナリ。(キ) (部) (玉)

【衡鑑】 衡ハ物ノ輕重ヲ稱ルノ器、鑑ハ物ノ美醜ヲ照スノ器、故ニ事理ノ是非ヲ分辨スル

ノ義ニ用フ。『范仲淹文』賞罰。天下之衡鑑也。衡鑑一私。則天下之輕重妍媸從亂焉。

【衡石程書】 衡ハ物ノ輕重ヲ量ル器、即チ「ハカリ」ノ桿、石ハ其錘ナリ。又百二十斤ヲ一石ト爲ス。程書ハ上書文ノ重量ヲ程限スルヨト、秦始皇ハ日昃上シ來ル書類ノ重量ヲ程限シテ一之ヲ閱覽シ以テ其程限ニ違セザレバ休息セザルヲ定トセリ。『史記』秦紀「始皇剛自用。事無大小。皆決於王。以衡石一量。書。日夜有程。不中程。不得休息。」

【語】 語ハ本來告グルノ義ナルモ其用例ハ古來幾多ノ變遷アリ。故ニ一概ヲ以テ論ズルヨト得ズ。先ヅ其變遷ヲ按ズルニ、『正字通』記スル所ニ依レバ、古代ニ在リテハ上下共ニ「語」ノ字ヲ以テ告ノ義ニ用キ、特定ノ用例ナカリシモ、秦始皇ノ時語ヲ廢シテ「制詔」ト爲ス、漢武帝ノ元狩六年又語ヲ用キタルモ、未ダ官吏ニ命ズルノ語トハ爲ラザリキ。唐ハ

「制」ト稱シテ語ト稱セズ。宋始メテ語ヲ以テ諸官ニ命ズルノ語ト爲セリ。明ハ諸官ニ命ズルヲ較ト稱シテ語ヲ用キズ。但、三載官吏ノ成績ヲ考フルトキ成績優異ナル者ヲ褒美スルニ語ヲ用キタリ。更ニ洪武十七年封爵ヲ有スル者ニハ語ヲ給スルコト、爲シ、二十六年更ニ一品ヨリ五品ニ至ルマデニハ授クルニ「語命」ヲ以テシ、六品ヨリ七品ニ至ルマデニハ授クルニ數命ヲ以テスルコト、爲セリ。(通) (正字)

以上記スル所ニ依レバ語ハ特ニ官吏ニ對スル命令ノ一ニシテ、又語命ト曰フトキハ、辭令ノ意義ヲ有スルモノト看ルベシ。惟ダ語ノ一字ハ說文ノ解、以「文言」告ニ論之也。『韻會』「告」上曰「告」。發下曰「語」。トアルニ依レバ上論ノ義ニ解スルヲ可トベシ。又『乾隆會典』「昭」垂訓行「曰」語「トアリ。即チ臣民ニ對シ行爲ノ準則ヲ昭垂シ、水タ之ニ由ラシムルコトヲ語ト曰フ義アリ。『嘉慶會典』附例「大政事布」告臣民。垂示彝憲。則有「詔」有「語」トアリ。

是レ又前項ノ意義ヲ申明セルモノナリ。然レドモ語ト語命トハ別義ニ解シ、前者ハ永遠ニ尊奉セシムル訓諭ノ義ト爲シ、後者ハ辭令ノ義ト爲スヲ可トス。前記會典附註ノ下項ニ「單恩封贈五品以上及世爵襲水閣」等者。曰「語命」トアルハ即チ此義ナリ。尙ホ一言附記スベキハ「正字通」語又鳥名トアリ、我國ノ辭令書ノ如キ鳥ノ子ノ紋アル紙ヲ用キルハ、蓋シ之ニ因ルガ、姑ク記シテ參考ト爲ス。

【語授】 清制、五品以上單恩予封(「單恩」見)ニ遇フ者ハ本身ノ封ヲ語授ト曰ヒ曾祖父祖父母父母及妻ノ存スルモノハ「語封」ト曰ヒ殺セル者ハ「語贈」ト謂フ。(清會典)

【語勅】 語ト勅トノ合語ナリ。兩者ノ異ナル點ハ「乾隆會典」語ニ就キテハ「昭」垂訓行「曰」語「ト記ス。即チ語ハ官吏ノ品性上選由スベキ行爲ノ標準ヲ昭垂シ、永遠ニ之ニ由ラシム

ルノ義ナリ。勅ノ意義ニ就キテハ後ニ「チ」ノ部ニ詳述シタルガ如ク官吏ニ對シ其職守ヲ申明スルノ義ニシテ、一般臣民ニ宣示スルノ義ニ非ズ。『會典』申明職守「曰」勅。トアルハ是ナリ。然レドモ合シテ「語勅」ト云フトキハ官吏受封ノ詞ト爲ル。明制ハ京外文武官ニシテ一考ニ滿(官吏ノ成績)最モ開フル者ハ皆本身ニ語勅ヲ給シ七品以上ハ皆其先(祖)ニ推恩セラレ五品以上ハ語命ヲ授ケラレ、六品以下ハ勅命ヲ授ケラル、ヲ法トセリ。清ハ之ニ因ル。

【語勅房】 明、宣宗ノトキ内閣ニ制勅房、語勅房ノ二房ヲ設ケ各中書舍人ヲ置キテ其事務ヲ掌ラシム。其職務ハ制語ヲ繕寫スルコトヲ掌ル。宋ノ中書舍人ノ如ク制語ヲ撰擬スルニ非ズ。制語ノ撰擬ハ内閣大學士ノ任ナリ。

【語封】 (清國行政法) 卷一(上) 語授(ヲ見)

【語命】 一定ノ身分アル官吏ニ對スル辭令ノ

【較勘印烙】 新造ノ度量衡ノ正否ヲ検査シ正確ナルモノニ對シ官印ヲ烙用スルコトヲ謂フ。(明律卷十、清律卷十) (四私造斛斗秤尺ノ條)

【較固】 商事上ノ語、較ハ專ラ其利益ヲ占略スルコト、固ハ市場ヲ障固シテ他人ノ賣買ヲ許サザルコトヲ謂フ。即チ所謂市場ノ利益ヲ壟斷スルノ義ナリ。『唐律』雜律篇「賣買不和較固」ノ條ニ「賈買不和而較固取者。云云」其註「較。謂專略其利。固。謂障固其市。」疏「較固取者。謂強執其市。不許外人買。」(卷二) (十六)

【較固取】 市場ノ利益ヲ占略シ他人ノ賣買スルヲ許サザルコトヲ謂フ。(前條ヲ) (見)

【郊】 (一) 王畿千里ノ制ニ於テ王城ヲ去ル百

里以內ヲ「國中」ト曰ヒ王城ヲ去ル百里ヲ「郊」ト曰フ。諸侯國モ之ニ準ズ。郊ニ遠郊近郊アリ。遠郊ハ百里、近郊ハ五十里トス。『周禮』地官職師、近郊遠郊。云云。註「五十里爲近郊。百里爲遠郊。」(二) 祭名、冬至ハ天ヲ南郊ニ祭リ、夏至ハ地ヲ北郊ニ祭ル故ニ天地ヲ祭ルヲ郊ト曰フ。(三) 廈門及ビ臺灣等ニ於テ郊ト云フハ支那本土ノ都會ニ於テ商人ノ團體ヲ會館公所又ハ幫ト稱スルト同ジク、商人ノ團體ヲ指稱スルノ語、殊ニ同業組合ノ性質ヲ有スルモノナリ。(臺灣)

【郊迎】 他國ヨリ來ル賓客ヲ郊外ニ迎ヘテ敬意ヲ表スルコト『史記』司馬相如傳「蜀太守以下郊迎。縣令負弩矢前驅。」

【郊社】 天地ヲ祭ルコトヲ謂フ。『禮記』郊社之禮。所以事上帝也。

【郊社局】 (郊舍令) (ヲ見)

【郊社署】 (郊社令) (ヲ見)

【郊社令】 隋制、大常寺ノ部屬ニ郊社署アリ

其長ヲ「郊社令」ト爲ス。大常寺ハ天子宗廟ノ祭ヲ掌ルヲ職トスルモ郊社令ハ天ノ祭ヲ掌ルコトヲ職トス。宋ハ英宗ノ諱ヲ避ケテ郊社署ヲ郊社局ト改ム。【事物紀原】「梁始有二太常令。後周爲「司社上十」。隋於「太常寺」置「郊社署」。故爲「郊社令」。宋初避「英宗」諱。改曰「局」。

【郊社】 天子、南郊ニ於テ郊祭(天ノ)ヲ嘗ミ然ル後ニ大教ヲ行フコトヲ曰フ。漢惠帝ニ始マル。【初學記】「王隱晉書曰。惠帝元康六年正月辛酉。上南郊大赦天下。是郊社之始也。」

【郊遂】 郊ハ前記「郊」ノ解ノ如シ。遂ハ「ス」ノ部。遂ニ詳解アリ。茲ニ略ス。

【郊祿】 天ヲ郊(見ヨ)ニ祭ル故ニ郊ト曰フ。其祭ニハ先媒(古人ノ)ヲ配祭シテ嗣(孫)ヲ新ルノ禮ヲ爲ス。故ニ嗣ヲ新ルノ祭ト爲ス。謀ハ媒ト同義。特ニ謀ノ字ヲ用フルハ之ヲ神ニスルナリ。【詩經】商頌玄鳥篇「天命玄鳥。降而生商」。朱熹註「玄鳥。鳥也。春分玄鳥降。

高辛氏之妃。有娠氏女簡狄。祈于郊禱。鳥遺レ卵。簡狄吞レ之而生レ契。其後遂爲「有商氏」。以有二天下。事見「史記」。【詩經】大雅生民篇朱熹註「古者立「郊禱」。蓋祭「天」於「郊」。而以「先媒」配也。變「謀」言「謀」者「神」之也。禮記月令篇「仲春之月。玄鳥至。至之日。以「大牢」祠「于高禴」。先「媒」天子親往。四后率「九嬪」御。云云。陳澧註「燕以「施」生時。巢人堂宇。而生乳。故以「其至」爲「祠」。謀新「嗣」之候。古有「謀」氏。祓除之祀。位有「南郊」。禮記上經。則亦配祭レ之。故謂之「郊禱」。云云。【同書註及ビ大學】(衍義補卷六十四)

【郊勞】 他國コリ來ル賓客ヲ郊外ニ迎ヘテ之ヲ慰勞スルコトヲ謂フ。【禮記】「君使士迎於「郊」。大夫郊勞。左傳「倍公三十三年。齊國莊子來聘。自「郊勞」。至「于贈賄」。禮成而加レ之以レ敬。」

【閤下】 閤下ノ義ニ就キテ種種ノ説アルモ【因語錄】「古者三公閤。郡守比古之侯伯。亦有

レ閤。故世俗書題有「閤下」之稱。【正字通】「前一説自漢迄。宋明。凡禮閤。龍圖閤。天章閤。寶文閣。東閣。文淵閣。皆非「レ」合。皆不「專屬」小門。唐太宗引「列史」問「民疾苦」。貞觀制自「今中書門下」及「三品以下」。入閣議「事」。諫官隨レ之。宋太宗藏「經史」。子集。天文圖書。二分「六閣」。與「閣」同。今尊稱曰「閣下」。韓愈上「宰相」書。皆「閣」。由レ此推レ之。閣閤意義通。云云。トアル等ハ其要ヲ得タルガ如シ。前者ハ「閤」ハ門ノ名。貴官特ニ之ヲ設ク。故ニ地位卑キ者ガ書ヲ呈スルトキハ直チニ貴官ノ名ヲ斥スコトヲ避ケテ「閤下ノ人」(即チ侍)ニ取次ギテ求ムルノ意ニテ「閣下」ト書スルモノト爲シ(此義ハ文ニ見エザル「ハ」ノ部)後者ハ「閤」ト「閣」同義ト爲スモ「陛下」參照)後者ハ「閤」ト「閣」同義ト爲スモノニシテ是亦「閣上」ニ在ル人ニ上ルノ書ヲ閣下ニ在ル人ヘ取次ギテ求ムルノ義ト解スベシ。但シ韓愈ノ用キタル閣下ハ【漢書】「公孫弘傳「閤」東閣」延「賢」。レ「閣」ニ取ルトノ説アリ。

【閤門使】 宋代東上閤門使、副使、閤門通事

舍人、閤門祇候等ノ官ヲ置キ、凡ソ取察旨命、供奉乘輿、朝會、遊宴及ビ贊導三公群臣、藩臣朝見、辭謝、糾彈失儀ノ事ヲ掌ラシム。舍人、祇候ハ舊ト「閤職」ト曰ヒ武臣ノ清選ト爲シ館職ニ比シタルガ、政和中改メテ内外官知

閤門使ニ命ジ名ケテ「知閤門事」ト曰ヒ仍テ客省四方館ノ職ヲ兼ネシメ、其知副使ハ同知閤門事ト稱シ、又嘗テ閤門通事舍人ヲ改メテ宣贊舍人ト爲シタリ。

【閤門祇候】 (「閤門使」ヲ見ヨ)

【閤門通事舍人】 (「閤門使」ヲ見ヨ)

【高】 (部首) (韻)

【高】 (部首) (韻)

【高】 (部首) (韻)

【高】 (部首) (韻)

【高】 (部首) (韻)

【高】 (部首) (韻)

(父)ヲ高祖王父ト爲シ曾祖王父ノ批(母)ヲ高祖王母ト爲ス。脚註「高ハ最モ上ニ在ルヲ言フ。今ハ高祖父、高祖母ヲ稱ス。」(大學衍義補卷五十三)

【高第】 官吏登用試験ニ優等ヲ以テ及第シタル者ヲ謂フ。【漢書】尹翁歸傳「以「高第」入爲「右扶風」。」

【高謀】 先謀即チ婦媿ノ謀約ヲ始メタル神ナリ。謀ハ媒ニ通ズ。郊禱ニ同ジ。(「郊禱」ヲ見ヨ)

【劃發】 度支部ガ已ニ京餉ヲ受領シ、或ル費用ニ對シテ支辨シ了リタルコトヲ謂フ。(清政治官報)

【各】 (部首) (韻)

【各從本法】 (各本法) 數人ガ共謀シテ或ル罪ヲ犯シタルトキハ一條ノ下ニ其罪ヲ斷ゼズ首從ヲ區別シ各別ニ其適用スベキ法刑ヲ科スルノ謂、各ハ其犯スル所ノ人ヲ指ス。【讀律提綱】「律有「各從」本條」者。此即「各科」各罪「之

謂。此各字指「所」犯之各人「言」。此爲「衆人共犯」一罪。而首從本罪各別者。各從「本律」二科「之」。(學海堂義書五)

【各省古名】 直隸ヲ燕ト曰ヒ、山東ヲ齊ト曰ヒ山西ヲ晉ト曰ヒ河南ヲ豫ト曰ヒ、陝西ヲ秦ト曰ヒ甘肅ヲ隴ト曰ヒ、江蘇ヲ吳ト曰ヒ、安徽ヲ皖ト曰ヒ、江西ヲ江ト曰ヒ、四川ヲ蜀ト曰ヒ、貴州ヲ黔ト曰ヒ、雲南ヲ滇ト曰ヒ。又陝西甘肅ヲ合稱シテ陝甘ト曰ヒ、江蘇安徽ヲ江南ト曰ヒ、江西南江西ヲ兩江ト曰ヒ、湖南湖北ヲ湖廣ト曰ヒ又楚ト曰ヒ。福建浙江ヲ閩浙ト曰ヒ、廣東廣西ヲ兩廣ト曰ヒ又粵ト曰ヒ。雲南貴州ヲ雲貴ト曰ヒ。

【各盡本法】 (各本法) 一人ガ二罪以上ヲ犯シタルトキハ一法「罪」ヲ以テ斷ゼズ、各其適用スベキ法刑ヲ盡シテ之ヲ罰スルノ謂、各ハ其犯シタル各罪ヲ指ス。【讀律提綱】「律有「各盡」本法」者。此各字指「所」犯各罪「言」。此爲「一人兼」三犯各罪。或從「重」論。或從「一科」斷。而所レ

謂。此各字指「所」犯之各人「言」。此爲「衆人共犯」一罪。而首從本罪各別者。各從「本律」二科「之」。(學海堂義書五)

犯各罪。雖不。仍各盡本法二科之。見二名
例律二部俱發。以重論條。(學海堂)
義書五)

【囑匪】(部首) (陌韻)
乾隆ノ末年ニ起リタル亂徒ノ名稱ナ

【學】(部首) (覺韻)
子(子)

【學究】(部首) (官韻) 即科舉ノ一
ナリ。宋神宗ノ時經術ヲ以テ三舍ノ法ヲ立ツ
ルニ至リテ之ヲ廢ス。【事物紀原】「唐選舉志。
取士之科有二。明經。有進士。有明法。有二九
經。有五經。有三經。有二經。有學究。爲學
之常選。學究科自唐也。宋神宗熙寧中
以二經術。與三舍。始除之。(卷)

【學窮】(部首) (一) 韓愈送窮ノ文ヲ作り窮鬼ノ名五
アリトシ第二位ヲ名ヅケテ「學窮」ト曰ヒ、下
ノ如ク記ス。傲ニ數與ビ名。抽ニ袂香微。高揚ニ群
言。執ニ神之機。ト、即チ學理ノ研究ニ腐心セ
ル者ノ謂ナリ。(二) 寒士ノ稱ナリ。宋ノ太宗

トヲ謂フ。【高士傳】「後漢夏竦。爲中常侍所
誣。乃自窮。髮變。易形入山中。爲治工
客作。」

【客商】(部首) (一) 清制、他郷ヨリ來ル商賈ノコトヲ謂
ツテ「客商」ト爲ス。

【客省使】(部首) 宋代ハ古ノ典客ノ制ニ依リテ客省
ヲ置キ、內客省使、客省使、客省副使等ノ官
アリ。禮遇ハ侍從ニ等シク、多クハ國戚世族
ヲ以テ之ニ充テ、四方館使、關門使諸職ト共
ニ號シテ「華要」ト爲ス。其職務ハ四方ノ進物
及ビ四夷ノ朝貢、牧伯ノ朝覲其他燕籩ノ事ヲ
掌ラシム。

【客幫】(部首) 清制、貨物ヲ携ヘテ遠方ニ往キ商業
ヲ爲ス者ハ大抵同郷又ハ同業ノ關係ヲ以テ團
體ヲ組織ス、俗ニ之ヲ「客幫」ト稱ス。即チ「津
幫」「寧幫」「紹幫」「廣幫」等ノ稱アリ。津幫ハ天
津商人ノ團體、寧幫ハ寧波商人ノ團體、以下
此類ナリ。

【岳】(部首) (覺韻)
山(山)

遺著ヲ相トセント欲スルヤ、或者之ヲ許リテ
曰ク「昔ハ山東ノ學窮、惟ク能ク論語ヲ讀ムノ
ミレト。」

【學賑】(部首) 清制、貧窮ノ學生ヲ賑卹スルコトヲ
謂フ。賑卹ノ方法ハ動産不動産ナキ者ヲ「極
貧」トシ、多少ノ不動産ヲ有シ而モ全部災害ヲ
被リタル者ヲ「次貧」トス。此等ハ一定ノ成例
ニ依リテ賑給ヲ行フモノトセリ。(戶部則例)
錢穀價要)

【學正】(部首) 清制、州學ノ主任教官ヲ學正ト稱ス。
學政使ノ監督ノ下ニ本學ノ教務ヲ主掌ス。

【學政使】(部首) 清制、學政使ハ一省ノ學事ヲ總管
スル者ニシテ、府州縣學教官ヲ管理シ、科舉ノ
豫備試驗ヲ行フノ職權ヲ有ス。中央政府ノ派
遣ニ依リ任期ヲ三年トス。

【學租】(部首) 學校ニ屬スル田地(即チ)ノ租石、學
校ノ經費ヲ補助スルモノニ係ル。(六部成語註
解)「官學校之田。收租以完學費。」

【學田】(部首) 學校ノ經費ヲ補充スルノ目的ヲ以テ
政府ヨリ、學堂ヘ支給シ、或ハ地方官民ヨリ

【岳丈】(部首) 妻ノ父ヲ謂フ。或ハ曰フ「晉ノ樂廣ハ
衛玠ガ妻ノ父タリ。岳丈ハ樂丈ノ訛ナリト、
又曰フ「泰山ニ丈人峰アリ、妻ノ父ヲ丈人ト
曰フ。故ニ泰山ト稱シ又轉ジテ岳丈ト稱ス」
ト。

【岳父】(部首) 妻ノ父ヲ謂フ。其出所ニ付キテハ種
種ノ說アリ。唐ノ明皇泰山ヲ封禪(祭)スル
ニ當リ張說「封禪使」ト爲ル。說ノ女塔都經ハ
本ト九品官ナリシガ說ノ援助ニ因リテ驛ニ五
品ニ遷サル。明皇怪ミテ之ヲ問フ。都經辭ノ
以テ對フルナシ。黃憲綽曰ク「此レ泰山ノ力
ナリト、泰山ハ五岳ノ一ナリ。故ニ後人妻ノ
父ヲ「泰山」又ハ「岳父」ト稱シ妻ノ母ヲ「岳母」
ト稱スト云フ。其一說ナリ。又泰山ノ下ニ泰
水アリ。遂ニ妻ノ母ヲ謂フテ「泰水」ト爲ス。又
泰山ハ大山ナリ。嶧ハ小山ナリ。故ニ或ハ妻
ノ兄弟ヲ謂フテ「嶧兄弟」ト爲スト云フ。歐陽
修曰ク「泰山ニ丈人峰アリ。故ニ泰山ヲ以テ
妻ノ父ト爲スト。尙ホ袁枚ノ說ニ依レバ漢書

寄附シ、之ヲ小作人ニ耕作セシメ、其租石ヲ
以テ先ツ正賦ヲ完納シ、其餘ヲ以テ學校ノ費
用ニ充ツルヲ原則トス。

【學部】(部首) 清末科舉ヲ廢シ學堂教育ヲ主トスル
ノ目的ヲ以テ、光緒三十一年九月ニ設立シタ
ル官廳、即チ舊制ノ禮部ヨリ教育ニ關スル事
項ヲ移轉スルト共ニ、新教育ニ關スル權限ヲ
付シ、全國教育ノ主腦官府ト爲ス。

【學廟】(部首) 歷代各學校ニハ皆孔子ヲ崇祀ス、故
ニ學校ニ在ル孔子廟ヲ學廟ト謂フ。

【客】(部首) (陌韻)
作(子)

【客傭】(部首) 清制、他ノ地方商人ノ販賣スル鹽ヲ
謂フ。【六部成語註解】「販鹽客人市賣之鹽」

【客卿】(部首) 他國ノ人ヲ以テ卿ト爲スコトヲ謂
フ。【史記】「拜范雎爲客卿。」

【客戶】(部首) 新附ノ民戸ヲ謂フ。(唐)

【客作】(部首) 他所ニ往キ人ニ傭ハレテ作業スルコ
トヲ謂フ。【高士傳】「後漢夏竦。爲中常侍所
誣。乃自窮。髮變。易形入山中。爲治工
客作。」

【嶽】(部首) (覺韻)
山(山)

【嶽丈】(部首) 妻ノ父ヲ謂フ。其出所ニ付キテハ種
種ノ說アリ。唐ノ明皇泰山ヲ封禪(祭)スル
ニ當リ張說「封禪使」ト爲ル。說ノ女塔都經ハ
本ト九品官ナリシガ說ノ援助ニ因リテ驛ニ五
品ニ遷サル。明皇怪ミテ之ヲ問フ。都經辭ノ
以テ對フルナシ。黃憲綽曰ク「此レ泰山ノ力
ナリト、泰山ハ五岳ノ一ナリ。故ニ後人妻ノ
父ヲ「泰山」又ハ「岳父」ト稱シ妻ノ母ヲ「岳母」
ト稱スト云フ。其一說ナリ。又泰山ノ下ニ泰
水アリ。遂ニ妻ノ母ヲ謂フテ「泰水」ト爲ス。又
泰山ハ大山ナリ。嶧ハ小山ナリ。故ニ或ハ妻
ノ兄弟ヲ謂フテ「嶧兄弟」ト爲スト云フ。歐陽
修曰ク「泰山ニ丈人峰アリ。故ニ泰山ヲ以テ
妻ノ父ト爲スト。尙ホ袁枚ノ說ニ依レバ漢書

郊禮志ニ「大山川ニ嶽山アリ小山川ニ嶽嶺山
アリ」ト見ユ、嶽ニシテ嶺アルハ則チ泰山ハ以
テ嶽嶺ト稱スベシ。蓋シ嶺ハ塔ノ訛ニ由ル
トノ說モアリ。(嶽丈)
【岳母】(部首) 妻ノ母ヲ謂フ(岳父)
【岳牧】(部首) 四岳ト十二牧ト合稱ナリ。(各本
見)

峰。故有二是稱。然古者通謂。楮長二日三丈人。非二特婦翁也。云云。

【楮麓書院】 宋開寶年中潭州守朱洞ノ建設ニ係ルト云フ。後、朱熹等講學ノ所ト爲ス。

清康熙年中重建セリ。湖南省長沙縣西楮麓山ノ下ニ在リ。故ニ此名アリト云フ。

【楮供】 職務ニ忠實ナルコトヲ謂フ。(福惠全書卷四)

【楮勤匪懈】 (楮勤懈) (善ヲ見ヨ)

【楮】 (部首) (覺) (韻)

【權】 楮ハ元來道路ニ横ヘル川水ニ木ヲ掛ケテ人ヲ渡ス橋ノ名ナリ。後世之ヲ「步渡橋」又ハ「水釣橋」トモ曰フ。前漢武帝ノ時國費多端ナリシヲ以テ財源ヲ得ンガ爲メニ民間ノ酒造ヲ禁ジ、官ノ專賣ト爲シ、之ヲ稱シテ「酒酤」ト爲ル。【前漢書】武帝紀「初榷酒酤」。顏師古ノ註「步渡橋。禁民酤鹽。獨官開置。如道路

設レ木爲レ橋。獨取利也。トアルハ是レナリ。(詳細次項參照)

【權鹽】 鹽ノ官專賣ニシテ是レ亦唐ニ始マル

【唐書】百貨志「唐第五琦爲諸州榷鹽使。盡榷天下鹽。斗加二時價百錢。而出之。及劉晏代。其任。又加二榷鹽錢。天下之賦。鹽利居半。【事物紀元】其始原ニ於唐第五琦。及劉晏代。其任。大曆末一歲征賦所入鹽。當天下太平之賦。」(卷)

【權鹽鐵使】 唐第五琦ヲ以テ諸州ノ「榷鹽鐵使」ト爲シ盡ク天下ノ鹽ヲ榷シ斗ニ時價百錢ヲ加ヘテ之ヲ出サシム。劉晏其任ニ代ルヤ又鹽錢ヲ加榷ス。天下賦鹽ノ利其半ニ居ルニ至ル。(唐書食)

【權酤】 酒ノ官專賣、漢武帝ノ天漢三年ヨリ始マル。【唐類函】漢孝武天漢三年初榷酒酤。韋昭注「以木渡水曰榷。謂禁私酤人酤。獨官開置。如道路木爲橋者。獨取利」類

ルニ及ビ「榷鹽使」ヲ置キ之ヲ兼領セシム。云云。ト記ス(卷二十九)

【權茶使】 (榷茶) (ヲ見ヨ)

【榷】 (同ジ) (才) (部首) (藥) (韻)

【榷淺】 (一) 船舶ノ沙灘ニ膠シテ進行スルコト能ハザルヲ謂フ。(二) 商店ノ資本缺乏シテ運轉スルコト能ハザルヲ謂フ。

【榷船】 船重ク水淺ク阻滯シテ進行スル能ハザルコトヲ謂フ。【六部成語註解】船重水淺。阻滯不行也。

【榷稻】 稻田立秋後水ヲ添ヘズ日ニ曬スコト十餘日之ヲ「榷稻」ト謂フ。(陶朱)

【樂】 樂ハ五聲八音ノ總名(文)人心ヲ和シ邪念ヲ去リ道念道心ヲ養フコトヲ目的トスルモノニシテ王道民治ノ一要件ナリ。【禮記】樂記「禮樂刑政四達而不悖。則王道備矣。」

師古註「榷者步渡橋爾。惟謂之石杠。今之略約也。禁閉其事。總入官而下無由以得。若二渡水之榷。約音酌。(同書卷)但シ、漢文帝ノ時ヨリ始マルト爲ス。【事物紀原】「通典曰。漢文帝時。初榷酒酤。治革曰。漢武帝天漢三年始榷酒酤。」(卷)

【備考】一説ニハ前記ノ如ク武帝ノ時ハ酒稅ノ徵收ヲ條件トシテ商民ニ酒ノ製造販賣ヲ許可シ、王莽篡位ノ時官始メテ自ラ酒ヲ釀シ、官專賣ト爲セリト云フ。(清國行政法八、九)然レドモ榷酒酤ハ文字上ヨリ解スレバ、酒ノ販賣ヲ榷スノ義ナルガ故ニ、官ノ專賣ト爲シタルコト殆ド疑フノ餘地ナシ。惟ダ其實際ニ於テハ酒戶ニ命ジテ釀造セシメ、之ヨリ一定ノ租稅ヲ取リ販賣セシメタルヤモ知ルベカラズ。【韻鏡】ニハ「榷酤是征稅之法」ト記ス。王莽ノ時ハ「榷酤」ト稱シテ「榷酤」トハ曰ハザリシガ如シ。(王莽)晉代ニモ之ヲ「估較」ト稱シタリト云フ。(南齊書)

【樂戶】 昔時罪人ノ妻子沒收入官セラレテ樂戶ト爲ル。其事ハ始メテ魏書刑法志ニ見ル。明ノ時山西、陝西兩省ノ民建安ノ末ニ在リテ成祖ニ附カザル者ハ凡テ樂籍ニ編入シテ賤業ヲ習ハシメ世世子孫齊民(平)ト齒スルヲ得ザラシメタリ。清ノ雍正元年始メテ之ヲ免除ス。【樂正】 官名、周禮ニ於テハ大司樂即チ大樂正、樂師即チ小樂正通シテ之ヲ樂正ト謂ヘリ。春秋戰國時代ニ於テモ樂官ノ長之ヲ樂正ト稱ス。

【注意】 樂音「ラク」ニ屬スルモノハ「ラ」ノ部ヘ出ス。

【樂府】 漢ノ武帝郊祀(天ヲ祭)ノ禮ヲ定メテ樂府ヲ立テ李延年ヲ以テ、協律都尉ト爲ス。樂府ノ名此ニ始マル。其後朝廟用キル所ノ樂章皆之ヲ「樂府」ト謂フ。尋テ歌曲皆樂府ト稱ス。漢ノ高祖ノ大風ノ歌之ヲ「三侯之章」ト謂ヒ、項羽ノ垓下ノ歌之ヲ「拔山操」ト謂フ。其他絃管ニ合スルモノハ皆樂府ヲ以テ之ヲ名ヅ

傳)唐ノ代宗ノ廣德二年州縣ニ詔シテ各酤戶(即、酒)ノ數ヲ量リ酒稅ヲ課シテ醴造販賣スルコトヲ許シ、他ハ一切醴造ヲ禁ジタリ。德宗ノ建中三年ニハ官業ニ復シ、其收利ヲ以テ軍費ノ補充ニ供セリ。後世ハ或ハ官業ト爲シ、或ハ民業ト爲シ、一定セザリシモ、概シテ酒稅ヲ課シテ民業ヲ許セリ。明清亦然リ。且ツ明以後ハ民間ノ自家用料トシテ醴造スル者ニハ課稅ヲ免ジタリ。(文獻備考)類考(類)武日知錄

【權茶】 茶ヲ官營トシ民間ノ販賣ヲ禁ズルコトヲ謂フ。【事物紀原】起ニ於唐建中元年之間。權張滂建白稅ニ其什一。一曰德宗正元八年。張滂奏收茶稅。唐會要曰。正元九年正月初稅。茶。先是張滂奏請。於三出茶州縣及茶山要路。定二三等。每十稅一。茶之有稅自此始也。一云。穆宗時王涯始榷茶。(卷)又【大學衍義補】ニハ「唐德宗ノ時始メテ茶ニ稅シ穆宗ノ時茶稅ヲ増シ率ハ百錢ニ五十ヲ増ス。王播相タ

タ。唐宋ノ長短句金元ノ南北曲ハ樂府ノ變體ナリ。

【樂部】 官署ノ名、後周初メテ之ヲ置タ。上士中士アリ。其職ハ周ノ大司樂ノ如シ。唐代亦樂部ノ名アリシモ樂隊ヲ指シテ言フニ止マリテ太常寺ニ隸屬シ、獨立セル官職ノ名ニアラズ。清代ニ至リ復ビ樂部ヲ立テ、樂ヲ掌ルノ署ト爲シ王大臣ヲシテ之ヲ兼監セシメタリ

【畫】 (部首) (韻) 【畫】 (一) 計畫ノ義【史記】荆燕世家「齊人田生游之責以畫于魯陰侯澤」註「以計畫二千

レ之也」(二) 官名、【後漢書】百官志「畫室置長一人。四百石。黃綬」(三) 境界ヲ區別スルノ義【左傳】襄公四年「芒芒禹迹。畫爲九州」

【畫諾】 凡ソ文書契約ニ對シ承諾ノ意ヲ表スル時ニ記入スル文字ニシテ今ハ「簽字」ト稱ス。【後漢書】南陽宗實主「畫諾」

【畫餅充飢】 官吏登用試験ニ虛名ヲ念トスル者其實際ニ益ナキニ喩フ。【三國志】「選舉

莫取有有名。如畫地作解」

【確】 (一) 確ハ獄(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

【取】 (部首) (韻) 【取】 (一) 取ハ取(即チ)ト同義ニシテ、被告ノ罪情ヲ確實ニスルコトヲ謂フ。(唐律)(二) 確ト通ズ。確實ノ義ナリ。【後漢書】崔寔傳「指切時要。言辯而確」又(三) 爭フノ義、角ト通ズ。【漢書】李廣傳「數與虜確」

左右覺義アリ、佛敎ニ關スル事務ヲ掌ル。

【覺舉】 官吏ガ公務ヲ失錯シタルトキ、事未ダ發覺セザル前ニ自ラ之ヲ覺知シ其失錯ノ事實ヲ自首スルコトヲ謂フ。【唐律】名例條「公事失錯ノ條」公事失錯、自覺舉者、原其罪。(五) 按ズルニ覺舉ハ一種ノ自首ナルモ惟ダ其異ナル所ハ自首ハ懺悔自新ヲ必要ト爲スガ故ニ罪ノ發覺後ト雖モ其效力ヲ認メテ罪ヲ免、減スルニ對シ覺舉ハ自ラ失錯ヲ覺知シ其失錯ノ實行ヲ免カルルヲ要件ト爲スガ故ニ他ヨリ發覺セラル、以前自ラ之ヲ届出ヅルコトヲ要スルノ點ニ在リ。【明律】「清律」ニ於テハ「一、檢舉」又ハ「自舉」ト曰フ。(例論公事失錯ノ條)

【覺摩子】 喇嘛敎ニ在リテハ男子ノ出家スル者ヲ「喇嘛」ト稱シ、女子ノ出家スル者ヲ「覺摩子」ト稱ス。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

【覺羅】 清朝ハ滿洲ヨリ起リ愛親覺羅ヲ以テ氏ト爲ス覺羅ハ滿洲語ニシテ部落ノ名ナリ。

其後皇族ノ待遇ヲ定ムルニ當リ順祖宣皇帝ノ直系子孫ヲ宗室ト爲シ、其旁系子孫ヲ覺羅ト稱シ、自ラ本支ノ區別ヲ爲スニ至レリ。

【覺羅學】 清皇室ノ支族タル覺羅ノ子弟ヲ教育スル學校ニシテ、京師ト盛京トニ二所ナリ。各其地名ヲ冠ス。共ニ雍正七年ノ創設ニ係ル。(學政全書)

【角】 (部首) (韻) 【角】 (一) 五聲ノ一、音ノ疾ク且ツ清キヲ謂フ。(二) 酒器、四升ヲ容ルルヲ「角」ト曰フ。【禮記】「畢者舉角」(三) 量器ノ四升ヲ受クルモノ亦「角」ト謂フ。(四) 俗ニ銀四十分一ヲ以テ「角」ト爲ス。(五) 公文一件ヲ亦「一角」ト曰フ。(六) 比較ノ義【禮記】「月令篇仲春角斗」註「較ニ其同異也」(七) 競爭ノ義【戰國策】「駕犀首而騁馬服。以與秦角逐」

【角招】 樂章ノ名(招ハ韻)【孟子】「蓋徵招角招是也」是レ本ト舜ノ作リタル樂章ニシテ、琴ヲ鼓シ南風ヲ歌ヒ以テ民財ヲ阜ニスルノ意

ナリ。故ニ其疏ニ「徵ハ以テ事ト爲シ角ハ以テ民ト爲ス云云」ト記ス。

【角田】 角ハ英ノ訛、豆ヲ作ル田ヲ「角田」ト曰フ。【後山談叢】「諺曰。八月一日。雨則角田不熟。角田。豆田也。角。夾之訛也」

【角帽】 帽子ノ角アルモノ、魏ノ時代、或地ノ異風行ハル。【魏書】「魏書」其俗兄弟共二一妻。夫無兄弟者。其妻戴二角帽。若有兄弟者。依其多少之數。更加角焉」

【閣】 (部首) (韻) 【閣】 (一) 閣ハ閣ト通ズ。高閣ナリ。尊貴ノ人(三公ヲ指ス)之ニ居リ、警衛ノ士其下ニ居ル故ニ謂下ノ者ヨリ書又ハ言ヲ上ルトキハ閣下ノ士ニ傳達ヲ求ムルノ意ヲ以テ閣下ト稱ス。

【因話錄】「古者三公開閣。郡主比三古之侯伯。亦有閣。故世俗書題有閣下之稱」【事物紀原】「比約宋書。三公黃閣。其事前史無文。按禮、

士與天子同。公輔大夫即異。註謂。三公與天子一體。故黃其閣。示謙不致斥。此是漢制。疑閣下之呼。出。自。此。矣。故。今。呼。三公。曰。閣下。(卷) (參照)

【閣學】 清制。內閣士ヲ呼ビテ閣學ト爲ス。但シ、其稱ハ宋代ニ始マル。【避暑錄話】「龍圖閣學士。舊謂之老龍。但稱龍圖。宣和以前直學士。直閣同爲稱。未之有別也。末年陳亨伯爲發運使。以捕三方賊。功。進。直學士。依之者。惡其下同。直閣。遂稱龍學。於是。例。以。爲。稱。而。顯。閣。直學士。數。獻。閣。直學士。欲。效。之。而。難。於。稱。龍學。學。乃。易。爲。閣學。」

【閣鈔】 清制。諭旨章奏ノ内閣ヲ經テ鈔發スルモノヲ閣鈔ト爲シ、六科ヨリ發鈔スルモノヲ科鈔ト爲ス。

【閣老】 初メハ舍人ノ年久シキ者ヲ閣老ト爲シタルガ唐代ハ給事中ヲ呼ビテ閣老ト爲ス。【資治通鑑】「唐紀。唐呼給事中爲閣老也。明以後ハ宰相ヲ稱シテ閣老ト爲セリ。」

革 (部首) (韻)

【革去】 舊法ノ弊害ヲ革除スルノ義ナリ。【元典章】吏部、教官篇「保選儒學官員」ノ條、略「革去濫保之弊」云云。(九卷)

【革所當革】 革ハ減除ノ義、公務ヲ辦理スルニ當リ、應ニ減除スヘキ事アラバ必ズ當ニ之ヲ減除スベキコトヲ謂フ。【六部成語註解】「革減除也。有ニ應レ減之所。必當レ除之。」

【革除】 明ノ成祖既ニ建武帝ノ位ヲ奪ヒ、詔シテ建文ノ年號ヲ去リ復タ洪武ノ年號ヲ稱セシム。臣下記載ヲ嫌ヒ乃チ建文間ヲ稱シテ「革除」ト爲ス。

【革職】 官職ヲ革退スルノ義ニシテ即チ官吏ノ非行アリタル場合ニ一定ノ手續ヲ經テ其官職ヲ除去スルコトヲ謂フ。(清會典)

【革職永不叙用】 官吏ガ贓汚ノ不廉罪ヲ犯シタル者、又ハ彈劾大計等ニ因リ革職セラレタル者ハ、永久ニ叙用セズ。之ヲ「革職永不叙用」ト爲ス。

叙用ト謂フ。(清會典)

【革職離任】 革職留任ニ對シ職ヲ免ジ更ニ其事務ニ與カルコトヲ禁ズルコト、官吏ノ私罪(收賄等)ヲ犯シタル者ニ適用ス。(清會典)

【革職留任】 革職ヲ免ズルモ、尙ホ四年間任所ニ留メテ事務ニ與カラシメ、過失ナキトキハ更ニ復職セシムルモノニシテ、官吏ノ公罪ヲ犯シタル者ニ適用ス。(清會典)

【革命】 革ハ變革命ハ天命ナリ。即チ暴君現ハレ天道ニ違ヒ人道ニ背キ暴虐ヲ逞クスルニ方リテ仁德ノ長者起リ、上、天命ニ順ヒ下民心ニ應ジ新ニ天子ノ位ニ即キ國政ヲ革メ民ヲ安ズルコトヲ謂フ。【易經】「離下兌上、革」ノ卦「天地革而四時成。湯武革命。順乎天而應乎人。革之時大矣哉」是レ革命ノ語ノ出所ナリ。蒙引「革命之命。是王者易姓受命之命也。【句解】湯革夏之天命。爲レ商。武革商之天命。爲レ周。上則順乎天命之所。下

則應乎人心之所。歸也。

【革留】 革職留任ノ略語ナリ。(清會典)

【額外】 官制上官吏ノ員數ヲ定メタルヲ「額定」ト曰ヒ、額定以外ヲ「額外」ト曰フ。(必シモ限ラズ。租石)【明律】「清律」吏律職制篇「濫設官吏」ノ條同文ヲ以テ「上額外濫充者杖一百。云云。」是レ其用例ノ一ナリ。(明律卷二)

【額造常課】 額造ハ毎年各所ニ於テ製造スル織造ノ豫算額ヲ謂ヒ常課ハ政府ニ上納スル一定ノ課程ヲ謂フ。【明律】「清律」工律織造篇「造作過限」ノ條同文ヲ以テ「凡各處額造常課段疋軍器。過限不納齊足者。以二十分爲率。一分工匠答二十。每一分加二。一等云云。」(明律卷二十九)

【額支】 常年支出ノ經費ニシテ一定ノ額アルモノ、即チ經常歲出ノ豫算額ヲ謂フ。

【額眞】 蒙古語、滿洲ニモ亦此語アリ。清初、

官長多ク「額眞」ト稱ス。固山額眞、「梅勒額眞」等ノ類ナリ。後ニ改メテ章京ト爲シ、額眞ノ字樣ヲ用キルコトヲ禁ゼリ。蓋シ蒙古語ノ額眞ハ主人ノ義タルガ爲ナリ。

【額設】 豫算設定ノ義ナリ。(清會典)

【額徵銀】 實徵銀ト云フニ同ジキモ、(部)實徵(額) 稍ヤ相異ナルハ額徵ノ額ハ舊額ヲ意義シ、或ハ中ニ新例ヲ含ムノ點ニ在リ。【六部成語註解】「意同上。實徵銀」但額。舊額也。應レ徵。或有ニ新例在リ内。

【額定】 官制上官吏ノ員數ニハ一定ノ額アリ之ヲ「額定」ト謂フ。(必シモ人員ニ限ラズ)【明律】「清律」吏律職制篇「濫設官吏」ノ條同文ヲ以テ「凡内外各衙門官。有ニ額定員數。云云」是レ其用例ノ一ナリ。(明律卷二)

【額駙】 清制、宗室ノ女即チ公主(我ガ邦ノ當)ノ封號、固倫公主、和碩公主ノ如キ是ナリ。【皇朝政治學問答】「問。公主有ニ何封號。答有ニ

固倫公主。有ニ和碩公主。問何謂三固倫公主。答皇后所生之女。封三固倫公主。其額駙品級與三貝子同。

【額編銀】 額ハ正額即チ毎年徵稅ノ定額ヲ意義シ、編ハ分派ノ義即チ其定額ヲ各地ニ割當テタル豫算額ヲ謂フ。【六部成語註解】「編乃分派之意。言分派各地。每年所徵之定額也。」

【鶴駕】 太子ノ駕ヲ鶴駕ト曰ヒ其居ル所ノ宮ヲ鶴禁ト曰フ。【周書】「周書」周書。乘。白鶴。二仙去。故太子駕曰鶴駕。所居宮曰鶴禁。

【鶴書】 歷士等ヲ招用スルニ用キル詔書、古ハ此種ノ詔書ノ書體ニハ鶴頭書ヲ用キタルニ因ル。漢ハ之ヲ「尺一」ト稱ス。【古今彙錄文書體】「鶴頭書。與ニ假波一書。俱詔所服用。在レ漢

則謂之尺一。【誠齋雜記】「鶴頭書。古者用之。以招隱士。」

【鶴體】 唐代考功員外郎ノ官廳ニハ鶴ヲ畫ク故ニ其官廳ヲ「鶴廳」ト曰フ。(錦字箋)

【割席】 絕交ノ義ナリ。【世說】「管寧、華歆。常同レ席讀レ書。有ニ乘ニ軒冕。過レ門者。寧讀如故。歆廢レ書出看。寧割レ席分レ坐。曰。子非吾友也。」【六帖】略ホ同一ノ記事アリ。

【割股盟】 男女相愛スルノ辭ト爲ス。【左傳】「魯莊公見ニ孟任。許以夫人。割レ股盟。公。生ニ

子般^カ焉^カ。

【喝蓋】(部首) (韻易) (又卦)

【喝蓋】 元代親王貴卿等ガ酒ヲ呑ムトキ必ズ執事ヲシテ一聲ヲ唱ヘシム。之ヲ「喝蓋」ト謂フ。(直記)

【喝道】 高官貴人ガ通行ノ際、儀衛ノ官吏ガ前列ヲ駕喝シテ通行ヲ禁止スルコトヲ謂フ。

【喝令】 大聲人ヲ督シテ他ヲ喝打セシムルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「大聲喚人。令喝之也。」

【合】(部首) (カウノ) (部二出ス)

【甲】(部首) (カウノ) (部二出ス)

【乾】(部首) (先韻)

【乾造】 婚姻契約ヲ協定スル男家ヲ「乾造」又ハ「乾宅」ト曰ヒ、女家ヲ「坤造」又ハ「坤宅」ト曰フ。【易經】乾卦坤卦ニ取ル星命家ノ説ナリ。

【乾討虜軍】 元初軍隊ノ名、宋末ダ悉ク討定セザルトキ、宋人ヲ討虜スル義ヲ以テ名ヅク。乾ハ義ヲ強クスル冠字ナリ。【元典章】兵部第一篇「乾討虜軍」ノ章アリ第一條「禁乾討虜軍人」ノ條「曩者江南未レ附。有二從軍乾討虜之人。即是討虜宋人。今宋已亡。江南皆大元之民。尙有二此等乾討虜之人。公三行劫奪。云云。」(卷三十四)

【乾沒】 (一) 投機射利ノ行爲ヲ謂フ。【史記】張湯始爲小吏。乾沒。徐廣註「乾沒。隨勢浮沈也。如津註「得利曰乾。失利曰沒。」(二) 他人ノ物ヲ以テ己レノ有ト爲スコトヲ謂フ。【五代史】李順僂與葛延遇。爲陳商賈。乾沒其貨。(三) 今ハ他人ノ委託物ヲ侵吞スルヲ「乾沒」ト爲ス。

【函】(部首) (韻) (又成)

【函夏】 函ハ方ノ義、方夏ハ即チ中國ノ謂ナリ。【文選】「函夏諳諳。此義ナリ。」(唐律疏議) (進表引用)

【函人】 甲冑ヲ製作スル工人ヲ稱ス。【孟子】公孫丑篇「矢人豈不レ仁ニ於函人。」

【函丈】 【禮記】曲禮篇「非ニ飲食之客。則布席。席間函丈。」トアルニ出ヅルノ語、函ハ容ノ義、丈ハ十尺、即チ講問ノ客ニ對シテハ席ヲ布キ、主客ノ間一丈ヲ容ル、ノ距離ヲ爲スコトヲ謂フ。其註「函猶レ容也。講問宜テ相對容レ丈。足以指書也。」王肅ハ丈ヲ以テ杖ト爲ス。即チ古人講説ヲ爲スニハ、杖ヲ用キテ指畫ス、故ニ杖ヲ容ル、ノ間ヲ開クノ義ト解ス。後世ハ師ニ對スル尊稱ト爲シ「某先生函丈」ト書スヲ例トス。

【函洞】 鐵路ノ經行スル處、阻礙アル場所ニ洞ヲ鑿チテ車ヲ通ズ。之ヲ「函洞」ト謂フ。「一ニ「油洞」ニ作ル。即チ「トンネル」ノコトナリ。

【刊】(部首) (韻) (寒)

【刊】 刊ハ本ト石ニ文字ヲ刻スルノ義、後世ハ木ニ刻スルノ義即チ書籍ヲ出版スルノ義ニ

用フ。【字彙】楊慎曰。劉歆答二楊雄二懸ニ之日月不レ刊之書。言レ不レ可ニ剗除一也。今俗誤作「剗」レ木之用。云云。(一) 周代ハ多ク木ヲ斫ルノ義ニ用ケラル。【周禮】秋官梓氏「夏至日令刊二陽木二而火之之。」

【刊誤】 (一) 文章又ハ文字ノ謬誤ヲ訂正スルコト、近世ノ正誤ト云フニ同ジ。【宋史】藝文志「劉敞漢書刊語四卷」アリ。今ハ漢書ノ註ニ散入シテ類註ノ謬誤ヲ訂正セル所多シ。(二) 唐ノ李潛「刊誤」二卷四十九篇ヲ著ハス。其書皆典故ヲ考究シ唐末ノ失ヲ正シ又古制ヲ引キテ唐志ノ誤ヲ正セリ。此等ハ其例證トス。

【刊定】 點竄改正シテ定本ト爲スコトヲ謂フ。【陳書】姚察傳「後主所レ製文筆。卷軸甚多。乃別寫二一本一付察。有レ疑悉令刊定。」

【刊落】 刊ハ削ノ義、落ハ助字、已成ノ書甲ヨリ或部分ヲ剗除スルコトヲ謂フ。【後漢書】「其書刊落不レ盡」其註「刊削也。」

【勘】(部首) (勘)

【勘校】 引キ合セテ誤ヲ訂スコト、故ニ書籍ヲ校訂スルノ義、又ハ決算其他ノ事ニ就キテ再調査ヲ爲スコトヲ謂フ。【說文註】(兩京記)

【勘合】 (一) 半印勘合即チ制印ヲ捺シテ兩分シタルモノ即チ切符ニシテ校勘對合ニ憑スルモノナリ。明代ニハ軍籍勘合、調軍勘合等ノ種類アリ清代ニハ官員差ヲ奉ジテ京ヲ出デ驛ヲ馳セ前往(即チ)スル者ニハ郵符ヲ給ス之ヲ「勘合」ト謂フ。(二) 各衙門、錢糧等收支ノ制符

【明律】清律「戶律倉庫節」挪移出納ノ條「凡各衙門。收支錢糧等物。已有文案勘合。若監臨主守不レ正取正支。挪移出納。還充官用一者。並計レ贓准ニ監守自盜一論。云云。」(明律卷七) (清律卷十一)

(三) 制符ヲ對查スルノ義ナリ。【唐律】擅興篇「不給發」ノ條疏議「執レ兵之司。得レ左符。皆用二右符二勘合。始從二發レ兵之事。」(卷十)

【勘契】 唐制、殿門ノ啓閉(トケ)ニハ魚契ヲ設ケテ對被ス。魚契ハ檀木ニ刻ミテ魚ト爲シ

金ヲ以テ鑄置ヲ飾リ、別ニ檀板ヲ刻ミテ坎ト爲ス。一ハ門使所ニ置キ一ハ宮中ニ置ク。必要ノトキハ鑰ヲ發キテ兩者ヲ勘合シ相同ジケレバ初メテ開ク。之ヲ「勘契」ト謂フ。

【勘災】 清制、災荒ノ際被害ノ狀態ヲ審ニスル爲メニ委員ヲ派遣シテ實地ヲ踏査セシムルコトヲ謂フ。夏災ハ六ヶ月ヲ限リ秋災ハ九ヶ月ヲ限リテ踏査スベキモノトシ、又被災十分ニ至ルヲ「成災」ト爲シ五分以下ヲ「勘不成災」ト爲ス。(戶部) (則例)

【勘當】 勘ハ推勘、當ハ罪ニ當ツルノ義、君父ノ命ニ背キタル者ノ罪ヲ律ニ據リテ拷問シテ刑ニ當ツルノ義ナリ。【通鑑】唐高宗紀「請更加二勘當。」元典章「吏部職制篇」三年以下疾故人員。勘當體覆。別無二規避一依レ例敘用。(卷十)

【勘同】 勘合ニ同ジク兵卒ヲ差遣スルトキニ用ケル制符ナリ。又制符ヲ對查スルノ意ニモ使用ス(勘書)ヲ見ヨ

【勘讀】 勘ハ文書ノ訛誤ヲ校閲スルコト、讀

謂ナリ。【明律】吏律公式篇、增減官文書ノ條、上ノ干、擬調撥軍馬、及供給邊方一軍需錢糧數目者、首領官吏與皆杖八十。云云。

【明律卷三】(清律卷六)

【干證】 訴訟事件ニ干連シ、其證人ト爲ル者ヲ謂フ。【六部成語註解】「干連作證之人也」

【元典章】刑部告擱篇「田土告擱」ノ條、上ノ原告人王成、被告人郭阿馬及干證人等連名狀告。云云。(卷五)

【干擄】 盜賊ヲ警衛スル夜警者、干ハ扞ト通ジ術ルナリ。擄ハ擊ツナリ。【左傳】魏公二十五年、陪臣干擄。有淫者。

【干名犯義】 (名ヲ干シ) 名ハ名分、義ハ恩義ナリ。子ガ父母ヲ告訴シ、孫ガ祖父母ヲ告訴シ妻妾ガ夫及ビ夫ノ祖父母父母ヲ告訴スルガ如キ、之ヲ干名犯義ト謂フ。又、尊長ト卑幼トノ關係亦同ジ。【明律】清律「刑律訴訟篇」干名犯義ノ條アリ。同文ヲ以テ「凡子孫告ニ祖父母父母、妻妾告レ夫、及告レ夫之祖父母父母

者、杖一百徒三年。但誣告者絞。云云。(明律卷二十八)

【干祿】 官職ニ就キテ俸祿ヲ干ムルコトヲ謂フ。【論語】爲政篇「子張學干祿。」【詩經】大雅「論語」爲政篇「子張學干祿。」

【幹】 (部首) (韻) 推草書爲「楷」君子。干祿不レ回。

【幹】 (部首) (韻) 幹ハ事ヲ能クスルノ義、疊ハ事ナリ。人ノ子ニシテ才幹アリ父母ノ失敗セシ事ヲ修復シテ之ヲ振興スルノ任ニ堪フルノ義ナリ。

【易經】易卦初六「幹二父之蠱」其九二「幹二母之蠱」(砂使) (部首) (韻)

【幹事之臣】 主ト爲リテ事務ヲ掌ルノ臣ナリ。【易經】乾卦文言「君子體仁。足以長人。貞固足以幹事。」【魏書】李勣傳「帝目而指之。謂左右曰「觀此人舉動。豈不有異。異於衆。必爲朕家幹事之臣。」幹事ノ語ハ是レ其出所ナリ。

【幹辦】 主幹辦理ノ略、主任ト爲リテ事件ノ

取扱ヲ爲スノ謂ナリ。【明律】兵律「官衙關防內使出入」ノ條ニ、幹辦は何事務。云云。(明律卷十三)

【幹辦皇城司】 (上條) (參照) 尙ホ宋代ニハ、幹辦皇城司。幹辦公事。等ノ語多ク使用セラル。

【揀】 (部首) (韻) 或ル官廳ノ長官ガ其部下ノ應ニ升スベキ人員ヲ揀選シテ、吏部ニ送リ引見ヲ仰ギテ官職ヲ補授スルコトヲ謂フ。【會典】吏部註「前以三應ノ升之員揀選。擬三正陪二引見補授。漢欽天監監正。則由本部揀定。交部具題」。

【揀選】 官吏ノ升級ヲ定ムル場合ニ候補人員中ヨリ最良ノ者ヲ揀ビテ勅選ヲ仰グコトヲ謂フ。【六部成語註解】「於三應」此缺之人中。揀選最好者。帶領引見。候旨定奪」。

【揀點衛士】 衛士ハ兵士ト言フニ同ジク。揀點ハ選取スルノ義ナリ。衛士ヲ選取スルニハ一定ノ法アリ。財均シキ者ハ強ク取リ。力

均シキ者ハ富ク取リ、財力又均シキ者ハ先ツ多丁(成年男子)ヲ取ルヲ法トス。【唐律】擅興篇「揀點衛士」ノ條「諸揀點衛士。任人取捨不レ平者。一人杖七十。三人加二等。罪止徒三年。云云」疏議ニ、揀點之法。財均者取レ強。力均者取レ富。財力又均。先取ニ多丁。云云。(卷十)

【揀點之法】 (揀點衛士) (ヲ見)

【揀發】 清制、各省ノ督撫ガ本省ノ人員差遣不足ノ時ニ候選人員中ヨリ人地相宜シキ者ヲ選ビテ奏請シ之ヲ其省ニ差遣スルコトヲ謂フ。(會典)

【揀補】 揀選シテ補授スルノ義ナリ。(授) (揀) (參照)

【檻】 (部首) (韻) 檻(木) (韻) 車上ノ欄檻ヲ施スノ事、罪人ヲ囚禁スルニ用フル車ナリ。(名) (釋)

【檻徵】 梁代禁錮ノ刑ヲ「檻徵」ト曰ヘリ。【隋

書」刑法志「坐非ニ死刑名。二千石已上。非ニ檻徵一者。並頭ニ繫之」。

【桿】 (部首) (韻) 桿(木) (韻) 衡ノ名、十斤ヨリ五百斤ニ至ルモノヲ曰フ。(清國行政)

【涵洞】 涵洞ハ河隄ノ上ニ築キ、平素水ヲ蓄ヘテ活潑ノ際ニ漸次洩出シ、灌溉ノ用ニ供スルモノナリ。【乾隆會典】「蓄洩以漸曰涵洞」。

【涵洞做法】 涵洞ニ關スル要項ヲ定メタル法規ヲ謂フ。(例工部)

【漢軍缺】 清朝ニ於テハ滿洲ヲ除キ官職ノ所屬ヲ分チテ(一)蒙古缺(二)漢軍缺(三)漢缺ノ三種ト爲セリ。缺ハ官職ノ空位、其レ其レ專屬アリ。(ケレ) (部首) (韻) 漢軍ニ專屬スルモノハ欽天監從六品秩官正、內閣侍讀、典籍中書、都院堂主事、大理寺寺丞、太常寺博士等ナリ。

【漢缺】 清制、漢人ニ專屬スル官職、例セバ宗人府丞、順天府尹、府丞、治中、通判、經歷、照磨、司獄、崇文門副使、奉天府府丞、經歷、司獄、順天府ノ大興、宛平二縣、奉天府ノ承德縣ノ知縣及ビ其屬官、禮部、鑄印局員外郎及ビ大使、會同四譯官大使序班、五城兵馬司ノ官吏太常寺天壇、地壇、朝日壇、夕日壇、先農壇、帝王廟等ノ祠祭署奉祀及ビ祀丞、神樂署署正等並ニ國子監學正、學錄、典籍、宗室、成安宮、覺羅、景山、八旗官學ノ教習、太醫院使以下ノ官吏、鑾儀衛經歷等ナリ。此等ニ缺員ヲ生ジタルトキハ直チニ候補官ヲ以テ補充スルヲ法トス。(會典)

【漢子】 俗ニ「男子」ヲ謂ツテ漢子ト曰フ。然レドモ男子ノ美稱ニ非ラズ、今人ハ賤丈夫ノ稱ト爲ス。蓋シ此語ハ五胡華ヲ亂ルノ時ニ始マ

ル。北齊ノ魏愷ガ散騎常侍ヨリ青州ノ長史ニ遷サルヤ固辭シテ就カズ、文宣帝大ニ怒リテ曰ク「何物ノ漢子ガ官ヲ與ヘテ就カズト、是

レ其出所ナリ。

【漢把】雲南沿邊ニ居住スル漢人ヨリ成ル團體ノ頭目ヲ謂フ。【六部成語註解】「雲南沿邊漢人之頭目。亦有此稱。」

甘 (部首) (韻)

【甘結】誓約ノ義、若シ誓約者ガ其誓約ニ虚偽アルトキハ甘ジテ刑罰ヲ受クルコトヲ結約ス。故ニ「甘結」ト曰フ。例セバ裁判ノ言渡ニ際シ其本人ニ命ジ不服ナキ證據トシテ承認書ヲ作り之ニ結印セシムルノ類ナリ。尙ホ訴訟事件ニ於ケル證人ヨリ徵スル甘結ハ我訴訟法ノ「宣誓」ト略ホ同様ナリ。【六部成語註解】凡官府斷案既定。或將財物。合二事主領回者。均命二人作一情甘結。命之據。上寫「花押」。謂之甘結。其一例ナリ。但シ此語ハ宋代ヨリ已ニ用キラレタルガ如シ。【續通鑑】「宋寧宗時禁二偽學。詔官司守。無舉致官。并子奏。願前一具。甘結。申明。並非。偽學人。」ト記ス。

【甘薯錄】乾隆中、山東按察使陸燿燾ガ甘薯ノ効用ヲ説明シタル記録、之ヲ民人ニ刊布シテ甘薯ノ栽種ヲ勸誘シタリ。(東華) 【甘棠之愛】甘棠ハ詩經召南ノ篇名、周召公ノ王化ヲ布宜スルトキ棠樹ノ下ニ宿リシコトアリ。因テ後人「甘棠黨」ヲ作ル。「蔽芾甘棠。勿剪勿伐。召伯之所憩。」云云。故ニ國民ガ良官ヲ敬慕スルノ語ト爲ス。 【甘露之變】唐ノ玄宗ノ時宰相李訓宦官ヲ誅セントコトヲ謀ル。乃チ人ヲシテ金吾總事官廳後ノ石榴上ニ甘露降ルト奏セシム。帝宰臣ヲシテ之ヲ視セシメテ毒ヲ化士真ニ諸宦官ヲ率キテ往カシム。士真至リテ執兵ノ者無數ナルヲ見、驚キ走リテ變ヲ告グ。是ガ爲メニ事、豫謀ニ反シ僅ニ宦官十餘人ヲ殺スノミ。之ヲ「甘露之變」ト謂フ。 【監】監ハ諸侯國ヲ監視スルノ官職、周代ノ「三監」ノ略ナリ。【書經】周書篇「王啓監。厥亂爲民。云云」蔡沈ノ註「監、三監之監。康叔亦受三監内之民。當時亦謂之監。故武王以三先王啓監之意。而告之也。」蓋シ國ニ監ヲ置タコトハ黄帝ノ時ニ始マル即チ諸侯ノ勳爵ヲ監視スルノ官ナリ。【書】同陳大猷ノ註、周禮建「牧立監。以維邦國。自黃帝已立。左右監。以監視萬國。乃諸侯之長也。」蓋シ黄帝ノ當時ハ左右二官ナリシモ周ハ三人ヲ置キタルガ故ニ三監ト稱ス。秦ニ及ビテハ郡ニ監ヲ置キ郡守ノ行動、郡政ノ正否ヲ監視セシメタリ。(三監對照) 【監印】官印ノ使用ヲ取締ムルコト、凡ソ公文ヲ施行スルトキニ用キルノ印ハ監印ノ官アリテ其内容ニ差ナキヲ審ニシ然後ニ之ヲ印用ス。【舊唐書】職官志「凡施行公文。應印者。監印之官。審二事目無差。然後用之。」 【監于茲祥刑】(技ノ祥刑) 刑ハ不祥ノ事ナリト雖モ袁宏ヲ刑シテ善長ヲ扶クルヲ目的トス。故ニ祥刑ト爲ス(刑ノ祥見) 諸侯ハ天子ノ赤子タル國內ノ民ヲ監視スルニ此祥刑

効用ヲ説明シタル記録、之ヲ民人ニ刊布シテ甘薯ノ栽種ヲ勸誘シタリ。(東華)

【甘棠之愛】甘棠ハ詩經召南ノ篇名、周召公ノ王化ヲ布宜スルトキ棠樹ノ下ニ宿リシコトアリ。因テ後人「甘棠黨」ヲ作ル。「蔽芾甘棠。勿剪勿伐。召伯之所憩。」云云。故ニ國民ガ良官ヲ敬慕スルノ語ト爲ス。

【甘露之變】唐ノ玄宗ノ時宰相李訓宦官ヲ誅セントコトヲ謀ル。乃チ人ヲシテ金吾總事官廳後ノ石榴上ニ甘露降ルト奏セシム。帝宰臣ヲシテ之ヲ視セシメテ毒ヲ化士真ニ諸宦官ヲ率キテ往カシム。士真至リテ執兵ノ者無數ナルヲ見、驚キ走リテ變ヲ告グ。是ガ爲メニ事、豫謀ニ反シ僅ニ宦官十餘人ヲ殺スノミ。之ヲ「甘露之變」ト謂フ。

【監】監ハ諸侯國ヲ監視スルノ官職、周代ノ「三監」ノ略ナリ。【書經】周書篇「王啓監。厥亂爲民。云云」蔡沈ノ註「監、三監之監。康叔亦

受三監内之民。當時亦謂之監。故武王以三先王啓監之意。而告之也。」蓋シ國ニ監ヲ置タコトハ黄帝ノ時ニ始マル即チ諸侯ノ勳爵ヲ監視スルノ官ナリ。【書】同陳大猷ノ註、周禮建「牧立監。以維邦國。自黃帝已立。左右監。以監視萬國。乃諸侯之長也。」蓋シ黄帝ノ當時ハ左右二官ナリシモ周ハ三人ヲ置キタルガ故ニ三監ト稱ス。秦ニ及ビテハ郡ニ監ヲ置キ郡守ノ行動、郡政ノ正否ヲ監視セシメタリ。(三監對照) 【監印】官印ノ使用ヲ取締ムルコト、凡ソ公文ヲ施行スルトキニ用キルノ印ハ監印ノ官アリテ其内容ニ差ナキヲ審ニシ然後ニ之ヲ印用ス。【舊唐書】職官志「凡施行公文。應印者。監印之官。審二事目無差。然後用之。」 【監于茲祥刑】(技ノ祥刑) 刑ハ不祥ノ事ナリト雖モ袁宏ヲ刑シテ善長ヲ扶クルヲ目的トス。故ニ祥刑ト爲ス(刑ノ祥見) 諸侯ハ天子ノ赤子タル國內ノ民ヲ監視スルニ此祥刑

ヲ以テシ惡ヲ懲シテ善ヲ勸ムルノ謂ナリ。【書經】呂刑篇「受三嘉師。監于茲祥刑。」

【監人犯】獄内ニ監禁スル犯罪人ヲ指スノ語ナリ。(清律刑)

【監禁】支那法ニ於テハ正刑トシテハ禁錮ノ刑ナキモ徒刑中或ル必要上永ク監禁スルモノアリ、之ヲ「永遠監禁」ト稱ス。(會典)

【監候】死刑ノ執行ニ「監候」ト「立決」(即立決)トノ二種アリ。監候ト云フハ被告ヲ獄中ニ監禁シ秋審ノ後ヲ候ナテ決行スルノ義死罪中稍ヤ恕スベキ者、又ハ疑アル者ニ行フ特例ニシテ、秋審ノ結果ハ減刑セラレ、例トス。

【六部成語註解】監之獄中。以持秋審之後一處治。(清律刑)

【監國】(一)監ヲ指シテ監國ト曰フ。諸侯國ヲ監視スルヲ職ト爲ルニ因ル。前掲「監」條註ノ下項「三者所」以開「置監國」者。其治本爲「民而已」。(二)天子行幸、不在ノトキハ太子留守ス。之ヲ監國ト謂フ。(左傳及)

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

【監御史】秦ハ御史(天子ノ秘書官)ヲ以テ諸郡ヲ監理セシメ之ヲ「監御史」ト謂フ。漢惠帝三年御史ヲ遣ハシテ三輔郡(京兆扶風馮翊)ヲ監シテ同監(事件)ヲ察セシム。一時中止セタルモ後復之ヲ興シ州縣ニモ配置シタリ。文帝十三年御史往往法ヲ奉ゼズ其職ヲ失スル者アリ因テ丞相史ヲ以テ出刺セシメ並ニ監察御史ヲ督察セシム。武帝元封元年御史ノ監察ヲ止メテ刺史ヲ置ク唐制ハ御史臺ノ下ニ三院アリ。(一)都(三院) 其三ヲ察院ト曰ヒ其長官ヲ「監察御史」ト曰フ。彈劾ノ事ヲ掌ル。明ハ監察御史ヲ置キ布政司ノ事務ヲ分掌セシム。其主要ナルモノハ百官ヲ糾劾シ文卷ヲ照刷シ刑名ヲ問擬スル等ニ在リ。(大學衍義) 兼テ又天下ノ藩服ヲ巡按セシメタリ。(同上) 【監斬官】死刑ノ執行ヲ監視スルノ官、即チ我國法ノ檢事ニ當ル。【六部成語註解】「監」視刑之官也。 【監試官】科擧ノ試場ヲ監視シ、不正ヲ檢舉

「南監本」北監本ノ別稱アリ。

【監門】 科擧ノ試験場ノ門ヲ監守シテ其出入ヲ嚴ニスルコトヲ謂フ。【事物紀原】「宋朝會要」曰。雍熙二年正月詔設監門。試九九經諸科。輪番差官二人。在二省門。監守。此試院監門之始也。洎宋眞宗景祐四年十二月十三日。乃命嚴類等一專監門也。【卷三】

【監門之養】 門ヲ守ル賤役ノ食料ヲ謂フ。【史記李斯傳】

【監臨】 職ニ地方各官廳ニ蒞ミテ部屬亦ハ部民ヲ監督スル權限ヲ有スル者及ビ或ル事件ニ對シテ判斷權ヲ有スル者ハ皆監臨ト稱ス。【唐律】「名例篇」之ニ關スル一條ヲ置キ、諸稱「監臨」者。統攝案驗爲「監臨」。ト規定ス。其註、謂州縣鎮戍折衝府等判官以上。各於其所部之內。總爲「監臨」。云云。疏議ハ統攝ト案驗トヲ分チテ、統攝者。謂内外諸司長官。統攝所部一者。案驗。謂諸司判官。例ニ斷其事者上是也。ト説明ス。

【監臨部主見知故縱】 地方ノ監督官ガ其部下ノ不法行爲ヲ見知シナガラ故ラニ之ヲ放縱スルコトヲ謂フ。【晉書刑】「フ」ノ部、部主參照

【看語】 (一)ニ「審單」又ハ「讞語」ト曰フ。即チ擬律權アリテ定罪權ナキ裁判所【地方裁】ガ

【看銀捕平科】 地稅附加稅ノ一名稱、舊時臺灣等ニ使用セラレタリ。【臺南縣誌】

【看目】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

重大事件ヲ訊問、審議シ之ニ對シテ律條ノ適用ヲ擬定シタルモノヲ謂フ。【清律】「斷獄篇」有「判決因等第」ノ條附例、備敘案由。確加三看語。【福惠全書】「看語即審單也。亦曰讞語。其法或先斷一語。而後序事。或先序事而後斷。必須前後照應。云云。【六部成語註解】「審判之評語也。」

【看柵】 柵内ヲ巡看スル者、即チ賤役ノ名ナリ。【福惠全書】

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【看】 (部首) (又) 翰

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

【簡書】 諸侯、隣國ニ蘇アルトキ簡書ヲ作り

兵ヲ出シテ之ヲ救ハシム。簡書ハ詩傳ニハ、戒命ト註シ左傳ニハ、同惡相恤ムノ謂ト記ス。【詩經】小雅出車篇、豈不懷歸畏此簡書。傳「簡書、戒命也。【左傳】閔公元年、詩云、豈不懷歸。畏此簡書。簡書、同惡相恤之謂也。謂救那。以從簡書。」

【簡任】 民國新制、高等文官ヲ任用スルコト同時ニ高等官ノ稱ナリ。我奏任ニ該當ス。【特任】參照

【簡拔】 衆人ノ中ヨリ擇ビ拔クコト即チ選抜ト云フニ同ジ、諸葛亮【出師表】「是以先帝簡拔以遺陛下。」

【簡字】 簡字トハ書經呂刑篇ニ出ヅルノ語罪狀ヲ審查シ、犯罪ノ事實ガ法刑ニ合致シテ疑ナキコトヲ謂フ。【簡字】參照

【簡命】 簡ハ選ブノ義、適任者ヲ選ビテ職務ヲ命ズルコトヲ謂フ。【大學衍義補】丘津曰ク「簡命簡儒臣之通三法意者爲之解釋。」【卷百三】

【簡命】 簡ハ選ブノ義、適任者ヲ選ビテ職務ヲ命ズルコトヲ謂フ。【大學衍義補】丘津曰ク「簡命簡儒臣之通三法意者爲之解釋。」【卷百三】

【翰】 (部首) (又) 翰

【翰】 (部首) (又) 翰

【翰】 (部首) (又) 翰

【翰】 (部首) (又) 翰

【翰】 (部首) (又) 翰

【翰】 (部首) (又) 翰

元六年又改メテ「翰林學士」ト爲シ、將相ノ拜免、號令征伐等ニ關スル詔詔ハ皆其管掌ニ委シタリ。此ヨリ地位漸ク進ムルト共ニ、其勢望大ニ高マリ、實ニ宰相ヲ凌グノ概アルニ至レリ。降リテ清朝ニ及ビテモ翰林院ハ碩學名儒ノ輩ヲ重シテ重シラレ、殿試第一甲及第者ハ皆之ニ採用セラレ。今其職員ノ重ナル者ヲ舉グレバ掌院學士、侍讀學士、侍讀、侍講、修撰、編修、檢討等ナリ。其職權ハ公然行政事務ニ關係ナキモ、事實上ノ皇帝ノ顧問及ヒ詔書トシテ重命ニ與カリ隱然トシテ一大勢力ヲ有セリ。

【翰林學士】 (前條ヲ見)

【翰林待詔】 (前條ヲ見)

【汗】 (部首) (韻)

【汗食思政】 (汗食政) 思ヲ國政ニ致シテ食ノ時期運ルルノ義、天子ノ國政ニ勳績スルコトヲ謂フ。【蜀志】「諸葛亮上疏曰。陛下幼勞帝業。汗食思政。但シ汗食ノ語ハ左傳昭公

二十年、楚君大夫其汗食乎」其註、謂二欲食而不也。是レ其出所ナリ。蓋シ即チ昔時ニ於テハ天子ニ限ラズ廣ク國政勳績ノ義ニ用キタルモノナリ。

【艱】 (部首) (韻)

【艱阨】 年穀ノ熟セザルヲ謂フ。(「イ」ノ部見)

【諫】 (部首) (韻)

【諫】 諫ニ五種アリ。一、語諫(語言ヲ)、二、降諫(其體ヲ卑下)、三、懇諫、四、直諫、五、風諫(シテ諫ム)

是レ孔子ノ言トシテ傳フル所ナリ。【增補四書人物考】「孔子曰。忠臣之諫、君有五義焉。一曰「諫諍」、二曰「諫諍」、三曰「諫諍」、四曰「諫諍」、五曰「諫諍」。【卷】蓋シ也。【三】「諫諍」。【四】「諫諍」。【五】「諫諍」。【卷】蓋シ也。【惟度】主而行レ之。吾從「風諫」手。(七)蓋シ也。【孔子家語】「辨政篇」取ル。曰ク「孔子曰。諫有五義。一曰「諫諍」、二曰「諫諍」、三曰「諫諍」、四曰「直諫」、五曰「諫諍」。惟度、主以行之。吾

ト。元ハ諫院ヲ置キ遺闕ヲ規諫スルコトヲ掌ラシム、左右各諫議大夫ヲ立ツ。(古今事文類聚新集卷二)「明ニ至リテ之ヲ廢ス。(ト)部登」

【諫鼓】 臣民ヨリ朝廷ニ進諫セントスル者ノ爲メニ朝廷ノ門外ニ鼓ヲ備ヘテ之ヲ打タシム。【大戴禮】「保傳篇」於「是」有「進善之鼓」有「辨諍之木」。有「敢諫之鼓」。【淮南子】「曉置「敢諫」之鼓。身立「辨諍」之木。後世モ鼓ヲ設ケテ進諫ヲ歡迎シタルコト、歷朝概シテ「登聞鼓」ノ設アルニ依リテ知ルベシ。(ト)部登

【諫正】 司諫ト正言トノ合稱。宋、雍熙五年詔シテ「補闕」ヲ改メテ「左右司諫」ト爲シ、拾遺ヲ「左右正言」ト爲ス。【事物紀原】「唐武后垂拱中。置「拾遺補闕」掌「諫諍」。中宗以來有「左右」開元時。左屬「門下」。右中書。會要云。垂拱元年二月二十九日也。宋朝要會曰。雍熙五年二月。詔改「補闕」爲「左右司諫」。拾遺爲「左右正言」。蓋太宗欲令「諫官修其職業」。故改「其官

從「諫諍」手。

【諫院】 諫議大夫ノ諫署ヲ「諫院」ト曰フ。宋代既ニ之アリ。司馬光「諫院題名記」ヲ撰ス。其後之ヲ開カザリシガ元ニ入りテ亦之ヲ設ク。

【諫垣】 (上) (同)

【諫議大夫】 諫議大夫ノ略ナリ。(下條ヲ見)

【諫議大夫】 秦、郎中令ノ屬官ニ諫議大夫アリ。常員ナク多キハ數十人ニ至ル。漢ハ武帝ノ元狩五年初メテ諫議大夫ヲ置ク秩八百石ニ比ス。後漢ハ諫議大夫ト爲ス。秩六百石ナリ。後魏ハ亦諫議大夫ヲ置ク。後齊ハ集書省ニ諫議大夫七人アリ。後周ハ地官府ニ保氏下大夫アリ、天子ヲ規諫スルヲ以テ其任トス。武成三年初メテ太子諫議大夫四員ヲ置ケリ。隋ハ門下省ニ諫議大夫七人アリシモ煬帝ニ至リテ之ヲ廢ス。唐ハ武德中諫議大夫ヲ置ク。龍朔二年改メテ正諫大夫ト爲シ、後又諫議大夫ヲ置ク。開元以來正諫大夫ヲ廢シ諫議大夫ヲ復ス。貞元四年分チテ左右ト爲シ左ハ門下(省)

號一也。然則禮地官之屬有司諫。則周己名官矣。唐書朱滔傳。建中三年滔僭稱王。後二年聘張遵王道一爲司諫。則滔又以此名立一官也。(五) (卷)

【趕】 (部首) (韻)

【趕】 (部首) (韻)

【趕趁人】 雜劇雜技ヲ爲ス者ノ總稱ナリ。【武林舊事】「吹彈、舞拍、雜劇、雜扮、泥丸、鼓板、鼓、花彈。不可「指數」。總謂「趕趁人」。

【趕拿】 迅速ニ逮捕スルコトヲ謂フ。【福惠全書】「及至趕拿。彼已遁身而去矣。」

【衙】 (部首) (韻)

【衙】 衙ハ官位ノ義【正字通】「官吏階位曰衙」。【封氏聞見錄】「所「以名爲衙者。如「人衙」物。取「其連絡之義」。凡必備「書所」官。包含無遺也。國事及比公共事業ニ功勞アル者等ニ對シテ特ニ品官待遇ヲ賜フ。之ヲ「予衙」ト謂フ。通

ニ諫シ右ハ中書(省)ニ隸ス。元和元年勅シテ左諫議大夫ノ左字ヲ去シメ、右諫議大夫ハ四員並ニ停ス。宋ハ五代ノ弊ヲ承ケ名實相伴ハズ眞宗天禧元年兩省ニ詔シテ諫官六員ヲ置キ職務ヲ兼ネズ。三年李虛己ヲ以テ諫議大夫ト爲シ職ニ充ツ。其後員缺タルモ補ハザリシガ天聖ノ初封事ヲ上ル者以テ言ヲ爲ス。詔シテ孔延、魯劄隨ヲ並ニ右正言ト爲ス。而シテ諫大夫ハ他ノ職ヲ兼ヌルコト猶ホ故ノゴトシ。慶曆四年詔シ今ヨリ諫官ニ除セラレ、者ハ見任輔臣薦ムル所ノ人ヲ用ケルコト毋ヲシム。元豐ノトキ正名、左右諫議大夫ヲ諫垣ノ長ト爲シ首責ヲ專トス。左ハ門下ニ隸シ右ハ中書ニ隸シ同ジク規諫諭ヲ掌ラシム。凡ソ朝政國法、大臣ヨリ百官ニ至ルマデ任其人ニ非ザルカ、又ハ三省ヨリ百司ノ事ニ至ルマデ失當アルトキハ皆諫正スルコトヲ得、靖康元年詔ス、蓋諫ハ天子耳目ノ官、宰執當ニ薦舉スベカラズ當ニ親駕ヲ出スベシ。永ク定制ト爲ス。

常ハ實職ヲ有セザル者ニ予フルヲ例トス。故ニ之ヲ「虛衛」ト謂フ。實缺者(即チ現ニ予フルトキハ特ニ之ヲ「加衛」ト謂フ。(六部成語註解)【衛缺】官位又ハ原任ノ官職ヲ衛ト爲シ、現在ノ職分ヲ缺ト爲ス。兩者ノ地位ガ同等ナルコトヲ「衛缺相當」ト曰フ。【六部成語註解】原任ノ官職。與ニ現在之缺分ノ相同。曰ニ衛缺相當トス。

【衛缺相當】(前條ヲ見ヨ)

【衛杖】古、行軍ノ時軍士ヲシテ杖ヲ衛マシム。杖ハ狀、著ノ如キモノ横ニ口中ニ衛ミ組ヲ以テ其兩頭ヲ繋ギ之ヲ項後ニ結ブ。故ニ偶語スル節ハズ。是レ喧囂ヲ禁ズルノ方法ナリ。

【衛牧氏】官名、秋官ノ屬、詔譯ヲ禁止スルコトヲ職トス。即チ警察官ノ一種ナリ。(周禮氏)

【衛命】上命ヲ奉ジテ出使スルコトヲ謂フ。【漢書】孫寶傳「臣幸得「衛命」而使。職在「刺舉」。元ハ「禮記」「衛命」而使。云云。トアルニ

出ヅ。

【閉架】(部首) (訓) 家屋ノ一部、屋ノ閉架(木ヲ架シテ屋ヲ作ル、立ツル所ノ兩木) 廣狹ヲ視テ稅ヲ課ス。法トス。唐ノ建中四年ニ之ヲ定ム。凡ソ三等ニ分チ上層ハ稅錢二千、中層ハ一千、下層ハ五百ト爲ス。

【閉架稅】唐代家屋稅ノ一種、屋內閉架ノ大小ヲ視テ稅ヲ課セリ。【唐書】「建中四年稅二層閉架。上層稅錢二千。中稅千。下稅五百。」

【閉罪】(國語)齊語、宥「閉罪」トアルニ出ヅルノ語、刑罰ノ疑シキモノヲ謂フ。

【閉雜人】其事ニ關係ナキ人ト云フノ義、略シテ閑人トモ謂フ。俗ニ無用ノ人ト云フニ當ル。

【閑散】未ダ仕官セザル者、又ハ現職ヲ退キテ只ダ衛ヲ有スル者ヲ指スノ語ナリ。但シ前者ハ單ニ閑散ト稱シ、後者ハ閑散官ト稱スルヲ例トス。(清會典) (吏部)

曰ニ内仗。朝罷放仗。天子出則有「細仗黃廳仗。」

【宋史】儀衛志「文謂之儀。武謂之衛。」

【儀制清吏司】清制禮部四司ノ一、郎中滿洲二人、漢一人、員外郎滿洲三人、漢一人アリ。嘉慶、軍機、學校、科舉ノ儀禮ヲ掌ル。(清會典) (禮部)

【儀曹】禮部ノ先身、後魏ノ時儀曹尙書ヲ設ク。是レ其始メナリ。北齊ハ殿中尙書ノ下ニ儀曹ヲ置キテ吉凶ノ禮制ヲ掌ラシム。(清國法卷) 其後暫ク禮部ト稱シタルコトアリシモ隋ハ一時禮部ヲ改メテ儀曹ト爲ス。【杜氏通典】禮制「隋改禮部ニ爲儀曹」。然ルニ六部ノ制ヲ立ツルニ及ビテハ禮部ノ範圍ニ屬シタルコト推シテ知ルベシ。

【儀同三司】官名、漢高帝ノ時、鄧騭車騎將軍、儀同三司ト爲ル。其名此ニ始マル。儀制三公ト同ジレトノ義ニ出ヅ。魏、晉南北朝ハ儀同ノ號甚ダ多シ。周ハ儀同三司ヲ改メテ儀同大將軍ト爲ス。仍ホ増シテ上儀同大將軍ヲ置ケリ。隋ハ以テ散官ト爲シ唐ハ初メ上開府

【閑騎】馬ヲ養フ所ナリ。(閑ヲ見ヨ)

【閑廐使】唐代典章ノ牛馬ヲ掌リタル官名ナリ。【唐書】百官志「聖歷中置閑廐使。以廐中監承恩遇。者爲之。分領殿中太僕之事。專掌典章牛馬。」

【閑】(部首) (訓) 馬ヲ養フ所ナリ。(閑ヲ見ヨ)

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【儀衛】(部首) (支) 朝會ノ時、又ハ出御ノ時、天子ヲ護衛スル儀仗兵ナリ。【唐書】儀衛志「アリ、朝會之仗。三衛番上。分爲三五仗。皆帶刀提仗。列於東西廊下。每日以三四十人立內廊閣外。號

【閑散官】(前條ヲ見ヨ)

【閑諜】閑ハ往來ノ義、諜ハ視候(動靜ヲ視)ノ義、即チ軍事探偵ヲ謂フ。【唐律】「擅與爲「諜」告賊消息」ノ條、其非「征討」而作「閑諜」云云。疏議「閑、謂「往來」。諜、謂「視候」。傳「通國家消息」。以報「賊徒」。云云。(卷十)【齊雅】「閑、俱也。」註「左傳謂之「諜」。今細作也。」

【閑補】候補人員ノ種類(即チ)ハ頗ル多數ナルガ故ニ其補用スベキ場合ニハ先ヅ甲班ノ一人ヲ補用シ、第二回目ニハ乙班ノ一人ヲ補用シ、又第一次ハ正途出身者ヲ補用シ、第二次ニハ捐納者ヲ補用スル等、開テ隔テ、補用スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「候補の官。有ニ許多的班名。每有ニ缺出。先補ニ此班一人。再有ニ缺出。則補ニ彼班一人。如ニ第一次出缺。補ニ正途班。二次缺出。補ニ捐班ニ之類。」

【閑】(部首) (訓) 閑ハ門中木アルノ字、木ヲ以テ門ヲ防グノ貌ナリ。(說文及) 故ニ防、禦又ハ法

儀同三司ト稱シタルガ後改メテ上輕車都尉ト爲シ閑府儀同三司ヲ輕車都尉ト爲シ儀同三司ヲ騎都尉ト爲ス。後ニ又閑府儀同三司ヲ復シ文散官ト爲ス。宋元之ニ因リ明ニ至リテ廢ス。

【儀同將軍】(前條ヲ見ヨ)

【儀賓】清制、親王、郡王ノ女孺ヲ謂フ。禮儀ニ明習シ、國王ノ賓タルニ適スルノ義。【易經】「利用レ賓ニ于國王」ニ取ル。

【偽學】(部首) (訓) 宋ノ寧宗ノ時韓侂胄政ヲ秉リ大ニ白己ノ勢力ヲ張ランガ爲メニ己レニ異ナル者ヲ除カント欲シ、道學者ヲ目シテ偽學ト爲セリ。其主張ハ放肆縱恣ハ人ノ眞情ナリ。廉潔己ヲ修ムルハ皆偽ナリト曰フニ在リ。乃チ此主義ニ依リテ朱熹ノ官ヲ削リ蔡元定ヲ道州ニ放ツ等朝廷ノ清士殆ト地ヲ拂ハントセリ。然モ論議沸騰シ、己レノ身ノ危キヲ恐レ、乃チ其禁ヲ弛ウス。(宋史韓侂胄傳)

【閑】(部首) (訓) 閑ハ門中木アルノ字、木ヲ以テ門ヲ防グノ貌ナリ。(說文及) 故ニ防、禦又ハ法

【閑】(部首) (訓) 閑ハ門中木アルノ字、木ヲ以テ門ヲ防グノ貌ナリ。(說文及) 故ニ防、禦又ハ法

【閑】(部首) (訓) 閑ハ門中木アルノ字、木ヲ以テ門ヲ防グノ貌ナリ。(說文及) 故ニ防、禦又ハ法

【閑】(部首) (訓) 閑ハ門中木アルノ字、木ヲ以テ門ヲ防グノ貌ナリ。(說文及) 故ニ防、禦又ハ法

【偽造】

(甲)此ニ云フ偽造ハ、偽寫ニ對シテ皇帝ノ御印即チ八寶(本條ヲ)及ビ三后、皇太子ノ寶(印ノ)ヲ妄擬シテ造ルコトヲ謂フ。右以外ハ、偽造ト曰ハズシテ「偽寫」ト謂フ。唐律「詐偽篇、偽造皇帝寶」ノ條、諸偽造皇帝八寶者斬。太皇太后、皇太后、皇后、皇太子寶、皇太子妃寶流三千里。(卷二)

(乙)唐代金ヲ偽造スルノ種類凡ソ十四種アリ、唐六典ニ之ヲ記ス。一、鎊金ト曰ヒ二、拍金ト曰ヒ三、鎊金ト曰ヒ四、鎊金ト曰ヒ五、碎金ト曰ヒ六、披金ト曰ヒ七、泥金ト曰ヒ八、鑄金ト曰ヒ九、摻金ト曰ヒ十、錢金ト曰ヒ十一、團金ト曰ヒ十二、貼金ト曰ヒ十三、嵌金ト曰ヒ十四、裏金ト曰ヒ十五。日知錄之條「唐六典有二十四種金。曰鎊金。曰拍金。曰鑄金。曰摻金。曰披金。曰泥金。曰錢金。曰摻金。曰錢金。曰團金。曰貼金。曰嵌金。曰裏金。(卷二)」

【偽寫】

印章ヲ偽作スルコト、皇帝ノ御印即チ八寶及ビ三后、皇太子妃ノ印以外ハ偽造ト曰ハズシテ偽寫ト曰フ。即チ官文書印、宮殿門符、發兵符、傳符等ハ皆偽寫ト稱ス。前者ハ玉ヲ以テ造リ後者ハ銅ヲ以テ爲ルヲ以テナリ。唐律「詐偽篇、偽寫官文書印」ノ條「諸偽寫官文書印者、流二千里。餘印徒一年。其脚註、寫、謂ニ似效而作。疏議、上文稱レ偽造皇帝八寶。以レ玉爲レ之故曰レ造。此云レ偽寫官文書印。即以レ銅爲レ之。故稱レ寫。(卷二)」

【偽朝】

正統ノ朝廷ニ對シテ僭稱ノ朝ヲ指稱ス。李密陳情表「臣少事二偽朝。云云。」

【贗】

贗ナリ。唐代ハ金ヲ以テ贗ヲ鑄造シ四方ヨリノ投書ヲ受クルノ用ニ備フ。之ヲ掌ル者ヲ「理贗使」又ハ「知贗使」ト稱ス。(部「發開檢院」)

【贗函】

唐、武后垂拱二年、贗函ヲ置キテ庶民ノ申訴ヲ受クルノ用ニ備フ。即チ下情ノ上達ヲ計ルノ目的ニ出ヅ。事物紀原「唐會要曰。

武后垂拱二年六月置贗函以達下情。蓋取白獸楨之義也。今登聞所投。此其始也。梁天監元年於公車府立謗木。脚石一置。函。欲有二橫議。投謗木於函。則唐之置贗函用レ此也。宋朝興國九年七月。改爲檢。而民間猶呼レ之。(卷一)

【贗使】

唐制、通政司ノ別稱、錦字箋、唐垂拱中置。贗使院。主申天下之滯宜。萬人之情。(書一)

【贗盟】

盟即チ國際條約ノ締結要件ガ薄弱ナルコトヲ謂フ。「左傳」「卿不レ書。贗盟也。於レ是乎長。晉而竊與レ楚盟。故曰「贗盟」。疏「私竊爲レ盟。盟終不レ固。此盟是贗乏之道也。」

【奇】

(部首) (支) (大)

【奇贏】

奇零ニ對シ計算ノ數ニ餘アルノ義又ハ商賈ノ餘利ノ義、贏ハ餘ナリ。「漢書」「商賈大者。積貯倍息。小者坐列販賣。操其奇贏。」

【奇貨】

珍奇ナル貨物ノ義、豫メ、買ヒ置キテ後日大利ヲ博スルノ義ニ用フ。「史記」「呂不韋傳、秦子楚質於趙。積不レ禮レ之。呂不韋買鄒軫。見而憐レ之。曰。此奇貨可レ居也。不韋ハ元ト商人。故ニ太子ヲ以テ貨物ニ比スナリ。」

【奇貨可居】

(前條ヲ)

【奇衰】

奇邪ト云フガ如ク中正ニ反スルコトヲ謂フ。「周禮」「天官冢宰之職、去其淫怠與ニ奇衰之民。」

【奇羨】

商賈ノ贏チ得ル所ノ餘利ヲ謂フ。「史記」「中國委輸。時有ニ奇羨。」

【奇請它比】

奇請ハ法律條文ノ外別ニ記スル所アリテ罪ヲ定ムルヲ謂ヒ、它比ハ他例ヲ引キテ之ヲ比附シ、正律ヲ主トセザルヲ謂フ。「大學衍義補」「丘濬曰ク、漢之律百有餘萬言。可レ謂ニ煩多ニ矣。而大辟之刑。至二千有餘條。視ニ成周時一蓋數倍焉。元成之世。奇請它比。又日益滋多。成帝下詔令中二千石。二千石博士。及明習律令者。議減死刑二及可レ蠲除省約一者。可レ謂レ知レ所ニ先務ニ矣。所謂奇請它比者。奇

請。謂ニ常文之外。別有レ所レ謂ニ以定罪也。它比。謂アリテ它類ニ以比レ附之。不キ主正律ニ也。

【奇零】

計算ノ數ニ入ラヌ單位以下ナリ。奇贏ノ反ナリ。(參照)

【嬰】

(部首) (女) (微) (韻)

【嬰】

男ヲ以テ女ト爲スノ義、鷓姦ノ別稱ナリ。「揚氏正韻箋」「律有ニ嬰姦罪條。將レ男作レ女。」

【嬰姦】

鷓姦ノ別稱ナリ。「ケレノ部」「雞姦」ヲ見。

【寄報】

牡猪ガ他ノ牝猪ノ居ニ寄過シ、之ト通ズルノ義、即チ有婦ノ男子ガ他ノ婦人ト姦通スルコトヲ謂フ。秦始皇時代ニ於テハ妻ハ夫ガ他ノ婦人ト姦スルヲ寄報ト爲シ即チ之ヲ殺スモ其罪ヲ論ゼズト爲シタリ。「史記」「始皇本紀」「夫爲ニ寄報。殺レ之無レ罪。」(會稽山ノ碑文)

【寄件人】

郵便ノ發送人ヲ謂フ。(郵政)

【寄雇關事】

命ヲ奉ジテ官物及ビ囚徒等ヲ護送(本條ヲ)スル官吏ガ他人ニ其任務ヲ寄託シ又ハ人ヲ雇ヒテ代辦セシメ自己ノ責任ヲ脫スルコトヲ謂フ。(典「カ」ノ部「綱」)

【寄公】

國ヲ失ヒタル諸侯ガ他ノ諸侯國ニ身ヲ寄セタル者ヲ謂フ。(儀禮)

【寄信上諭】

清制、明發上諭ニ對シ、機密事件ニ關シ、特別ノ官廳ニ發下スル上諭ヲ謂フ。(會典)

【寄生所】

清國時代ニ於ケル救郵事業ノ一、清條所、存育所等ト共ニ殘廢者ヲ收養シ兼テ又周ネク困苦ノ旅人ヲ救済スルヲ目的トス。(清國行政)

【寄籍】

他ノ地方ニ寄留スルコトヲ謂フ。(セ「レ」ノ部「籍」)

【寄籍】

他ノ地方ニ寄留スルコトヲ謂フ。(買「レ」ヲ見)

【寄籍】

他ノ地方ニ寄留スルコトヲ謂フ。(領「レ」ヲ見)

【寄籍】

他ノ地方ニ寄留スルコトヲ謂フ。(領「レ」ヲ見)

【寄禮】 甲地ノ者ガ乙地ニ於テ土地ヲ所有スル場合ニ、乙地ノ者ニ託シテ租石ヲ代納セシムルコトヲ謂フ。(戸部)

【寄禮】 婚禮ノ變則ニシテ、嫁娶ノ禮式ヲ男家ニ於テセズ、男子ガ女家ニ寄リテ爲ス場合ヲ謂フ。其故ハ(一)男女兩家遠隔セル場合、又ハ男子ガ他郷ニ在リテ妻ヲ娶ル場合ニ、男家ニ於テスルトキハ多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ、便宜上女家ニ於テスルコト、(二)男家ニ喪事アリ未ダ吉ニ從フコトヲ得ザルトキ之ヲ爲ス場合等ニシテ、何レモ便宜ニ基ヅクモノナリ。(臺灣私法人事)

【忌】 (部首) (實) (韻)

【忌月】 (一)父母歿スルノ月ヲ謂フ。【南史】「張融有三孝義。忌月三月不聽音樂。」(二)陰曆九月ヲ謂フ。【晉書】「穆帝納后。秋用九月。九月是忌月。云云。」

【忌日請假】 前記忌日ニハ其死者ノ卑屬親

ガ官吏ナルトキ、祭祀ノ爲ニ休暇ヲ請求スルコトニテ、法制上當然之ヲ准ス。六朝ニ始マリ、後世之ニ因ル。

【忌避】 今ハ法律上ノ用語トシテ、訴訟當事者ガ、一定ノ理由ニ依リテ其係ノ法官ノ裁判ヲ避クル義ニ使用スルモ、本ハ他人ヲ忌憚シテ身ヲ避クルノ義ニ使用ス。【舊唐書】高車傳、謂僞襲頭。無所忌避。

【忌日】 父母歿スルノ日ヲ謂フ。【禮記】「祭義篇」文王之祭也。事死者如事生。思死者如不欲生。忌日必哀。禱諱如見親。祀之忠也。又君子有終身之喪。忌日之謂也。故忌日不樂。真德秀曰。臣按忌日之名。見於此。(大學衍義)

【戲】 (部首) (實) (韻)

【戲】 (部首) (實) (韻) 戲ニ因リテ奏スルノ義已ニ奏ヲ成シタルトキハ強奏ノ一種ト爲リ。重キニ依リテ刑ヲ加フ。但シ未成ノトキハ報告罪トシ、枷杖責ニ處ス。(テノ部)

【戲下】 猶ホ麾下ト言フガトシ。戲ハ旗ト通ズ。大將ノ旗ナリ。【史記】淮陰侯傳「信杖劍從之居戲下。」【漢書】高帝紀「諸侯罷戲下。各就國。」

【戲殺傷人】 (人ヲ戲) 角抵其他ノ遊戲ニ因リテ偶然對手方ヲ殺傷シタル場合ヲ謂フ。【唐律】闘訟篇「戲殺傷人ノ條」諸戲殺傷人者。減闘殺傷二等。雖和以及。若乘高履危。入水中。以故相殺傷者。惟減一等。即無官應。而犯者。依過失法收贖。戲殺ノ脚註「謂以力共戲至死和同者。」(卷二)【明律】清律之ヲ承ケタルガ、民國ニ及ビテ、刑律ヲ新定スルニ至リテ、其事條ヲ廢ス。

【戲】 (部首) (實) (韻) 蘇州呼爲戲。戲。【揚州書訪錄】「團班之集合スル人ヲ稱ス。」

【擬】 (部首) (實) (韻)

【擬議】 推シ測ツテ論議スルノ義ナリ。【易經】「繫辭傳」擬議以成其變化。

【擬斷】 擬ハ擬律ノ略、斷ハ斷罪ノ略、即チ擬律ト斷罪トノ二項ニシテ、旨ヲ請フベキモノハ擬律奏請シテ旨ヲ請ヒ、旨ヲ請フヲ要セザルモノハ徑ニ推問シテ罪ヲ斷ズルヲ法トス。(明律卷一、清律卷三、以) (理去官)ノ條並ニ其註

【旗】 (部首) (支) (韻)

【旗甲】 旗丁百餘人ヲ「一甲」ト爲シ、其長ヲ「旗甲」ト稱シ、旗丁ヲ監督セシム。【六部成語註解】甲長也。旗丁百餘人爲一甲。設長以管之。蓋シ兵械船ノ乘組員ナリ。

【旗鼓】 軍中號令ノ具(旗ハ軍械ノ名、鼓ハ)【左傳】師之耳目在吾旗鼓。【史記】淮陰侯傳「平且信建大將之旗鼓。鼓行出。井徑口。」

【旗槍】 茶ノ葉ヲ「旗」ト爲シ其嫩葉ヲ「槍」ト爲ス。最細ノ茶ハ「旗槍」ヨリ成ル。茶ノ上ナルモノノ稱トス。蓋シ其形ヨリ名附タルモノナリ。

【旗地】 盛京十四城ニ旗人種エル土地及ビ近

京ノ間地、旗租ヲ徵收スル土地皆「旗地」ト曰フ。奉天山西ニ先キニ旗人ノ所有ニ係リ後ニ民ニ給種セシメタルハ之ヲ「退閑地」ト謂フ。(清會典)

【旗丁】 (部首) (支) (韻)

【旗丁】 兵糧運漕船ノ水手、官ヨリ田糧ヲ給シ其業ヲ世襲トス。【六部成語註解】「運船之水手人丁。皆世襲其業。官給田糧。如二八旗兵丁。然後謂之旗丁。」

【旗扁錢】 (部首) (支) (韻)

【旗扁錢】 清制。編試(科擧)ニ應ウテ備(優等)ヲ得タル者ニハ旗扁銀二十兩ヲ給シ、會試(科擧)ニ備ヲ得タル者ニハ三十兩ヲ給シ以テ置ヲ立テ旗杆ヲ樹ツルノ用ト爲ス。故ニ此名アリ、一ニ「牌坊銀」トモ稱ス。

【既】 (部首) (未) (韻)

【既醮之婦從夫家之戮】 (既ニ醮スルノ) 既ニ他ニ嫁シタル女ハ實父母大罪ヲ犯スルモ嫁坐セズ、夫家ノ犯罪ニ嫁坐スルノ謂ナリ。魏代ニ始マル。(從父母之刑)ヲ見

【既夕】 (儀禮)士喪禮ノ下篇ニ「既夕禮」アリ。葬式ノ前二日即チ葬式日ニ一日ヲ開ツル夕、弔哭ヲ行フ最後ノ夕ヲ謂フ。(註) (鄭支)

【既判力】 (部首) (支) (韻)

【既判力】 新法律語、已ニ判決ヲ經テ生ズル效力ノ義ナリ。

【既富方穀】 (方ニ穀) 富ハ生活ヲ富饒ニスルノ義、穀ハ善ナリ。即チ官吏ニハ十分俸給ヲ與ヘテ生活ノ安定ヲ得シメ六自ラ善心ヲ全ウスベシトノ謂、斯クテ始テ其行爲ニ不善アルトキハ之ヲ責ムルヲ王道ノ本義トス。【書經】「洪範篇」凡厥正人既富方穀。汝弗能使有嗜好子而家。時人斯其辜。蔡沈ノ註、在レ官之人。有二祿可仰。然後可責其善。厥祿不繼。衣食不給。不使和其好子而家。則是人將陷于罪戾矣。

【既廩】 (部首) (支) (韻)

【既廩】 既ハ既ト同シク、確定セル俸給ノ義ナリ。【中庸】「既廩稱事。所以勸百工也。」

【期】(一)百年ノ壽ヲ期ト爲ス。【禮記】典禮見ヨ。幼學。二十日弱冠。三十日壯有室。四十日強。而仕。五十六日艾服。官政。七十日老。而傳。八十九日。薨。七年曰悼。【中】百年曰期。【三】一日ハ。期日。一ヶ月ヲ期月ト書スヲ通例トス。

【期頤】百歳ヲ期頤ト曰フ。前掲【禮記】曲禮篇【百年曰期頤。トアルニ出ツ。二十ヲ弱冠ト曰フガ如シ。頤ハ口ノ旁。養フノ義。易經【頤卦ノ象辭】頤。貞吉。養正則吉也。云云。

【期要】婚姻契約ヲ履行スベキ期日。即チ婚約ヲ舉グル黃道吉日ヲ謂フ。【唐律】戶婚篇。違律爲婚ノ條【上】即應爲婚。雖已納。婚期要未至。而強娶。及期要至。女家故違者。各杖一百。【疏議】雖已納。婚財。元契吉日未至。云云。【卷十】(四)

【期親】滿一年ノ喪服關係ヲ有スル親族ノ總稱ナリ。【下條】(參照)

【期親祖父母】期親ハ一年ノ喪服關係ヲ有スル親族。一定ノ範圍【服】(五)アリト雖モ刑律ニ於テ期親ト稱スルハ喪服ハ曾孫ハ曾祖父母ニ對シテ齊衰五月ニ服シ玄孫ハ高祖父母ニ對シテ齊衰三月ニ服スルモ人倫ニ於テ重キガ故ニ尙ホ之ヲ期親ト看做ス。故令違反其他不敬ノ事實アルトキハ重キニ從ヒテ處斷ス。【明律】卷一。清律卷四名【例】稱期親祖父母ノ條

【期親尊長】一年ノ喪服アル尊屬親及ビ年長者ヲ總稱ス。【服】(五)【期服】齊衰期年【滿】ノ喪服。本宗親即チ(一)祖父母(二)伯叔父母(三)諸孫(妻大功)【(四)兄弟(五)在室ノ姑及ビ姊妹(妻大功)】(六)衆子(七)長子ノ妻。姪。及ビ在室ノ姪女(均妻大功)【(八)ハ父母アルトキハ夫。妻ノ爲メ。妾ハ家長(夫)ノ父母。及ビ正妻ノ子。在室ノ己ノ女ノ爲メニ服ス。又(九)己ニ出嫁シタル女ハ實家祖父母。父母ノ爲メニ亦之ニ服ス。但シ其重キモノヲ杖期ト爲シ。輕キモノ

鄂州柳中丞一書【勳告中】機會。以取勝於當世。【蘇轍詩】東鄰小兒識機會。半年外舍無不。【機】

【機關鎗】鎗ヲ架上ニ支ヘテ之ニ子彈ヲ裝置シ機械ノ力ヲ藉リテ發放スルモノ。其力甚ダ猛烈ナリ。下ノ機關ト同物ナリ。【機鎗】機鎗仕掛ノ槍。彈藥砲ノ類ナリ。【唐律】雜律篇。施機槍作坑穿ノ條。諸施機鎗一作坑穿者杖一百。云云。【卷二】(十六)

【機樞】機ハ機密ノ樞。樞ハ樞要ノ樞【戸ノノ】樞要ナル官職地位ヲ謂フ。【薛登獻文】。遷入ニ京。遂升機樞。

【機政】機密ヲ要スル大切ナル政治ナリ。【唐書】帝雖自力機政。然疑信輕改。搖於浮論。

【機密】重要ニシテ且ツ秘密ナル政務ナリ。【漢書】劉向傳。深留聖思。審固機密。本ハ【易經】繫辭傳。幾事不密。則害成。ニ出ツ。【宋書】

【機務】緊要ナル國家ノ政務ヲ謂フ。

ヲ不杖期ト爲ス。【各本條】(清律卷一)

【期票】金錢ヲ他人ニ渡ス契約中。即時ニ金錢ヲ交付セズ。先ツ票ヲ給シ其金額ヲ明記シテ交付ノ期ヲ約定スル證券ナリ。即チ約束手形ニ當ル。【章程】

【期門】官名。漢代始メテ期門郎ヲ置キ僕射ヲ以テ之ヲ領セシメ。游獵ノ事ヲ掌ラシム。漢武帝徵行ヲ好ミ詔シテ隴西北地ノ冨家子息中射ヲ能クスル者ヲ招キ之ト殿門ニ會スルト期門ト爲ス。故ニ期門ノ號アリ。後漢ニ至リ改メテ。先從僕射ト爲ス。

【櫃書】櫃ハ櫃。租稅錢糧ヲ投納セシムル櫃。書ハ稅額及ビ納稅者ノ氏名ヲ記シタル證書ナリ。清末官廳ノ大堂ニ櫃ヲ設ケテ納稅者ヨリ直接投納セシム。始メハ一種ノ便法ト爲シタルベキモ奸吏私利ヲ計リ其弊甚シキニ至ル。其主ナル原因ハ領收證書出タサマルニ因ル。光緒十年。御史屠仁守ノ奏文。其爲害民間。

王弘傳。參贊機務。【棄】(部首)【(實)】世ニ用キラレザルノ義ニ用フ。劉向撰【戰國策序】。孟子荀卿儒術之士。棄捐於世。而游說權謀之徒。見貴於俗。【棄灰刑】灰ヲ道路ニ棄テタル者ヲ罰スルノ刑。蓋シ灰ニハ火ノ殘ルヲ以テ火災ヲ豫防スルノ意ニ出ツ。【韓非子】內儲說篇。股之法。棄灰於衢一者刑。【史記】李斯傳。商君之法。刑棄灰子道一者。【孔子家語】等ニモ出ツ。後世或種ノ儒家ハ之ヲ酷ト爲スモ。其法意ハ民財保護ニ出ヅルモノニテ致テ必シモ非議スベキモノニアラズ。

【棄市】棄市ハ死刑ノ重キモノ。但シ機密ヨリ輕シ。【禮記】王制篇。刑人于市。與衆棄之。トアルニ出ツ。即チ公衆環視ノ中ニ於テ公然之ヲ行フハ公衆ト共ニ大惡人ヲ棄ツルノ意。又兼テ犯罪ノ長ルベキヲ示スノ意ヲ含ム。棄市ハ之ヲ。機ト爲シタルガ漢景帝機改メテ

最甚者有二。一曰催役。二曰機書。【中】機書經收錢糧。鄉民數十里。或百餘里。赴城投納。悉聽機書核算。溢額取。米則零升。直以斗計。銀則數錢。竟作兩論。有所謂整脚之費。有所謂票號之費。任意浮收。無敢致詰。復不當時給票。云云。【皇朝政典】光緒十一年馮桂芬。均賦議ヲ作リテ。防幣條目八則ヲ立ツ。其一。大堂設機樞收。不准私交。丁胥。云云。【稿卷十】

【櫃田】土ヲ築キテ水患ヲ防護スルノ田。水荒ヲ救フノ方法。又水利ノ爲メニハ水ヲ壩シテ田ニ灌グガ故ニ。壩田トモ曰フ。【欽定康

【機】(部首)【(實)】宰相ノ別名。政治ノ機務ヲ參決スル職權ヲ有スルノ義ナリ。【清國行政】(法第一卷)【機密】機ハ弓ノハツミ。會ハ事ノハツミ。藉リテ以テ事ヲ行フノ時機ヲ謂フ。【韓愈與ニ

「棄市」ト爲ス。【漢書】景帝紀「中二年。改。曰。棄市。」註、「應劭曰。先此請死刑。皆。於。市。今改曰。棄市。自非。妖。逆。不。復。也。師。古曰。棄。謂。張。其。尸。也。棄市。殺。之。於。市。也。死。罪。中。稍。輕。者。科。之。【晉書】刑法志「棄市。者。死。之。下。然。ル。ニ。實。際。ニ。於。テ。ハ。秦。ニ。モ。棄市。ノ。名。アリ。漢。代。亦。多。ク。行。ハ。ル。【史記】秦紀。有。二。取。偶。三。語。詩。書。棄市。」

【棄兒】 凶荒ノ歲、貧民子女ノ養育ニ窮シテ之ヲ棄ツルノ例ハ古代ヨリ行ハレ殆ド一種ノ習俗ヲ爲ス。殊ニ支那ハ刑律制定以後、夫婦間以外ノ男女ノ私通ヲ禁ジ其間ニ生レタル子女ハ之ヲ養生子ト稱シ父母ヲ割シタルコト亦其一原因ヲ爲ス。【小兒ノ部】遺棄

【棄婦】 (棄婦) 婦ハ頭巾ノコト、漢時關門ヲ出入スル者ハ皆繡ヲ執リ入ルトキ之ヲ關合ニ渡シ出ヅルトキ之ガ返付ヲ受ケ始メテ關ヲ出ヅルトコトヲ許サル。時ニ終軍(武官)アリ年少シ、其關ニ入ルヤ關合繡ヲ要求ス。終軍其故

ヲ問フ。關合法ヲ以テ對フ。終軍繡ヲ棄テテ曰ク、「大丈夫關ニ入ル。當ニ使者ノ車ニ乘リテ出ヅベシ。安ゾ更ニ繡ヲ用ンヤ」と、是レ棄繡ノ出所ナリ。【唐律釋文】(卷二十八)

【棄養】 父母ノ死ヲ謂フ。【辭源】人子當養其養父母。故謂父母死曰「棄養」。

【欺隱田糧】 (田糧) 租稅ヲ免カレンガ爲メニ自己ノ所有地及ビ其收穫ヲ欺稱シ又ハ隱蔽スルコトヲ謂フ。【明律】及ビ【清律】戶律田宅篇「欺隱田糧」ノ條、凡欺隱田糧。配。漏。版。籍。者。一畝至五畝。笞四十。每五畝。加一。等。罪止一百。其出入。官。所。隱。糧。依。數。徵。納。云云。【明律卷八】

【欺姦】 尊長(尊ハ尊屬親、長ハ)ガ卑幼(上ノ)ノ妻ヲ欺キ陵制シテ姦スルコト、卑幼ノ女ガ偽リテ尊長ニ欺姦セラレタラト告グルヲ「誣執欺姦」ト曰フ。死罪(斬、監)ニ處ス。【明

律】清律】刑律犯姦篇「誣執欺姦」ノ條、凡男婦誣執親屬。及弟婦誣執夫兄欺姦。者斬。【明律】ハ「秋」ト註シ、清【明律卷二十五】明律ノ註「秋」ト記スルハ「秋審」ノコト、即チ清律ノ註監候ト同一ナリ。【各本條】和刻本【明律】ノ點者ハ欺姦ヲ「欺姦」ト訓シ、即チ姦セラルト欺キ告グルノ義ト爲ス。上句ニ對シ誤リ易キ所ナレドモ清律ノ註「欺姦。謂。欺。其。卑。幼。之。制。以。成。姦。猶。強。姦。也。翁。果。欺。姦。子。婦。應。決。斬。兄。果。欺。姦。弟。婦。應。決。絞。」トアルニ徵シテ其誤タルヲ知ルベシ(上)同

【欺冒】 戶籍ヲ欺キ、他人ノ氏名ヲ冒用スルコトヲ謂フ。【宋史】寧宗紀「主帥核實軍籍。欺冒。以。贖。論。」

【欺負】 對手方ヲ輕蔑シ欺キテ義ニ負クコト【漢書】韓延壽傳、或ア欺負之者。延壽痛自刺實。【李朝、文】「見段ニ於人。爲欺負。」【辭源】ハ「猶言侮辱一也」ト註ス

【歸勘】 地方各官司ノ官吏ガ鹽ノ密賣者ヲ捕ヘタルトキ、其所在有司(專任ノ)ニ送リテ之ヲ究問セシムルコトヲ謂フ。【明律】清律】戶律課程篇「鹽法」ノ條、凡守禦官司及鹽運司、巡檢司巡緝私鹽。即發有司歸勘。【明律卷八】

【歸結】 (歸結) 部(告理) 【歸獄】 罪名ヲ人ニ嫁スルコトヲ謂フ。【公羊傳】公子慶父。使鄧扈樂弑子般。然後誅鄧扈樂。而歸獄。 【歸鎖之法】 返納スベキ不足借款ヲ返納シテ決算ヲ明ニスルノ法ナリ。【六部成語註解】

【歸宗】 他家ノ養子ト爲リタル者又ハ人ノ妻ト爲リタル者ガ離縁、離婚ニ因リテ實家ニ復歸スルコトヲ謂フ。【明律清律】戶律(元典章)「婦人夫亡。服闋守志。並欲歸宗者聽。其舅姑不得一面改嫁。」(卷十)清制、養子ハ官吏出身後ハ歸宗ヲ聽サルヲ本則トス【清會典】吏部「凡吏員出身者。歸宗。復姓。改籍。皆

禁。但シ相當ノ理由アルトキハ此限ニ在ラズ。 【歸寧】 (一) 既ニ他ニ出嫁シタル女ガ時ニ實家ニ歸リテ父母ノ安否ヲ問フコトヲ謂フ。【左傳】莊公二十七年「杞伯姬來。歸寧也。凡諸侯之女。歸寧曰來。出(爲)所出」曰「來歸」。孔穎達ノ註「歸寧者。女子既嫁。有時來歸。問父母。云云」【詩經】周南葛覃篇「歸寧父母。」(二) 官吏ニ凶事アリ請假シテ歸郷スルコトヲ謂フ。【清】(部)告(歸)見ヨ

【歸班】 清制、普通ノ進士ハ知縣ヲ以テ任用スルヲ「本班」ト爲ス、故ニ知縣ヲ以テ即用スルヲ「歸班」ト曰フ、即チ本班ニ歸スルノ謂ナリ。【班】(部)見ヨ

【毀家紓難】 家屋ヲ破リテ國難ヲ救フノ義ナリ。【左傳】「闔閭於菑爲令尹。自毀其家。以紓楚國之難。」

【歸伏】 歸順降伏ノ略語ナリ。【晉書】祖約傳「此所以歸伏大王也。」

【毀齒】 乳齒ノ易ハルコト、男子八歳、女子七歳ヲ通例トス。故ニ八九歳ノ小兒ヲ指稱ス【白虎通】「女七歳。男八歳毀齒。始有二知識。入學。書。計。」【釋名】「毀齒曰。齠。洗也。毀洗。故齒。更生新也。」

【歸問】 (歸問) 部(檢驗) 【毀佛像鑄錢】 (佛像) 鑄錢ヲ毀テ五代周ノ世宗久シク錢ヲ鑄ラズ民多ク錢ヲ鑄シテ器皿及ビ佛像ヲ爲ル。乃チ鑄ヲ立テ凡ソ民間ノ銅器佛像皆毀テ錢ヲ鑄ラシム。【大學衍義補】

【毀廟】 親等ニ於テハ高祖ヲ限トシ、之ヲ廟ニ祀リ。高祖ヲ過ギタル者ハ其特別ノ廟ヲ毀テテ其主ヲ太祖ノ廟中ニ合祭ス。【公羊傳】「毀

廟之主。陳_二於太祖。未_レ毀廟之主。皆升。合_二食於太祖_一。

畸 (部首) (支韻)

【畸零】 殘田即チ一割ヲ成スニ足ラザルノ田ヲ畸ト曰ヒ、零丁(獨丁未ダ)即チ一家ヲ成スニ至ラザル者ヲ零ト曰フ。此等ノ租稅ハ便宜上大戸ノ租稅ニ湊合シテ上納スルコトヲ聽ス。【明律】 戶律倉庫篇「撥納稅糧」ノ條「其小戸米麥因_レ便湊_レ數。於_二納糧人戶_一附納者勿_レ論。」(明律卷七) (清律卷十)

疑 (部首) (支韻)

【疑獄】 罪ノ有無明ナラザル刑事裁判事件ヲ「疑獄」ト曰フ。此場合ハ法官各異議ヲ爲スコトヲ得ルモ三說ニ過ギルヲ得ズ。是レ多數ニ依リテ決ヲ採ルガ爲メ奇數ヲ必要ト爲スニ因ル。(唐制「疑罪」)但シ此語ハ漢代已ニ之アリ。【賈誼新書】「梁嘗有_二疑獄_一。半以爲_レ當_レ罪。半以爲_レ不當。尙_レ唐代ハ天下ノ疑獄ハ先ツ

大理寺ニ讞議シ同寺ニ於テ決定スルコト能ハザルモノハ尙書省ニ於テ衆議シ、其法ト爲スベキモノヲ錄シテ詔書省ニ送リ、之ヲ奏報スルヲ法トセリ。【大學衍義補】唐制。天下疑獄。大理寺ニ不能_レ決。尙書省衆議之。錄_二可_レ爲_レ法者_一送_二詔書省_一。詔書省衆議定。凡大理寺所_レ不能_レ決之疑獄。尙書省會_レ衆議定。錄_二可_レ爲_レ法者_一送_二詔書省_一。詔書省衆議定。之臣所_レ聚之。欲_レ其引_二古義_一。質_二經史_一。以證_レ之。因_二一時之疑_一。立_二百世之法_一。本_二一人之事_一。爲_二衆人之則_一。云云。(卷百)

疑 (部首) (支韻)

【疑獄汎與衆共之】 (疑獄ハ汎ク衆ノ罪ニトシテ共ニス) 犯罪ノ有無判明ナラザル者ハ汎ク衆ト協議シテ決スルコトヲ謂フ。【禮記】王制篇「疑獄汎與衆共_レ之。衆疑_レ之。必察_二大小之比_一。以成_レ之。」(大學衍義補卷百八)

疑 (部首) (支韻)

【疑罪】 罪ノ有無明ナラズ處斷ニ迷フ案件ヲ謂フ。故ニ直ニ罪ヲ定メ刑ヲ科シ難キモ亦全然無罪ト爲スヲ得ズ。因テ贖即チ刑ヲ贖ハ

シムルヲ以テ通則トス。但シ法官ニ異議アルトキハ三說ヲ限リテ異議ヲ爲サシム。【唐律】斷獄律「疑罪_レ條」諸疑罪。各依_レ所_レ犯以_レ贖論。即疑獄法官執見不_レ同者。得_レ爲_二異議_一。不_レ得_レ過_二三_一。其脚註「疑。謂_レ虛實之證等。是非之理均。或事涉_二疑似_一。傍無_二證見_一。或傍有_二證見_一。事非_二疑似_一之類。」(卷三)

疑 (部首) (支韻)

【疑塚】 類似ノ墳墓、支那ハ古來惡漢ガ他人ノ墳墓ヲ發キテ或ハ之ニ仇シ或ハ其埋藏ノ貨器ヲ盜取スルノ風行ハル。故ニ其發掘ヲ恐レテ多クノ疑ハシキ墳墓ヲ築クノ慣習アリ。【輟耕錄】曹操疑塚七十二。在_二漳河上_一。

筭 (部首) (支韻)

【筭斗】 元ト二星ノ名、借リテ人ノ指紋ノ稱トス。指紋ノ螺旋形ヲ成スヲ斗ト曰ヒ、螺旋形ヲ成サマルヲ筭ト曰フ。清朝ノ如キハ勇兵(義勇)等ヲ募集シ又ハ重罪犯人ヲ他ニ發遣スルトキハ必ず其十指ノ筭斗ヲ檢シ之ヲ名簿ニ記入スルヲ例トセリ。獄訟口供ノ如キハ惟ダ

大樽指ヲ捺セシム。又一說ニハ人ノ運命ヲ支配スル星ノ名ト爲ス(清國行政)

筭 (部首) (支韻)

【筭斂】 苛酷ニ民財ヲ收斂スルコトヲ謂フ。【史記】張耳陳餘傳「頭會筭斂。以供_二軍費_一。」注「以_二三人頭_一數出_レ斂。以_レ筭斂_レ之。」

紀 (部首) (支韻)

【紀元】 漢代以前ハ新君即位ノ次年ヲ以テ元年ト爲シ年號ヲ設ケズ一君ヲ易フル毎ニ乃チ一改元シタリ。文帝即位十六年詔シテ更ニ明年ヲ以テ元年ト爲セリ、是ヲ改元ノ始ト爲ス。武帝即位シテ元ヲ改メ建元ヲ以テ年號ト爲ス。在位五十四年改元スルモノ十次、均シク年號アリ是ヲ年號アルノ始メトス。(周ノ厲王ヤ周公召公相共ニ國事ヲ治メ號シテ共和ト曰フ。史記表共和元年ト書ス故ニ或ハ此ヲ以テ年號ノ)以テ元ニ至ルマデ皆其制ヲ襲フ。明清ノ世モ君主即位スレバ改メテ新年號ヲ用フ。惟ダ中途元ヲ更改セズ、民國建設スルヤ即チ成立ノ年ヲ以テ元年ト爲シ復タ年號及ビ

改元ノ制ヲ用キザルニ至レリ。【紀抵】 官吏ガ公罪ヲ犯シ贖又ハ降級ニ處セラルトキ其紀錄ニ存セル功勞ニ照シテ罪ト功トヲ相殺スルコトヲ謂フ。【清會典】惟公罪則俸者。降級者。准_二其級_一紀抵焉。

紀 (部首) (支韻)

【紀錄】 紀錄ノ語ハ明律ト清律トハ其用例ヲ異ニス。【明律】ハ官員ノ公罪ヲ犯シタル場合ニ之ヲ收贖セシメ其罪過ヲ記シテ職員錄ニ存シ後日陞黜ノ材料ト爲スノ意ニ用キ(考)及ビ「シ」ノ部「收贖」【清律】及ビ「清會典」ハ官員ノ功績ヲ記シテ職員錄ニ存シ後日議敘ノ材料ト爲スノ意ニ用フ。(見)【六部成語註解】亦「將_二其勞績_一錄_二寫於冊_一。以紀_レ之。」是レ清制ヲ指スナリ。

紀 (部首) (支韻)

【紀錄通考】 明制、官吏ガ管杖以上ノ公罪ヲ犯シタルトキハ其罪ヲ贖ハシメ其罪科ヲ記シテ吏部ニ報送シ職員錄ニ存シテ在職九年ニ達シ官吏ノ成績ヲ調査スルトキ其功罪ヲ通算考校スルコトヲ謂フ。【明律】名例篇「無官犯

罪_レノ條「上_レ略犯_二公罪_一管以下_一勿_レ論。杖以上紀錄通考。其傍註「報_二吏部_一九年通行考校。」

義 (部首) (支韻)

【義勇】 義勇兵ナリ。支那ニ於テハ元代已ニ其名アリ。【文獻通考】兵考、鄉兵者。選_二自_二戶籍_一。或士民應_レ募。所在團結。訓練以爲_二防守之兵_一也。國朝以來。河東陝西有_二弓箭手_一。河北陝西有_二義勇_一。云云。清朝ニ及ビテハ更ニ其多キヲ致セリ。(見)【義勇見】

義 (部首) (支韻)

【義感】 宋、萊州ノ民徐承珪、幼ニシテ父母ヲ失ヒ兄弟三人其族三十口ト同ジク藜藿ヲ甘食シ衣服相讓リ四十年ヲ歴テ其操ヲ改メズ、居ル所ノ郷、木連理シ、瓜蔓ヲ異ニシテ實ヲ同ジクス。有_レ可以_レ聞ス。太祖詔シテ郷ヲ改メテ義感ト名ヅケ、里ヲ和順ト名ヅク。(大學衍義補卷八十)

ト爲ス。故ニ私學ノ保護獎勵ニ關スル記事少キモ明ニ於テハ從來ノ方針ニ變化ヲ加ヘ社學及ビ義學ノ設立ヲ獎勵スルノ主義ヲ取リ、洪武九年各地ニ義學ヲ設立セシメ、専ラ中流以下ノ子弟ヲ教育スルコト、爲シタリ。蓋シ義學ハ官民有志者ノ義捐ニ由リテ經營スルモノニシテ、古來ノ國費經營主義ニ對シテ一種ノ例外ヲ認メタルモノナリ。(清國行政)

【義刑義殺】 法ハ舊法ニ沿フヲ常トス。然モ舊法必シモ善ナラズ要ハ事宜ニ適スルニ在リ。義ハ宜、事宜ニ適スルノ謂、義ニ依リテ刑シ義ニ依リテ殺ス。之ヲ「義刑義殺」と謂フ。【書經】康誥篇、王曰。汝陳二時臬事。罰蔽三股。用ニ其義刑義殺。丘濬註、其有所罰者。一斷以三前股之常法一矣。然股之刑殺。不ニ必皆是一也。有ニ合レ義者一焉。有不レ合レ義者一焉。惟取テ其合ニ於義者而用之。云云。是レ武王ガ股ノ故都衛ニ赴任スル廣叔ヲ戒メタル語ナリ。(大學衍義補卷百)

【義倉】 李愷ノ權罷法ニ胚胎シ、(漢書食貨志)漢ノ常平倉ニ倣ヘルモノニシテ、即チ米價ノ廉ナル時ニ買收シ、米價ノ騰貴セル時ニ發賣シ、以テ貧民ノ窮困ヲ賑恤スルノ方法ナリ。其義倉ト云フハ地方有志者ノ義捐ニ由リテ經營スルガ爲メナリ。【杜氏通典】隋文帝開皇五年。長孫平奏。令三諸州百姓勸課當社。共立三義倉。唐太宗正觀中。戴胃言。隋天下之人。節儉輸粟。名爲三社倉。【唐會要】開成四年。詔曰。義倉防二水旱。】

【義莊】 宋ノ范仲淹姑蘇ニ於テ良田數畝ヲ買ヒ凡ソ族中嫁娶喪葬ヲ舉グルコト能ハザル者ハ皆之レニ贖給シ其產業ハ即チ宗族中ヨリ經理シ一族ノ公產ト爲ス。因テ「義莊」と稱ス。【宋史】范仲淹傳、置二義莊里中。贖二族人。其後之ヲ仿行スル者頗ル多キニ至レリ。【義子】 養子ノ一種、恩惠のニ異姓ノ子弟ヲ養ヒテ己ノ子ト爲ス者ヲ謂フ。支那法ニ於テハ原則トシテ異姓ノ養子ヲ爲スコトヲ許サズ

是レ、神不レ歎ニ非族ニ主義ニ基ク。故ニ「唐律」ニ於テハ絕對ニ異姓ノ養子ヲ禁ズルモ、【明律】「清律」ニ於テハ多少其禁ヲ寬ニシ立テ、嗣ト爲サマル限リハ、之ヲ許セリ。然レドモ己レノ姓ニ從ハシムルコトハ之ヲ許サズ。但シ三歲以下ノ養子ハ其姓ニ從ハシムルコトヲ除外ス。(明律清律、戶律戶役)【義試】 私塾等ニ於テ生徒ヲ集メテ課題ヲ給ジ試験ヲ爲スコトヲ謂フ。猶ホ近世ノ會課ノゴトシ。【隱居類義】 往昔江南承平時。鄉里諸齊。間出レ題示ニ學者一賦三絕句。考三殿最。有二極精巧者。是時俱名曰「義試詩」云云。【義塾】 塾ヲ設ケテ子弟ニ教授シ、月謝ヲ徵收セザルモノヲ、義塾ト曰フ。【報耕錄】「報義塾」以激レ後進。【名物六帖】陸隴文云。造二編澤之仁園。發二開蒙之義塾。】

【義冢】 枯骨埋葬ノ爲メニ設置セル墓地、宋代已ニ其制アリ。(宋史食貨志及)明代ニハ府州縣近城寬潤ノ地ニ設置シ、尋ア特ニ京城ニ

也。(卷十)

モ設置ス。清代ニハ普濟堂ノ費用ヲ以テ各地ニ義冢ヲ設置シ、京城ニハ義冢凡ソ十七箇所アリ。此等ハ埋葬ノ資力ナキ貧者、行倒人若クハ隔地ノ者ニシテ歸葬ニ不便ナル者等ノ墓地ニ備フ。(會典事例卷七百十六、保定府志卷二、卷三十八)

【義和團】 清代ノ秘密結社、八卦教ノ支團ナリ。其教徒均シク稱シテ「南方無宮頭殿真人」老翁ノ門下ト曰フ。鄧八部生文、河南商邱ノ人、首トシテ此教ヲ傳ヘタル者ナリ。乾隆三十六年死刑ニ處セラル。光緒三十六年其餘輩事ヲ天津ニ起シ號シテ「義和團」ト爲ス。其徒ハ拳棒ヲ傳習ス。故ニ「拳匪」トモ稱ス。

【虧却課利】 (課利ヲ) 虧却ハ減損ノ義即チ不作ノ歲租稅ヲ減免シテ國家ノ收入ヲ減損スルコトヲ謂フ。【大學衍義補】臣按蘇軾書云。(中)因ニ大荒ニ放レ稅。及虧却課利。蓋累百鉅萬。然於救荒。初無絲毫之益。救之理故

【虧空】 虧ハ欠ノ義、空ハ空虚ノ義ニシテ經費ノ缺乏スルコト、即チ財務當局者ガ財政宜キヲ失シ財用ノ缺乏スル義ナリ。【六部成語註解】虧欠。空虛。不足額數之弊端也。【辭源】謂用レ財者。不能レ致二量レ入爲レ出。致所レ出浮ニ於所レ入。而應付之款有キ所ニ匱乏。】

【虧空銀】 前條ト同義ナリ。【六部成語註解】虧欠。空無。若ニ倉庫ニ存項。空欠不足。數爲二經營所用。曰ニ虧空。】

【虧兌】 虧ハ欠ト同義、欠ハ不足ノ義ナリ(欠)ラ見ヨ。【虧蝕】 元ハ日月ノ食ヲ意義スルノ語、後世ハ財政上他ノ侵害ヲ被ルコト又ハ商店ノ資本損失ヲ意義ス。【辭源】今用爲二款項。被二人侵吞一之義。又商店之資本損失。亦曰ニ虧蝕。】

【虧兌課程】 鹽稅等ヲ發送スルトキ、其額數ノ不足スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】鹽務稅課納レ官兌收。其數虧欠不足也。】

【規求】 規ハ計畫ノ義、即チ心中計畫シテ或ル利益ヲ求ムルノ義ナリ。【左傳】昭公二十六年、規求無レ度。【唐律】詐僞篇、僞寫官文書印ノ條、略即僞寫前代官文書印。有所レ規求。封用者。徒二年。云云。(卷二)

【規元】 上海通用ノ銀、一ニ亦「規元」トモ稱ス。紋銀ノ成色ヲ以テ標準ト爲ス。漕平ト比較シテ其平、百兩每ニ二兩五錢ノ差アリ。其色ハ九八ト爲ス。(即チ百兩每ニ二兩ヲ相差ス)故ニ又「九二規元」トモ稱ス。【規元】 規銀ノ別名ナリ。(規銀)ヲ見ヨ)

【規制】法規ト云フガ如シ。【宋史】李神福傳「無規制。遠近失彼。」

【規田】古、井田ノ等級ナリ。周制ハ農田ヲ授クルニハ僱籍ノ地ハ九夫ヲ規ト爲シ四規ニシテ一井ニ當ルコト、セリ。(禮記百畝)

【規費】法律上又ハ慣習上當然納ムベキ費用ヲ謂フ。【辭源】「章程或習慣上所應納之費也。」

【規避】法規ニ違ヒテ巧ミニ其罪ヲ避クルノ義ナリ。【元稹詩】「諱規避。」

【規平】清朝ニ於ケル權衡ノ一種ナリ。(周禮) 要政

【記】(部首) (類) 後漢大尉官職ニ「記室令史」アリ。章表其他書記ノ事ヲ掌ル。秩百石ヲ領ス。其後「記室史」記室參軍アリタルモ書記ノ事務ヲ掌ルコトハ故ノ如シ。元以後之ヲ廢ス。近世ハ書記ノ事ヲ掌ル者ヲ通シテ記室ト稱ス。

【記問】古書ノ文句ヲ暗記シ人ノ問ヒニ答フルノミニク、眞實ノ收養ナキコトヲ謂フ。【禮記】樂記篇「記問之學。不レ足以爲人師。」或一説「人ニ問ヒ尋ネタルコトヲ記憶シテ其他ヲ知ラザルノ義」ト爲ス。要スルニ受験者ノ「文句暗記」ノ義ナリ。

【記里】道路ノ里程ヲ讀ルニ用フル車ノ名、一ニ「大車車」トモ曰フ。黃帝ヨリ起ル。事物紀原「古今註曰。大車車所以讀道里也。起於西漢。亦曰記里車。黃帝内傳曰。支帝爲レ女製三司南車。當其前。記里車居其右。則是其制始レ自黃帝造之。非西漢所造也。」(卷)

【詭寄】詭ハ詐欺ノ義、地稅ヲ上納スルトキ自己ノ土地ヨリ納ムヘキ稅額ヲ詭リテ他人ノ土地ノ稅額ニ加ヘテ稅額スルコトヲ謂フ。(下條ヲ) 但シ一説ニハ公用ニ假託シテ官金ヲ濫消シ不正ノ決算報告ヲ爲スノ義ト爲ス。【六部成語註解】「假託公用。濫行開銷也。」

【詭名】己レノ名ヲ表スルニ正名ヲ以テセズ偽名ヲ以テスルコトヲ謂フ。(明律卷八、清律要中) 條

【詭處】官吏ガ公私罪ヲ犯シテ參奏セラレタ

【詭寄田糧】(田糧ヲ) 自己ノ應ニ納ムベキ租稅ヲ密ニ他人ノ名義ニ附シテ稅額スルコトヲ謂フ。【明律】戶律田宅篇「欺隱田糧」ノ條「詭寄田糧云云」清律ノ附註「將自己田糧。暗掛于他人名下。曰詭寄。」(明律卷五)

【詭道】正道ニ對スルノ語、詐リテ對手方ヲ惑ハスノ手段、即チ孫子兵法ノ要條ナリ。【孫子】「兵者。詭道也。故能而示之不能。」

【詭名】己レノ名ヲ表スルニ正名ヲ以テセズ偽名ヲ以テスルコトヲ謂フ。(明律卷八、清律要中) 條

【議】(部首) (類) 【議貴】(ハレノ部) (ハ) 【議勤】(ハレノ部) (ハ) 【議賢】(ハレノ部) (ハ) 【議故】(ハレノ部) (ハ) 【議處】(ハレノ部) (ハ)

高リテ議定シ、其事狀ヲ奏答スルコトヲ謂フ。【皇朝政治學問答】「有事關乎某部一者。奉旨著某部議奏。議者尙書侍郎商。其事之不可可也。議定然後回來。」

【議單】(一) 錢莊(銀行)ヲ開業スルニ當リテ作製スル所ノ規約書、即チ我銀行ノ定款ニ當ル。(經濟大) (二) 凡ソ個人及ビ團體ガ利害關係アルニ因リテ他方面ト協議スルノ契約、之ヲ「議單」ト謂フ。(辭源)

【貴階】(部首) (貝) (類) 唐制、品秩(我國ノ)ノ制九アリ。五品以上ヲ貴階ト爲シ、其輪ハ子孫及ビ妻ニ及ブ。(白居) (易集)

【貴近之臣】貴要ノ位ニ居リ天子ニ近侍スルノ臣、唐代テハ三品以上ヲ朝廷貴近ノ臣ト爲ス。【唐書】太宗本紀「太宗詔。三品以上犯三公罪流私罪。皆不追身。」胡寅註「三品以上。貴近之臣也。」

【貴人】女官ノ名、東漢光武帝ノ時ニ設ク。

ルトキ内閣官ヲ奉ジ其犯ス所ノ罪狀ヲ以テ吏部ニ下シ罰科ヲ議定セシムルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「官員被參。奉旨將其所犯之罪狀下。部議罰。」

【議叙】清制、吏員ノ功勞アル者ニ對スル獎勵法ノ一、即チ吏部ニ交シテ其功勞ノ大小ヲ酌議シテ上奏シ賞ヲ賜フコトヲ謂フ。【六部成語註解】「由吏部酌議功之大小。以獎勵。」

【辭源】「清制。官吏有功。而交部核議。謂之議敘。以定賞功之等級。功者。曰從優議敘。」

【議事日表】我國ノ議會ノ「議事日定」ニ相當ス。

【議親】(ハレノ部) (八) 【議請】議ハ犯罪ノ本情ヲ原ネテ之ニ適用スル罪ヲ議定スルコト、請ハ奏請シテ、勅裁ヲ仰グコト、即チ八議ノ場合ハ之ニ當ル。(ハレノ部) (八議) (ハレノ部) (八)

【議請減】(ハレノ部) (應請) 【議請減贖】(ハレノ部) (應請) 特殊ノ身分アル者ガ罪ヲ犯シタル場合ハ法官直ニ之ヲ處分スルコトヲ得ズ。其犯罪ノ本情ヲ原ネテ之ニ適用スル法刑ヲ減シ一定ノ成例ニ準據シテ或ハ其罪ヲ減ジ或ハ其刑ヲ贖ハシムル手續ヲ具シテ奏請スルコトヲ謂フ。所謂「八議」ノ場合はナリ。(ハレノ部) (應請減) (ハレノ部) (應請)

【議請減贖當免之律】凡ソ婦人ニシテ官品及ビ邑號(各本條)ヲ有スル者罪ヲ犯シタルトキハ其夫ノ議請減贖(請減)ヲ見ヨ。又ハ當免(本條)ノ例ニ依リテ審議シ或ハ減輕シ或ハ收贖セシメ、或ハ又當免セシムルコトヲ謂フ。【唐律】名例篇「婦人官品邑號」ノ條「諸婦人有官品及邑號。犯罪者。各依議請減贖當免之律。」(二)

【議奏】或ル事件ヲ其事件ニ關係アル中央衙門ニ命ジテ審議セシメ、其長官ガ事ノ可否ヲ

【議奏】或ル事件ヲ其事件ニ關係アル中央衙門ニ命ジテ審議セシメ、其長官ガ事ノ可否ヲ

位、皇后ニ次グ者、【後漢書】皇后紀「貴人。金印紫綬。」宋眞宗ノ時又之ヲ置ク。【事物紀原】「漢光武置貴人。爲三夫人。歷代不常有。宋朝眞宗復置貴人也。」(卷一)

【貴妾】妾ノ子アル者長妾ヲ稱シテ貴妾ト爲ス。(儀禮集說)

【貴妃】女官ノ名、劉宋孝武帝ノ時ニ創設シ唐代ニ備ル。惠妃、華妃ト共ニ「三夫人」ト稱ス。唐代又之アリ。【唐書】百官志「內官貴妃。惠妃。華妃各一人。正一品。掌佐皇后。論。婦禮於內。歷代多ク其名ヲ沿用ス。」

【貴嬪】女官ノ名、魏文帝設置ス。位皇后ニ次グ者ナリ。【魏志】后妃傳「文帝增貴嬪。淑媛。修容。順成。良人。貴嬪夫人位次皇后。歷代多ク其名ヲ沿用ス。」

【起】(部首) (紙) (韻)

【起家】猶ホ出身ト云フガ如シ。隱退者ヲ其家ヨリ起用スルノ義ナリ。【史記】郭公多奇計。建元中。上招賢良。公卿言郭公。時郭公免。起家爲九卿。俗問テハ其家運ヲ譽メ開クコトヲ「起家」ト稱ス。

【起解】起ハ發程ノ義、解ハ發送ノ義、日ヲ定メテ發送スルコトヲ謂フ。【明律】戶律倉庫篇「鈔法」ノ條「各衙門起解賦罰。云云。」(卷七)【六部成語註解】由「某省」起程。解「送戶部」之款項。

【起解銀】各省ヨリ京師ニ送ル稅銀ヲ謂フ。【六部成語註解】由「各省」起運。解「送京師」之銀也。

【起居】此語ハ「書經」閏命篇「出入起居。罔有レレ飲」トアルニ出ヅ。天子ノ舉止動靜ヲ謂フ。然ルニ後世ハ天子ノ五日毎ニ臨朝シテ政事ヲ視ルノ義ニ用フ。【事物紀原】「唐正觀十三年房喬奏。請三日一臨朝。二十三年九月十八日大尉無忌奏請。視朝坐日。高宗報曰。朕即大位。今已後每日常坐。永徽元年十月五日。勅京官。五品依舊五日一參。二年八月十九日詔。此

後每五日一度ニ大祿殿ニ視事。朔望即爲常式。蓋今五日起居之始也。漢書五日一聽事。彷彿起居之事。其禮雖見於漢。要自唐始行之也。」(卷一)但シ、普通ノ用語トシテハ一般ノ寢食ノ義ニ用フ。

【起居舍人】(下條ヲ)

【起居注】史官ガ天子ノ動靜言行ヲ記スルコトヲ曰フ。後世官名ト爲ル。【周禮】ニハ「左右史」ノ官アリ之ヲ掌ル。然ルニ漢代ニハ宮女ヲ以テ之ニ任ジ、又皇后ガ自ラ之ヲ記シタルノ例アリ。後世ハ皆特設ノ官アリ。明以後翰林院ニ屬セシメ、翰林官ヲ以テ兼任セシム。【事物紀原】漢武有「禁中起居」。後漢明德馬皇后自撰「顯宗起居注」。蓋周禮左右史之事耳。謂「之起居注」。則自「前漢」始也。唐藝文志亦有「獻帝起居注」。自「魏」歷代成有也。」(卷一)【辭源】官名。即周左右史之職。漢時起居注。本宮中女史任之。魏晉有「職無」官。後魏始置「起居令史」。唐宋置「起居郎起居舍人」。分「掌其職」。明初設「起居注」。

後裁革。屬翰林院。清曰「起居注官」。以翰林一兼之。

【起居注官】(前條ヲ)

【起居注館】(前條ヲ)

【起居郎】(前條ヲ)

【起差】清制、貨物ヲ發送スル場合ニ其貨物ニ對シテ最初ニ釐金ヲ徵收スル官署、驗局ニ對スル稱ナリ。(局ヲ見ヨ)

【起局】工事ヲ起シ人夫ヲ差遣スルコトヲ謂フ。【明律】「清律」工律營造篇「擅遣作」ノ條「其城垣欄倒。倉庫公廩損壞。一時起差丁夫軍人。修理者。不在此限。」(明律卷二十九) (清律卷三十六)

【起船符驗】天子ヨリ使臣ニ賜ハル乘船ノ切符ヲ謂フ。(起馬御寶聖)

【起徵銀】地賦丁賦及ヒ關稅ヲ始メテ徵收スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「地丁關稅起首所徵之銀也。」トアルハ是ナリ

【起內人伴】同一犯罪事件ノ連累者ヲ謂フ。

【明律】「清律」刑律斷獄篇「鞠獄停囚待對」ノ條「凡鞠獄官推問罪囚。有起內人伴。見在」他處官司。云云。」(明律卷二十八) (清律卷二十四)

【起馬御寶聖書】使臣ニ賜フ傳馬(即ナ)ノ御朱印物(御印アル驛馬)ナリ。【明律】吏律公式篇「棄毀制書印信」ノ條「凡棄毀制書及起馬御寶聖書。起船符驗。若各衙門印信。及夜巡銅牌者。斬。云云。」(同律卷三、物租) (株明律國字解)

【起發】日程ヲ定メテ發足スルヲ起ト曰フ。發遣ノ略ナリ。例セバ犯罪人ニ對スル裁判確定シ流徙ニ處セラレタル者ハ十日以内ニ日程ヲ起算シテ流所配地ニ發遣スルノ類ナリ。【明律】「清律」刑律、斷獄篇「淹禁」ノ條「應「斷決」者。限三日內「斷決」。應「起發」者。限二十日內「起發。」(明律卷二十八) (清律卷三十四)

【起部】官名、晉宋以來、起部尙書アリ、宗廟又ハ宮室ヲ營造スルトキ之ヲ置ク。事終レバ即チ廢ス。隋以後改メテ「工部」ト爲ス。(ノ部) (工部郎) (中) (參照)

【起復】(一)官吏父母ノ喪アリ、服未ダ終了セザル中ニ之ヲ起用スルコトヲ謂フ。【事物紀原】「禮會子問云。子夏問曰。三年之喪。金革之事。無避也者非歟。孔子曰。吾聞「老聃」曰。昔者魯者魯公伯禽有爲爲之也。註云。魯徐戎作「離喪」。卒哭而征之。魯王事也。故春秋亦紀「晉襄公」嚴之。漢唐以來遂有「起復」之禮。蓋自「伯禽」始也。」(卷九)【晉書】「下邳傳」遺「父母喪」既葬。起「復舊職」。累辭不レ就。然ルニ(二)後世ハ服滿チ(忌期)然ル後ニ舊職ニ復スルヲ「起復」ト爲シ、服未ダ滿チサズシテ起用スルヲ「奪情」ト爲ス。(タレノ部) (奪) (三)清制ハ官吏ガ父母ノ喪ニ服シ、喪期滿了ノ後、本籍地ノ上司ヨリ證明書ヲ請受シテ吏部ニ申シ出テ吏部ヨリ現官ニ復任スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「丁憂之員服滿後、稟知本籍上司。請ニ給咨文」赴「部補」官。

【起用】仕致(官ヲ辭シテ隱) (革職) (官ヲ免ゼ) ノ人ヲ採用スルノ義ナリ。

饋 (部首) (食) (饋)

【饋送】物ヲ人ニ贈ルヲ饋ト曰フ。送ハ贈與ノ義ナリ。然モ刑律ニ於テ饋送ト言フハ送賄ノ義ニ用フ。故ニ之ヲ受ケタル者ハ贓罪ヲ構成ス。【明律】刑律受贓篇、風憲官吏犯贓ノ條、若買賣多取價利。及受饋送之類。各加其餘官吏罪二等。(明律卷二十三)

【饋人】君ノ食膳ヲ掌ルノ吏職、即チ膳夫ナリ。「左傳」成公十年「晉侯欲夢。使甸人獻夢。饋人爲之。」

【饋饌】貴尊ノ人ニ供フル飯食ナリ。【後漢書】清河王慶傳「慶母宋貴人。長子人事。供奉長樂宮。身執饋饌。太后憐之。」

【饋奠】物ヲ供ヘテ神ヲ祭ルコト、又神ヲ祭ル供物ヲ謂フ。【禮記】「可ニ以與ニ於饋奠之事。」

【饋食糧】貧者ノ食ヲ得ルヲ以テ無學者ノ多ク聞クコトニ喻フ。【文心雕龍】「博聞。爲饋食之糧。」

【饋糧】兵糧ヲ運送スルノ義ナリ。【孫子】「帶甲十萬。饋糧千里。」

【饋匱】饑エテ食物ノ乏シキコトヲ謂フ。【後漢書】張奮傳「比年不登。人用饋匱。今後久旱。秋稼未立。夫國以民爲本。民以穀爲命。政之急務。憂之重者也。」

【饋饑】穀物及ヒ蔬類ノ熟セザルヲ謂フ。其不熟ノ程度ニ依リテ名ヲ異ニス。【增補四書人物考】「爾雅穀不熟爲饑。蔬不熟爲饋。果不熟爲飢。仍饋曰饑。穀一穀不升曰饑。二穀不升曰饑。三穀不升曰饑。四穀不升曰饑。五穀不升曰大饑。白虎一穀不升曰饑。二穀不升曰饑。三穀不升曰饑。四穀不升曰饑。五穀不升曰饑。通云一穀不升曰饑。二穀不升曰饑。三穀不升曰饑。四穀不升曰饑。五穀不升曰饑。因之

【饑厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

餓 (部首) (馬) (支) (餓)

【餓】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【鬼市】夜間火ヲ用キズ相集リテ貿易スル所ナリ。【唐書】西域傳「西海有市。貿易不相見。各置直物於旁。名曰鬼市。」【避暑錄話】「鬼市中夜而合。雞鳴而散。」今尙ホ其慣例アリ其陳列スル物品ハ大抵贓物若クハ廢品ナリト云フ。

【鬼薪】男子ノ犯罪ニ課スル刑、山ノ薪ヲ伐リテ宗廟ノ祭祀ニ供セシム。三歲刑ナリ。【漢書】「鬼薪者。男。當爲祠祀鬼神。」(中略)皆作三歲。【漢書】惠帝紀ノ註「應劭曰。取薪給宗廟。爲鬼薪。蓋此刑ハ秦代ニ始マル。【史記】秦始皇本紀「經番作亂。討誅之。其徒皆梟首。車裂。輕者。爲鬼薪。」

【鬼粟】客死者ノ氏名ヲ書シタル票札、板ヲ郷里ニ送ルノ際城隍廟ニ請ヒテ之ヲ受クルヲ例トス。途中若シ開津ニ遇フトキハ之ヲ焚クヲ例トス。然ラザレバ地關津ヲ過グルコトヲ得ズト爲ス。(黑龍江) 外記

【鬼門】二十八宿中ノ鬼宿ノアル方角、東北

餓 (部首) (支) (餓)

【餓】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【餓厄】饑エテ病ミ苦ムノ義、貧困ノ狀甚シキヲ謂フ。【後漢書】桓榮傳「同饑厄。而榮講誦不息。」

【騎都尉】漢武帝李陵ヲ以テ、騎都尉ト爲ス歴代之ニ仍ル。唐ハ、上騎都尉、騎都尉ヲ置キ以テ勳官ト爲ス。宋之ニ因ル。清ハ以テ世職ト爲セリ。

【騎兵】(一)兵士ノ馬上職ニ從フ者ノ稱、一ニ馬兵トモ稱ス。(二)官名、魏ハ五兵尙書ヲ置キ、内ニ騎兵曹アリ、歴代之ニ因ル。又晉ヨリ以來節制幕僚亦騎兵參軍ヲ置ク。王徽之嘗チ桓沖ノ騎兵參軍タリ。

【騎縫印】重要ノ文件ニハ其紛失又ハ詐欺ヲ防グ爲メニ二紙ノ中縫(合セ)ニ割引ヲ捺スコトヲ謂フ。其制ハ南北時代ノ北魏明帝ノ時ニ始マル。(北史明) 帝紀

【騎兵參軍】騎兵ノ參軍ナリ。

【騎驢覓驢】(驢ニ騎シテ)其本來有ル物ヲ忘レテ之ヲ他ニ求ムルコトニ喻フ。【黃庭堅詩】「騎驢覓驢但可笑。以馬喻馬亦成癡。」

鬼 (部首) (尾) (鬼)

【鬼】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【鬼市】夜間火ヲ用キズ相集リテ貿易スル所ナリ。【唐書】西域傳「西海有市。貿易不相見。各置直物於旁。名曰鬼市。」【避暑錄話】「鬼市中夜而合。雞鳴而散。」今尙ホ其慣例アリ其陳列スル物品ハ大抵贓物若クハ廢品ナリト云フ。

【鬼薪】男子ノ犯罪ニ課スル刑、山ノ薪ヲ伐リテ宗廟ノ祭祀ニ供セシム。三歲刑ナリ。【漢書】「鬼薪者。男。當爲祠祀鬼神。」(中略)皆作三歲。【漢書】惠帝紀ノ註「應劭曰。取薪給宗廟。爲鬼薪。蓋此刑ハ秦代ニ始マル。【史記】秦始皇本紀「經番作亂。討誅之。其徒皆梟首。車裂。輕者。爲鬼薪。」

【鬼粟】客死者ノ氏名ヲ書シタル票札、板ヲ郷里ニ送ルノ際城隍廟ニ請ヒテ之ヲ受クルヲ例トス。途中若シ開津ニ遇フトキハ之ヲ焚クヲ例トス。然ラザレバ地關津ヲ過グルコトヲ得ズト爲ス。(黑龍江) 外記

【鬼門】二十八宿中ノ鬼宿ノアル方角、東北

【鬼】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【鬼市】夜間火ヲ用キズ相集リテ貿易スル所ナリ。【唐書】西域傳「西海有市。貿易不相見。各置直物於旁。名曰鬼市。」【避暑錄話】「鬼市中夜而合。雞鳴而散。」今尙ホ其慣例アリ其陳列スル物品ハ大抵贓物若クハ廢品ナリト云フ。

【鬼薪】男子ノ犯罪ニ課スル刑、山ノ薪ヲ伐リテ宗廟ノ祭祀ニ供セシム。三歲刑ナリ。【漢書】「鬼薪者。男。當爲祠祀鬼神。」(中略)皆作三歲。【漢書】惠帝紀ノ註「應劭曰。取薪給宗廟。爲鬼薪。蓋此刑ハ秦代ニ始マル。【史記】秦始皇本紀「經番作亂。討誅之。其徒皆梟首。車裂。輕者。爲鬼薪。」

【鬼粟】客死者ノ氏名ヲ書シタル票札、板ヲ郷里ニ送ルノ際城隍廟ニ請ヒテ之ヲ受クルヲ例トス。途中若シ開津ニ遇フトキハ之ヲ焚クヲ例トス。然ラザレバ地關津ヲ過グルコトヲ得ズト爲ス。(黑龍江) 外記

【鬼門】二十八宿中ノ鬼宿ノアル方角、東北

【鬼】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【鬼市】夜間火ヲ用キズ相集リテ貿易スル所ナリ。【唐書】西域傳「西海有市。貿易不相見。各置直物於旁。名曰鬼市。」【避暑錄話】「鬼市中夜而合。雞鳴而散。」今尙ホ其慣例アリ其陳列スル物品ハ大抵贓物若クハ廢品ナリト云フ。

【鬼薪】男子ノ犯罪ニ課スル刑、山ノ薪ヲ伐リテ宗廟ノ祭祀ニ供セシム。三歲刑ナリ。【漢書】「鬼薪者。男。當爲祠祀鬼神。」(中略)皆作三歲。【漢書】惠帝紀ノ註「應劭曰。取薪給宗廟。爲鬼薪。蓋此刑ハ秦代ニ始マル。【史記】秦始皇本紀「經番作亂。討誅之。其徒皆梟首。車裂。輕者。爲鬼薪。」

【鬼粟】客死者ノ氏名ヲ書シタル票札、板ヲ郷里ニ送ルノ際城隍廟ニ請ヒテ之ヲ受クルヲ例トス。途中若シ開津ニ遇フトキハ之ヲ焚クヲ例トス。然ラザレバ地關津ヲ過グルコトヲ得ズト爲ス。(黑龍江) 外記

【鬼門】二十八宿中ノ鬼宿ノアル方角、東北

【鬼】祭時ニ用キル尊稱。(リ)ノ部(六) 號(リ)見(六)

【鬼市】夜間火ヲ用キズ相集リテ貿易スル所ナリ。【唐書】西域傳「西海有市。貿易不相見。各置直物於旁。名曰鬼市。」【避暑錄話】「鬼市中夜而合。雞鳴而散。」今尙ホ其慣例アリ其陳列スル物品ハ大抵贓物若クハ廢品ナリト云フ。

【鬼薪】男子ノ犯罪ニ課スル刑、山ノ薪ヲ伐リテ宗廟ノ祭祀ニ供セシム。三歲刑ナリ。【漢書】「鬼薪者。男。當爲祠祀鬼神。」(中略)皆作三歲。【漢書】惠帝紀ノ註「應劭曰。取薪給宗廟。爲鬼薪。蓋此刑ハ秦代ニ始マル。【史記】秦始皇本紀「經番作亂。討誅之。其徒皆梟首。車裂。輕者。爲鬼薪。」

ニ其貨ヲ「龜貝」ト曰フ。(二)【周禮】春官ノ屬官ナリ。龜ヲ捕獲スルコトヲ掌ル。「掌三六龜之屬」ト記ス。(「龜人」)(三)俗ニ人ヲ罵ルノ語ト爲ス。唐代樂戶皆綠頭巾ヲ著ス。龜ノ頭綠色ナルヲ以テナリ。樂戶ノ妻女皆歌伎ス。故ニ又妓館ヲ開キテ密ニ妻女ノ淫賣ヲ縱ルス者ヲ龜ト爲ス。但シ、一説ニ、男女共ニ醜業ヲ爲ス者男ヲ龜ト曰ヒ女ヲ鴛ト爲スト曰フ。(「龜鴛」)

【龜人】 官名、祭祀ヲ行フトキ龜ヲ奉ジテ往クコトヲ職トス。【周禮】春官ノ屬、龜人、アリ「掌三六龜之屬」云云。

【龜袋】 唐代品官ノ佩物、最初ハ魚形ナリシ故「魚袋」ト曰ヒタルガ則天武后ノトキ改メテ龜形ト爲ス。故ニ「龜袋」ト曰フ。(因學)

【龜貝】 (見「龜」)

【龜鴛】 妓館ヲ開キテ淫賣ヲ賣スル者ノ稱、男ヲ龜ト爲シ女ヲ鴛ト爲ス。二字ノ俗義卑猥ナルヲ以テ之ヲ諱ミテ「本家」ト爲ス。【海上治遊備覽】「開ニ妓館一者、男曰龜、女曰鴛。此二

字彼等均諱之。改曰「本家」。相沿成習。不知其義何取。」(一)卷

【龜幣】 漢武帝ノトキ金銀等貨幣ヲ造ル。其形及ビ紋、龜形ニ擬ス。故ニ之ヲ「龜幣」ト稱ス。(漢書武帝紀)

【丘】 (部首) (尤韻)

【丘甲】 春秋時代、魯國賦役ノ法、丘ハ十六井、百二十八家ノ部落、其レニ割當テ爾賦役ナリ。【左氏傳】成公元年、成公作「丘甲」。註、胡安國曰、作「丘甲」、益兵也。爲「齊難」作「丘甲」、益兵備敵。重困「農民」、非「爲國」之道。其曰「作者、不「宜」作也。」

【丘嫂】 長嫂ノ義、即チ長兄ノ妻ヲ謂フ。【漢書】本紀「高祖微時嘗與「賓客」過「其丘嫂」食。」

【丘壇】 土ヲ築キテ丘ト爲シ、壇ヲ設ケテ祭品ヲ陳列シ、空ヲ望ミテ天ヲ拜スル處ヲ丘壇ト曰フ。壇ト廟トノ區別ハ神像及ビ位牌ヲ設ケタルト否トニ在リ。廟ハ之ヲ設ケ壇ハ之ヲ設ケズ。(六部成)(語註解)

【丘典】 (「丘墳」ヲ見ヨ)

【丘賦】 一丘ハ十六井百二十八家、其民衆ヨリ納ムル地租ヲ「丘賦」ト爲ス。此稅法ハ鄒子産ニ始マル。【左傳】「鄒子産作「丘賦」。註「丘十六井、馬一疋、牛三頭、如「魯田賦」。」

【丘墳】 伏羲、神農、黃帝ノ書、之ヲ三墳ト謂フ。大道ヲ言フナリ。少昊、顓頊、高辛、唐虞、虞舜ノ書(加ヘテ)之ヲ九典ト謂フ。常道ヲ言フナリ。八卦ノ說之ヲ八索ト謂フ。其義ヲ求ムルナリ。九州ノ志之ヲ九丘ト謂フ。九州ノ有スル所、土地ノ生スル所、風氣ノ宜シキ所皆此書ニ聚ムルナリ。(唐律卷首疏)

【丘民】 田野ノ民、至リテ微賤ナル者ヲ謂フ。【孟子】盡心篇「得乎丘民、而爲「天子」、而得乎天子、爲「諸侯」云云。」朱子註「丘民、田野之民、至微賤也。」

【丘里之言】 里俗ノ言、即チ民間ノ輿論ナリ。【莊子】則陽篇「何謂「丘里之言」。曰「丘里者、合二十姓百名一爲「風俗」也。」

【丘陵】 土ノ高ヲ成スヲ丘ト曰ヒ大阜ヲ陵ト曰フ。即チ邦語ノ「ワカ」ノ義ナリ。【禮記】曲禮篇「從「長者」而上「丘陵」、則必蹶「長者」所「視」。」

九 (部首) (有韻)

【九河】 夏ノ禹王唐虞ノ時治水工事ノ衝ニ當リ河ヲ疏シテ九道ト爲ス。即チ一ヲ徒駭ト曰ヒ二ヲ太夫ト曰ヒ三ヲ馬頰ト曰ヒ四ヲ覆橋ト曰ヒ五ヲ胡蘇ト曰ヒ六ヲ簡ト曰ヒ七ヲ潔(一作ル)ト曰ヒ八ヲ鉤盤ト曰ヒ九ヲ滹沱ト曰フ。皆袁州ノ界ニ在リテ平原以北ニ當ル(書禹貢及)袁州ハ今ノ山東東昌府及ビ袁州、濟南青州ノ西北境、直隸大名府及ビ正定河間ノ東南境皆其地ナリ。

【九丘】 九州即チ全國ノ地誌ヲ謂フ。丘、海ノ按、九州ノ志、謂ニ之九丘。丘、衆也。言、九州所レ有、土地所レ生、風氣所レ宜者、皆聚ニ此書ニ也。(大學衍義補)【左傳】昭公十二年、「楚子狩ニ于州來。左史倚相趨過。王曰、是良史也。是能讀ニ三墳五典八索九丘。」(「三」(項五典)參照)

【九棘之位】 外朝公判ヲ開クトキ、孤、卿、大夫ト公侯伯子男トノ著スル位ナリ。【禮記】王制篇「史以「三獄」成、告「于」正、正聽之。正以「三獄」成、告「于」大司寇。大司寇聽之。棘木之下。註「左九棘。孤卿大夫位焉。右九棘。公侯伯子男位焉。」蓋シ此註ハ「周禮」秋官司寇「小司寇」職等ノ文ニ因ル。

【九刑】 廣刑ノ五刑即チ墨、劓、剕、宮、大辟ノ本刑ニ流、贖、鞭、扑ノ四刑ヲ加ヘテ九刑ト爲ス。(書經)【小學紺珠】「正刑五。流、贖、鞭、扑。贖。【左傳】昭公六年、叔向曰、周有「三亂」世、而作「九刑」。但シ此ハ別種ノ九刑ナリ。

【九卿】 三代皆九卿アリ。周ノ九卿ハ(一)少師(二)少傅(三)少保(四)冢宰(五)司徒(六)宗伯(七)司馬(八)司寇(九)司空ナリ。秦ハ(一)奉常(二)郎中令(三)衛尉(四)太僕(五)廷尉(六)典客(七)宗正(八)治粟內侍(九)小府ヲ九卿ト爲シ、漢ハ奉常ヲ改メテ「太常」ト爲シ郎中令ヲ「光祿勳」ト爲シ典客ヲ「大鴻臚」ト爲シ

治粟內史ヲ「太司農」ト爲ス。歷代之ニ因ル。一ニ亦「九寺」トモ曰フ。北齊ハ廷尉ヲ改メテ「大理」ト爲シ少府ヲ「太府」ト爲ス。明ハ宗正ヲ改メテ「宗人府」ト爲シ衛尉、司農、太府ヲ廢シ、而シテ六部尙書ニ都察院都御史、通政司使、大理寺卿ヲ加ヘテ九卿ト爲ス。(杜氏歷朝職)然ルニ實際九卿ノ名ハ梁武帝ノ時ニ始マル。【事物紀原】原禮記曰、夏后氏百官。始置「九卿」。漢九卿俱不「以」卿名。官。梁武帝時七年。始加「三卿字」。(五)卷

【九五之尊】 九ハ陽數ノ極、五ハ上ノ第二爻、即チ天位ノ中正、天子ノ尊位ナリ。【易經】(上經)乾下乾上ノ卦「九五。飛龍在「天」。利見ニ大人。」大人ハ下ノ大材賢臣ヲ指ス。但シ「九五」之尊ハ履卦ノ疏「以」剛處中。得「其」正位。居「九五」之尊。是剛中正風「帝」位也。」ニ出ヅ。

【九寺】 寺ハ官署ノ名、即チ九卿ノ官署ヲ、九寺ト謂フ。漢ハ(一)太常(二)光祿勳(三)衛尉(四)太僕(五)廷尉(六)大鴻臚(七)宗正(八)大司農(九)少府ヲ以テ九寺大卿ト爲ス。後魏亦

【九族】 九族ノ語ハ「書經」堯典、以親九族トアルニ起ル。其解釋廣狹二義アリ。【白虎通】ハ「父ノ族四、母ノ族三、妻ノ族二ヲ以テ九族ト爲ス。陳詳道、李榕之ヲ非トシ始メテ、本宗ノ高祖ヨリ玄孫ニ至ルヲ以テ九族ト爲シ、尙書ノ註及ビ孔傳之ニ同ジク後世學者亦多ク之ニ從フ。【明律】「清律」ノ服制圖モ均シク高祖ヨリ玄孫ニ至ル間ヲ以テ同宗親族ノ範圍ト爲ス。而シテ其九族ト云フハ自己ヲ以テ本位トシ直系親ハ己レヨリ以上ハ推シテ四世ノ高祖ニ至リ己レヨリ以下ハ推シテ四世ノ玄孫ニ至リテ止ム。旁系親ハ己レヨリ横ニ推シテ三從兄弟ニ至リテ止ム。蓋シ族兄弟、再從兄弟、堂兄弟、兄弟ハ同ジク高祖四世ノ孫タルヲ以テナリ。又「小學紺珠」ニハ「九族ハ外祖父、外祖母、從母子、妻ノ父、妻ノ母、姑ノ子、姑妹ノ子、女ノ子、己レノ同族ナリト記ス。蓋シ此說ハ白虎通ノ說ヲ布衍セルモノナリ。

【九疇】 【書經】周書第四「洪範」篇ノ内容、前

後九目ヨリ成ル。故ニ「洪範九疇」ト曰フ。疇ハ類ノ義、洪範ハ天下ヲ治ムルノ大法九類アリ。故ニ九疇ト曰フ。元ト夏禹王ヨリ傳ハリ箕子之ヲ推究敷衍シタルモノナリ。文ニ曰ク「天乃錫禹洪範九疇。彝倫攸叙。初一日五行。次二日敬用五事。次三日農用五政。次四日協用五紀。次五曰建用五禮。次六曰又用三德。次七曰明用五刑。次八曰念用五德。次九曰嚮用五福。威用五極。」

【九白】 清代外蒙古ハ例トシテ九白ノ貢アリ。清太宗ノ時ニ始マル。即チ太宗ノ崇德三年車臣、土謝圖、札薩克圖三汗並ニ使ヲ遣ハシテ來朝シ各白馬八白駝一ヲ貢ス。是ヲ九白ノ貢ト爲シ爾後每歲之ヲ貢スルヲ常ト爲セリ。

【九品】 (一) 九卿ノ品級即チ九卿ノ別名ナリ。【國語】周語「外官不レ過ニ九品。」(九卿) (二) 官吏九等ノ階級一品ヨリ九品ニ至ル。【魏志】陳羣傳「制九品官人之法。羣所建也。」

【九府圖法】 太公望ノ設ケタル制、九府ハ財政ヲ掌ルノ官名、圖法ハ圓滑ニ貨幣ヲ運用ス

ルノ法ナリ。【漢書】食貨志、公立九府圖法。顏師古註「太府。玉府。內府。外府。泉府。天府。職內。職金。職幣。謂ニ之九府。皆掌三財幣之官也。圖法。謂ニ均而通之也。」又「大學衍義補」ハ下ノ如ク記ス。太公立九府圖法。黃金方寸而重一斤。錢圖兩方。輕重以レ銖。布帛廣二尺二寸爲幅。長四丈爲疋。故貨實ニ於金。利ニ於刀。流ニ於泉。布ニ於布。東ニ於帛。(卷二)

【九牧】 九ハ九州(ヲ見ヨ)牧ハ牧民官、即チ九州ノ長官ヲ謂フ。【左傳】宣公三年「夏之方有レ德也。遠方圖レ物貢レ金。九牧鑄レ鼎象物。」

【九流】 一ヲ「儒家者流」ト爲シ、二ヲ「道家者流」ト爲シ、三ヲ「陰陽家者流」ト爲シ、四ヲ「法家者流」ト爲シ、五ヲ「名家者流」ト爲シ、六ヲ「墨家者流」ト爲シ、七ヲ「縱橫家者流」ト爲シ、八ヲ「農家者流」ト爲シ、之ニ「小説家者流」ヲ加ヘテ九流ト爲ス。(漢書藝文志)

【仇】 (部首) (尤) (類)

【仇校】 二種以上ノ異本ニ參照シテ校正スル

コトヲ謂フ。【事類全書】「喜藏」異書。皆手自仇校。

【仇方】 對等ノ國ヲ謂フ。【詩經】「詢爾仇方。」(註)其

【仇拔】 扱ハ牽涉ノ義即チ或ル訴訟事件ニ何等關係ナキ人ヲ私怨ノ爲メニ關連セシメテ出訴スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「扱。牽涉也。因下與此人有仇。將無干之事。牽涉之也。」

【休棄】 賣休買休(本條ヲ)ニ因リテ權利ヲ永久ニ放棄スルノ謂、例ヘバ妻ヲ他人ニ賣渡シテ夫權ヲ永久ニ放棄スルノ類ナリ。【明律】「清律」刑律犯姦篇「縱容妻妾犯姦」ノ條、若買休人與婦人ニ用レ計逼ニ勸本夫ニ休棄。其夫別無賣休之意者不レ坐。買休人及婦人。各杖六十徒一年。云云ト規定スルハ其用例ナリ。(明律卷二十一)或ハ亦離婚書ノ附ナルモノヲ曰フ。妻ニ重大ナル非行アリタルトキニ用フ。絕對的ニ之ヲ離棄スルノ義ハ一ナリ。【元典章】「休

棄」ノ一曰アリ。(卷十) 及 (部首) (類) 及 (又) (類) 及 (又) (類)

【及】 (一) 律令上ノ例分八字ノ一、事ノ前後相連ナル義ナリ。【清律】八字例釋「及者。事情連後。謂ニ彼此俱罪之罪及應禁之物。則沒官官之類。」(卷二)「己レ罪ヲ犯スニアラズ、他人ノ犯罪ニ關聯シテ累ノ己レニ及ブコトヲ謂フ。秦漢時代ハ之ヲ逮ト謂フ。【大學衍義補】「蘇軾謂。罪非己レ遣。爲人罪。累曰及。秦漢間。謂ニ之逮。獄吏以レ不レ遣ニ支黨ニ爲レ忠。以ニ多逮廣聚ニ爲レ利。漢大獄。有下逮萬人者。國之安危。運祚長短。咸寄ニ於此。蓋シ其原ハ「書經」呂刑篇ヨリ出ヅ。王曰。吁來有邦有土。告爾祥刑。在今安三百姓。何擇非人。何敬非刑。何虔非及。蔡沈註「及。逮也。漢世詔獄所レ逮。有下至數萬人者。秦漢其所謂逮者。而後可レ逮之也。吳澂註「及。謂ニ利之所レ加。蘇軾註「罪非己レ遣。爲人罪。累曰及。秦漢間謂ニ之逮。」(大學衍義補)

【及笄】 女子十五歲ニ及ベバ笄シ、婚姻ノ豫約ヲ爲スコトヲ許ス之ヲ、及笄ト謂フ。出嫁ハ二十歲ヲ禮制トス。(笄ヲ見ヨ)

【及第】 漢制、應試者ガ試験ニ合格スルコトヲ謂フ。等第ニ及ブノ義ナリ。隋唐以後及第ノ目アリ。明清時代ハ殿試ニ甲ノ成績ヲ以テ合格シタル者ハ、進士及第ヲ賜ハル。【事物紀原】「漢取士。其射策中。謂ニ之高第。隋唐以來。進士諸科。遂有及第之目。」又「唐書」憲宗紀「詔考官章觀等三人。或考及第科目人。其餘吏部侍郎定。明清ノ制ハ明會典吏部、清會典吏部ニ在リ。(リノ部) (科) (舉) (見ヨ)

【宮】 (部首) (東) (類)

【宮】 古代五刑ノ一、生殖作用ヲ不能ナラシムルノ刑即チ古代肉刑ノ一ナリ。(コ) (部) (見) 漢文帝他ノ肉刑ハ之ヲ除キタルモ宮ノミハ存ス。【史記】文帝紀註「文帝除肉刑。而宮不レ易。張斐註。以淫ニ人族類。故不レ易之。惟ダ漢景帝元年ノ詔ニハ「孝文皇帝。除宮刑。

出美人。重絶三人之世也。(漢帝景)トアルモ事實ハ之ニ反シ、司馬遷、李延年等本刑ニ處セラル。又【漢書】陳忠傳、忠、請除宮室刑。蓋シ一時之ヲ除キタルモ久シカラズシテ復シタルガ如シ。本刑ハ淫罪ニ課スルヲ例トス。

【書經】呂刑、宮辟疑赦ノ註、宮、淫刑也。(例外ニア)男子ハ棄ヲ以テ勢(罪)ヲ廢去シ女子ハ入籍ノ道ヲ掩閉ス。【漢書】張安世傳、宮室、謂淫刑也。凡養レ蠶者。欲其温而早成。故爲宮室。畜レ火以置之。而新腐刑。亦有中風之患。須入ニ密室ニ乃得全。因呼爲蠶室。耳。右ハ男子ノ宮刑ヲ註ス。【日耕帖】、極級之法。用ニ木槌擊レ婦人胸腹。即有二物。雖而掩ニ閉其牝戸。止能ニ漏便。而人道永廢矣。是幽閉之說也。是レ女子ノ宮刑、東漢光武二十八年及三十一年詔ヲ下シ死罪罪囚ハ一切宥恕シテ蠶室ニ入レ宮刑ニ處ス其後モ此例多シ。(後漢書明帝紀章帝紀等)

【宮闈官府】 宮中及ビ官府ヲ謂フ。【大學行義補】、凡宮闈官府。有所置。一一切取之於

州郡。(卷二)十五

【宮尹】 太子ノ屬官、後周ノ時、太子宫正、宮尹ヲ置ク。【宋書】袁淑傳、敢寓書於上國之宮尹。

【宮衛令】 漢制、宮中警衛ニ關スル法令。【漢書】蓋寬饒傳、爲三衛司馬。案舊令。遂攝三官屬以下行衛者。衛尉私使。寬饒出。寬饒以令三諸官府門上謁辭。(十九)尙ホ晉代ニモ宮衛令アリタリ。

【宮刑】 (見ヨ)

【宮市】 宮中ノ市場、漢靈帝市ヲ宮中ニ開キ宮女ヲシテ販賣セシム。帝商賈ノ服ヲ著ケテ其間ニ飲宴ス。(金樓)是ヲ宮市ノ始トス。南齊、唐、及ビ十國ノ時亦之アリ、一種ノ娛樂ナルモ其間ニ不正行爲行ハレ法律問題ヲ生ズ。

【宮市使】 唐德宗ノ時宮中ニ市場ヲ開キ宦官ヲ以テ、宮市使ト爲ス。宦官白望(虛名)數百人ヲ置キ人ノ物ヲ抑買シ紅紫染ノ販賣(取タル)ヲ以テ尺寸ニ裂キテ之ヲ給シ名ケテ、宮

市ト爲ス、其實ハ之ヲ奪取シタルモノナリ。(大學衍義補)卷二十五

【宮人】 周禮天官ノ屬官、王ノ寢及ビ服御ノ事ヲ掌ル。【周禮】天官之屬宮人、掌三王之寢、兼主三服御之事。【禮記】ハ之ヲ「司宮」ト謂フ。

【宮省】 (一)宮中ニ在ル官署、尙書省、中書省等ハ宮中ニ在リ。故ニ之ヲ「宮省」ト謂フ。【後漢書】幸宣德殿。見宮省官屬。【晉書】裴楷傳、以楷爲吏部郎。轉中書省。出入宮省。(二)宮中ト言フガ如シ。【三國史】齊王芳傳、明帝無子。養王及秦王詢。宮省事。莫レ有。其所以由來一者也。

【宮殿門符】 宮殿ノ門ヲ開閉スルトキニ使スル符、銅魚合符ノ製式ニ依ルモノナリ。(トノ部)銅魚符ヲ見ヨ。

【宮内忿爭】 宮内ハ至尊無上ノ處、臣下タル者當サニ靜肅ヲ旨トシ和順敬慎以テ職事ヲ奉セザルベカラズ。然ルニ敢テ忿ヲ發シ相爭

フハ不敬ノ甚シキモノトス。【明律】【清律】刑律闘爭篇「宮内忿爭」ノ條アリ、同文ヲ以テ「於宮内ニ忿爭者笞五十。辱御在所。及相毆者杖一百。折傷以上。加凡闘傷二等。殿内又通加一等。」ト規定ス。(明律卷二十六)宮ト殿トノ別ニ付キテハ【清律】附註、至尊。所ニ御以燕幸ニ者曰宮。所ニ御以臨朝者曰殿。ト記ス。

【宮坊】 太子屬官ノ稱。一ニ、青宮又ハ、春坊トモ稱ス。【南史】徐勉傳、子排字敬業。幼聰敏。能屬文。位太子舍人。掌書詔。累遷洗馬中舍人。猶管書詔。出入宮坊。者歷。或ハ又宮中ノ義ニモ用フ。

【宮門抄】 清制、宮中ヨリ發行スル官報ヲ、宮門抄ト謂フ。一ニ、邸抄トモ曰フ。古ノ「朝報」ナリ。【辭源】舊稱宮中官報ニ爲宮門抄。即古朝報。文言謂邸抄。

【廐】 (部首) (韻)

【廐庫】 廐ハ鳩聚(アツメ、)ノ義、即チ牛馬

ヲ聚メテ養フ所、庫ハ舍ノ義、兵用財帛ノ藏マル所、即チ倉庫ノ謂ナリ。(唐律疏議)此二項ニ關スル法律ヲ「廐庫律」ト謂フ。(下條)見ヨ。

【廐庫律】 漢代以前ノ刑律ニハ廐庫ニ關スル篇目ナシ。漢ノ蕭何ガ秦ノ六律ニ加フルニ廐、戸、興ノ三篇ヲ以テシテ、九章律ヲ作り始メテ「廐律」ノ名ヲ生ズ。晋ハ之ニ牧事ヲ附シ合シテ「廐牧律」ト爲シ宋ヨリ梁ニ至ルマテ改メズ。其後廐律ノ舊名ニ復シタルガ後魏太和中「牧畜律」ト名ヅク。北齊後周ヲ歷テ改作ナシ。隋ノ開皇年律ヲ編スルニ當リ、廐ニ附スルニ車事ヲ以テシ、廐庫律ト爲ス。唐之ニ因ル。明ハ刑律ノ體裁ヲ改造シ倉庫ハ戸律ニ編入シテ其一節ト爲シ廐牧ハ兵律ニ編入シテ其一節ト爲ス。清之ニ因リテ改メズ。

【廐驍】 馬ヲ掌ル者ノ稱、騎兵ノ一種ナリ。【後漢書】梁冀傳、桓帝使黃門令且瓊。將左右廐驍虎賁羽林戰士二合二千餘人。與司隸校尉張彪共圍冀第上。

【廐置】 驛遞ノ一種、驛ニハ驛馬ヲ繫グ場合アリ。之ヲ「廐置」ト謂ヒ、又驛馬ヲ繫ギテ驛ヲ交代スル所ヲ「廐置」ト曰フ。【史記】田橫傳、田橫與ニ其客二人。乘レ傳語洛陽。未レ至ニ三十里。至ニ戶郷。廐置。註、廐置。置馬以傳驛也。

【廐律】 漢蕭何ガ秦ノ六律ニ加フルニ廐律、戸律、興律ノ三律ヲ以テシ九律ト爲ス。廐ハ鳩聚ノ義、馬牛ノ聚ル所、即チ馬牛等ノ徵發及ビ取締ニ關スル刑法典ノ一編ナリ。(見ヨ)

【泣】 (部首) (韻)

【泣辜慎刑】 (刑ヲ慎ム) 刑人ヲ憫ミ、刑罰ノ適用ヲ慎ミテ濫用セザルノ謂、夏禹王ノ故事ナリ【說苑】禹出見罪人。問而泣之。【唐律疏議】進表、泣辜慎刑。文命所ニ以會昌。

【糾按】 (部首) (韻)

【糾按】 非違ノ行爲ヲ糾シ調ベルノ義ナリ。

【後漢書】蔡茂傳「時陰氏黃帝。社二郡界。多犯二吏禁。茂糾糾按無所回避。」

【糾夥】 盜賊ノ乾兒ヲ糾合スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】糾合盜夥也。

【糾葛】 葛蔓ノ牽引糾結スル如ク事情ノ紛糾シテ判明セザルヲ「糾葛」ト爲ス。

【糾合】 紛亂セル者ヲ正ダシテ併合スルノ義ナリ。【左傳】僖公二十四年「糾合宗族于成周。」同書同公二十六年「桓公是以糾合諸侯。」

【史記】酈生傳「酈生曰。足下起糾合之衆。收散亂之兵。」

【糾虔】 猶ホ恭敬ト云フガ如シ【國】

【糾參】 官吏ノ非行ヲ糾明シテ其罪狀ヲ參劾スルコトヲ謂フ。【史記】

【糾繩】 繩ヲ糾シ、愆ヲ繩スノ義即チ過失ヲ矯正スルコトヲ謂フ。【書經】「匡其不逮。」繩

【史記】酈生傳「酈生曰。足下起糾合之衆。收散亂之兵。」

【糾奏】 官吏ノ不正行爲ヲ上奏スルノ義ナリ。【宋書】蔡廓傳「高祖以廓剛直不容邪枉。補御史中丞。多所糾奏。百寮震懼。」

【糾彈官】 官制上非違ヲ糾問彈劾スル職權ヲ有スル官吏ヲ謂フ。【唐律】卷二十三「關訟」

【糾逃】 不規ノ徒ヲ糾シテ四方僻地ニ遠ザクルノ義ナリ。【左傳】僖公二十八年「敬服王命。以綏四國。糾逃王慝。」

【糾戮】 罪科ヲ糾シテ假借ナク死刑ニ處スルノ謂ナリ。【後漢書】蘇章傳「示以信賞。糾戮渠帥。盜賊銷散。」

【給】 (部首) (韻) 給 (部首) (韻)

【給由】 (由) 由ハ官吏ノ身分ヲ證明スル證書、官吏ガ吏部ニ出頭スルトキ其長官ヨリ之ヲ給スルヲ「給由」ト曰フ。【明律】職制篇「官

吏給由ノ條アリ、凡各衙門官吏給由由到吏部。限五日付勘完備。以憑類選。注云云。ト規定ス。【卷】清制ニ於テハ「由」ヲ改メテ「照」ト爲ス。

【給假】 官吏ニ對シテ官ヨリ一定ノ成例ニ照シテ休假ヲ給ハルコト、我現制ノ公假ニ當ル。【元史】「每月朔。望。上弦。下弦。給假四日。」

【給諫】 給事中ヲ稱シテ「給諫」ト爲ス。【事】中シテ

【給據】 (據) 土地其他物件ノ賣買ヲ爲ストキ官廳ニ届出テ官廳ヨリ認可證明書ヲ給スルノ義ナリ。【元典章】戶部賣買典章「買賣田宅

告官權收。ノ條アリ。今後典賣田宅。先行經官給據。云云。【卷十】

【給據承襲】 元制、在任官死亡シタルトキ其男子ニ據(證明書)ヲ給シテ襲職セシムルノ義ナリ。【元典章】吏部承襲篇「民官子孫給據承襲」ノ條アリ。民官トハ軍官ニ對シ文官ヲ指ス。民政官ノ義ナリ。【卷八】

【給事中】 秦漢時代ハ加官(兼官)ニシテ殿中ノ奏事ヲ掌ル。名ケテ「左右曹諸史」ト曰フ。常ニ宮中ニ在リテ皇帝ノ左右ニ侍シタルガ故

ニ「給事中」ト曰フ。晉以後遂ニ正官ト爲リ隋唐以來閣下省ニ屬シ制勅ノ對駁ヲ掌ル。即チ制勅ニ不便ノ所アルトキハ其違失ヲ駁正スルヲ職トス元以後閣下省ハ廢シタルモ「給事中」ハアリキ。明ハ分チテ吏戶禮兵刑工ノ六科ト爲シ侍從規諫ヲ掌リ六部ノ弊誤ヲ糾察シ章奏ヲ駁正シ制勅ヲ封還スル等ノ權限ヲ有セリ、清代ハ都察院ニ屬シ御史ト同ジク諫官タリ。故ニ「給諫」ノ名アリ。

【給使】 (給使散使) 【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

【給使散使】 唐制、宦官ノ一種、内侍省及

下樂鑾錦ヲ賜ヒ、三司使、學士、中丞、內省使、駙馬、留後、觀察使、皇親將軍諸司使、廟主以上ハ儀四盤賜錦ヲ賜ヒ、三司副使、宮觀判官ハ黃獅子大錦、防禦團練使刺史、皇親諸司副使ハ翠毛細錦ヲ賜ヒ權中丞、知開封府、銀臺司、審刑院及ビ待制以上、知檢院、鼓院、同三司副使、六統軍、金吾大將軍ハ紅錦ヲ賜ヒ諸班及ビ諸軍將校ニハ赤翠錦袍ヲ賜ハル。翠毛、宜男雲雁、細錦、獅子、練鵲、寶照犬錦寶照中錦ノ七等トス。【大學衍義補】

【給出】 蓬瀛ノ舊慣ニ於テ給出ト云フハ、現實ニ物ヲ交付スルノ行爲即チ引渡ヲ意義ス。從テ其範圍廣キヲ以テ種種ノ議論アレドモ、動產不動産ノ權利ヲ移轉スル方法ナリト看レバ、何レノ場合ニモ共通スベシ。

【給復】 人民ニ賦役ヲ免ズルコトヲ謂フ。【北史】「齊人降者。給復十五年。」

【給沒贓物】 (贓物) 給ハ還給、沒ハ沒收、即チ強劫盜其他不正行爲ニ因リテ取得シタル

物ハ其性質ニ徴シテ或ハ被害者ニ還給シ或ハ官ニ沒收スルコトヲ謂フ。【明律】卷一、清律卷四「給沒贓物」ノ條

【翕】 (部首) (韻) 翕 (部首) (韻)

【翕協】 能ク調和スルノ義ナリ。【舊唐書】晉樂志「六鐘翕協。六變成二八倍。云云。」

【翕受敷施】 翕受ハ合セテ之ヲ受クルコト敷施ハ布キテ之ヲ用ケルコト、即チ人ノ德ハ多家同ジカラズ人君能ク各其長所ニ依リテ之ヲ利用スルコトヲ謂フ。【書經】皋陶謨「皋陶

曰。翕受敷施。九德成事。翕受ニ就キテハ【參同契】註「坤爲地。能翕受天氣。」

【翕定】 翕ハ收集又ハ和合ノ義、紊亂セルモノヲ收定スルコトヲ謂フ。【周書】明帝紀「九州翕定。景福在民。」

【翕開】 翕ハ收マルノ義、開ハ開クノ義即チ靜的狀態ヲ「翕」ト曰ヒ動的狀態ヲ「開」ト曰フ。【易經】繫辭傳「夫坤。其靜也翕。其動也開。」

【翕】 (部首) (韻) 翕 (部首) (韻)

【舊欠銀】 應ニ納付スベキ地賦、丁賦、關稅等ノ歷年積欠(積重ナリ)スルモノヲ謂フ。(六部成語註解)

【舊沔】 從來ノ政治ノ惡弊ヲ意義ス。沔ハ穢ノ義ナリ。【左傳】文公六年「積廩爲政。治舊沔。」

【舊關】 清制、洋關ニ對シ外國トノ通商以前ニ設クル所ノ稅關、即チ常關ナリ(「セシノ部」稅關ヲ見ヨ)

【舊貫】 舊慣ニ同ジ【論語】先進當「仍舊貫」如之何。何必改作。【漢書】元帝紀「惟德淺薄。不足。以充入舊貫之居。」

【舅】 (一)母ノ兄弟ヲ謂フ。(唐律明濟)(二)母ノ兄弟ヲ舅ト曰ヒ其妻ヲ舅母ト曰フ。俗ニ「姑」ト稱ス(大學衍義補)(三)婦、夫ノ父ヲ指シテ舅ト曰ヒ、夫亦妻ノ父ヲ指シテ外舅ト謂フ。(四)妻ノ兄弟亦舅ト曰フノ例アリ。【新唐書】楊行密曰「得舅代。我無憂矣。」蓋シ舅ハ其妻ノ弟朱延壽ヲ指ス。

【舅姑】 婦人夫ノ父母ヲ謂フテ「舅姑」ト爲ス。【禮記】內則篇「婦事舅姑。如事父母。」但シ律例ニ於テハ「舅」ト云フハ母ノ兄弟ヲ指シ「姑」ト云フハ父ノ姊妹ヲ指スヲ通例トス。(唐律、明律)蓋シ之ハ「儀禮」ヨリ取ル。(清律皆然リ)

【舅嫂】 妻ノ兄弟ノ妻ヲ謂フ。古ハ「妻嫂」ト稱ス。(南史張)近世ハ「舅嫂」ト稱ス。(釋義)【敬兒傳】

【舅姊妹】 母ノ兄弟ノ女子ヲ謂フ。(「部」姑舅兩姊妹)【舅出】 舅ハ母ノ兄弟、出ハ姊妹ノ子ヲ謂フ。即チ甥ノ義ナリ。【公羊傳】蓋舅出也。是レ鄭ノ世子巫ト魯ノ襄公トヲ指ス。襄公ノ母定弋ハ世子巫ノ姊妹ナリ、故ニ巫襄ハ公ノ舅ニシテ襄公ハ巫ノ出即チ甥ナリ。

【舅父】 母ノ兄弟ヲ謂フ。【史記】孝文紀「封淮南王舅父續爲二周陽公。」【舅母】 母ノ兄弟ノ妻ヲ謂フ。【晉書】武帝紀「武帝楊后母卒。依舅家。舅母仁愛親乳之。」

圖 (部首) (尤韻)

【圖分】 家産分割ノ一形式、凡ソ臺灣ニ於ケル家産ノ分割ハ先ツ承繼人ノ分得率即チ股份ヲ定メ、然ル後ニ財產ノ評價ヲ爲シ、之ヲ各股份ニ平等ニ割當テ、最後ニ抽籤ヲ實行スルノ三段ノ形式ヲ履ム。圖分トハ即チ抽籤ニ依リテ分割ヲ確定スルノ義ナリトス。然ルニ律例ノ上ニ於テハ勿論臺灣ノ實際ニ於テモ、家産ノ分割ハ均分ノ原則ト爲シ、其上ニ前述ノ如ク股份ヲ定メ、財產ノ評價ヲ爲シ、之ヲ平等ニ割當ツルモノナルガ故ニ、殆ド抽籤ノ要ナシト雖モ、抽籤ハ先祖ノ靈前ニ香燭ヲ奠ジ、各承繼人ハ勿論親族及ビ族長立會ノ上之ヲ行フモノニシテ、要ハ各承繼人ニ私心ナキコトヲ誓ハシメ、後日ノ紛議ヲ防絶スルニ在リトス。斯クテ各自ノ取得財產確定シタルトキハ契字ヲ作製ス、之ヲ圖分字ト謂フ。要スルニ圖分ナル語ハ家産分割ヲ表榜スルノ語ナリトス。(臺灣私法參照)

鞠 (部首) (履韻)

【鞠】 鞠ハ鞠ニ通ズ。被告人ヲ訊問スルノ義ナリ。【史記】酷吏傳「訊鞠論報。」

【鞠決】 法官ガ被告人ヲ審問シテ罪ノ有無ヲ決定スルノ義ナリ。【魏書】高宗紀「鞠決淹耗。隨逐鞠定。」

【鞠獄】 獄ハ刑事裁判ノ義(「部」部)鞠ハ審問ノ義ナリ。(下條ヲ)【鞠獄官】 刑事被告事件ノ主任裁判官ヲ指稱ス。【唐律】斷獄篇「鞠獄官停囚對門」ノ條「諸鞠獄官。停囚待問者。云云。」疏議「鞠獄官。謂ニ推鞠主司。」(卷二)

【鞠獄停囚待對】 (鞠獄囚ヲ停)鞠ハ訊問シテ犯罪ノ事實ヲ究明スルコト、獄ハ刑事事件ナリ。即チ鞠獄ハ刑事ノ裁判ヲ謂フ。刑事裁判ニ於テ被告人數人アル場合ハ數人ノ口供ヲ聽取シ對問スルノ必要アリ、故ニ同犯者他ニ在レバ已ニ獲タル囚人ヲ留置キテ同犯者ヲ

引引シ其來ルヲ待チテ對問スルコトヲ謂フ。【明律】清律「刑律斷獄篇」鞠獄停囚待對」ノ條アリ。同文ヲ以テ「凡鞠獄官推問罪囚。有起內人伴見在。他處官司」(字ヲ加フ)「停囚待對者。雖職分不相統攝。皆聽直行勾取。云云。」(明律卷三十四)

【詰】 (一)治ムルノ義、【書經】立政篇「詰爾戎兵。」(二)警ム、又ハ禁ズルノ義、【周禮】天官冢宰之職「五日。刑典。以詰邦國。」(三)罪ヲ問フノ義、【禮記】月令篇「詰誅暴慢。」(四)明ノ義、明朝ヲ詰朝ト爲ス。【小爾雅】「詰朝。明且也。」【說文長箋】「本作詰朝。詰。古哲字。借明也。云云。」

【詰誘】 人ヲ惑亂誘引スルコトヲ謂フ。【唐律釋文】「惑亂謂之詰。作言相引謂之誘。」(卷二)

【詰姦惡】 (姦惡ヲ)姦惡ハ暴亂ニ對シテ其罪

惡ノ隱レテ知レ難キモノヲ謂フ。故ニ之ヲ詰ス。詰ハ推鞠窮詰シテ其罪情ヲ明ニスルノ謂ナリ。【書經】周官篇「司寇掌三邦禁。詰姦惡。刑之。季亂。呂祖讓註「姦惡。隱而難知。故謂之詰。推鞠窮詰。而求其情也。暴亂。顯而易見。直刑之而已。」

【急】 國家財政上ニ於テ「急」ト曰フハ三年間ヲ支持スル儲蓄ナキヲ謂フ。(「部」部)不例トス。(「急」見ヨ)

【急脚遞】 宋代郵便ノ一種、戰時ニ用フルヲ例トス。(「急」見ヨ)

【急告假】 三字、皆休假ノ名ナリ。急ハ及ト通ス。急使前後相及ブノ義ニ取ル。告ハ「豫告」賜告ノ略、寧ハ安、父母ノ安否ヲ問フ爲メニ休假ヲ與フルナリ。【唐類函】「按急告寧。皆休假名也。釋名曰。急及也。言操切之使相逮及也。李漢書曰。告請也。言請二休調也。寧安也。告曰寧也。漢律使二千石。有二予告。有二賜

告。予告者在官有功。最法所當得者也。賜告者。病滿三月。當免。天子優賜其告。使得二印。授一將。官屬。歸家。理病。至三歲命時。郡二千石。賜告。不得歸家。自馮野王始也。云云。(卷六)

【急遞】 今ノ郵便ノ一種、但シ其異ナルハ馬匹ヲ以テ人員ヲ護送スルニ在リ。急遞ハ至急ノ用ニ備フルモノ、日行四百里ヲ程トシ、戰時ニ用フルヲ例トス。【事物紀原】筆談曰。驛傳舊有二步。馬急遞三等。急遞最速。日行四百里。惟軍興用之。監察中又有三金字牌急遞。如古羽檄也。(七)

【急遞鋪】 元制、今ノ郵便ノ一種、文書ノ發送ヲ掌ル。一ニ、通達鋪トモ稱ス。

【急流勇退】 斷然トシテ官職ヲ辭去スルコトヲ謂フ。急流ヲ亂シテ川ヲ横ルニ譬フルナリ。【名臣言行錄】一僧謂三錢若水曰。公。急流中勇退人也。

強 (部首) (頤、陽又)

【強嫁】 婦人ガ其夫死シテ喪ニ服シ服滿ツルモ志ヲ守リテ再嫁ヲ欲セザルニ夫家ノ父母其他ノ親族等強テ再嫁セシメタルトキハ之ヲ強嫁罪トシテ出嫁セシメタル者ヲ罰ス。【明律】ハ女ノ祖父母父母ガ實家ニ引取リテ出嫁セシメタルトキハ不論罪トシタルガ【清律】ハ之ヲ改メテ實家ノ父母ト雖モ強嫁シタルトキハ之ヲ罰ス。【明律】戸律婚姻篇。居喪嫁娶ノ條。其夫喪服滿願守志。非ニ女之祖父母父母。而強嫁之者杖八十。期親強嫁者減二等。婦人不坐。追三歸前夫之家。聽ニ從守志。娶者亦不坐。追三還財禮ト規定ス。(六)【清律】同篇同條。其夫喪服滿妻妾願守志。而女之祖父母及夫家之祖父母父母強嫁之者。杖八十。期親加二等。大功以下又加一等。云云。(九卷)

【強合和成】 最初ハ強姦ノ行爲ニ出アタルモ、後ニ被強姦者タル婦女ガ強姦者ノ爲スニ順從シ何等反抗セザルモノハ之ヲ「強合和成」ト謂フ。即チ和姦ヲ以テ論ズ。是レ一ハ婦女ノ薄志弱行ヲ懲戒シ、一ハ一般婦女ノ貞節ヲ飭令スル法意ナリ。【イノ部】以強姦。以和成ト同義ナリ。【イノ部】(詳細、拙著「支那」)【法制史論】「犯姦」

【強姦】 強姦ハ【唐律】【明律】【清律】共ニ規定スル所ニシテ種種解釋ハアレドモ其要ヲ盡セルハ【清律】ノ註解ナリ。強姦ハ婦人ニ全然淫心ナク他ノ強姦ニ遭ヒ、刀拒ムコト能ハス已ムヲ得ザル結果ニ因ル。故ニ(一)強姦ノ狀アルコト(二)婦女摺脫スル能ハザルノ狀アルコト(三)第三者之ヲ聞知スルコトヲ要ストセリ

【強牽財物】 (財物ヲ) 債權者ガ官司ニ告ゲズシテ直接債務者ノ財産ヲ強制的ニ取去ルコトヲ謂フ。幸ハ幸罪ノ義即チ財物内ニハ奴婢及ビ牛馬等ノ畜産ヲ含ム。故ニ幸字ヲ用フ。【唐律】雜律「負債強牽畜産」ノ條ニ「諸負債。不告官司。而強牽財物。過本契一者。坐贓論。」(卷二)

【強乞取】 (乞取ス) 官吏ガ強制シテ民財ヲ取

得スルコトヲ謂フ (取ラ見ヨ)

【強搶】 掠奪ト言フニ同じ。男女婚約ヲ結ビタル後、女家ガ之ヲ悔キテ他ニ婚約ヲ結ビタル等ノ場合ハ官司ニ出訴シテ官司ノ處分ヲ仰グヲ法トス。而モ自ラ暴力ヲ以テ搶奪スルコトヲ「強搶」ト曰フ。強姦律ニ準シテ罰セラル。【清律】戸律婚姻篇「男女婚約」ノ條附例「凡女家悔盟另許。男家不告官司。強搶者。照強姦律。減二等。」(九卷)

【強仕】 古制ニ於テハ二十歳ヲ弱ト曰ヒ冠シ三十歳ヲ壯ト曰ヒ妻ヲ迎ヘ。四十歳ヲ強ト曰ヒ仕フ。(即チ) 法トシタリ。【禮記】曲禮篇「十年曰幼學。二十曰弱冠。三十曰壯。有室。四十曰強仕。云云。」即チ四十ヲ強仕ト曰フ。

【強市】 官吏ガ其所管内ニ於テ威力ヲ以テ貨物ヲ強買スルコトヲ謂フ。【唐律】贓制篇「貨所監臨財物」ノ條ニ「強市者答五十。有剽利者。計利準枉法論。其疏議。強市者。答五十。謂以三威若力。強買物。雖當價償答五十。有剽利者。計利準枉法論。」(卷十)

強 (部首) (頤、陽又)

【強死】 疾病ニ因ラズシテ死スコト、即チ人、非命ニ死スルノ義ナリ。【左傳】文公十年「三君皆將強死。」

【強娶】 婚約ハ成立スルモ期約未ダ至ラズシテ男家ヨリ強制的ニ強姦ヲ爲スコトヲ謂フ。【明律】【清律】ハ答五十二處ス。之ヲ「強娶」ト稱ス。(明律卷六、清律卷九)

【強折賤賣】 強制的ニ價ヲ割リテ廉賣セシムルコトヲ謂フ。【後漢書】靈帝紀「又詔。發三州郡材木文石。黃門侍郎輒令。誣呵不中者。因強折賤賣。僅得本價十一。云云。」(大學衍義補卷八十)

【強占】 富強有力ノ者ガ他人ノ婦女ヲ兇勢ニ依リテ占奪スルコトヲ謂フ。【明律】【清律】戸律婚姻篇「強占良家妻女」ノ條アリ。(明律卷九卷)

狂 (部首) (頤、陽)

【狂易】 狂疾ニ因リテ人ノ性情ノ變易スルコ

トヲ謂フ。【漢書】五行志「病狂易」【周禮】「人ノ註」性狂易也。

【狂犬不殺】 (狂犬) 狂犬ハ飼養者ニ於テ必ズ之ヲ撲殺スルヲ要ス。若シ撲殺セザルトキハ答四十二處シ撲殺セザル故ヲ以テ人ヲ殺傷シタルトキハ過失殺傷ヲ以テ論ジ。故ラニ放サテ人ヲ殺傷セシメタルトキハ開殺傷ヲ以テ論ズ。(テノ部「贓論」)

【狂慧】 發狂ニ因リテ智能ヲ損ジ痴愚ト爲ルコト。犯罪及ビ受刑能力ナキ者トス。【後漢書】「吁子危我哉。狂慧。是我幼時之行也。」

誑 (部首) (頤、陽)

【誑騙】 誑ハ誑ト通ズ。甘言ヲ以テ人ヲ欺キテ物ヲ取ルコトヲ謂フ。【明律清律刑律詐欺】(同義)

逆 (部首) (頤、陽)

【逆】 (一) 逆フナリ。拂フナリ。不順ナリ。【釋名】逆。違也。不從其理。則逆不順也。

【書經】大禹謨、從「逆凶」註「言、悖善從惡也。」
 (一)亂ナリ。【禮記】孔子燕居篇「真而不中」
 謂「逆」之逆。(二)大逆ノ略。【漢書】武帝紀「大
 逆不道。」(三)逆ヲ見。【四】迎フルナリ。【周
 禮】春官、中春獻「國詩」以逆「夏」。【書經】呂刑
 篇「爾尙敬「逆」天命。」【春秋】桓公八年「祭公來
 逆」王后子紀。(五)民間ノ奏書ヲ謂フ。【周
 禮】天官宰夫「掌「逆」羣吏之治。以待「諸侯」之復
 復。萬民之逆。」同書夏官太僕「掌「諸侯」之復
 逆。」註「復、謂「奏」事。逆、謂「自下而上。」(六)
 受クルナリ。【儀禮】聘禮「衆介皆逆命不辭。」
 註「逆、猶「受」也。」【周禮】天官司書「以逆「羣吏
 之徵命。」註「逆、受而鈎考之。」

【逆祀】上下ノ順序ニ逆ヒテ祭ヲ爲スコトヲ
 謂フ。【左傳】「濟「僖公」逆祀也。」蓋シ僖公ハ閔
 公ノ兄ナルモ嘗テ閔公ノ臣タリ。而モ其位牌
 ヲ閔公ノ上ニ升ス。故ニ之ヲ逆祀ト謂フ。
 【逆節】天常ニ逆フコト、天常ハ天ノ四節、
 人ニ於テハ人倫ノ大本ナリ。(唐律釋)
 (文卷一)

【逆鱗】龍ノ喉下ニ逆ニ生ジタル鱗尺ノ鱗ア
 リ、人ニ觸ルレバ忽チ怒リテ人ヲ殺ス。龍
 ハ人君ノ象ナリ。故ニ人君ノ怒ニ喻フ。【韓非
 子】說難篇「夫龍之爲「逆」也。柔可「押」而騎也。
 然其喉下有「逆」鱗徑尺。若人有「逆」之者。必殺
 人。人主亦有「逆」鱗。說者能無「嬰」人主逆鱗。則
 幾矣。」

【逆】(部首)(韻)
 【郷】(一)行政區劃ノ名、古ハ一萬二千五百
 家ヲ以テ郷ト爲ス。【漢書】食貨志「五家爲「郷」。
 五郷爲「里」。四里爲「族」。五族爲「黨」。五黨爲「州」。
 五州爲「郷」。是一萬二千五百戶也。是レ周禮地
 官郷大夫ノ制ヨリ取ル。(二)清末ノ自治制
 人口五萬ニ滿テザルノ區域ヲ以テ郷ト爲シタ
 リ。(三)城鎮以外皆郷ト稱ス(四)客土ニ對シ
 本籍地ヲ郷ト爲ス。

【郷飲酒】周代ヨリ行ハル典禮ノ一、郷學ニ
 於テ三年ノ學業ヲ畢ヘタル者ニ對シ、一應徳
 行道藝ノ考察ヲ爲シ優劣ノ者ヲ京師ヘ推薦ス

フ。大樂正造士ノ秀者ヲ論ジテ之ヲ王ニ告ゲ
 司馬ニ升シテ官吏ノ候補ニ充ツ之ヲ「進士」ト
 曰フ。新クテ司馬其官材ヲ辨シテ進士中ノ賢
 者ヲ王ニ告ゲテ官職ヲ授クルヲ法トス(周禮
 禮記王制及比學記並)
 【郷曲】窮郷僻邑、其偏處ノ一隅ヲ「郷曲」ト
 謂フ。故ニ一部落ノ義ニ取ルモ亦ナリ。【史
 記】平準書「兼并豪黨之徒。以武斷於郷曲。」
 【郷曲武斷】暴威ニ依リ郷曲ノ事ヲ斷ズル
 ノ義(前條ヲ
 見ヨ)。

【郷貫】原籍ノコト、【唐書】選舉志「自今一
 委ニ有司。以ニ郷貫三代名諱。送ニ中書門下。」
 【郷刑上德】(郷刑ハ徳)郷刑ハ周禮五刑ノ
 一、郷黨ニ關スル刑法、徳ハ郷ノ六徳、六徳ヲ
 保護獎勵スルヲ目的トス。故ニ之ヲ妨害スル
 者ヲ罰ス。(イ)ノ部、以五刑
 判萬民ヲ見ヨ)。

【郷貢】(下條ヲ
 見ヨ)。

【郷貢進士】唐代士ヲ取ルノ法ニ三種アリ

各州縣ヨリ人才ヲ選拔シテ京師ヘ貢スルヲ
 「郷貢」又ハ「郷貢進士」ト曰フ。當時ノ進士ハ
 科目ノ名ナリ。學校ヨリ選拔スルヲ「學生」ト
 曰フ。(文武官ノ子弟ニシテ應試ヲ許サル、者
 ヲ「制士」ト曰フ。【唐書】選舉志「唐制取士之
 科。多因「隋」舊。然其大要有二。由「學館」者曰「
 生徒」。由「州縣」者曰「郷貢」。皆升ニ子有司。而進ニ
 退之。(文獻通
 考)。

【郷三物】物ノ事、三物ハ徳、行、藝ノ三物ナ
 リ。周代ハ每郷此三物ヲ敬ヘテ成績秀優ナル
 者ヲ選ビ中央政府ニ貢興(貢興ヲ以テ推)シ首
 部ノ大學ニ入レ益々其學識ヲ完成セシメ以テ
 官職ヲ授クルヲ法トス。徳ニ六アリ之ヲ「六
 徳」ト謂ヒ行ニ六アリ之ヲ「六行」ト謂ヒ、藝
 ニ六アリ之ヲ「六藝」ト謂フ。【周禮】地官大司
 徒「以ニ郷三物ニ教ニ萬民。而賓ニ興之。一曰ニ六
 徳。知。仁。聖。義。中。(一ニ忠)和。二曰ニ六行。
 孝。友。睦。姻。任。恤。三曰ニ六藝。禮。樂。射。御。
 書。數。六徳ノ内容ハ是非ヲ別ツヲ「知」ト曰
 ヒ公ニシテ私ナキヲ「仁」ト曰ヒ事理ニ通明ス

ルニ際シ、郷大夫主人ト爲リ之ヲ送別スルト
 同時ニ一郷ノ長老者ヲ賓客トシテ招待シ、一
 郷ノ親睦ヲ計ル禮儀ナリ。(儀禮「郷
 飲酒禮」)

【郷舉里選之法】(郷舉里)周ノ盛時ニ在リ
 テハ每郷郷大夫ヲ置キ郷ノ三物(本條ヲ)ヲ教
 ヘ三年一次大比シ(大比)賢者(德行)ヲ教
 (才能)ヲ中央ニ選舉スルコト、セリ、【周
 禮】地官司徒並ニ【禮記】王制及比學記等ノ篇
 ニ詳ナリ。其概要ヲ舉ゲレバ(當時ノ地方區劃
 ハ郷法ト達法トノ二種アリ故ハ郷法ニ依ル)
 五家ヲ比ト爲シ五比(二十)ヲ閔ト爲シ四閔
 (百)ヲ族ト爲シ五族(五百)ヲ黨ト爲シ五黨
 (二千五百)ヲ郷ト爲シ五郷(一萬二千)ヲ國ト爲
 シ各閔ニ熟ヲ設ケ各黨ニ庠ヲ設ケ各黨ニ序ヲ
 設ケ國ニ學ヲ設ケ順次教育シテ升進セシムル
 ヲ法トセリ。即チ郷ノ秀士ヲ司徒ニ升ヌヲ「選
 士」ト曰ヒ司徒選士ノ秀者ヲ學ニ升ヌヲ「俊
 士」ト曰ヒ司徒ニ升ヌ者ハ郷ノ後役ヲ免シ學
 ニ升ヌ者ハ司徒ノ後從ヲ免ヌ之ヲ「遺士」ト曰

漢ニ至リ始テ「糾察」ノ任ト爲ス。其官署ヲ「御史臺」ト曰フ。「亦蘭臺寺」トモ稱ス。
 (漢ハ尚書ヲ以テ中臺ト爲シ、御史ヲ憲臺ト爲シ、諫者ヲ外臺ト爲シ、之ヲ三臺ト謂フ) 梁、後魏、北齊ハ之ヲ「南臺」ト謂フ。北齊ノ御史臺ハ「糾察彈劾」ヲ掌ル。後周ハ「司憲」ト曰フ。唐ハ「御史臺」ト曰フ。高宗龍朔中改メテ「憲臺」ト爲ス。武后ノ時改メテ「憲政臺」ト爲ス。後、肅政ノ名ヲ去リ但「左右御史臺」ト爲ス。宋ハ唐制ニ沿ヒテ御史臺ヲ設ク。其屬ニ三院アリ一「御史臺」ト曰ヒ侍御史ニ隸シ、二「殿院」ト曰ヒ殿中侍御史ニ隸シ、三「察院」ト曰ヒ監察御史ニ隸ス。御制三院ハ多ク外ニ出テテ風憲ノ職ニ任ス。(古今事類集 新集卷十八)

【御史臺獄】 宋代、訴訟事件ノ重大ナル者ハ御史臺ニ命シテ裁判セシム。之ヲ「御史臺獄」ト謂フ。(七ノ部、詔)

【御史大夫】 秦設ノ官、漢之ニ因ル。成帝咸和元年更メテ「大司空」ト名ヅク。高帝建平

二年又タ「御史大夫」ト爲ス。元壽二年復タ「大司空」ト爲ス。魏ハ「御史大夫」ヲ置ク。北齊、後周ハ並ニ大夫ヲ置カス。中丞ヲ以テ臺主ト爲ス。隋ハ中字ヲ諱ミ秦漢ノ制ニ因リテ「御史大夫」ヲ置キ降シテ正四品ト爲ス。唐ハ武德中「御史臺大夫」ト改メ從三品ト爲ス。龍朔中改メテ「大司空」ト爲ス。咸亨中復タ大夫ト爲ス。光宅中分チテ「左、右臺大夫」ト爲ス。其後左臺ヲ廢スルニ及ビテ左右ノ二字ヲ去リ從三品ト爲ス。其任ハ刑法及ビ典章ニ據リテ百官ノ罪惡ヲ糾正ス。五代ハ唐、會昌六年御史大夫ヲ升セテ正三品ト爲ス。宋ハ御史大夫ヲ以テ兼官ト爲シ正二品ト爲ス。元ハ御史大夫ヲ以テ從二品ト爲ス。(古今事類集 新集卷十八)

【御史大夫寺】 (御史臺) (ヲ見ヨ)

【御史中丞】 周官小宰ノ職、邦ノ官刑ヲ掌ル。秦ノ時御史ニ二丞アリ其一ハ「御史丞」、他ノ一ハ「中丞」ト爲ス。外ハ御史ヲ督シ内ハ侍御史ヲ領ス。漢ハ之ニ因ル。亦「中丞」ヲ謂

ツテ「臺首」ト爲ス。齊ハ之ヲ「南史」ト謂フ。後魏ハ「御史中尉」ト爲ス。後周ハ「司憲中大夫」ト爲ス。隋ハ中字ヲ諱ミ「侍御史」ヲ以テ中丞ノ任ニ代フ。唐制ハ舊名ニ復シ百官ノ罪ヲ糾正スルコトヲ掌ラシム。(古今事類集 新集卷十八)

(御史大 天參照)

【御史府】 (御史臺) (ヲ見ヨ)

【御制三院】 御史臺ノ別稱ナリ。(御史臺) (ヲ見ヨ)

【御寶】 皇帝ノ用キル御印ヲ謂フ。惟ダ律ニ於テ御ト稱スルハ太皇太后、皇太后、皇后亦同シト爲スト雖モ御寶ハ天子ハ寶ノ總稱ニシテ本來ハ天子ニ限ラレ皆玉ヲ以テ爲タル。(一) 神寶(二) 受命寶(三) 皇帝行寶(四) 皇帝寶(五) 皇帝信寶(六) 天子行寶(七) 天子之寶(八) 天子信寶是ナリ。三后ノ寶ハ金ヲ以テ爲タリ竝ニ使用セズ(唐律卷十九賊盜篇)

拒 (部首) (詔)

【拒諫】 (拒ム) 諫言ヲ拒ミテ用キザルノ義

ナリ。(後漢書) 申屠剛傳「拒諫者」案」

【拒馬鎗】 軍具、木ヲ以テ人字架ト爲シ鎗ヲ其横木ニ貫キ、餘及テ外ニ向ケテ要隘ノ處ニ並置シ以テ敵騎ノ衝撃ヲ禦クノ用トス。

【拒捕】 (拒ム) 逃亡犯罪人ヲ捕フルトキ犯人ガ抵抗シテ之ヲ拒ムコトヲ謂フ。(七、清律卷三十三刑律捕) 篇「拒捕」ノ條

据 (部首) (詔)

【据】 (一) 據ル (部首) (詔) (二) 據ル (部首) (詔)

【據】 證據ノ義、支那及ビ臺灣舊慣ニ於テハ民間貸借等ノ證書ニハ必ズ「以爲據」ト記スルヲ例トス。

【據見發】 (見發) 賭博犯ハ現場ニ於テ發覺スルニ據リテ之ヲ捕スルノ意、即チ現行犯ノ謂ナリ。【明律】 刑律賭博篇「賭博」ノ條「凡賭博財物者皆杖八十。攤場錢物入官。其開賭賭坊之人同。罪止據見發爲坐。」(明律卷三十六) 清律卷三十二

【據估】 治水工事等ヲ爲ストキ、當該官吏ノ

査定セル豫算額ニ據リテ其工事ヲ辦理スルノ義ナリ。【六部成語註解】「據」官吏所「估用款」之數ノ辦理也。

拒 (部首) (詔)

【拒黍】 黑色ノ黍ナリ。唐代ハ其粒ヲ以テ量及ビ衡ノ標準ヲ定ム。後世之ニ因ル。(部、斛斗) 秤度) (詔)

【拒】 祭祀ニ用フル酒、鬱金(多年草)ヲ以テ拒(キビ)黍ヲ釀シテ之ヲ造ル。故ニ之ヲ「拒吧」ト謂フ。【書經】 用養三甯拒吧一肉。註「拒、黑黍。釀以二吧草。以賜三有司之諸侯者。」

籟 (部首) (詔)

【籟】 (一) 竹ヲ折リ繩ヲ以テ之ニ懸連シ人ノ往來ヲ禁ズルコト、律名之ヲ「籟」ト爲ス。【漢書】 宣帝紀注「林蘇引」律曰「折竹以繩懸連禁籟。使人不得往來。律名爲籟。」(二) 池中ニ室ヲ作りテ鳥ノ棲ムニ便ニシ、鳥入レバ出ヅルヲ得ズ。之ヲ「籟」ト謂フ。【漢書】 宣帝紀「詔。池籟未。御幸一者。假與貧民。」(籟、池)

水中ノ作室可レ用ニ棲鳥。鳥入則捕之。應劭註。籟者。禁苑也。臣瓚註。籟者。所以禁鳥也。設爲藩落。周覆其上。令鳥不得出。猶苑之畜獸。池之畜魚也。(三) 又一說ニハ禁苑ノ遮衛、繩ヲ以テ竹ヲ編ミ繩ト爲シ、人ヲシテ往來スルコトヲ得ザラシムモノト爲ス。【辭源】 禁苑之遮衛也、用繩編竹爲籟。使人不得往來也。

舉 (部首) (詔)

【舉】 (一) 薦舉ノ義 (七ノ部、薦) (二) 犯人ノ財產ヲ沒收スルノ義 (周禮) 凡財物犯。禁者舉之。(三) 清代ニ於テハ官吏ノ成績調査ノ結果、最優等ノ者ヲ選拔シテ昇進スルコトヲ「舉」ト曰フ。【會典】 吏部、凡京察一等。大計卓異。皆曰「舉」(四) 雲舉、即チ喪車ノ稱トス。(釋文卷二十六)

【舉劾】 其人ノ姓名ヲ舉ゲテ彈劾スルコトヲ謂フ。(說文)

【舉玖】 (舉グ) 以ハ玉ニ似タル黑色アル石、

博奕ノ器ニ用フ。玳瑁擧ゲルトハ博器ヲ擧
用スルコト、凡ソ賭博罪ハ利ヲ取ルノ多少ニ
依ラズシテ玳瑁擧ゲルノ數(即チ其)ヲ按シテ
罪ヲ定ムルヲ例トス。(唐律卷二十六博賭律傳)

【擧業】 應試ノ事業即チ官吏試驗ニ應ズルガ
爲メニ學ヲ擧業ヲ謂フ。(金史) 郝晉卿學不
事擧業。

【擧輕以明重】 (輕ヲ擧ゲテ以) 法文ニ正條
ナキモ其罪ヨリ輕キ罪ヲ罰スル規定アルトキ
ハ其輕キ刑例ヲ擧ゲテ其レヨリ重キ罪ハ當然
罪ニ處スコトヲ明ニスルノ謂ナリ。(唐律) 名
例篇「斷罪無正條」ノ條、其應入罪者、則擧
輕以明重。其疏議ニ其理由ヲ説明ス。(六)

【擧人】 昔時ハ士ヲ取ルニ試驗ヲ用キズ各地
方長官ヨリ人材ヲ選ビテ薦舉セシメタリ。故
ニ之ヲ「擧人」ト稱ス。漢章帝ノ詔、前世擧人貢
士或起ニ賦賦。是レ其一例ナリ。唐宋時代ハ之
ヲ「擧進士」ト謂ヒ地方ヨリ薦選セシメテ試驗
(進士) ヲ爲シテ採用スルコト、爲ス。明以後

ハ鄉試及第ノ者ニ與フルノ學位ト爲リ擧人會
試ニ及第シテ貢士ト爲リ貢士殿試ニ合格シ
テ進士ト爲ル清ハ之ニ因ル。(擧)ヲ見ヨ
【擧人大挑】 擧人ニシテ會試ニ落第シタル
者及ビ事故ノ爲メニ會試ニ應ズルコトヲ得ザ
ル者ニ對シテ行フ所ノ任用法ニシテ、即チ一
種ノ恩典ナリ。故ニ揀選ノ要件ハ年齡及ビ精
力ノ壯健ナリヤ否ヤニ在リテ、文藝ノ如何ハ
必シモ其要件ニ非ズ。(清)科場

【擧薦】 科擧ニ由ラズ、特旨ヲ以テ三品或ハ
四品以上ノ科擧若クハ督撫、學政、布政使、按
察使等ニ命ジテ人材ヲ確訪セシメ、召試ノ上
官ヲ授クルモノニシテ、即チ保舉ノ別名ナリ。
(擧)ヲ見ヨ

【擧重以明輕】 (重ヲ擧ゲテ以) 是レ「唐律」
【明律】清律共ニ規定スル所、重キ罪サヘモ
許ス規定アルトキハ其ヨリ輕キ罪ヲ許スコト
自ラ之ヲ明ニスルノ謂、【隋律】ニ始マル。【大
學行義補】「高宗時。趙冬曦言。隋著律曰。犯

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

虛之例(卷二)

【虛】 (部首) (魚) (韻)

【虛怯去處】 刑杖ハ髀部ヲ擊ツテ法トス。
「虛怯去處」トハ脊、背、腰、脇等刑杖ニ勝
ザル所ヲ謂フ。「明律」清律「刑律斷獄篇」決罰
不如法ノ條、若監臨之官。因公事。於人虛怯
去處。非法毆打。云云。清律ノ脚註、虛怯去處。
謂脊背腰脇等、不勝刑杖之所也。(明律
卷三十五)

【虛出通關硃鈔】 (通關硃鈔) 通關ハ租稅
ヲ全納シタル者ニ交付スル證書ニ、「印信長
單」トモ稱ス。硃鈔ハ數度ニ納稅スル者ニ對シ
其都度交付スル領收證ニ、「紅批照票」トモ稱
ス。虛出トハ未ダ納稅セザル者ニ對シテ以上
ノ證書ヲ出給スルコトヲ謂フ。「明律」清律
戶役倉庫篇、虛出通關硃鈔ノ條アリ。其清律
ノ脚註、凡錢糧通完。出給印信長單。爲「通關」
倉庫收。則給「紅批照票」爲「硃鈔」。(明律
卷十)

【虛立典賣】 強者ガ農民ヲ強制シテ土地典
賣(賣)ヲ見ヨ)ノ證書ヲ書キテ出ダサシメ其
土地ヲ掠取スルコトヲ謂フ。「元典章」戶部篇

【虛立典賣】 強者ガ農民ヲ強制シテ土地典
賣(賣)ヲ見ヨ)ノ證書ヲ書キテ出ダサシメ其
土地ヲ掠取スルコトヲ謂フ。「元典章」戶部篇

【虛立典賣】 強者ガ農民ヲ強制シテ土地典
賣(賣)ヲ見ヨ)ノ證書ヲ書キテ出ダサシメ其
土地ヲ掠取スルコトヲ謂フ。「元典章」戶部篇

罪而律無正條者。應出罪。則擧重以明
輕。應入罪。則擧輕以明重。(卷百)

【擧放錢債】 (擧放) 官吏ガ其所管内ノ人
民ニ利息ヲ取リテ錢ヲ貸スコトヲ謂フ。擧ハ
稱ト通ズ、錢ヲ貸スノ義ナルモ其義稍強シ。
故ニ大抵官廳又ハ官吏ガ錢ヲ貸ス場合ニ之ヲ
用フ。民間相互ノ貸借ハ私字ヲ附シ、私放錢
債ト曰フヲ通例トス。「明律」清律「戶律錢債
篇」違禁取利ノ條第一項ニ「凡私放錢債云云」
ト規定シ第二項ニ「若監臨官吏於所部内。擧
放錢債。典當財物者杖八十。云云」ト規定ス
(明律卷九)

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

【擧博爲例】 (博ヲ擧ゲル) 擧博ハ「左傳」ノ
「奕者擧棋不定」トアルニ出ツルノ語、凡ソ
賭博罪ハ博器ヲ擧用スル數(即チ其)ニ照シテ
罪ヲ定ムルヲ例ト爲ス。「擧博爲例」トハ此
レノ謂ナリ。「唐律」雜律篇「博戲賭財物」ノ條
「諸博戲賭財物者杖一百。云云」其脚註「擧
博爲例。餘戲皆是。疏議。擧博爲名。總爲三擧

周縣ノ東北ニ在リ。河南省淇縣ノ東北ニモ鉅橋アルモ書經ニ所謂鉅橋ニアラズ。

【鉅典禮成】 慶賀ノ大禮畢リ、尊號ヲ先帝ニ上リ恩施ヲ百官ニ加フルコトヲ謂フ。(清會典禮部)

馭 (部首) (御)

【馭其威】 (其威ヲ) 刑賞ヲ明ニシテ惡ヲ懲シ善ヲ勸ムルコトヲ謂フ。(ケレノ部、刑賞) 善ヲ勸ムルコトヲ謂フ。(馭其威ヲ見ヨ)

【馭群臣】 (群臣ヲ) 馭ハ御者ノ御ト通ジ、馬ヲ御シテ善ク車ヲ馳ルガ如ク人ヲ驅リテ善ニ導クコトヲ意義ス。(ハレノ部、八) 馭ハ一言之ヲ蔽フレバ、節制ノ義ナリ。

【馭者】 車馬ヲ取扱フノ者、一ニ御者又ハ馭夫ト曰フ。(周禮) 夏官司馬ノ屬ニ馭夫アリ。掌馭試車從車使事。

【馭邊】 (邊ヲ) 邊ハ國境邊鄙ノ地、善ク邊鄙ノ地ヲ治ムルコトヲ馭邊ト曰フ。(北史) 陸徽傳、善於馭邊。甚有威略。

魚 (部首) (魚)

【魚秧】 (魚苗) (ヲ見ヨ)

【魚鹽之利】 漁業及ビ鹽業ノ利殖、周大公望ノ經濟ノ工業商業ト共ニ此兩業ヲ獎勵シ以テ國利民福ヲ圖ル。(史記) 齊太公世家、通工商工之業、使魚鹽之利而人民多歸齊。其詳細ハ管子及ビ國語諸語ニ在リ。就キテ看ルベシ。

【魚鹽】 塩ハ臺灣府誌、就海坪築岸、約水蓄レ魚而名。トアルガ如ク、海坪(海邊ノ)ニ岸ヲ築キテ池ヲ作り水ヲ納レテ魚ヲ飼フ所ヲ謂フ。是レ臺灣特殊ノモノニシテ、舊來一定ノ稅ヲ課シ、之ヲ水餉又ハ塩稅ト稱ス。

【魚契】 符信ノ一種、魚袋、魚符ト同様ナリ。(布ヲ見ヨ)

【魚袋】 金銀ヲ以テ飾ト爲シタル魚形ノ符契ナリ。故ニ一ニ魚符トモ曰フ。左右二箇アリ、左ハ宮廷ニ入ルトキ之ヲ進メ右ハ隨身ト

シ官名及ビ姓名ヲ刻シ出入之ヲ合ス、盛ルニ袋ヲ以テス、故ニ魚袋ト名ヅク。唐代ニ始マリ宋モ亦之ニ因ル。(唐史及ビ宋) 明ニ至リテ廢ス。丘濬曰ク、臣按、魚袋之制、始於唐。蓋川以爲符契也。其始曰魚符、左一右一。左者進内、右者隨身。刻官銜姓名、出入合之。因盛以袋。故以魚袋一名焉。宋因之。其制以金銀飾爲魚形。公服則繫於帶。而垂於後。以明貴賤。蓋無復如唐之符契者矣。我朝革去前代魚袋。云云。(大學衍義補) 【事物紀原】寶錄曰、三代以韋爲之。謂之魚袋。魏易之爲龜。唐高祖給隨身魚。三品以上其飾金。五品以上其飾銀。故名魚袋。天后改爲龜。後復曰魚。神龍初賜紫、則給金魚。賜則給銀魚。不限品也。唐會要曰、永徽二年四月二十九日給隨身魚袋。咸亨三年五月三日始令京官四品。五品職事佩銀魚。久視元年十月十三日職事三品以上用金魚。四品銀。五品銅。景雲二年四月二十四日敕文魚袋著紫者全裝。紫者

銀袋。宋神宗元豐末。親王又賜玉魚。以副金魚。以副玉帶。韓文公之詩曰。不知官高卑。以玉帶。金魚是也。(卷三)

【魚牌】 粵西溪潭中ニ巨魚散スル所ノ卵、端州ノ境ニ至リ始メテ子ヲ出ス。九江ノ僑民海ノ濱ル處ニ於テ之ヲ取り自ラ其場所ヲ選ビテ魚苗早ト爲スモノ九百所アリ。每早上中下ニ分ナテ稅ヲ府ニ納ル之ヲ「魚牌」ト曰フ。(廣東新語)

【魚符】 官吏ノ帶フル符契ノ一種、木又ハ銅ヲ以テ作ル。魚袋ト同様ナリ。【野客叢書】唐故事。以左魚二給郡守。以右魚一留郡庫。每郡守之官一以左魚一合郡庫之右魚。以此爲信。自周顯德門廢。而此制不可復。唐之魚符。即古者銅虎符之意也。按古之符節。左以與郡守。右以留京師。非謂留郡庫也。謂郡守往回以所授之左符。合京師之右符。以防其僞。云云。(卷十)

【魚苗】 魚ノ水澤ニ化産スルモノ、其稍大ナルモノヲ「魚秧」ト曰フ。【本草】凡魚生子。

(キ) 魚 供

編類爲冊。其法甚備。謂之魚鱗圖冊。

【供】 (部首) (供)

【供不應求】 官府必要ノ物品ヲ買入ル場合其豫算ノ不足スルコト、不敷銀トハ不足銀ノ義ナリ。【六部成語註解】買辦官府供應之物。所發之款。少不敷也。

【供億】 億ハ安ノ義、缺乏ノ者ニ物ヲ供シテ安ンセシムルノ義ナリ。【左傳】隱公十一年。君惟是一二父兄。不能供億。

【供漕抽分】 江蘇等ノ省、毎年其本地ノ河川ニ於テ渡船ヲ業トスル者ニ對シ其所得銀錢内ヨリ十分ノ一ヲ抽取シテ、漕船運米ノ脚費(運搬人)ニ供セシムルコトヲ謂フ。俗ニ之ヲ「船鈔」トモ稱ス。【六部成語註解】江蘇等省。每年在本地一渡人運貨之船。所得之銀錢内。十分取一。以供漕船運米之脚費。呼曰船鈔。

【供事】 清制、書記通譯等ノ事務ヲ掌ル者、但シ、宗人府、內閣、上諭館、文淵館、翰林

二一七

院、詹事府、中書科、內廷三館及ヒ修書各館、又ハ各衙門則例館等ニ限リ特ニ「供事」ト稱ス。

【供狀】 法廷ノ供述ノ類ナリ。劉克莊、詩「世上升沈姑付酒。考中供狀是吟詩。」

【供職】 官吏ガ身ヲ其職務ニ供シテ過失ナキコトヲ意義シ、即チ「稱職勳職」ニ次グモノナリ。【清會典】吏部「一等曰稱職。二等曰勳職。三等曰供職。」

【供帳】 餞別會其他ノ宴筵ヲ開クコトヲ謂フ。【漢書】疏廣傳「設祖道。供帳東都門外。」

【供丁銀】 民丁(即チ丁年ニ)力役ニ服スベキ者ガ銀ヲ納メテ之ニ代フルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「民丁應供官役者納銀以代之。曰供丁銀。」

【供頓】 (一)酒ヲ置キテ客ヲ宴スルコトヲ謂フ。【顏氏家訓】「江南風俗。兒生一期。親表家集。致饗享一焉。無教之徒。雖已孤露。其日皆

爲「供頓」云云。(二)元代驛遞ノ制ニ「供頓」アリ。馬車、又ハ牛驢狗等ヲ以テ引ク驛ノ類ヲ曰フ。

【供奉】 官名。宮内奉仕ノ官ナリ。唐代凡ソ一藝一能アル者ハ内廷ニ供奉スルヲ得タリ。故ニ「翰林供奉」ノ名アリ。宋代ハ「東西頭供奉官」アリタリ。【夢溪筆談】「東西頭供奉官。本唐從官之名。自永徽以後。人多居大明宮。別置從官。謂之東頭供奉官。西內具員不廢。則謂之西頭供奉官。」

【凝脂】 (一)法令ノ密ナルコトニ喩フ。【文選】「秦法繁於秋荼。網密於凝脂。」【唐律疏議】「運表。捐二被凝脂。トアルハ此ニ取ル。」(首) (二)普通ノ文語ハ美貌ノ形容詞ナリ。【詩經】「衛風碩人篇」膚如凝脂。【世說】「王右軍見杜弘治。歎曰。面如凝脂。眼如點漆。此眞神仙中人。」

【恐喝取財】 事端ヲ假リテ人ヲ恐喝シ之ヲ恐怖セシメテ其財ヲ取ルコトヲ謂フ。恐喝ハ文書ヲ以テスルモ又ハ口頭ヲ以テスルモ其罪ヲ構成ス。【唐律】「賊盜篇」恐喝取財ノ條アリ。【諸恐喝取財人財物」亦是。準盜論加一等。雖不足畏忌。財主懼而自與亦同。【疏議】「恐喝者。謂知人有犯。欲相告訴。恐喝以取財物者。」註「口恐喝亦是。雖口恐喝亦與文書同。」(卷十)蓋シ疏議ハ恐喝ヲ狹義ニ解スルモノニシテ、必シモ財主犯罪ノ場合ニ限ラズ、苟モ人ノ弱點ニ乘ジテ恐喝スル者ハ亦本罪ヲ構成スベシ。【明律】「刑律賊盜篇」恐嚇取財ノ條アリ。【明律】「改メタルモノナリ。同文。凡恐嚇取財者。計贓准劫盜論加一等。免刺。云云」ト規定ス。(明律卷二十四)但シ、此語ハ【史記】蘇秦傳、日夜務以秦權恐喝諸侯」トアルヲ古トス。

【共工】 官名。(一)治水ヲ職トス。【書經】「舜典」共工方鳩僝切。【鄭玄註】「共工。水官名。其氏名未聞。先祖居此官。故以氏爲官也。」(二)【書經】「同典」垂。汝共工。【馬融註】「爲司空。共理百工之事。」鄭玄註「初堯。冬官爲共工。舜舉禹治水。堯改命司空。以龍異之。至禹登三百揆。捨司空之職。爲共工。二與之。蓋シ共工ハ水官ヲ經テ工官ト爲リタルガ如シ。前記ハ其沿革ト看ルベシ。」

【共和】 (一)周ノ厲王出奔後、宣王即位マテ凡ソ十四年間、天子空位ナリシヲ以テ宰臣周公召公政治ヲ攝行ス。之ヲ號シテ「共和」ト爲ス。其說ニ「アリ。」(甲)【史記】「周紀」周公召公二相行政。號曰「共和」。韋昭注「公卿相與而共行政事。號曰「共和」。此說ハ聊カ近世ノ共和政體ニ似タリ。」(乙)【竹書紀年】「厲王十二年出奔彘。十三年共和。攝行天子事。號曰「共和」。【漢書】「古今人表」注「共國伯爵。和其名。」此說ハ稍ヤ牽強ノ疑アリ。(二)或ハ亦年號ト爲ス。(三)漢代女官ノ名。共ハ恭ト通ス恭順而柔和ノ義ニ取ル。位ハ百石相當官ナリ。(漢書)

【恐嚇取財】 【明律】「唐律」ノ「恐嚇」ヲ改メテ「恐嚇」ト爲ス。【清律】之ニ從フ。(取財ヲ見)

【恐嚇取財】 事端ヲ假リテ人ヲ恐喝シ之ヲ恐怖セシメテ其財ヲ取ルコトヲ謂フ。恐喝ハ文書ヲ以テスルモ又ハ口頭ヲ以テスルモ其罪ヲ構成ス。【唐律】「賊盜篇」恐喝取財ノ條アリ。【諸恐喝取財人財物」亦是。準盜論加一等。雖不足畏忌。財主懼而自與亦同。【疏議】「恐喝者。謂知人有犯。欲相告訴。恐喝以取財物者。」註「口恐喝亦是。雖口恐喝亦與文書同。」(卷十)蓋シ疏議ハ恐喝ヲ狹義ニ解スルモノニシテ、必シモ財主犯罪ノ場合ニ限ラズ、苟モ人ノ弱點ニ乘ジテ恐喝スル者ハ亦本罪ヲ構成スベシ。【明律】「刑律賊盜篇」恐嚇取財ノ條アリ。【明律】「改メタルモノナリ。同文。凡恐嚇取財者。計贓准劫盜論加一等。免刺。云云」ト規定ス。(明律卷二十四)但シ、此語ハ【史記】蘇秦傳、日夜務以秦權恐喝諸侯」トアルヲ古トス。

【共謀】 共同シテ事ヲ謀ルノ義、謀反大逆等ノ大罪ニ在リテハ共謀者ハ造意(首)ト隨從(從)トヲ分テ同一ノ刑即チ死刑ノ最モ重キ凌遲ニ處ス。【明律】「刑律賊盜篇」謀反大逆ノ條、凡謀反及大逆。俱共謀者不分首從。皆凌遲處死。(明律卷二十八)「謀反」トハ社稷(即チ)ヲ危クセンコトヲ謀ルヲ謂ヒ、「大逆」トハ宗廟、山陵及ヒ宮闈(禁中)ヲ毀タンコトヲ謀ルヲ謂フ。尙ホ此兩罪ノ如キハ著手スルト否ヤト論ゼズ謀ノ一事明白ナルトキハ其罪

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

【恭儉】 婦人ノ封號。【詩經】「小雅」溫溫恭人。維德之基。トアルニ出ツ。恭儉ナル人ヲ意義スルモ後世ハ婦人封贈ノ號ト爲ス。宋ノ政和中詔シテ婦人ヲ「何々君」ト稱スルヲ廢シ中散大夫以上均シテ「恭人」ト稱ス。是レ其始メニシテ

「元符三年平城侯禮。坐恐嚇取財。以令買債。免侯云云。」師古ノ註「獨以威力脅人也云云。」

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

【恭儉】 婦人ノ封號。【詩經】「小雅」溫溫恭人。維德之基。トアルニ出ツ。恭儉ナル人ヲ意義スルモ後世ハ婦人封贈ノ號ト爲ス。宋ノ政和中詔シテ婦人ヲ「何々君」ト稱スルヲ廢シ中散大夫以上均シテ「恭人」ト稱ス。是レ其始メニシテ

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

【恭儉】 婦人ノ封號。【詩經】「小雅」溫溫恭人。維德之基。トアルニ出ツ。恭儉ナル人ヲ意義スルモ後世ハ婦人封贈ノ號ト爲ス。宋ノ政和中詔シテ婦人ヲ「何々君」ト稱スルヲ廢シ中散大夫以上均シテ「恭人」ト稱ス。是レ其始メニシテ

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

【恭儉】 婦人ノ封號。【詩經】「小雅」溫溫恭人。維德之基。トアルニ出ツ。恭儉ナル人ヲ意義スルモ後世ハ婦人封贈ノ號ト爲ス。宋ノ政和中詔シテ婦人ヲ「何々君」ト稱スルヲ廢シ中散大夫以上均シテ「恭人」ト稱ス。是レ其始メニシテ

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

【恭儉】 婦人ノ封號。【詩經】「小雅」溫溫恭人。維德之基。トアルニ出ツ。恭儉ナル人ヲ意義スルモ後世ハ婦人封贈ノ號ト爲ス。宋ノ政和中詔シテ婦人ヲ「何々君」ト稱スルヲ廢シ中散大夫以上均シテ「恭人」ト稱ス。是レ其始メニシテ

【恭儉】 完廟金。【金匱】「以テ封封タル箱」在所ナリ。【班固典引】「啓恭儉之金。儉。御東序之祕寶。」註「恭儉。宗廟金。儉之所也。」

婦人ノ封號ナリ。元ハ六品官ノ夫人ヲ「恭人」ニ封シ明清ハ四品官ノ夫人ヲ「恭人」ニ封ス。

【琴】(部首) (韻)

【琴】 罪人ノ兩手ヲ縛スルノ器、木ヲ以テ作ル。【說文】「兩手同械也」。周代ニ於テハ王ノ同族ニシテ罪ヲ犯シタルトキ、之ヲ加ヘテ裁判ノ勅定ヲ待ツテ法トス。【周禮】「秋官司寇之屬、掌囚ノ制、凡囚者王之同族者、有爵者、以特、無爵者、以刑、刑于王、率而適朝、士加三朝、以適市而刑之、凡有爵者與王之同族、率而適甸師氏、以待刑殺。」

【局】(部首) (沃) (韻)

【局】 (一) 官署ノ一部ヲ局ト爲ス。【禮記】「曲禮篇」左右有局、註「軍之左右有部、不相蓋也」。又「各司其局」。【廣韻】「曹局也」。 (二) 官吏ノ居ル所ヲ局ト爲ス。六朝時代ニ始マル。 (三) 世運時會ヲ局ト爲ス。「時局」、「當局」ト曰フガ如シ。

【局方】

宋ノ太醫局定ムル所ノ藥劑ノ方法、徽宗帝ノ時天下ノ名醫ニ勅シテ奏進セシメタルモノニ係リ、後世特ニ之ヲ「局方」ト稱ス。

【局板】

清ノ同治年間曾國藩、官書局ヲ江寧ニ創設シ、經學、歴史ノ書籍ヲ印刷セシムルヤ、江蘇、江西、浙江、福建、廣東、湖南、湖北等ノ省相次ギテ之ニ倣フニ至ル。世人其板ヲ「局板」ト稱ス。

【局騙】

巧妙ナル方法ヲ構ヘテ他人ノ財物ヲ欺取スルコトヲ謂フ。概ネ賭博ニ於テ行ハル。【元典章】「禁局騙」ノ條アリ。且ツ【明律】「清律」刑律篇「詐欺官私取財」ノ條此語ヲ用フ。

【局騙拐帶】

謀ヲ設ケテ他人ノ子女ヲ誘出シ、之ヲ携ヘテ逃走スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「設謀騙人子女、携之逃走也。」

【局僚】

官局ノ事務員ヲ謂フ。【宋史】劉恕傳「司馬光編次資治通鑑、召爲局僚。」

【曲】(部首) (沃) (韻)

【曲學阿世】 學問ノ主義ヲ曲ゲテ世俗ニ阿

ネルコトヲ謂フ。近世學者ノ態度之ニ類スル者少カラザルハ歎クベシ。【史記】「霍林傳」「鞅固之微也、薛人公孫宏亦微、何目視鞅固。因曰、公孫子務正學、以言、無曲學以阿世。」

【曲鞠】

委曲ヲ盡シテ詢問スルノ義ナリ。【盤詰】「周禮一書」欲必曲鞠其辭也。

【曲植蓮篋】

何レモ置具ニシテ曲ハ薄、植ハ穩、蓮ハ席ノ粗ナル者置ハ宮ノ方ナル者ヲ謂フ。【禮記月令篇】

【曲尺】

木ヲ以テ之ヲ製ス。縱長ク横短シ。横木ノ上ニ分寸ヲ刻ス。或ハ銅又ハ黃銅ヲ以テ製ス。木工之ヲ用フ。所謂「カネサシ」ナリ。

【四書大大學序】

「勾股之術、如今木匠曲尺、尺頭爲レ勾、尺梢爲レ股、尺頭與尺梢盡處、相去爲レ弦。【史記索隱】註「矩、曲尺也。」

【曲突徙薪】

火災ヲ避クル爲メニ煙突ヲ曲ゲテ其附近ノ薪ヲ他ニ徙スルノ義、今ハ患ヲ未然ニ防グノ辭ト爲ス。【淮南子】「說山訓」淳子梟之告、失之、高誘註「梟告、其鄰突將失、

火。使曲突徙薪、鄰人不從、後竟失火。云云。【漢書】霍光傳「客有過主人者、見其庭直突、傍有積薪、客謂主人、更爲曲突、遷徙其薪、主人不應、俄失火、鄰里共救之、幸而得息、於是殺牛置酒、謝其鄰人。云云。」

【玉】(部首) (沃) (韻)

【玉衡】 玉ヲ以テ飾リタル衡、天文ヲ觀測スル器ナリ。【書經】「舜典」在璇璣玉衡、以齊七政也。

【玉局】

宋代副官ニ「玉局觀提舉」アリ。略シテ「玉局」ト爲ス。蘇軾曾テ此官ニ叙セラル。

【玉局觀提舉】

(前條ヲ見ヨ)

【玉藻】

天子ノ冕ノ飾【禮記】「玉藻篇」天子玉藻十有二旒、前後邃延、龍卷以祭。玉八、冕ノ前後垂旒ノ玉、藻ハ纁采ノ絺、玉ヲ貫クモノナリ。即チ藻ヲ以テ玉ヲ穿チ、玉ヲ以テ藻ヲ

飾ル。故ニ玉藻ト曰フ。【同書陳】

【玉璽】

天子ノ印ヲ謂フ。秦以前ハ金銀又ハ方寸ノ璽ヲ以テ爲リタルガ秦始皇ノ時ニ至リ楚ノ和氏ノ璧ヲ得テ印ヲ爲ル、故ニ玉璽ト曰フ。李斯其文ヲ書シテ曰ク、受命於天、既壽永昌。後子嬰漢ノ高祖ニ獻ス。之ヲ「傳國璽」ト謂フ。【魏志】「甄皇后傳」攝地得玉璽、方一寸九分。

【玉燭常調】

玉燭ハ爾雅ヨリ出ヅ、即チ、四時調和シテ年ノ豐ナルコトヲ謂フ。【六部成語註解】

【玉食】

珍貴ノ食ヲ謂フ。【書經】「洪範篇」惟辟作威、惟辟玉食。註「威謂三刑罰之類、玉食、謂珍貴之食也。」

【玉敦】

春秋戰國ノ時代、諸侯會盟ノトキニ血ヲ歃ルノ器【周禮】「玉府」掌三王之金玉、若合諸侯、則共珠璽玉敦。」

【玉府】

周官ノ官名。天官冢宰ノ屬官ナリ。皇帝ノ金玉玩好兵器ヲ掌ル。【周禮天官參照】

【均】(部首) (沃) (韻)

【均】(部首) (沃) (韻)

【均湊】 綢緞ト云フニ同ジク、經費不足ノ場合ニ一時他ノ金ヲ以テ補充スルコトヲ謂フ。【清戶部】

【均丁銀】

臺灣ニ於テハ鄭氏時代ヨリ人頭稅ヲ課シ之ヲ「人丁銀」ト稱シタルモ、乾隆十三年之ヲ改メテ「均丁銀」ト爲ス。此ヨリ土地ノ公的負擔タル附加稅ト爲ル。【臺誌】

【愚】(部首) (眞) (韻)

【愚】 愚好ニシテ多言ナル者ヲ謂フ。【書經】「堯典」父頑母嚚、左傳「僖公十二年」口不道、忠信之言、爲嚚。」

【愚猾】

公共心ナキ狡猾ノ徒、嚚ハ愚好ニシテ多言、猾ハ狡猾ニシテ亂ヲ好ム者ナリ。愚悍ノ徒ヲ謂フ。【唐書】「縣多愚猾、數犯法。」

【愚訟】

愚ハ口ニ忠信ノ言ヲ道ハザルノ義、訟ハ爭辯ノ義、即チ頑愚ニシテ爭辯ヲ好ム者ヲ謂フ。【書經】「堯典」帝曰、吁、訟可乎。」

【均】(部首) (沃) (韻)

【均】(部首) (沃) (韻)

【均徭】清代賦役ノ名、在官人役皆所屬民人

内ニ於テ養當(抽籤ニ依リテ)スルヲ例トシ之ヲ力差ト爲シタリ、後改メテ力差銀ヲ徵收シ銀ヲ輸シテ役ヲ助クルコト、爲シ、後復タ地糧ヨリ攤徵(均等ニ徵收)シ役ハ皆募集シテ充當シ其攤徵銀ヲ以テ役食ニ供スルコト、爲シタリ。(嘉慶會典 卷十分註)

【均徭銀】前條ノ地租ヨリ役ノ代リニ攤徵スルモノ、之ヲ均徭銀ト謂フ。清朝ニ於テハ一ニ之ヲ「丁賦」ト稱ス。(嘉慶會典 卷十)

【均輸】大司農ノ屬官、米穀其他ノ物品ヲ一般ニ均等融通シテ停滯ナラシムルノ機關、漢代ニハ、均輸令、均輸丞アリ【史記】「桑弘羊傳、爲大農丞、管諸會計之事、稍稍置均輸、以通貨物。」漢書百官表、大司農屬官、有均輸令丞。【宋史】食貨志、均輸之法、所以通天下之貨、制爲輕重敵散之術。

【均輸官】漢ノ武帝元封元年桑弘羊ノ言ヲ用キテ、均輸官ヲ郡國ニ置キ相給連シテ郡國諸侯ノ買輸ノ便ヲ計ラシメ兼テ天下ノ貨物ヲ管理シ價賤ケレバ買ヒ貴ケレバ賣リ以テ富商大賈ノ暴利ヲ奪ルコトヲ得ザラシムルト共ニ物價ノ調節ヲ計ラシメタリ。故ニ此方法ヲ名ケテ「平準」ト曰ヘリ。(大學衍義補 卷二十五)

【均攤】平均ニ分配スルコトヲ謂フ。文獻通考「熙寧五年詔、如米不及二十合而收爲升、絹不及十分二而收爲寸之類、今不復得用、其數均攤增展、致溢濫額。」

【均田法】北魏孝文帝ノ大和九年、「均田法」ヲ行フ。諸ノ男夫十五歲以上ハ露田四十畝桑田二十畝ヲ受ケ女子ハ露田二十畝ヲ受ケ。老衰及比身段スレバ田ハ返還セシム。桑田ハ桑菴輪等ヲ課種セシメ永業トス。故ニ身段スルモ返還ヲ要セズ。盈不足アルトキハ其限ニ依リテ賣買スルヲ聽シ又別ニ男子ニハ麻田十畝

ヲ給シ女子ニハ五畝ヲ給シ、皆還授ノ法ニ從フ。北齊隋皆其制ニ仍リ略ボ増減スル所アルノミ(文獻通考 田賦制)

【勤謹和緩】勤ハ職務ニ勤勉ナルコト、謹ハ言語ヲ謹ミテ疏略ナラサルコト、和ハ容貌ノ溫和ナルコト、緩ハ性質ノ優游迫マラザルコト、此四事ハ特ニ官吏ノ守ルヘキ官規上ノ要件ト爲ス。【吳氏客語】「李若谷教二初官」云、勤謹和緩。其人云、勤謹和、已聞レ命矣、緩之一字未レ喻。李云、甚事不レ因レ此後錯了。」

【勤儉】公事ニ勤勉シ私事ヲ質素ニスルノ義ナリ。【書經】「克勤子邦、克儉子家。」【詩經】魏風汾沮洳、彼汾沮洳、疏、彼其采芣、之子能勤儉如是。」

【勤恤】(一)國事ヲ憂ヘテ職務ニ勤ムルノ義【書經】「上下勤恤」又(二)他國ノ凶事ヲ憂ヘテ其救濟ニ勤ムルノ義【左傳】僖公三年、楚人伐レ鄭、鄭伯欲成、孔叔不レ可曰、齊方勤我、秦、德

不詳。註、勤我、言齊恤鄭難也。

【勤職】清制、官吏ノ臧否(良)ヲ考察スル要件ノ一、職務ニ勤勉ナル義、官吏ノ成績調査ニ於テハ二等ト爲ス。【清會典】吏部、凡京察堂官、察其屬之職、而註考焉。一等曰「稱職」、二等曰「勤職」。

【勤王】皇室ニ忠勤ヲ勵ムノ義ナリ。【書經】周書武政篇、王李其勤王家。我文考文王克成二厥勳。【左傳】僖公二十五年、秦伯師于河上、將納レ王、狐偃言ニ於晉侯曰、求諸侯、莫如レ勤王。

【勤】(部首) (心) (類) 俗ニ舅母(母ノ兄)ヲ「勤」ト曰フ。(下ヲ見)

【勤】(部首) (女) (類) 俗ニ舅母(母ノ兄)ヲ「勤」ト曰フ。(下ヲ見)

【勤】(部首) (女) (類) 俗ニ舅母(母ノ兄)ヲ「勤」ト曰フ。(下ヲ見)

【勤】(部首) (女) (類) 俗ニ舅母(母ノ兄)ヲ「勤」ト曰フ。(下ヲ見)

律管(條ヲ見) (部) (木) 二容ル、子穀千二百粒ノ重サヲ十二條(百黍ノ重サ)トシ二十四條ヲ一兩十六兩ヲ斤トス。(清國行政 法卷三)

【斤車御史】「斤車」ハ「斬」ノ義、刑ヲ行フコトノ嚴ナル御史ヲ稱ス。【東軒筆錄】御史席平因「輪」詔獄、畢、上殿。仁宗問其平曰、已從三車邊斤矣。時謂之斤車御史。

【矜寡孤獨】少ニシテ父ナキヲ「孤」ト曰ヒ老イテ子ナキヲ「獨」ト曰ヒ、老イテ妻ナキヲ「矜」ト曰ヒ老イテ夫ナキヲ「寡」ト曰フ。【禮記】禮運篇、大道之行、天下爲レ公。矜寡孤獨廢疾者皆有所レ養。要スルニ「矜寡孤獨」ト同義ナリ。

【矜恤】人ノ窮困ヲ哀憫シテ救助スルノ義ナリ。【後漢書】周澤傳、矜恤孤寡。

【矜式】矜ハ敬、式ハ法、一般ニ模範トシテ敬ミ法トルノ義ナリ。【孟子】公孫丑下篇、使

諸大國人皆有之、所二形式。【禁】(部首) (示) (類) (又) 禁

【禁】(一)豫メ罪ト爲ルベキ行爲ヲ定メテ之ヲ國民ニ公示ス。之ヲ「禁」(爲スコトヲ)ト謂フ。刑律ノ制定ナキ以前ハ之ヲ以テ犯罪ヲ未然ニ防グノ用ト爲ス。公示ノ方法ハ木鐸ヲ以テ唱道シ或ハ門閤ニ揭示シタリ。丘濬按、三代未レ有二律之名、而禁者、即是豫爲二法制、以禁之於未然、雖レ無二律之名、而律之意已具於此矣。違二手禁、則入二於刑、入二於刑、則犯二於法。犯二於法、則加以二罰焉。然非狗之、以二不歸一書、之於門閤、則世世盡善之民、何以知其爲禁而不犯哉。故以二木鐸、狗之於朝、使二之內有所聞、以レ書而懸二於門閤、使二之外有所見、聞二見於耳目之間、警二省於心思之內、知レ所二禁忌、不レ犯二刑法、所謂五禁之禮。左二右乎刑罰、豈不レ然哉。(大學衍義 補卷百二) 蓋シ是レハ【周禮】秋官司寇ノ職制ニ取ルナリ。(二)皇帝ノ居ル所ヲ禁ト曰フ。「禁中」、「禁內」ノ如シ。

(三) 監獄ヲ禁ト曰フ。「收禁」監禁ノ如シ。

【禁鴉片章程】鴉片ノ吸食ガ何レノ時代ニ始マリシカハ明ナラザルモ「清律」雜犯篇附例

(雍正九)「鴉片煙ヲ販賣シタル者ハ「收買違禁貨物例」ニ照シテ枷鎖一月、近邊ニ發シテ

軍ニ充テ、私ニ鴉片煙館ヲ開キ良家ノ子弟ヲ引誘シタル者ハ「邪教惑衆律」ニ照シテ絞監候

ニ擬シ、從タル者ハ杖一百、流三千里云云ノ規定アリ。是レ清朝ガ「禁鴉片法」ヲ定メタル始ナリ。其後幾回モ禁令ノ發布アリタルガ

咸豐九年以後藥料トシテ阿片ヲ輸入スルコトハ之ヲ公認シタリ。是ガ爲メ其弊ノ甚シキニ

及ブヤ、李鴻章等ハ阿片ノ輸入ニ重稅ヲ課シテ間接ニ禁煙ノ目的ヲ達セント企テタリ。又

當時駐英公使曾紀澤ハ英國ト鴉片輸入稅ノ增加條約ヲ締結シ、多少其效果ヲ奏シタルモ却

テ内地鴉片ノ産額ハ多キヲ加ヘタリ。斯クテ光緒三十二年十月禁煙辦法十條ヲ制定シ裁可

ヲ經テ公布シタリ。但シ命シテ「禁煙辦法」ト

曰フモ絕對ニ吸煙ヲ禁スルニアラス。從來阿片煙ヲ吸食シタル者ニハ一定ノ期間内少量ノ吸食ヲ爲スコトヲ許シ漸次之ヲ禁止スルノ方針ヲ採リタルモノトス。(清國行政法第二卷)

【禁衛軍】天子ノ衛兵ヲ通稱ス。我近衛兵ニ當ル。漢ハ本名ヲ「郎衛」兵衛ト曰ヒ、唐ハ

「南衛」「北衛」ト曰ヒ、宋ハ「禁兵」ト曰ヒ明ハ「侍衛」「上直軍」ト曰フ。清制ハ八旗護軍營之ニ當ル。

【禁煙條件】清、宣統三年、外務部ト英國公使ト訂盟シタル阿片禁止ノ條件、凡ソ十ヶ條、附件三條ヨリ成ル。是ヨリ先キ光緒三十二年、外務部ト英國公使ト「禁煙辦法」ヲ商定

ス。之ヲ修訂シタルモノナリ。

【禁錮】犯罪ニ因リテ仕官ノ途ヲ塞キテ官吏タルコトヲ禁スルノ刑、春秋時代ニ行ハル。

【左傳】成公二年「禁錮勿令仕」漢代ハ犯罪者ニ止マラズ其親族若クバ家族ハ謹慎ヲ命ゼラレ仕官スルコトヲ得ズ。之ヲ「禁錮」ト謂フ。

其犯罪ハ概シテ賊罪即チ官吏收賄其他不正利得ナリ。【後漢書】章帝紀「元和元年詔曰。一人犯罪。禁至三三屬。莫得垂憐。仕官。王朝如有賢方。而沒齒無用。朕甚憐之。非所可謂與。之更始也。諸以前妖惡。禁錮者。一皆蠲除之。同劉愷傳。安帝初。清河相叔孫光坐。賊略。抵罪。遂增錮二世。及及其子。蓋。禁錮ハ禁止錮閉シテ仕進ヲ得ザラシムルノ義。後世ノ「永不敘用」ニ當リ、近世法ノ禁錮ノ義ニアラズ。其名ハ周制ノ錮ニ出ツ。【左氏傳】成公二年「屈巫奔晉。子反請重幣錮之。」又同書襄公三年「會於商任。錮。錮氏也。」補宋書刑法志(清)「永初元年夏六月丁卯大赦天下。其有犯三蠲論清議。淫盜。一皆蕩洗除與。之更始。長徒之身。特皆原遣。亡官失爵。禁錮奪勞。一依舊準。」(武帝本紀下)

【禁錮奪勞】禁錮ニ因リテ從來ノ功勞ニ對スル優遇ヲ奪取スルノ義ナリ。【補宋書刑法志】「前亡官失爵。禁錮奪勞。一依舊準。」

(武帝本紀下)

【禁酤酒】漢景帝ノ中元三年旱災アリ酤酒、即チ酒ヲ販賣スルコトヲ禁ズ。後元年其禁ヲ解キタルモ災禍アル毎ニ之ヲ禁ズ。枚舉ニ暇

アラズ。元來漢代ノ禁酒律ハ三人以上故ナクシテ群飲シタルトキハ罰金四兩ニ處スヲ法ト

ス。【日知錄之餘】「景帝中元三年夏旱。禁酤酒。」後元年夏令民得酤酒。宣帝時復禁民酤。漢興有酤酒之禁。其律三人以上無故羣

飲。罰金四兩。(二)卷

【禁造銅器】銅器ヲ造(鑄)鑄原料ノ減少ヲ防グ爲メ民間銅ノ濫用ヲ禁ジタルモノナリ。

【日知錄之餘】「南史宋孝武帝孝建三年夏四月甲子。初禁人車及酒肆器用銅。又代宗紀大

歷七年十二月壬子禁鑄銅器。」又「舊唐書德宗紀貞元九年正月甲辰。禁賣劍銅器。天下

有銅山。任人採取其銅。官買除鑄造外不得鑄造。」又「憲宗紀元和元年二月甲辰以錢

少。禁用銅器。其他數種ノ事例アリ。(二)卷

(銅像ヲ禁)

【禁造銅像】前條ト主旨ヲ同クス。(通ルヲ禁)【宋書】靈夷傳「元嘉十二年丹陽尹蕭惠之奏曰。佛化被于中國。已歷四代。形像塔寺所

在千數。自頃以來情敬浮。未不以二精誠。爲至。更以三者。爲重。舊寺頽廢。會其之修。內

各務造新以相夸。尙材竹銅。糜損無極。無關。神祇有累。人事不爲之防。流通未息。請

自今以後。有欲鑄銅像者。悉詣臺自聞。興二造塔寺精舍。皆先詣在所二十石通釋郡守。依事列言。本州須許。然後就功。其有輒

造。寺舍一者。皆依不承。用詔書一律。銅宅林院。悉沒入官。詔可。(日和錄之) (餘卷二)

【禁殺日】殺生ヲ禁ズルノ日、毎月十日アリ。此日ハ死刑ヲ執行スルコトヲ禁ジ之ヲ犯ス者

ハ杖六十ニ處ス。【唐律】斷獄篇「立春後不決死刑」ノ條疏議「禁殺日。謂毎月十日。月一

十四日。二十八日。二十九日。三十日。云云。」(卷三)

(官名)

【禁殺戮】官名、【周禮】秋官司寇ノ屬官、國民ヲ警戒シテ殺戮ヲ禁制スルコトヲ掌ル。其職制「掌司刑殺戮者。凡傷人見血。而不

以告者。擯。獄者。過。訟者。以告。誅。之。」鄭玄註「掌殺戮者。禁民不得相殺戮。司。殺。戮也。殺。此。四。者。告。於。司。寇。罪。之。也。斬。殺。戮。謂。吏。民。相。殺。相。戮。者。傷。人。見。血。乃。爲。傷。人。耳。」

【禁子】(シ)ノ部、(風)侯、(禁)中、(禁)省、禁中ト同義ナリ。(禁)中、(禁)省、禁中ト同義ナリ。(禁)中、(禁)省、禁中ト同義ナリ。

【禁私貯】(私貯ヲ)唐憲宗ノ元和中數シテ錢ヲ私貯スルコトヲ禁ジ同時ニ見錢五千貫ニ過

ギルコトヲ許サズ(唐書憲宗紀及七)【禁推】重大犯人ハ獄具ヲ加ヘテ獄内ニ監禁

シ嚴ニ其逃亡ヲ防ギテ推問ヲ爲スコトヲ謂フ。(唐律卷二十九斷獄、四)

【禁斷新錢】(新錢ヲ)新錢ノ濫造ヲ禁ズ。【日知錄之餘】「宋書明帝紀。泰始二年三月壬子。禁斷新錢。專用古錢。」又、頌景和元年。沈慶

之啓ニ通私鑄。由是錢貨亂取一千。錢長不盈三寸。大小稱之。謂之雲眼錢。劣于此者謂之繩環錢。入水不沈。隨手破碎。云云。(二)卷

【禁中】 皇居、門戸ニ禁示アリ、侍御ノ臣ノ外ハ入ルコトヲ得ズ。漢ニ始マル。後、元后父ノ名禁ヲ避ケテ「省中」ト爲ス。(一)編

【禁朝官飲酒】 (朝官飲酒) 朝廷ノ官吏ノ飲酒ヲ禁シ、禁ヲ犯ス者ハ死刑ニ處ス。尙ホ三國人ヲ集メ燕飲セシメタルトキハ之ヲ罰ス。

【日知錄之餘】 金熙宗天會十三年正月甲戌詔公私禁酒。海陵正隆五年禁朝官飲酒。犯者死。三國人使燕飲者罪。(二)卷

【禁暴氏】 官名、周禮秋官司寇ノ屬官、暴亂ノ言行ヲ制禁スルコトヲ掌ル。其職制、禁暴氏。掌禁暴氏之亂。暴力正者。矯誣犯禁者。作言語而不信者。以告而誅之。

【禁發塚】 (發塚ヲ禁) 唐律【明律】 明律禁發塚。其何レノ規規定ス。(一)ハノ部(發) 其何レノ塚ヲ見ヨ

時代ヨリ之ヲ禁ズルカニ付キテハ明確ナラズ。魏高宗太安四年之ヲ禁シタルハ其古キモノニ屬ス。日和錄之餘、魏高宗太安四年十月甲戌北巡。至陰山。有故塚毀廢。詔曰。昔姬文葬之。枯骨天下歸仁。自今有穿毀葬。一者斬之。トアルハ是ナリ。(二)卷

【禁兵器】 普通ノ弓、箭、刀、楯、短矛ノ類ニ非ラズ私家ノ所有スベカラザル兵器ヲ謂フ。(唐律卷十九賊盜、盜) 禁兵器ノ條疏議

【禁令】 禁ハ爲スコト勿ラシムルノ義、令ハ之ヲ爲サシムルノ義ナリ。禁ヲ犯ス者、令ヲ犯ス者皆罰アリ。今世上ノ作爲犯ト不作爲犯トノ如シ。周禮地官之屬司市、掌三之治教。政刑。量度。禁令。其註、禁。使勿レ爲。令。使之爲。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊】 (部首) (韻) 緊ヲ纏ムルコト急ナルノ義、凡ソ事ノ急ナルヲ「緊」ト曰フ。

【緊關字樣】 一文中最も緊要ナル文字即チ字眼ノ義ナリ。(明律卷三、吏律公式) (增減官文書ノ條)

【緊縣】 後周時代ニ於テハ二千戸以上ノ戸數ヲ有スル地方ヲ緊縣ト爲ス。【文獻通考】 周廣順二年。勅三千戸以上ニ爲「緊縣」。

【勛】 (部首) (文) 勛ハ筋ノ義、筋ト通ズ。又(二)斤兩ノ「斤」ト通ズ。

【勛角】 勛ハ筋ニ同ジ。牛ノ筋及ビ角ヲ「勛角」ト曰フ。(明律清律兵律牧畜、牧) 角ト曰フ。(養畜產不如法ノ條)

【金】 (部首) (侵) 金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金印紫綬】 (金紫) 金ヲ以テ作リタル印ノ如ク疆土ノ完全ナルニ喩フ。【南史】 朱異傳、武帝嘗言。我國家猶若「金印」。無一傷缺。

【金印】 黃金ニテ造レル將軍及ビ宰相ノ印ナリ。【史記】 孝武紀、居月餘。得四金印。後漢書、百官公卿表、相國丞相。皆奉官。金印紫綬。

【金甌覆命】 新タニ宰相ヲ任命スルコトヲ謂フ。唐玄宗ガ宰相ヲ任命スルトキハ案上ニ其姓名ヲ書シ、之ヲ覆フニ金甌ヲ以テシ太子ニ之ヲ中テシメタル故事ニ出ヅ。【唐書】 崔琳傳、明皇每命相。皆先書其姓名。一日書琳等名。覆以金甌。會太子入。帝謂曰。此宰相名。若自意之誰乎。云云。

【金匱】 金ヲ以テ作リタル匱(匱ハ櫃ト通) 書ヲ藏ムルニ用フ。【環濟要略】 御史中丞。有石室。以藏「秘書」。與「功臣」割符符作「誓」。丹書鐵券。金匱石室。藏之宗廟。【史記】 自敘、選爲「太史令」。抽「史記」石室金匱之書。【文選】 魏都賦、金匱石室。藏「秘書」之所。帝王圖籍。於此藏。

【金匱計】 前記ノ金匱ノ中ハ「秘書」スベキ計謀、完全無缺ノ謀策ノ謂ナリ。【漢書】 外戚傳「不能深探」安危。定「金匱計」。

【金花銀】 新ニ舉人又ハ進士ニ及第シタル者ニハ金花ヲ給シテ其帽ニ挿マシムルヲ例トス。但シ寶物ヲ給セズ、其代銀トシテ給スル金ヲ「金花銀」ト謂フ。【六部成語註解】 「新中」舉人進士。例給「金花」一挿帽。此項折銀轉發禮部。給領。

【金鉉】 鼎ノ別名、宰相ニ喩フ。【易經】 鼎卦「鼎。黃耳。金鉉。鄭玄ノ註、金鉉。喻「明」道能舉君之官職也。以喩「宰相」。

【金昆】 銀ノ別名ナリ。(韻) 乘車ノ別稱、大學衍義補「漢制」擧ゲテ曰ク、漢制。乘輿。金根安車立車。蔡邕ノ解「金根車。駕六馬。有五色安車。五色立車。各一。各駕四馬。是爲五時副車。又有「我立車」。以征伐。三蓋車。名「耕根車」。一名「芝車」。親耕。藉田。乘之。凡乘輿之車。皆羽蓋金華瓜。黃屋左纓。金鈿方紀繁纒。重轂副車。丘濬之ニ對シテ「此漢一代車輅之制」。ト曰フ。(同書卷)

【金作贖刑】 (金ハ贖刑) (典刑ヲ見ヨ) 【金紫】 (一) 秦漢ノ制、金印紫綬ノ略、高官

人者。然レドモ斷獄律ニ於テ金刃ト云フトキハ、錐鋸ニ對シテ錐刀ノ類即チ破獄ニ便ナル物ヲ謂フ。同律、與ニ囚金刃ノ解脫ノ條疏議「金刃謂ニ錐刀之類。他物謂ニ錐鋸之類」。

【金政】 顯頊時代ノ法官ノ稱、金ハ方位ニ於テ西方ニ屬シ四時ニ於テ秋ニ屬ス。即チ秋官ト同義ナリ。【唐律】名例篇「金政、策ニ名於顯頊」。註「家語五帝篇、孔子曰、顯頊、黃帝之孫、昌意之子高陽、金政者、金屬ニ西方、亦可刑之官。」

(一)

【金篆】 秦以前ハ未ダ隸楷ナシ、故ニ皆篆書ヲ用フ。金篆トハ篆字ヲ以テ記シ之ヲ鐘鼎ニ鑄ルコトヲ謂フ。【唐律疏議】運表「大夫之逃ニ三言、金篆、其高軌」。是レ左氏傳昭公十四年晉ノ叔向ガ三言ヲ以テ三惡ヲ除キタル功績ヲ金書シテ之ヲ表シタル事ヲ指ス。(「サレ」ノ部見)

【金藤】 【書經】周書ノ篇名、周公ガ武王ノ疾

病ヲ平癒センコトヲ三王ニ歸リ、身ヲ以テ代ハラシコトヲ誓ヒタル新頊ノ文ヲ納シタル金製ノ櫃ナリ。其後周公ガ管叔蔡叔ノ流言ニ因リテ成王ニ疑ハル、ヤ、身ヲ東都ニ避ケテ謹慎シタリ。成王頓ヲ啓キテ周公ノ本心ヲ知り、書ヲ執リテ泣キ、直ニ周公ヲ成周ニ迎ヘテ父事セリ。之ヲ「金縢」ト謂フ。縢ハ城封ノ義ナリ。後世、晉代ノ偽書ナリトノ説アリ。

【金斗】 鐵ヲ以テ作りタル斗(一斗)ヲ「金斗」ト謂フ。【六部成語註解】「因ニ大斗易、壞量米不準。由レ部鑄ニ鐵斗、頒發應用。金者鐵之美稱也」。

【金榜】 (一)金ヲ以テ造リタル名榜、將相ノ姓名ヲ掲出スル札ナリ。【西京雜記】「崔昭幸暴復生。見ニ冥門。列レ榜書ニ人姓名。將相金榜。其次銀榜。州縣小官並是鐵榜」。(二)後世ハ科舉(官吏登)ニ及第シタル者ヲ「金榜題名」ト稱(用試験)ス。成績發表ノ掲札、金ヲ以テ飾ルガ爲ナリ。故ニ科舉ニ及第スルノ稱ト爲ス。

【金布令】 漢制。金布ハ令ノ篇名、後ノ倉庫令ニ當ル。【漢書】高帝紀註「師古曰。金布者、令篇名。若ニ今之倉庫令也」。【漢書】盧望之傳註「師古曰。金布者、令篇名也。其上有ニ府庫金錢布帛之事。因以名レ篇」。【書經】刑法志「金布律。有口毀ニ傷亡ニ失縣官財物。罰贖入責。以呈ニ黃金。爲ニ價諸目」。

【金鑿】 翰林學士ノ稱タリ。唐時金鑿殿アリ其門名ト爲ス。翰林院ト相接スルニ因リ學士タル者ハ金鑿ト稱シテ其名ヲ美ニス。梁思政殿ヲ改メテ金鑿殿ト爲シ大學士一員ヲ置ク後遂ニ以テ名ト爲ス。

【金蘭簿】 親密ナル友人ノ姓名ヲ列記シタル簿冊ナリ。【宣武盛事】載洪正。每得ニ密友一人。則書ニ編簡。裝レ香背ニ祖考。號ニ金蘭簿。金蘭ノ語ハ「易經」繫辭傳上篇「二人同心。其利斷金。同心之言。其臭如蘭」トアルニ出ヅ。欽 (部首) (韻、侵)

【欽】 (一)敬ヒ慣ムノ義【書經】舜典「欽哉。欽

哉。(二)皇帝ヲ尊敬スルノ詞、「欽命」、「欽定」、「欽差」ノ如シ。(各條)尙ホ我國ニ於テ御ノ字ヲ用キルト相似タリ。

【欽差】 皇帝ノ命ヲ奉ズル使者、即チ勅使ヲ曰フ。【正字通】「今御書曰ニ欽數。御使曰ニ欽命」。俗曰ニ欽差。皆取ニ敬意」。

【欽哉欽哉】 (欽メヨ哉) 此二句ハ有虞氏舜ノ言、其典刑ヲ制シテ之ヲ發布スルニ當リテ法官ヲ戒メタルモノナリ。刑ノ適用一マビ其當ヲ失センカ、無辜ノ民ヲ死傷スルノミナラズ。天地ノ心ニ背キ陰陽生生ノ理ニ反スルノ結果ハ終ニ民心ヲ失ヒ國家滅亡ヲ招致ス。是レ特ニ反覆シテ謹慎スベキコトヲ命ジタルモノナリ。【書經】舜典篇「象以典刑。流宥ニ五刑。扞作ニ官刑。攸作ニ教刑。賞災肆赦。怙終賊刑。欽哉欽哉。刑之恤哉」。朱子註「今之法家。多惑ニ子報應禍福之說。故多出ニ人罪。以求ニ福報。夫使レ無罪者不レ得直。而有罪者反得釋。是乃所以爲ニ惡耳。何福報之有。書所謂欽恤

云者。正以詳ニ審曲直。令有罪者不レ得ニ幸免。而無罪者不レ得ニ濫刑一也。云云」。

【欽賜】 上命ヲ奉ジテ沒收シタル贓品(不取得)ヲ謂フ。【六部成語註解】「奉旨抄沒入官之贓也」。

【欽賜】 上旨ヲ奉ジテ下ヲ賞スルモノハ皆之ヲ「欽賜」ト謂フ。【皇朝政治學問答】「奉旨賞下者。或字樣。或器物等件。皆賞賜也」。

【欽若】 欽ハ敬ムナリ。若ハ順フナリ。【書經】堯典「命ニ羲和。欽若ニ昊天。曆ニ象日月星辰。敬授ニ人時」。是レ敬テ廣大ナル天象ニ順ヒテ一定ノ方式ニ準據シ、曆ヲ作りテ人ニ時ヲ授クルニトヲ謂フ。後世ノ「欽天監」(天文曆數ヲハ此ヨリ出ヅ。(大學衍義) 補卷五)

【欽定】 皇帝ノ命ヲ奉ジテ法政書其他ノ書籍ヲ編纂シ皇帝ノ定准ヲ仰キテ然後ニ刊行スルモノハ之ヲ「欽定」ト謂フ。【皇朝政治學問答】「修書纂例完竣。請ニ呈上定准。而後刊行。則

曰ニ欽定。例セバ、欽定科場條例、欽定大清會典、欽定四書等ノ如シ。

【欽天監】 天文歷數等ノ事ヲ掌ルノ官署、唐ハ「司天臺」ト曰ヒ宋ハ「司天監」ト曰フ。明始メテ「欽天監」ト曰フ。其長ヲ監定ト爲シ副ヲ監副ト爲ス。其屬ニ春、夏、中、秋、冬ノ五官正アリ。清之ニ因ル。民國改メテ「中央觀象臺」ト爲ス。

【欽頒】 朝廷ヨリ書籍或ハ印信等ヲ配布スルノ義ナリ。【皇朝政治學問答】「凡由ニ皇上ニ頒發出來者。或書籍。或印信。皆爲ニ欽頒」。

【欽命】 上命ヲ欽ムノ義、即チ上命ヲ奉ジテ事ヲ辦ズル者、廣ク之ヲ「欽命」ト爲ス。【皇朝政治學問答】「凡奉ニ皇上之命ニ而辦者。皆爲ニ欽命」。

【欽記】 清制、地方長官ヨリ或ル權限ヲ委任セラレタル吏員等用フル印章ヲ謂フ。明代ハ之ヲ「條記」ト謂フ。【雲莊漫錄】「河南縣尉司

印。相傳不致開。開必境內有盜。云云。

【鈞轄】 宋代ノ官名。朝官ヲ以テ任ニ充ツ。地方官ナリ。官高ク資深キ者ハ「年功ヲ積」者ハ「都鈞」ヲ充テ。官卑ク資淺キ者ハ「鈞轄」ト稱ス。

【鈞東】 節制ト言フニ同シク嚴重ニ取締ルコトヲ謂フ。(七) 法制也ト註ス。【明律】 清律ト同シ。【明律】 節制ト言フニ同シク嚴重ニ取締ルコトヲ謂フ。(七) 法制也ト註ス。【明律】 清律ト同シ。

【鈞】 鈞ハ重量、子穀千二百粒ノ重サヲ十二銖トシ、二十四銖ヲ一兩トシ、十六兩ヲ一斤トシ、三十斤ヲ一鈞トシ、四鈞ヲ一石トス。

【鈞衡】 鈞衡皆以テ物ヲ量ルノ器、因リテ借

リテ人オヲ評量スルノ義ト爲ス。即チ宰相ノ稱ト爲ス。【晉書】 「中書地在禁近。乘鈞持衡。多承寵任。」 【宋書】 「推鈞。委之選部。」

【鈞石】 三十斤ヲ鈞ト爲シ、百二十斤ヲ石ト爲ス、權衡ヲ代稱スルノ語、【書經】 夏書五子之歌、明明我祖也。萬邦之君。有典有則。貽也。厥子孫。開通也。和鈞。王府則有。是レ此語ノ出所ナリ。蔡沈ノ註、百二十斤爲石。三十斤爲鈞。云云。丘濬曰ク、聖人本律作器。以

【鈞】 鈞ハ重量、子穀千二百粒ノ重サヲ十二銖トシ、二十四銖ヲ一兩トシ、十六兩ヲ一斤トシ、三十斤ヲ一鈞トシ、四鈞ヲ一石トス。

【鈞衡】 鈞衡皆以テ物ヲ量ルノ器、因リテ借

【鈞臺】 (一) 夏ノ臺名、河南禹縣ノ南ニ在リ

【鈞陶】 人村ヲ造成スルコトヲ謂フ。猶ホ鈞

【鈞軸】 鈞ハ以テ物ヲ衡リ軸ハ以テ車ヲ轉ズ

【鈞】 鈞ハ重量、子穀千二百粒ノ重サヲ十二銖トシ、二十四銖ヲ一兩トシ、十六兩ヲ一斤トシ、三十斤ヲ一鈞トシ、四鈞ヲ一石トス。

【鈞衡】 鈞衡皆以テ物ヲ量ルノ器、因リテ借

【鈞】 鈞ハ重量、子穀千二百粒ノ重サヲ十二銖トシ、二十四銖ヲ一兩トシ、十六兩ヲ一斤トシ、三十斤ヲ一鈞トシ、四鈞ヲ一石トス。

【鈞衡】 鈞衡皆以テ物ヲ量ルノ器、因リテ借

【鈞】 鈞ハ重量、子穀千二百粒ノ重サヲ十二銖トシ、二十四銖ヲ一兩トシ、十六兩ヲ一斤トシ、三十斤ヲ一鈞トシ、四鈞ヲ一石トス。

【鈞衡】 鈞衡皆以テ物ヲ量ルノ器、因リテ借

ナルモノニ屬ス。行用ノ便宜上之ヲ鑄テ種種ノ形狀ヲ爲スモノハ即チ正貨ニシテ、清朝ニハ「元寶、中錠、小銀」ノ三種アリ。洋銀ニハ本洋、銀銀(一ニ鷹銀)ノ二種アリ。前者ハ西班牙銀、後者ハ墨西哥銀ナリ。銀圓ハ光緒中葉以後鑄銀ノ跋扈ヲ拒クノ目的ヲ以テ廣東湖北其他五六省ニ於テ鑄造シタルモノニ係リ、其形ハ全然洋銀ニ倣ヘルモノナリ。(清國行政)

【銀融】 (銀根ヲ見ヨ)

【銀圓】 銀ヲ鑄リテ圓形ト作スハ近代ノコトナリ。漢ノ武帝ノ時嘗テ金三品ヲ鑄リタルモ未ダ通行セザリキ、通商以前ハ皆生銀ヲ用キタリ。其後墨西哥ノ銀圓ヲ習用シ俗ニ之ヲ「洋錢」ト稱ス。面ニ鷹紋ヲ刻メルヲ以テ「鷹洋」トモ稱シ又「英洋」ニ作ル。其自ラ銀圓ヲ鑄造シタルハ清末ニ屬シ重ハ庫平七錢二分トシ純銀ハ十ノ九ナリ。圓ハ俗ニ省キテ「元」ト爲ス。(清國行政)

【銀行】 行ハ明末清初ヨリ、貨物ヲ屯積シテ賣買ノ紹介ヲ以テ轉輸販運ヲ便ニスル營業ヲ謂フ。此意義ヨリシテ金融機關ヲ銀行ト爲ス。清國ニ於テモ從來「錢舖」「銀號」「票莊」等ノ金融機關アリシモ清國自身ニ純「銀行」ヲ設立シタルハ光緒二十三年「中國通商銀行」ノ設立ヲ始トス。但シ外國人ハ咸豐以後英佛等諸國巨額ノ資本ヲ以テ沿海沿江ノ市場ニ銀行ヲ設立シタリ。(清國行政)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀行】 行ハ明末清初ヨリ、貨物ヲ屯積シテ賣買ノ紹介ヲ以テ轉輸販運ヲ便ニスル營業ヲ謂フ。此意義ヨリシテ金融機關ヲ銀行ト爲ス。清國ニ於テモ從來「錢舖」「銀號」「票莊」等ノ金融機關アリシモ清國自身ニ純「銀行」ヲ設立シタルハ光緒二十三年「中國通商銀行」ノ設立ヲ始トス。但シ外國人ハ咸豐以後英佛等諸國巨額ノ資本ヲ以テ沿海沿江ノ市場ニ銀行ヲ設立シタリ。(清國行政)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀號】 清國特有ノ銀行ノ一種ナリ。(行)

【銀兩】(見ヨ) 朝政典類纂卷五十等參照

く(ク)ノ部

【具】(部首) (韻)

【具引】 判決文ニ引用セル法規ノ全文ヲ備載スルコトヲ謂フ。【明律】清律。【斷獄篇】斷罪引律令ノ條。凡斷罪。皆須具引律例。云云。【清律】ノ附註。具引者。備載也。【明律卷二十八】

【具引律令格式】(令格式) 見ヨ

【具官】 (一) 僅ニ官吏ノ數ニ加ハルニ過ギザルノ義。漢書儒林傳。諸博士具官待問。未有三進者。(二) 姓名ノ上ニ官爵ヲ冠記スルコトヲ略スル式ナリ。【文章軌範】歐陽修撰。上范司諫書。月日具官。ト記スルハ其一例ナリ。

【具獄】 裁判上ノ文案具備スルコトヲ謂フ。

【具摺】 摺ハ折紙。上奏文ノ義ニ使用セラル。故ニ具摺ハ具奏ト謂フニ同シ。(ソ)ノ部 見

【具瞻】 國民ノ俱ニ仰ギ瞻ルコト。即チ政府ノ大官ヲ指稱スル語ナリ。【詩經】小雅。節南山篇。赫赫師尹。民具瞻之。【三國志】高柔傳。公輔之臣。皆國之棟梁。民所具瞻。

【具奏】 奏本ヲ具シテ呈進スルコトヲ謂フ。(奏本)ノ部 見

【具體】 一部ニ對シテ體ノ全部ヲ具フルコトヲ謂フ。【孟子】。公孫丑篇。子夏。子游。子張皆有三聖人之一體。冉牛。閔子。顓孫。則具體而微。

【具題】 上奏文ノ一種。題本ヲ具シテ呈進スルコトヲ謂フ。(題本)ノ部 見

【具法】 (具律) (見ヨ)

【具備】 (具備) (見ヨ)

【具文】 徒ラニ空文ヲ具フルノミニシテ其實ノナキコトヲ謂フ。【漢書】宣帝紀。上計簿具文而已。

【具律】 戰國魏李悝ノ法經六篇。(ハ)ノ部 見ヨ) 第五ニ具法アリ。秦商鞅。法ヲ改メテ律ト爲ス。因テ具法ハ具律ト爲ル。具律ハ全編ノ總則ナリ。昔時ハ總則ヲ末篇ニ置クヲ例トセシガ魏改メテ刑名ト爲シ第一位ニ置ク。晋ハ刑名中ヨリ更ニ法例律ヲ分出ス。宋。齊。後魏之ニ因リテ改メズ。北齊ニ至リ刑名。法例ヲ併合シテ名例ト爲ス。後周復タ刑名ト爲シタルモ隋ハ北齊ニ因リテ名例ニ復シ唐之ニ因ル(疏議) 以後清律ニ至ルマテ總テ之ニ從フ。

【區】(部首) (韻)

【區】(一) 區域ノ區。土地ノ分界ナリ。【漢書】甲第一區。(二) 區ニ品アルハ物ヲ藏メ又ハ區スノ義。【說文】。藏匿也。从區。品。區。品。衆也。(三) 小屋ノ名。【漢書】。胡延傳。穿北軍

【區】(一) 區。師古註。小屋之名。若今小庵屋之類。故衛士之屋謂之區。(四) 音。オウノトキハ量ノ名。歐ト通ズ。四升ヲ豆ト爲シ四豆ヲ歐ト爲ス。(會)等

【區蓋】 物ヲ藏ムル所ナリ。【荀子】大略篇。言レ之信者。在ニ手區蓋之間。註。藏レ物處

【區官】 新警察官ノ名。凡ソ城廂内外ヲ分チテ數區ト爲シ之ヲ警區ト謂フ。巡警(我)巡(當)ヲ統率シテ一區ノ治安ヲ司ドル者之ヲ區長シ又ハ區官ト謂フ。(警察) (通則)

【區處】 區分シテ處置スルコトヲ謂フ。【清律】名例篇。麻議者父祖有犯レノ條。若各衙門進問之際。占候不レ發者。並聽當該官司。實封奏聞區處。但シ此語ハ漢代ヨリ存ス。【漢書】黃霸傳。寔寡孤獨。有ニ死無レ罪者。鄉部書言。霸具爲ニ區處。

【區田】 一畝ノ田闊十五步。每步五尺計七十尺。一行每ニ一尺五寸ヲ占メ五十行ニ該分シ。長十六步計八十尺之ヲ五十三行ニ分チ長

闊相折シテ二千六百五十區トシ一行ヲ空ケテ一行ニ植エル。植エル所ノ行内ニ亦一區ヲ隔テ。一區ニ植エル。空ヲ隔ダツルヲ除クノ外。種エル可キハ六百六十二區ナリ。古人謂フ。每區斗穀ヲ收穫スベシト。則チ每畝收穫六十石タルベシ。此法ハ殷湯王七年ノ早アルニ際シ伊尹始メテ區田ヲ爲ルト。要スルニ田少ナクシテ比較的收穫多シ。故ニ貧農ヲ救フノ良策ナリト稱セラル。(張履詳農書。康濟) (尙ホ日人ノ撰。農業叢書) (ハ)下ノ如ク記ス。

「唐ニテ一畝ト云フハ廣サ十五步長サ十六步ナリ。步トハ五尺四方ナリ。十五步ニ十六步ヲ乘ズレバ二百四十步ナリ。十五步ヲ尺ニ積レバ七十五尺ナリ。内一筋ヲ一尺五寸ヅ。ニ分テバ五十筋ト爲ル。十六步ヲ尺ニ積レバ八十尺ナリ。又一筋ヲ一尺五寸ヅ。ニ分テバ五十筋ト爲ル。横五十五ニ乘五十三ヲ乘ズレバ二千六百五十區ト爲ル。豎横共ニ一步ヅ。隔テ植エル。故ニ植エル所バカリ六百六十二區

ナリ。其外ハ皆空地トス。其區ヲ深サ一尺ニシテ能クワナヘ。熟粟一升ヲ以テ種ト土トヲ能クカキマゼテ種エルナリ。生ヒ出テ。後。シガキ所ヲ見テ拔クベシ。早ニハ水ヲ澆キ。實ヲ結ブトキ空地ノ土ヲ鋤キカケ苗ノ根ヲフサギ。大風ヲ坊グ。此法ハ山田カ或ハ地ノ高クシテ活ケル所ニヨシ。正月ニハ麥ヲ植エ。三月ニハ山藥ナドヲ植ルトナリ。

【苦】(部首) (韻)

【苦】(一) 鹽ヲ見ヨ

【苦主】 盜賊ニ劫殺セラレタル者ノ家主ヲ稱ス。(元史刑) (法志)

【苦窳】 苦ハ陶器ノ屬惡ナルコト窳ハ瑕玷アルコトヲ謂フ。【史記】五帝紀。陶河濱。河濱器皆不ニ苦窳。

【苦良】 苦ハ惡惡。良ハ優良。製品ノ良惡ヲ謂フ。【周禮】冬官考工記。辨ニ其苦良。註。謂ニ分別縹白之屬也。

例「若干係錢糧婚姻田土項罪。雖遇赦免。事須究問明白。」(三卷)

【遇閏銀】(ハ然ラズ)支那ハ最近マデ大陰曆ヲ用キシガ故ニ稅銀ヲ徵收スルニ平年ト閏年トニ分チ、閏年ハ行政費多キヲ以テ稅銀ハ平年ヨリ若干ノ加徴ヲ爲スヲ例トス。之ヲ「遇閏銀」ト謂フ。(清戶部)

【化居】貯藏スル貨物ヲシテ有無相通ズルコト即チ物物ノ交換ノ義、貿易ノ一種ナリ。【書經】「益稷篇」「惠三邊有無一化居。」

【化外人】政教以外ノ民人ニシテ歸化セル者ヲ謂フ。【明律】「清律」名例篇「化外人有犯」ノ條「凡化外人犯レ罪者。並依律擬斷」ト規定シ清律ノ註「化外人既來歸附。即是並王民。有罪依律斷。所以示無外也」トアリ(明律卷一)

【化祝】(祝)ノ部(祝)ノ見ヨ

【化治】善政ヲ施シテ風俗ヲ化シ民ヲ治ムル

ノ義ナリ。【漢書】循吏傳「時少不能以化治一稱者。惟江都相董仲舒。內史公孫弘見寬居官可レ紀。」

【高】(部首) (佳韻)

【高】(部首) (佳韻) 刑罰ノ名(「リ」ノ部「凌」)

【夥】(部首) (夕韻) (一)楚人多キコトヲ「夥」ト曰フ「頤」ハ助字ナリ。【史記】陳彭傳「夥頤。涉之爲王沈沈者。服慶註「楚人謂多曰夥。頤。助聲之辭也。」(二)驚美ノ聲ヲ謂フ(吳下方)(三)謙遜シテ美名厚福ニ當ラズト爲スコトヲ謂フ。(上)

【夥記】商家ノ番頭又ハ手代ノ如キ者ヲ謂フ。(郵政)

【夥計】夥ハ多キノ義、合資營業ヲ「夥計」ト曰フ。又俗ニ商店ノ雇傭人ヲ通稱シテ「夥計」ト曰フ。讀「伙計」ノ如シ。

【夥盜】盜賊ノ子分ヲ謂フ。【六部成語註解】「盜賊之徒夥也。」【清律】刑律賊盜篇「強盜」ノ

條脚註ニ詳解アリ。

【找】(部首) (齒韻)

【找給】前ニ發給シタル經費不足ヲ生ジタルトキ、更ニ追給シテ之ヲ補フコトヲ謂フ。【六部成語註解】「前發之款不足。找補。以給之也。」

【找給銀】找ハ補フノ義、即チ各官廳ニ於テ公費不足ヲ生ジタルトキ、戶部(即チ大藏)ニ補給ヲ請ヒ、戶部ヨリ補給スル銀ヲ謂フ。【六部成語註解】「找補也。辨公所煩煩之項不足。報部請補行給發也。」

【找兌】找ハ不足ヲ補フノ義(船ヲ發進スル)即チ前ニ發兌シタル不足ヲ補フ爲メ、更ニ發兌スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「前兌不足。找補。兌足之意。」

【火】(部首) (奇韻)

【火烤】盜賊ガ人家ニ侵入シ火ヲ以テ其主人ヲ脅迫シ、財物ヲ強求スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「以火烤主人。以迫其財也。」

【火水】越人ハ石油ヲ「火水」ト稱ス。

【火牌】兵役ヲ必要ノ地方ニ派遣スル場合ニ給スル切符ニシテ、即チ給驛ノ證明書ナリ。【清會典】兵部驛驛註「兵役驛驛者。給以火牌。是ナリ。」

【火伴】唐代ノ軍制ハ十人ヲ火ト爲ス。故ニ同火ノ者相稱スルニ「火伴」ヲ以テス。俗ニ「伙伴」ニ作ル。

【火米】水ニ濕ヒタル米ヲ火ニテ乾燥シタルモノヲ謂フ。【六部成語註解】「經水濕。而以火烘乾之米也。」

【火輪車】汽車ヲ謂フ。光緒六年當時ノ北洋大臣李鴻章奏文「陸路則有火輪車。海路則有火輪船。」

【火輪船】汽船ヲ謂フ。(前條ヲ)

【瓜葛】引蔓ノ植物、故ニ親戚關係ノ相繫屬スルコトヲ謂フ。【獨斷】「與先帝先后有瓜葛。」

【火耗銀】銀貨ヲ鑄解スレバ是レガ爲メニ消耗スル所アリ。故ニ稅銀ヲ徵收スルトキ一兩ニ付キテ二三分ヲ加徴スルヲ例トス之ヲ「火耗銀」ト謂フ。【六部成語註解】「碎錠經火爐鑄化。必有銷耗。例於徵收時。每兩加徵二三分。以抵之。」

【火器營】清制、砲兵隊ノ名、天子ノ行幸ニ扈從スルコトヲ掌リ、内外二營ニ分ル。(會典)

【火居道士】道士中ノ妻アル者ヲ謂フ。(野獲)

【火化】死骸ヲ火葬ニ付スルコトナリ。支那ニ於ケル火葬ハ佛教渡來以前ヨリ其慣習アリシガ如ク【杜氏】通典「古者送死於中野。衣之以前薪。而瘞其骨。然則此亦古俗也。云云」宋ノ戶部侍郎魯慶、高宗ニ上リタル書中ニモ「至於貧家之家。送終之具。惟務從簡。是以從來率以火化爲便。相習成風。勢難遽革。」云云ト記ス。

【火官】神農氏ノ時、火德ノ瑞アリ。故ニ火ヲ以テ官名ト爲シ、春官ヲ「大火」ト曰ヒ、夏官ヲ「鶉火」ト曰ヒ、秋官ヲ「西火」ト曰ヒ、冬官ヲ「北火」ト曰ヒ、中官ヲ「中火」ト曰フ。(史記卷一、神農氏註及)

【火教】拜火教ノ略ナリ。(ハ)ノ部「拜火」ノ見ヨ

【火伍】唐制、五人ヲ伍ト爲シ十人ヲ火ト爲ス。(杜氏)蓋シ火ハ十人黨ヲ共ニシテ火食ヲ爲スニ因ルト云フ。

【火者】關制(官)ノ別名、即チ刑罰其他ノ原因ニ因リテ去勢セラレタル者ヲ謂フ。(部)

【火車】(一)戰具ノ名(二)俗ニ汽車ヲ稱シテ火車ト爲ス。

【火食】太古、憐人氏ニ始マルモ後世ニ云フ火食ハ每食火ヲ以テ熱シテ食スルコトヲ謂フ。【禮記】「南方曰蠻。雕題交趾。不火食。」其疏「以其地氣多暖。不火食。不爲害也。」

萬者皆會。【清律】戶律婚如篇。強占良家妻女。一係附例。凡案二案。路行婦女。或賣或自爲。妻妾奴隸。及被二煮汚者。並聚衆。夥謀。于素無瓜葛之家。入室。云云。(九卷)

【瓜期】 (瓜代)

【瓜代】 官吏任期ノ満了スル義ニ用フ。【左傳】莊公八年。瓜時而往。曰及瓜時而代。一。瓜期トモ稱ス。

【瓜蔓抄】

瓜ノ蔓ヲ抜ク如ク。甲ヨリ乙ニ及ビ乙ヨリ丙ニ及ブコト。即チ不正ノ財産ヲ抄檢シテ。其餘波ガ無事ノ民ニ及ブノ義ニ用フ。

【明史】景清傳。籍三其鄉。轉相舉。謂之瓜蔓抄。村里爲墟。【日本政記】賴義論。永樂瓜蔓抄。ノ語アリ。前者ノ語ヲ採ル。

科 (部首)

【科】 漢制。科ハ課。法ヲ犯シタル者ニ刑罰ヲ課シテ之ヲ責ムルノ謂。刑律ニ附シテ規定ス。即チ刑律ノ附屬法ナリ。【釋名】科。課也。課

其不レ如レ法者罪。責レ之也。【漢書】明帝紀。永平十二年詔曰。車服制度。志極三耳。田荒不耕。遊食者衆。有司其申明科禁。云云。同書樂統傳。武帝軍役數興。豪傑犯禁。袁吏弄法。故重首匿之科。【晉書】刑法志。科之爲制。每條有二違科。不レ覺不レ知。從坐之免。不レ復分別。而免坐衆多。宜爲免例。以省科文。凡所定增十三篇。故就五篇合十五篇。於正律九篇爲增。於旁章科令爲省矣。

【科甲】

漢代。士ヲ採用スル試驗ニ甲乙丙等ノ科アリ。故ニ後世科舉ヲ通稱シテ。科甲ト曰フ。又。科舉ノ優等及第者ヲ。科甲ト曰フ。科舉ニ甲ヲ以テ及第シタルノ義ナリ。

【科甲出身】

科舉即チ官吏登用試驗ニ及第シ。一定ノ順序ニ由リテ出仕スル者。即チ官吏出仕ノ正途ト爲ス。(清會典)

【科考】

科舉ニ應ズル者ニ對シテ行フ豫備試驗ノコトヲ謂フ。(清會典) (場條例)

【科舉】

科目ニ由リテ人材ヲ採用スルノ義即

チ官吏登用試驗ノ名稱ナリ。科舉ノ名ハ隋唐ニ始マルト雖モ。其實ハ周代ヨリ起ル。【周禮】大司徒ノ職制。以二鄉三物。教二萬民。而實二興之。【禮記】王制篇。命二鄉論二秀士。升二之司徒。曰二選士。司徒論二選士之秀者。而升二之學。曰二俊士。升二於司徒。不レ征二於鄉。升二於學。不レ征二於司徒。曰二造士。(中略) 大樂正論二造士之秀者。以告二於王。而升二諸司馬。曰二進士。云云。然カモ科舉ノ制ノ漸ク備ハリタルハ唐以後ノ事ニ屬ス。唐ハ禮部ト吏部トニ於テ試驗ヲ爲シ。禮部ノ試驗ハ教部人員ノ採用試驗ニシテ(一)策(時務)(二)大義(經書)(三)詩賦ノ三科ト爲ス。吏部ノ試驗ハ行政官吏採用ノ試驗ニシテ(一)身(容)(二)言(辭)(三)書(手)(四)判(判)ノ四科ト爲ス。宋ニ至リ始メテ。解試。省試。殿試。ノ三層制ヲ立テ。其科目ハ進士。明經。明法。ノ三科ヲ主トシ。解試ハ其郷ノ考官之ヲ行ヒ最優等者ヲ。解頭。又。解元ト稱シ。地方長官ヨリ國都ノ貢院即チ

省試ニ解送シ。省試ハ尙書省禮部ニ於テ之ヲ行ヒ。最優等者ヲ。省元ト稱シ。一般及第者ニ對シテ天子親ヲ軒ニ臨ミテ策問ヲ爲シ。最優等ヲ以テ合格シタル者ヲ。狀元ト稱シ。一ニ。狀頭。又ハ。榜首ト稱ス。以上三試ヲ悉ク優等ヲ以テ及第合格シタル者ハ。之ヲ三元ト稱シタリ。明ニ及ビテハ解試ヲ。鄉試ト改メ省試ヲ。會試ト改メ。殿試ハ。一ニ。廷試トモ稱セリ。鄉試ニ及第シタル者ヲ。舉人ト稱シ。會議ニ及第シタル者ヲ。御殿ニ召集シテ天子自ラ策試シ。之ニ及第シタル者ヲ。進士ト稱シ。其中ヨリ最優等者ヲ拔キ。第一甲第二甲第三甲ト爲シ。第一甲ハ中額ヲ三名トシ。其第一名ヲ。狀元ト稱シ。翰林院修撰ヲ授ケ。第二名ヲ。榜眼ト稱シ。第三名ヲ。探花ト稱シ。俱ニ進士及第ヲ賜ヒ。翰林院編修ヲ授ケ。第二甲第三甲ハ若干名トシ。俱ニ進士出身ヲ賜ヒ。庶吉士ニ任用スル例トシタリ。清朝ノ制ハ明制ニ仍リタルモノニシテ。大體ニ於テ

異ナル所ナシ。(杜氏通典選舉考。文獻通考選舉考。明會典吏部。清會典吏部)

【科則】

稅率ヲ定メタル法則ナリ。(清會典則例)

【科第】

科條ニ依リテ官吏採用ノ等第ヲ定ムルコトヲ謂フ(漢書)

【科道】

清制。都察院ニ吏。戶。禮。兵。刑。工ノ六科ヲ設ケ六科ニ各給事中アリ又京畿遼瀋等ノ各道ニハ各監察御史アリ之ヲ統ヘテ。科道ト稱ス。

【科徵】

租稅ヲ民戸ニ割當テテ徵收スルコトヲ謂フ。【明律】及ビ【清律】戶律戶役篇。賦役不均ノ條。凡有司科徵租稅云云。清律附註。科徵。謂ニ科派徵收。(明律卷四)

【科場】

官吏登用試驗ヲ。科舉ト曰ヒ其試驗場ヲ。科場ト曰フ。【宋史】太宗紀。朕欲博求俊彥於科場中。

【科斗文】

周代ノ古文字。其頭粗ニシテ尾細

ク科斗ノ蟲ニ似タルヲ以テ此名アリ。或ハ科斗ハ晉人ノ僂語ニシテ漢代及ビ其レ以前ニハ此名稱ナシト爲ス。(爾雅及)

【科派】

定例ヲ按ジテ。捐金(稅金)ヲ割當ツルコトヲ謂フ。【六部成語解】按定例派捐也。

【科白】

戲劇ニ科白アリ動作ヲ。科ト爲シ言葉ヲ。白ト爲ス。(源)

【科品】

一定ノ制限ヲ附シタル法規。其制限ニ過ギタルモノハ制裁アリ。【漢書】安帝紀。天初五年詔曰。舊令制度。各有科品。云云。同書。濟南王康傳。國傳何敢諫曰。與馬。盡。應。爲。科。品。謂。大。王。尊。古。制。者。二。奴。婢。之。口。減。乘。馬。之。數。斥。私。田。之。富。同。書。劉。祐。傳。遂。固。二。天。下。良。田。美。樂。山。林。湖。澤。祐。移。二。書。所。在。依。二。科。品。沒。二。入。之。

【科目】

科舉ノ別名。科舉ニハ一定ノ科目アリガ故ナリ。韓愈撰。應。科。目。二。時。與。人。書。二。アリ。其。一。例。ナリ。(文章)

【科款】科ハ制富ノ義、飲ハ收ムルノ義、稅錢ヲ人戸ニ割當テテ徵收スルコトヲ謂フ。【清律】刑律受賄篇、因公科款ノ條附註、科者分派之謂、飲者聚飲之謂、分派於人ニ而聚飲之、曰科款。【卷二】六部成語註解、飲、收也。按例分派收捐也。

【窠】(部首) (韻)

【窠】(一)動物ノ棲息スル所、【說文】、空穴也。穴中曰窠。樹上曰巢。【小爾雅】、雞雉所、乳謂之窠。【二】人ノ住ム所亦窠ト曰フ。所謂「穴居」ノ稱ナリ。【三】或ハ植物ノ一様ヲ窠ト爲ス。【西陽】(四)物ノ數亦窠ト爲ス。【黃清詩】、六窠只佩諸侯印。

【窠白】舊慣又ハ定式ト言フガ如シ、【大學衍義補】、所謂費之穴窠者、則途轍孔多。窠曰不。云云。【卷二】故ニ常ヲ詔ミ故ヲ襲フコトヲ、落窠白ト曰フ。

【窠】(部首) (韻) 【窠】(一)動物ノ棲息スル所、【說文】、空穴也。穴中曰窠。樹上曰巢。【小爾雅】、雞雉所、乳謂之窠。【二】人ノ住ム所亦窠ト曰フ。所謂「穴居」ノ稱ナリ。【三】或ハ植物ノ一様ヲ窠ト爲ス。【西陽】(四)物ノ數亦窠ト爲ス。【黃清詩】、六窠只佩諸侯印。

【窩弓】猛獸ヲ取ル、ワナノコト、頗ル危險ナルガ故ニ之ヲ設置スル場所ニハ必ズ翠竿及ビ柱眉小索(人ノ眉ノ高)ヲ立テテ人ノ注意ヲ促スヲ要ス。若シ此等ノ設備ヲ爲サズル者ハ咎四十二處ス。人ヲ負傷シタルトキハ關内傷ニ二等ヲ減ジテ罰ス。因テ死ニ致シタルトキハ杖一百徒三年ニ處シ、埋葬銀一千兩ヲ追徵ス。【明律卷十九、清律卷二十四】

【窩關】窠ハ空、關ハ缺ナリ。官吏實職ノ空缺ヲ謂フ。即チ休職ノ義ト看テ然ルベシ。【元典章】吏部當守關章、略其間一年二年窠關。文書到來の照關都委付。云云。【卷十】

【窩藏】犯罪人ヲ止宿セシメ、之ヲ隱匿スルコトヲ謂フ。【領事人ノ對照】

【窩主】窩ハ穴、窟、窟房ノ如キヲ窩ト曰フ。故ニ盜賊ノ宿所又ハ贓物ヲ藏匿スル所ヲ窩家ト曰ヒ其主人ヲ窩主ト曰フ。【明律】清律刑律賊盜篇、賊窩窩主ノ條アリ。【明律卷十八、四】

【窩停主人】盜賊ヲ寄宿セシメタル宿主ノ義ナリ。【夷堅】今ハ之ヲ「窩家」又ハ「窩主」トモ謂フ。

【窩頓】旅店ノ主人等ガ無類ノ徒ヨリ情ヲ知リテ不正品ヲ預ルコトヲ謂フ。【六部成語註解】窩頓也。頓寄放也。客店主人。知代ニ贖徒。寄窩私贖也。

【花押】押ハ文字ヲ變體ニ書クコト、花ハ其形ヲ謂フ。即チ「書キ列」ノ義ナリ。【古今原始】唐草書、每書二字、目號三五、變體、俗、相、爲、常、(中)花押之巧。始、于、草、書、(略)

【花】(部首) (韻) 【花】(一)植物ノ一種、其結晶セル形ヲ稱ス。形ノ大ナルモノハ、印、曰ト曰フ。【齊民要術】

【花甲】俗ニ人ノ年齢六十ニ達スルヲ花甲ト爲ス。其甲子ノ錯綜參互セルコト花ノ如クナルガ故ナリ。【唐詩記事】、今謂年屆六十。曰花甲。云云。【一】華甲ニ作ル。

【花銀】銀圓貨借ノ利息銀ノ義ナリ。【六部成語註解】花乃利息之意。猶言三利銀也。

【花戸申根】清制、地方官ヨリ租稅上納者ニ給スル印票(即チ領)ノ一端ニシテ、地方廳ニ存留スルモノヲ謂フ。【戶部則例】

【花信風】演繁露、三月花開クノ時、風ヲ花信風ト名ヅク。初メテ泛ク觀レバ則チ此風來リテ花ノ消息ヲ報ズルニ似タルヲ謂フノミト記ス。【餘源】、花信風ハ小寒ヨリ起リ穀雨ニ至リテ八氣ト合シ四節月ヲ得、每氣十五日ヲ管シ每五日一候、計八氣、分チテ二十四候ヲ得、每候一花風信ヲ以テ之ニ應ズト記シ左ノ列表ヲ附ス。

Table with 4 columns: Season (小寒, 立春, 啓蟄, 清明), Flower (梅花, 水仙, 桐花, 梨花, 杏花, 桃花, 李花, 木蘭), and other seasonal markers like 大寒, 雨水, 春分, 穀雨.

【窩主造意】窩主ニシテ且ツ惡事ノ決意者(發頭)タル者ヲ謂フ。【各本條】

【窩逃】逃亡者ヲ窩スルノ義、犯罪逃亡人ヲ止宿セシムルコトヲ謂フ。

【窩單】贖ヲ行商スル者ニ給スル證明書ヲ謂フ。

【窩停主人】盜賊ヲ寄宿セシメタル宿主ノ義ナリ。【夷堅】今ハ之ヲ「窩家」又ハ「窩主」トモ謂フ。

【窩頓】旅店ノ主人等ガ無類ノ徒ヨリ情ヲ知リテ不正品ヲ預ルコトヲ謂フ。【六部成語註解】窩頓也。頓寄放也。客店主人。知代ニ贖徒。寄窩私贖也。

【花押】押ハ文字ヲ變體ニ書クコト、花ハ其形ヲ謂フ。即チ「書キ列」ノ義ナリ。【古今原始】唐草書、每書二字、目號三五、變體、俗、相、爲、常、(中)花押之巧。始、于、草、書、(略)

【花】(部首) (韻) 【花】(一)植物ノ一種、其結晶セル形ヲ稱ス。形ノ大ナルモノハ、印、曰ト曰フ。【齊民要術】

【花甲】俗ニ人ノ年齢六十ニ達スルヲ花甲ト爲ス。其甲子ノ錯綜參互セルコト花ノ如クナルガ故ナリ。【唐詩記事】、今謂年屆六十。曰花甲。云云。【一】華甲ニ作ル。

【花銀】銀圓貨借ノ利息銀ノ義ナリ。【六部成語註解】花乃利息之意。猶言三利銀也。

【花戸申根】清制、地方官ヨリ租稅上納者ニ給スル印票(即チ領)ノ一端ニシテ、地方廳ニ存留スルモノヲ謂フ。【戶部則例】

【花信風】演繁露、三月花開クノ時、風ヲ花信風ト名ヅク。初メテ泛ク觀レバ則チ此風來リテ花ノ消息ヲ報ズルニ似タルヲ謂フノミト記ス。【餘源】、花信風ハ小寒ヨリ起リ穀雨ニ至リテ八氣ト合シ四節月ヲ得、每氣十五日ヲ管シ每五日一候、計八氣、分チテ二十四候ヲ得、每候一花風信ヲ以テ之ニ應ズト記シ左ノ列表ヲ附ス。

【花】(部首) (韻) 【花】(一)植物ノ一種、其結晶セル形ヲ稱ス。形ノ大ナルモノハ、印、曰ト曰フ。【齊民要術】

【花甲】俗ニ人ノ年齢六十ニ達スルヲ花甲ト爲ス。其甲子ノ錯綜參互セルコト花ノ如クナルガ故ナリ。【唐詩記事】、今謂年屆六十。曰花甲。云云。【一】華甲ニ作ル。

【花銀】銀圓貨借ノ利息銀ノ義ナリ。【六部成語註解】花乃利息之意。猶言三利銀也。

【花戸申根】清制、地方官ヨリ租稅上納者ニ給スル印票(即チ領)ノ一端ニシテ、地方廳ニ存留スルモノヲ謂フ。【戶部則例】

【花信風】演繁露、三月花開クノ時、風ヲ花信風ト名ヅク。初メテ泛ク觀レバ則チ此風來リテ花ノ消息ヲ報ズルニ似タルヲ謂フノミト記ス。【餘源】、花信風ハ小寒ヨリ起リ穀雨ニ至リテ八氣ト合シ四節月ヲ得、每氣十五日ヲ管シ每五日一候、計八氣、分チテ二十四候ヲ得、每候一花風信ヲ以テ之ニ應ズト記シ左ノ列表ヲ附ス。

Table with 4 columns: Season (小寒, 立春, 啓蟄, 清明), Flower (梅花, 水仙, 桐花, 梨花, 杏花, 桃花, 李花, 木蘭), and other seasonal markers like 大寒, 雨水, 春分, 穀雨.

【華林園聽訟】(詁林) 南宋武帝ノ永初二年夏四月帝自身ニ大罪ヲ華林園(華林園ハ南トニ在リ。前)ニ審判セラレタル故事ナ者ヲ指スベシ。【補宋書刑法志】(清) 二年「永春正月辛酉。車駕祠南郊。大赦天下。夏四月戊申。車駕於華林園聽訟。云云。」(武帝本)

【裹袴】(部首) (韻) 裹ハ包ムノ義、背ハ背從ノ義、其範圍ニ入リテ脫スルコト能ハザルノ義ナリ。

【裹頭】(部首) (韻) 河道ノ源頭ニ堤坊ヲ築キテ之ヲ包ミ、以テ堅固ニスルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「河道之源頭。築堤次包之。曰裹頭。」

【裹糧】(部首) (韻) 裹ハ包ムノ義、糧食ヲ包ムコトヲ謂フ。【詩經】大雅「乃裹糧糧」莊子「大宗師」裹飯而往而食之。

【詛言】(部首) (韻) 詛ハ固ノ義アリ。固ハ鳥ノ「オトリ」ニシテ固ニ藉リテ野鳥ヲ誘フ如ク虚言ヲ放チ之ニ藉リテ利ヲ漁ルコトヲ謂フ。【詩經】小雅「民之詛言。寧莫之懲。」

【詛藏寄頓】(部首) (韻) 詛藏寄頓(キノ部) 詛貨錢ヲ求ムルコトヲ謂フ。清末「違警律」或雖未三豫定。而事後詛索者。云云。

【詛奪】(部首) (韻) 詛ハ外詛、奪ハ漏奪、文字ニ誤謬アルコトヲ謂フ。【書傳】「八音能諧。理不詛奪。」蓋シ錯奪ハ詛奪ト同義ナリ。

【課頭】(部首) (韻) 課ハ件又ハ器ノ義アリ。因テ過誤ノ論ヲ「課頭」ト爲ス。(日知錄) 課(部首) (韻) 課(一) 租稅ノ一種、【舊唐書】職官志「凡賦人之制有四。一曰租。二曰調。三曰役。四曰課。又(二) 租稅ヲ割當ツルコト、之ヲ課ト謂フ。試驗ノ課題モ此義ナリ。

【課役】(部首) (韻) 賦稅ノ一種、田租等ニ對シ國家ノ公事ニ使役スルノ稅ヲ割當ル力役ナリ。【後漢書】英安傳「課二役童隸。各得其宜。」

【課校】(部首) (韻) 人口戶數等ヲ調査スルノ義ナリ。【史記】句奴傳「課二校人畜計。」

【課試】(部首) (韻) 一定ノ科目ヲ割當テ試驗ヲ爲スコトヲ謂フ。【唐律】職制篇「貢舉非其人ノ條疏議」謂「貢舉之人藝業技能。依令課試有數。」

【課程】(部首) (韻) 課ハ物ニ課スル稅金、程ハ物ノ貴賤ニ因リテ其額數ヲ定ムル程度、即チ稅ヲ課スル準則ナリ。【清律】戶律篇「課稅」ノ脚註「課者。稅物之錢。課者。謂物有貴賤。課有多寡。如上地利之有程限也。」轉註「課物之稅曰課。額征之數曰程。」(卷十)

【課殿最以聞】(部首) (韻) 殿最ヲ課シ(地方官吏ノ成績ヲ調査シ、殿(劣)最(優)ヲ課(稽核ス)シテ奏聞スルコトヲ謂フ。【漢書】宣統帝紀「地節四年。詔曰。令甲。死者不可生。刑者不可息。此先帝之所重。而吏未稱。今案者或以掠奪。若飢寒瘦死獄中。何用人心道。人道也。朕

錢。徑一寸重五銖。文右曰貨。左曰泉。云云。時人其字ヲ以テ「白水真人」ト爲ス。尋ア光武南陽白水鄉ヨリ起ツテ漢室ヲ中興ス。

【貨罰】(部首) (韻) 金罰ニ處セラレタル者ガ金ナキ場合ニ他ノ貨財ヲ以テ之ヲ代辨スルコトヲ謂フ。【周禮】秋官職金之職「掌受士之罰貨物。入於司兵。其疏。既曰金罰。又曰貨罰。者。出罰之家。時或無金。即出貨以當金。」

【貨布】(部首) (韻) 漢代貨錢ノ名ナリ。貨ハ金、銀、銅錢ノ總稱、布ハ流布公通ノ義ニ取ル。【漢書】食貨志「天鳳元年罷大小錢。改作貨布。其文右曰貨。左曰布。重二十五銖。直貨泉二十五。」云云。

【貨幣】(部首) (韻) 貨幣(古ハ幣)ハ本來、金玉布帛ノ類、今日ノ所謂貨幣ニ非ズ。殊ニ管子「貨ヲ貨物ト爲シ、幣ヲ貨幣ト爲シ、湯ハ莊山ノ金ヲ以テ、禹ハ歷山ノ金ヲ以テ幣ヲ鑄ル。云云。」ト記ス。然レドモ昔時ハ「易經」繫辭傳「日中爲市。致天下之民。聚天下之貨。交易而

甚痛之。其令郡國歲上三繫囚。以三控管若獲死者。所坐名縣。併里。丞相御史。課殿最以聞。」

【貨】(部首) (韻) 貨幣、古ハ海貝ノ甲ヲ以テ製ス。故ニ化ニ从ヒ貝ニ从フ。【增補四書人物考】「說文古者貨。貝而實龜。貝海甲蟲也。至周而有泉。到秦廢貝行泉。漢書王莽時。八貝。四寸八分以上。二枚爲一朋。直二百一十六。壯貝三寸六分已上。一朋直五十。公貝二寸四分已上。一朋直三千。小貝寸二分已上一朋。直十。不盈三寸二分。不得爲朋。每枚直錢三。是爲貨貝。五品貝不盈六分。不得爲貨。歸藏有レ人將來遺我貨貝。以至則徵。以求則得。有喜將至。」(卷一)

【貨脚】(部首) (韻) 大買富商ハ行人ヲ呼ビテ「貨脚」ト爲ス。(附註) 【貨貢】(部首) (韻) 周禮九貢ノ一、金玉龜貝ヲ貢スルヲ「貨貢」ト謂フ。(周禮周書註)

退。トアルガ如ク即チ貨物ヲ交易シテ有無ヲ通シ日常ノ用ヲ辨ジタルガ故ニ、貨幣ハ即チ所謂自然的貨幣トシテ效力ヲ有セシナリ。然レドモ社會人事ノ漸ク複雑ト爲ルヤ、貨物交換ノ不便ヲ感ジ乃チ信用取引ノ必要ヲ生シ、兌換ノ便ヲ以テ貨物ヲ交換ノ媒介ト爲スニ至リタルコトハ貨物買賣財等皆具ニ从フニ徴シテ知ルベシ。〔説文〕「古者貨貝而寶龜。周而有泉。至秦廢貝行錢。」是レ貨幣變遷ノ一端ヲ示スモノナリ。

【貨樣】 商品ノ見本ヲ謂フ。(郵政章程第(四十九條))

【貨釐】 貨物ニ對スル釐金、即チ釐金ノ本體ナリ。故ニ釐金ニ「貨釐」又ハ「百貨釐金」ト稱ス。(「リノ部」) 釐

【貨賄】 金玉ヲ貨ト曰ヒ布帛ヲ賄ト曰フ。〔周禮〕天官大宰、商賈阜通「貨賄」。(註) 其

【過價已訖】 (部首) (韻簡) (又歌) (過價已) 奴婢及ビ牛馬ヲ賣買

スル者ガ代金ノ授受ヲ終了スルコトヲ謂フ。(唐律卷二十六、雜律買奴) 婢牛馬立券ノ條疏議

【過更】 漢代、天下ノ人民ニ對シテ皆一年ニ三日間邊境ヲ成ルノ義務ヲ負ハシム。惟ダ錢三百ヲ出シタル者ハ之ヲ免シ其錢ヲ前成邊者ニ給シテ代務セシム。之ヲ稱シテ「過更」ト謂フ。(漢書)

【過割】 過戸割權ノ略、魚鱗冊(即チ土)ニ於ケル名義書換ノ手續ヲ謂フ。(清律) 戶律

【過繼子】 支那法上ニ於ケル正則ノ養子ニシテ、家ニ實男ナキ場合ニ宗祧(祭祀)ヲ承繼セシムル目的ヲ以テ同宗、同姓ノ姪ヲ乞養スルヲ例トス。(清律) 戶律

【過戸】 他ノ戸ニ推過スル義、田宅ニ關スル權利ノ移轉ヲ爲スコトヲ謂フ。(清律) 辭源

「不動産及ビ記名有價證券ノ買賣贈與、物主ノ姓名ヲ更換スルコト、之ヲ過戸ト謂フ」ト記ス。(譯) (直)

【過誤犯罪】 過ハ過失犯、即チ過失殺傷、失火等ノ類ヲ謂フ。誤ハ誤謬犯、即チ誤殺傷、官物ヲ毀毀遺失シタルノ類ヲ謂フ。(一) 明律卷三、名例篇常

【過而殺傷人】 (過ツテ人) 周代ノ制ハ過失ニ因リテ人ヲ殺傷シタルトキハ、之ヲ誦裁スル機關アリ。即チ「周禮」「調人」ノ官ナリ。(「テ」ノ部) 調

【過失殺傷】 耳目ノ及バザル所、思慮ノ到ラザル所アリテ人ヲ殺傷シタル場合ヲ謂フ。實刑ヲ科セズ各其法ニ依リ贖ヲ以テ論ズ。〔唐律〕誦律、「過失殺傷人」ノ條、諸過失殺傷人者、各依「其法」以「贖論」。詔註「謂」耳目所及、思慮所及不到。共舉「重物」力所不制。若乘「高履」危足跌。及因「擊」禽獸。以致「殺傷」之類皆是。(卷二) 十三

【過失流】 耳目ノ及バザル所、思慮ノ到ラザル所アリ。偶然罪ヲ犯スヲ「過失犯」ト爲ス。

過失ニ因リテ人ヲ殺シタル者ハ之ヲ「過失流」(經)ニ處ス。即チ祖父母父母ヲ過殺シタル類ナリ。〔唐律〕名例篇「應議請減」ノ條、子孫犯「過失」流。其疏議「謂」耳目所不及、思慮所不制之類。而殺「祖父母父母」者。(卷二) 過所

【過所】 關津ヲ通過スル者ニ給スル證明書、即チ通行券ノ一種ナリ。〔唐律〕衛禁篇「不應度關」ノ條「請不應度關。而給「過所」。若冒名請「過所」。而度者。各徒一年。」(八) 釋名「至關所」以示也。或曰。傳過也。移「所在」。以爲「信」。以テ其昔時ヨリ行ハル、ヲ知ルベシ。

【過所文書】 關門出入ノ證明書ナリ。(「テ」ノ部) 見

【過存】 親シク其家ニ就キテ安否ヲ問フコトヲ謂フ。(後漢書) 馬援傳

【過致資給】 犯罪人ニ對シテ逃亡ニ便ナル通路ヲ指授シ險處ヲ送過シテ其盜物ノ還致ヲ助ケ、並ニ衣糧ヲ資給スルコトヲ謂フ。〔唐律〕

捕亡篇「知情藏匿罪人」ノ條「諸知情藏匿罪人。若過致資給。令得「隱避」。各減罪人罪一等」疏議「謂」指授遺途。送「過險處」。助其運致。並資「給衣糧」。遂使「囚人」潛「隱」。他所」(卷二) 十八

【過堂】 (一) 唐代新丁ニ進士ニ及第シタル者ハ座主ニ隨フテ都ニ至リ初メテ宰相ニ見ユ、之ヲ「過堂」ト謂フ。(二) 清代ハ京官ガ都察院ノ京察(官吏ノ成績ヲ)ニ赴クコト及ビ犯罪人が當該衙門ニ到リ裁判ヲ受クルコト皆之ヲ「過堂」ト謂フ。蓋シ「到堂點名」ノ義ニ取ル。

【過房】 同宗親ヨリ迎ヘタル養子、即チ法定上ノ養子ナリ。(明律) 卷六、清律) 卷九、戶律

【朱子言行錄】 王沂ノ公事ヲ載ス第七條「曾無子。欲令「弟子」過房」。

【過房子】 正式ノ養子、「過房」ニ同シ。家ニ男子ナキトキ同宗同姓ノ姪ヲ養子ト爲ス。其過房ト云フハ甲房ヨリ乙房ニ過來スルノ義ニ取ル。〔元典章〕戶部篇「過房子與庶子分家財」

ノ條「上略。桂發本爲「無嗣」。將「請」姪。則自思「自」幼過「房」爲「子」。云云。(九) 臺灣ニ於テハ同宗ノ養子ヲ一般ニ「過房子」ト稱ス。(慣習)

【過名】 過ハ科即チ罪名ト言フニ同ジ、其犯ス所ノ罪過ヲ謂フ。〔明律〕吏律職制篇「官吏給由」ノ條「略。若公私過名。隱不「漏」。報者。以「所」隱之罪。坐之」。(卷二)

【過洋樂】 廣東新語「宋末東莞ノ李竹隱海ニ浮ベテ日本ニ至リ詩書ヲ以テ教授ス。日本人多ク其化ヲ被リ、稱シテ「夫子」ト曰フ。死スルニ比ビテ鼓吹一部ヲ以テ喪ヲ送リ里ニ返ル。今ニ至リ東莞人喪ヲ送ルニハ皆之ヲ用キテ「過洋樂」ト號ス。樂人皆倭衣倭帽以テ之ニ象ル。云云。ト記ス。

【回勇】 清制、新疆省ノ回子即チ回教民族ヨリ募集シタル勇兵ヲ指ス。(會典事例) 兵部

【回易】 宋代使臣外國ニ往クトキハ本國ノ土貨ヲ携帶シテ之ヲ其國主及ビ大臣ニ饋送ス。

其回時該國ノ君主ニ返贈スルニ自國産物ヲ以テス。之ヲ稱シテ「回易」ト謂フ。(本紀)

【回解船】 清朝咸豐同治年間ニ於ケル水師船ノ名ナリ。

【回空】 運糧船京ニ至リテ荷卸ヲ終ハリ南ニ回ルヲ「回空」ト曰フ。【六部成語註解】「運糧至京交卸。南回之空船也。」

【回回】 【正字通】ニハ「回回」ハ國名、西域、大食國(即チアラビヤ)ノ一種ナリト爲ス。【遼史】ニハ「耶律大石衆ヲ率キテ西行シ歴ル所ノ諸部ニ長吾兒(即チ回回)城、及回回大食國アリ。云云。」又「大石軍ヲ等思汗ニ駐ムルコト九十日回回國王來降シ方物ヲ貢シ後ニ元ノ太宗ノ滅ボス所ト爲ルト記ス。元史モ亦稱シテ「西域ノ主」ト爲ス。

【回官】 回教ノ官吏、一ニ「伯克」ト稱ス。回教ニ關スル各種ノ事務ヲ處理スルヲ職トス。

【回教】 即チ「マホメット」教ニシテ、唐代亞刺比亞人(當時大食)ニ依リテ輸入セラレタル

宗教ナリ。新疆省即チ古ノ西域ノ地ハ皆回教ニ歸依シ、宛モ地蔵蒙古人ノ喇嘛教ニ於ケルガ如シ。(清國行政)

【回戸】 回教即チ「マホメット」教徒ノ戸籍ヲ謂フ。各省ニ散在スル者ハ、普通民戸ニ編入セラシムル、甘肅ノ撒拉爾其他ノ回教徒ハ從來土司ノ管轄ニ屬スルガ故ニ回戸トシテ戸籍ヲ別ニス。(清國行政)

【回紇】 一ニ「回鹘」ニ作ル。突厥ノ別種、元魏ノ時ハ「高車部」ト稱シ或ハ「勒勒」トモ稱シタルガ其訛リテ「鐵勒」ト爲リ其部落ヲ「袁紇」ト曰ヘリ。隋ハ「韋紇」ト曰フ。唐ニ及ビテ「回紇」ト稱ス。突厥ニ代リテ内外蒙古ヲ奄有セリ。宋元ノ時ハ「畏吾兒」ト曰フ。即チ回鹘ノ轉音ナリ。天山路ヲ據有ス。清ニ及ビテ其地ヲ「回疆」ト爲ス。其族唐代ニハ「摩尼教」ヲ信奉セシガ宋元以來改メテ回教ヲ信奉スルニ至レリ。

【回山信票】 人參採取者即チ劊夫ガ參山ニ

入ルコトヲ證明スル證書ヲ「入山信票」ト曰フニ對シテ採取ヲ終ヘテ山ヨリ回ルコトヲ證明スル證書ヲ「回山信票」ト曰フ。參課(即チ人參課)ニ對シテ賦課シ、其回山ノトキニ一定ノ人參ヲ抽取スルヲ例トス。(清會典)

【回子】 回教即チ「マホメット」教徒ノコト、新疆省(即チ古)ノ人民ハ殆ド皆之ニ屬ス。故ニ之ヲ「回子」ト稱シ、回子ヲ以テ組織セル軍隊アリ。之ヲ「回部二旗」ト稱ス。

【回子二旗】 新疆省軍隊ノ一、哈密回部ト吐魯番回部トノ二部ニ依リテ組織セラレタル軍隊ヲ謂フ。(清會典)

【回青】 馬匹ヲ水草ノ繁茂セル地ニ放牧スルコトヲ「出青」ト曰ヒ草ノ枯死スルニ及ビテ原處ニ歸還セシムルヲ「回青」ト謂フ。(清會典)

【回籍】 官吏ガ疾病其他ノ事故ニ因リテ元籍地ニ歸來スルコトヲ謂フ。【清會典】吏部「漢官得告則聽其回籍」

【回籍起文】 清制、科舉ニ應ズル者ヲ原籍

ニ回ヘシテ地方官ヨリ會試ニ起送スル證明書ヲ取ラシムルコトヲ謂フ。(科場)

【回匪】 回教徒中亂ヲ企テタル者ヲ指ス。例セバ同治元年粵賊陳得方ノ亂ニ官軍ニ招募セラレタル回勇、却ツテ、民間ト隊ヲ生ジテ亂ヲ起セリ之ヲ指シテ「回匪」ト稱ス。

【外(部首) (泰)】

【外委】 清制、額外(定員)ニ或ル權限ヲ委シテ差遣スル武官ヲ外委ト爲ス。外委千總、外委把總ノ如キ是ナリ。

【外姻有服屬】 (外姻服) 姻族中喪服ノ關係ヲ有スル親族即チ外祖父母、舅、姑、及ビ妻ノ父母等ヲ指ス。【唐律】戸婚篇「同姓爲婚」ノ條(上)若外姻有服屬。而尊卑共爲二婚。則(中)亦各以(喪論)。ト曰ヒ其疏議、外姻有服屬者。謂(外)祖父母、(舅、姑、妻之)父母。云云。(卷十)

【外合】 春秋時代國際形式ノ一、已ムヲ得ズ他ノ要求ニ應ジテ會合スルコトヲ謂フ。【左傳】

宣公七年「不與謀曰會。其註「不與」已應命而會。則以(外)合爲(文)。

【外姦內入】 國外ノ姦徒、内地ニ入り來ル者ヲ謂フ。【唐律】衛禁篇「緣邊城戍」ノ條内ノ語、疏議「謂(蕃)人爲姦。或行(間)謀之類」(卷八)

【外舅】 妻ノ父ヲ稱ス。【爾雅】釋親「妻之父爲(外)舅。妻之母爲(外)姑」

【外兄弟】 母ノ兄弟、母ノ姉妹ノ子ヲ外兄弟ト謂フ。(儀禮ノ註)

【外姑】 妻ノ父ヲ外舅ト曰ヒ、妻ノ母ヲ外姑ト曰フ。(外舅ノ註)

【外史】 他國ノ使スル者ノ命令ヲ書スルコトヲ掌ル官吏ナリ。【周禮】春官ニ外史アリ、掌(書)外令。【左傳】季孫召(外)史掌(惡)臣(而)問(盟)首(焉)。

【外子】 或ハ婦人大ヲ稱シテ「外子」ト曰フノ例アリ。(外婦ノ註)

【外親】 女系血統ニ由リテ親族關係ヲ連結セル者ノ總稱ナリ。母、祖母ノ本生親族及ビ姑、(父ノ)女、孫女、諸姪女ノ出嫁シテ生ミタル子(孫)均シク之ニ屬ス。妻ノ親族ハ別ニ之ヲ「妻親」ト稱ス。(清律卷一)

【外甥】 妻ノ兄弟ヲ稱ス。【釋名】「妻之昆弟曰(外)甥」

【外戚】 祖母、母又ハ妻ノ宗族ヲ指稱ス。【漢書】淳于長傳「以(外)戚(居)九卿位。云云」

【外鈔】 清制、皇帝ヨリ内閣ニ還附セラルル奏文及ビ之ニ對スル諭旨ハ、都察院之ヲ受領シ、之ヲ所管各科ニ分致シ、各部ハ其諭旨及ビ原疏ヲ錄寫シテ各官廳ニ送ル。其事ノ數官廳ニ涉ルモノハ先ヅ主任官廳ニ送リ、次ニ關係官廳ニ送ルヲ法トス。此ノ場合ニ於テ、其主任官廳ニ送ルモノヲ「正鈔」ト曰ヒ、關係官廳ニ送ルモノヲ「外鈔」ト曰フ。(清國行政法)

【外孫】 出嫁ノ女ノ生ミタル子ヲ指稱ス。【史記】劉敬傳「陛下誠能以(適)長公主(妻)之(同)領

在。固爲三子婿。死則外孫爲三單子。登嘗開外孫
致與二大父。抗禮者上哉。

【外臺】 漢代謂者ヲ外臺ト爲ス。

【外大父】 外祖父ヲ謂フ。(宋子)

【外場】 清制、武舉(即テ武官)ノ試験ハ外場
ト内場トニ分チ外場ハ勇技ノ試験ヲ爲シ、内
場ハ武經ノ試験ヲ爲ス。(會典)

【外朝】 周代ハ天子ニ三朝アリ其三ハ卓門ノ
内ニ在リ東門ノ外ニ在ルヲ外朝ト曰フ、最終
ノ審判等ヲ掌ル。(周禮小) 清制、外朝ハ大和
殿、中和殿、保和殿ノ三殿アリ。午門ノ内中
央ニ在ルヲ太和殿ト曰ヒ、其後ニ在ルヲ中和
殿ト曰ヒ、又其後ニ在ルヲ保和殿ト曰フ。

【外轉】 清制、京城ノ官吏ヲ以テ外省ノ同等
官ニ轉任スルコトヲ謂フ。(六部成)

【外婆】 俗ニ外祖母ヲ稱シテ「外婆」ト曰フ
(容齊)

【外婦】 家外ニ有スル婦女ノ義、妾ノ一種ナ
リ。漢書、齊悼惠王妃。其母高祖微時外婦
也。其註「謂ニ與レ旁通者」。今人私蓄スル所ノ
婦ヲ「外婦」ト爲スハ此ニ本ヅク。又外婦ノ子
ヲ「外子」トモ稱ス。

【外府】 周官、一國財貨ノ出納ヲ主トル官廳、
(周) 民國ノ「財政部」ニ當ル。(二) 國外ニ在ル
府庫ナリ。左傳「僖公二年、若得三遺於虞、猶ニ
外府也」。

【外補】 (選) 補見ヨ

【外本内末】 (本) 外ニシテ「德ハ本ニシテ
財ハ末ナリ。人君若シ德ヲ以テ外ト爲シ財ヲ
以テ内ト爲ストキハ其民ヲシテ争鬪セシム。
是レ施スニ劫奪ノ致ヲ以テスルモノナリ。大
學「外本内末、爭レ施奪。是故財聚則民
散。財散則民聚。云云」。

【外命婦】 周制、卿大夫ノ妻ヲ稱ス。周禮
天官、閼人ノ制(略)凡外内命夫。命婦出入。則
爲レ之關。賈公彦註「外命婦。總ニ卿大夫之妻ニ
也」。

【外蒙古】 內蒙古ノ北、滿洲ノ西、新疆ノ東
北ニ在リテ露國ト境ヲ接ス。全土ヲ車臣汗、土
謝圖汗、賽音諾顏、札薩克圖汗ノ四部ニ分ツ
所謂喀爾喀ノ四部是ナリ。凡ソ四盟八十六旗
アリ各部皆札薩克(各部)ヲ設ケ其封爵ニハ親
王、郡王、貝勒、貝子、輔國公、台吉ノ別アリ。
清時ハ理藩部ニ屬シタルガ民國ニ及ビ露
國ト訂約シテ其自治ヲ許スニ至レリ。

【外王父】 外祖父ヲ謂フ。(雅)

【外王母】 外祖母ヲ謂フ。(雅) (大學衍義補)
「母ノ妣(母ノ)今ハ外祖母ト稱ス。ト記ス。
(卷五)

【外籬】 清制、科舉ノ試験官ヲ内廩ト稱スル
ニ對シ、試場外部ノ監視ヲ爲ス監臨官ヲ指ス
ノ稱ナリ。(科場)

【廻穴】 凡ソ事ノ一定シ難キコトヲ謂フ。宋

王、賦「廻穴錯進。其註「凡事不能レ定者。謂ニ
廻穴」

【廻帆】 歸航ト言フニ同シ。大學衍義補「元
因三宋制。每歲招集船商於蕃邦。博ニ易珠翠
香貨等物。及二次年回航。驗レ貨抽解。云云」
(同書卷二十五)

【廻避】 清制、一般官吏ヲシテ情弊ノ嫌疑ヲ
避ケシムルノ義、即チ私情ノ爲メニ公義ヲ棄
ル弊竇ヲ豫防スルノ目的ヲ以テ設ケタル制度
ナリ。故ニ内外各官吏ニ對シ齊シク之ヲ適用
ス。其要ヲ舉ゲレバ親族關係ヲ有スル者ハ勿
論、從前師弟ノ關係アリタル者、若クハ統屬
ノ關係アリタル者ハ、同一官廳ニ奉職スルコ
トヲ得ズ。其廻避ノ順序ハ、地位ノ卑キ者
ヨリ避ケタル法トス。又裁判官若クハ稅務官
ノ如キハ、其本籍地ノ訴訟及ビ稅務ニ關係ス
ルコトヲ得ズ。殊ニ試驗官ト受驗者トノ間ニ
在リテハ極メテ嚴重ナル規定アリ。今一一之
ヲ舉グレバ其煩ニ堪ヘザルヲ以テ之ヲ略ス。

(會典吏部、科
場條例參照)

快 (部首) (共) (韻)

快役 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快蟹船 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

快手 (部首) (共) (韻)

出。與謀曰及。不與謀曰會。其註同志ノ國相與ニ利害ヲ講議シ、計成リテ約ヲ結ビ事ヲ行フトキハ、之ヲ連及ト稱シ、利害ノ講議ニ與カラズ、單ニ事アリテ會スルノ意ナリト曰フ。

【會駁】 二箇以上ノ官廳ノ官吏、若クバ二人以上ノ官吏ガ一堂ニ會同シテ、或ル事件ニ對シ審査スルコトヲ謂フ。(刑部)

【會魁】 會試ニ及第シタル者ノ中ヨリ成績ヲ按ジ、最優等ヲ會元ト稱シ、第二ヨリ第五マアヲ「經魁」ト稱シ、第六ヨリ第十八マアヲ「會魁」ト稱ス(清科場)但シ此名ハ明代ヨリ始マル。

【會館】 同郷商人ノ團體、其目的ハ艱難相救ヒ、禍福相申度シ以テ同郷ノ情誼ヲ全ウスルニ在リ。故ニ必シモ商人ニ限ラザルモ、都會ノ地ニ出デ、活動スル者ハ、商人多數ヲ占ムルヲ以テ、商人ノ組織セルモノヲ多シト爲ス。其同郷ノ範圍ニ就キテハ一定ノ制限ナク、同

郷者ノ少數ナル者ハ、省ノ相近キ者相集リテ一會館ヲ設ク。例セバ江蘇安徽浙江三省ノ三江館ノ如キ是ナリ。同郷者ノ多數ナル者ハ、府州縣人相集リテ一會館ヲ設ク。例セバ湖州惠州二府人ノ「潮惠會」ノ如キ是ナリ。(清國行二卷經濟大字典第四卷)

【會稽】 (一)人ヲ會シテ其功ヲ稽察スルノ義【史記】夏紀ノ贊、禹會諸侯江南計功而崩。因葬焉。命曰會稽。會稽、會計也。因テ亦四葬焉。命曰會稽。會計也。因テ亦(二)金穀ノ出納ヲ計算スルノ義ニ用フ。(三)會ハ檢ニ同ジ、古ハ防山又ハ棟山ト曰ヘリ。今ノ浙江省紹興縣ノ東南十三里ニ在リ。【周禮】揚州鎮山曰會稽。【越絕書】禹更茅山曰會稽。

【會計】 (一)會計ノ語ハ往古ヨリ傳ハル所ナリ。【越絕書】禹至三塗、上茅山、大會計。云云。又【周禮】天官宰宰之職、歲終、則令百官府各正其治、受其會、鄭註、正、正處也。會、大會也。會計ノ意義ハ【周禮】天官小宰之職、聽二

出入。以二委會。鄭註、委會、會計最之簿書。月計曰要。歲計曰會。即テ會ハ大計ニシテ歲末一年間ニ於ケル帳簿ヲ整理シテ、計算ヲ明ニスルコトヲ謂ヒ、計ハ月末一月間ノ帳簿ヲ整理シテ、計算ヲ明ニスルコトヲ謂フ。後世ニ於ケル會計モ此義ニ外ナラズ。然レドモ(二)大計ノ語ハ獨リ金錢上ノ計算ヲ意義スルノミナラズ、官吏ノ治績ヲ計リテ賞罰ヲ加フルノ義ニモ使用セラル。【周禮】宰宰之職、三歲則大計群吏之治、而誅賞。云云。後世ノ大計ノ語此義ニ取ル。(參照)

【會計司】 宋代三司ノ一、熙寧七年中書省ニ置キ、宰相韓絳ヲ以テ提舉(其長官)ト爲ス。會計ノ最高官府ナリ。(司)ト見ヨ。

【會元】 會試ニ最優等ヲ以テ及第シタル第一名ヲ會元ト曰フ。(清科場)

【會降】 (降ニ會)會款ト同ク、國家ノ恩典ニ因リテ一律ニ刑ノ減等ヲ行フ機會ニ達スルコトヲ謂フ。此場合ハ有官者ハ官當(都)以官

當トテ聽サレ、有差者ハ贖法ノ本法ニ依リ見ヨ。【唐律】卷二名例高祖(十惡ノ條及ビ疏儀)

【會子】 宋ノ高宗紹興三十年ニ戶部侍郎錢端禮旨ヲ被リテ「會子」ヲ造リ内外ニ流轉シ其合ニ發スベキ官錢ハ故ニ會子ニ兌換シテ左藏庫ニ輸スルコトヲ許セリ、蓋シ會子ハ「交子」ノ部本條ヲ改名シタルモノニシテ宋代ノ紙幣見ヨ。

ナリ。別ニ「錢引」「關子」「關會」トモ稱ス。【大學衍義補】丘濬曰ク「臣按宋朝交子。至是更ニ名會子。不特此也。又謂之錢引。又謂之關子。又謂之關會。其實一而已矣。夫考唐之飛錢合券。特以通商賈之厚薄貿易者。蓋執執券以取錢。而非以券爲錢也。宋自眞宗以後。蜀始有二交子。高宗以後。東南始有二會子。而始直以紙錢矣。」(卷二)【宋史食貨志】(十七)【志】(取ル)

【會試】 科擧ノ第二層ニシテ鄉試ニ及第シタル者即チ擧人ニ對シテ行フ所ノ試驗ナリ。宋代ニハ「解試」ト曰ヒ、明以後「會試」ト曰フ。即チ擧人ヲ京師ニ會集シテ之ヲ行フガ故ニ會

試ノ名アリ。鄉試、會試皆三年一回之ヲ行フノ定メニシテ會試ハ鄉試ノ翌年之ヲ行フヲ例トス。(清、科場條例)

【會赦】 大赦令ノ發布アルニ會フコトヲ謂フ。(下條ヲ)

【會赦猶流】 (赦ニ會ヒ)大赦令ノ發布ニ會ヘバ流刑以下其罪ヲ減免セラルルヲ例トスルモ惡性ノ犯罪ハ其恩典ニ浴セシメズ。流ニ處スベキ者ハ猶ホ流ニ處ス。之ヲ「會赦猶流」ト謂フ。即チ蠱毒ヲ造蓄スル者並ニ其同居家族、教唆人、又ハ小功尊屬(服)ヲ見ヨ。從父兄弟ヲ殺シタル者及ビ謀反大逆ヲ犯シタル者ノ如キ是ナリ。【唐律】名例篇、應議請減ノ條(上)及ニ會赦猶流者。各不得減贖。除名配流如レ法。ト曰ヒ、其疏議、案、賊盜律云。造蓄蠱毒。雖會赦。並同居家口。及教令人亦流三千里。斷獄律云。殺小功尊屬。從父兄弟。及謀反大逆者。身雖會赦。猶流二千里。此等並是會赦猶流。云云。(卷二)

【會昌】 運命ノ隆盛ナルコトヲ謂フ。【唐律疏議】運表、泣辜慎刑。文命所以會昌。文命ハ夏禹王ノ名、會昌ハ「文選」蜀都賦「天帝運期而會昌」トアルニ出ツ。

【會題】 會題トハ會同シテ題奏スルノ義、即チ或ル事件ニ關シテ兩三省ノ公務ニ關スルモノナルトキハ、兩三省ノ長官會同連名ヲ以テ、題本ヲ奉呈スルコトヲ謂フ。(六部成)

【會同】 時見ヲ「會」ト曰ヒ、殷見ヲ「同」ト曰フ。時見トハ一定ノ時期ナク、王ガ征討ノ事アルニ際シ壇ヲ國外ニ設ケテ諸侯ヲ召集シテ引見スルコトヲ謂ヒ、殷見トハ十二歲巡狩セズ六服(本條ヲ)ノ諸侯ガ來朝スルコトヲ謂フ。【周禮】春官大宗伯ノ制、時見曰會。殷見曰同。(其註)尙ホ詳シク曰ヘバ(一)會ト同トハ前述ノ如ク、二項ニシテ會ハ諸侯中王命ヲ奉セザル者アリ、王之ヲ征伐セントスルニ際シ臨時ニ諸侯ヲ召集スルコトヲ謂ヒ、同ハ王巡狩ニ際シ事故シテ巡狩スルコト能ハザル

ノ時ニ諸侯ヲ召集スルコトヲ謂フ。即チ會ハ時會ノ略、同ハ股同ノ略ナリ。【周禮】秋官之職大行人「時會以發四方之禁。股同以施天下之政」。(二)會合ノ意ニ使用セラル。【書經】禹貢篇「雷夏既澤。滌沮會同」。(三)又次項ノ「會同館」ノ會同ノ如キ是ナリ。

【會同館】【周禮】司徒遺人ノ制、凡賓客會同師役、掌其道路之委積。是レ其始メナリ。周代以降明代マテハ賓客其他特定ノ人ノ往來ニ便ズル公館トシテ之ヲ存シタリシガ明ノ初代南京公館ヲ改メテ「會同館」ト爲シ、又永樂ノ初年北京ニモ會同館ヲ設ケテ南北兩館ト爲シ北館六箇所南館四箇所アリ。後驛傳ヲ定ムルニ方リテ、京師ニ在ルモノヲ會同館ト爲シ地方ニ在ルモノヲ「水馬驛」又ハ「遞運所」ト稱シルニ至レリ。清朝ニ及ビテハ會同館ヲ以テ事務ヲ掌ラシムルニ至レリ。(會典 兵部)

【會同四譯館】官署ノ名、明代四夷館ヲ置

キ、翰林院ニ隸屬シ四夷ノ文字ヲ譯スルコトヲ掌ラシム。其後大常寺少卿ヲシテ之ヲ督セシム。清初會同館ヲ設ケタルト共ニ四夷館ヲ改メテ四譯館ト爲シ、兩館並立シタルガ、後合シテ會同四譯館ト爲ス。屬國ノ使賓ヲ接待シ、言語ノ通譯ヲ爲スコトヲ掌ラシム。

【會任之家】殺人出獄者ヲ引取り緝捕和合スルヲ任トスル者。【潛夫論】(上)出獄取捕。復犯法者。何不レ然。洛陽至有主。諸合殺レ人者。謂之會任之家。受人十萬。謝客數千。又重饋三部吏。吏與通。利入深重。緝黨盤牙。請至貴戚寵權。說聽於上。謂行於下。是故雖嚴令尹。終不能破。【唐書】(卷四)飛錢。即如今之會票。【博物志】飛錢。唐德宗時。令高資至京師。委錢諸路進奏院及諸軍諸使。富家輕裝趨四方。合券取之。號飛錢。【會盟】事件ノ發生ニ際シ諸侯ガ日ト場所ト

ヲ約シテ會合、協約スルコト、血ヲ歃リテ約スルヲ盟ト曰ヒ、血ヲ歃ルコトヲ略スルヲ會ト曰フ。【左傳】昭公三年「有レ事而會。不レ協而盟」。(會及ビメシ)

【會慮】慮ハ特赦ノ一種、即チ國家ノ特旨ニ會フテ刑罰ノ減免ヲ行フコトヲ謂フ。【錄囚】ト曰ヒ又「慮囚」ト曰フハ是ナリ。(各本條)【唐律】名例篇「犯十惡ノ條」(上)會降者。聽從富贖法。其疏議。問曰。會降。從富贖法。者有別蒙勅放。及會慮減罪。得同三赦降。以否。答曰。如有特奉鴻恩。總蒙原放。非常之斷。人主專之。爵命並合如初。不問三赦降之限。其有會慮減罪。計與三會降。不殊富贖之科。須同降法。慮若全免。還從三特放之例。(卷二)【悔艾】悔ハ悔キテ改ムルノ義、艾ハ治ムルノ義、改後自新スルコトヲ謂フ。【宋史】李彥博「李彥知三變流縣。張氏子爭產。彥令三歸思」

之。三日復來。遂悔艾無訟。」

【悔親】已ニ婚約ヲ締結(所謂)シタル以上ハ親ヲ悔キルコトヲ得ズ。是レ「唐律」【明律】及ビ「清律」共ニ婚姻編ノ首條ニ定ムル所ナリ。【元典章】ハ「悔親」ノ語ヲ用フ。婚姻ニ因ル親族(姻族)關係ヲ爲スコトヲ悔キルノ義ナリ。【元典章】「定レ婚不レ許レ悔親」ト「暹」スルハ是ナリ。(卷十)

【悔亡】悔ハ悔吝、即チ後悔ノ義(悔吝)ト亡ハ無ナリ。悔吝ノ事ヲ消除シテ無事ナルノ義ナリ。【易經】復卦「九二悔亡」注「以陽居陰本當有レ悔。以其久中。故得レ亡也」。

【悔盟另許】(盟ヲ悔キテ)男女婚姻ノ約ヲ結ビタル後、女家ガ其約ヲ悔キテ私ニ他ト婚約ヲ約スルコトヲ謂フ。(拾遺記)【悔吝】兩字トモ悔キ恨ムノ義別チ言ハバ悔ハ前非ヲ悔キルコト吝ハ將來ニ悔キ恨ミアルコト、是レ易經ノ定語ナリ。【易經】繫辭傳「悔吝者憂虞之象也。」

【滙】(部首) (韻) 田地ノ間ニ設ケタル溝ニ注グ水溜、滙

滙ノ便ニ備フ。廣、深各二尋ヲ法トス。【周禮】地官遂人「千人有レ滙」注「廣二尋。深二仞」。

【禮】(部首) (韻) 吳禍ヲ祓フ祭ノ名【周禮】天官女祝「掌二以時招梗禱禱之事」注「除二災害一曰禱。禱。猶二刮去一也」。

【光棍】許偽無賴ノ徒ヲ稱ス。【六部成語註】解「詐騙之匪也」。

【光祿】(部首) (韻) 漢代宮殿ノ掖門ヲ掌ルノ官、【漢書】百官志「郎中令掌二宮殿掖門戶」武帝更二名光祿勳。通典云。樂除二勳字一曰光祿卿。續事始曰。秦掌二宮殿門戶。郊祀主諸郎將在殿中。侍衛。北齊兼掌二膳。隋全掌二諸散膳。不レ掌二宮殿」(卷五)尚ホ同書、應劭曰。光。明也。祿。爵也。(卷五)

【光祿勳】漢代宮殿ノ掖門ヲ掌ルノ官、【漢書】百官志「郎中令掌二宮殿掖門戶」武帝更二名光祿勳。通典云。樂除二勳字一曰光祿卿。續事始曰。秦掌二宮殿門戶。郊祀主諸郎將在殿中。侍衛。北齊兼掌二膳。隋全掌二諸散膳。不レ掌二宮殿」(卷五)尚ホ同書、應劭曰。光。明也。祿。爵也。(卷五)

【光祿卿】(光祿勳) 漢代宮殿ノ掖門ヲ掌ルノ官、【漢書】百官志「郎中令掌二宮殿掖門戶」武帝更二名光祿勳。通典云。樂除二勳字一曰光祿卿。續事始曰。秦掌二宮殿門戶。郊祀主諸郎將在殿中。侍衛。北齊兼掌二膳。隋全掌二諸散膳。不レ掌二宮殿」(卷五)尚ホ同書、應劭曰。光。明也。祿。爵也。(卷五)

【光祿勳令】光祿勳ニ始マルノ官、宮殿掖門ヲ掌ル。漢武帝名ヲ「光祿勳」ト改ム。聖令ハ其掌ル法規ノ事例ヲ摘要シタルモノ

ナリ。(漢書燕王且傳)

【光祿寺卿】 祭祀、朝會等ノ事ヲ掌ル。宋史「掌三祭祀朝會宴饗酒醴膳羞之事。」

【光祿大夫】 光祿ハ秦代郎中令ノ屬官、漢武帝名ヲ改メテ「光祿大夫」ト爲シ。宮中顧問ト爲ス。魏晉以後時ニ増置アリ。皆正職ニアラズ。唐ハ隋制ニ因リテ散官ト爲シ三等ニ分ツ。光祿大夫ハ從二品、其次ハ「金紫光大夫」及ビ「銀青光祿大夫」是ナリ。明代光祿大夫ヲ進メテ一品ト爲シ、清ハ正一品文官階ト爲ス。

【廣斥】 廣キ海濱ノ鹽地、斥ハ鹽ナリ。【書經】禹貢篇「海濱廣斥」其註「廣漢而斥鹽。疏」東方謂三之斥。西方謂三之鹽。

【廣内】 漢代ノ圖書室ノ名ナリ。(大學衍義補)

【廣表】 東西ヲ廣ト爲シ、南北ヲ袤ト爲ス。【史記】楚世家「從某至某廣袤六里。」

【廣文館】 (下條ヲ見ヨ)

【廣文博士】 唐制、廣文館ノ博士、廣文館ハ大學ニシテ廣ク文學ニ關スル學科ヲ教授ス。國學以外ノ特殊學校ナリ。(拙著「教育及ビ」)

【廣輪】 廣ハ横ニ通ジ東西ヲ廣ト爲ス。輪ハ縱ニ通ジ南北ヲ輪ト爲ス。【周禮】地官大司徒之職「周知九州之地域廣輪之數。」(註)同

【曠官之罪】 官吏其職務ヲ盡サマルノ罪、丘濬曰ク「館閣職清務簡。不預他務。宜委之校讐刊正。傳於每卷之末。著其名銜。有二不究レ心者。坐以曠官之罪。」(大學衍義補)

【曠職】 官職ノ缺ケタルヲ其儘ニ付スコト其人。不レ如曠職。又職務ヲ怠ルノ義即チ曠官ト同義ニ使用セラル。

【皇】 (部首) (陽)

【皇】 皇帝又ハ天皇ノ略語トシテ用キラル。

人之稱「王妃」亦以繼「天子」之後。故也。尙書顧命曰「皇后憑三玉几。蓋史始以言「成王」之以道繼「入」之後也。而秦漢以稱「天子」妃。漢高紀七年。漢王即「皇帝」位。尊「王后」曰「皇后」。(卷)

【皇史宬】 明代皇室ノ圖書室ノ名ナリ。【字彙補】「藏書之室也。」明大内有「皇史宬」。貯三列聖御筆實錄。成「屋」物ヲ容受スル所ナリ。

【皇城使】 皇居ヲ皇城ト曰フ。天子ノ命令ヲ傳フルコトヲ掌ル官ヲ「皇城使」ト曰フ。【事物紀原】「唐書宋泚傳曰。泚以三李忠正爲「皇城使」。蓋名「官」之事。始見於此。太平興國六年十一月改「武德司」爲「皇城司」。故宋朝諸使有「皇城使」。(卷)

【皇城司】 (「皇城使」ヲ見ヨ)

【皇親國戚功臣】 皇親ハ皇室ノ本屬親、國戚ハ皇室ノ外戚、功臣ハ國家ニ功勞アル臣ナリ。皇親ハ八議ノ一タル議親ノ親、功臣ハ議功ノ功臣、國戚ハ議親ニ準ゼラルル者、即チ清

天皇氏ニ始マル。皇ハ元ト天ノ義【書經】「大禹謨」皇天眷命同書湯謨篇「惟皇上帝。」皆天ヲ指ス。【事物紀原】項峻始學篇曰「天地立有二天。皇。張信帝系譜曰「天地初起。漢澤鴻濛。即生二天皇。治萬八千歲。此稱「皇」之始也。」(卷)

【皇闈】 皇城ノ門、【宋書】四廂樂歌「鼓鐘震二天區。禮容塞「皇闈」。」禁闈「禁闈」亦同。

【皇考】 亡父ヲ指シテ「皇考」ト曰ヒ亡母ヲ指シテ「皇妣」ト曰フ。【禮記】曲禮篇「父曰「皇考」。母曰「皇妣」。又曾祖父ヲ指シテ「皇祖考」ト曰フ。例モアリ。【禮記】曾祖之廟曰「皇考廟」。トアルハ是ナリ。然ルニ父ヲ指シテ「皇考」ト稱スルハ宋以前ニシテ宋ノ徽宗ノ時之ヲ禁止シ南宋以後皇考ト稱スルモノナシ。(義新)

【皇穹宇】 皇穹宇ハ皇帝ガ園丘祀「天」ノトキ神位ヲ迎フル所ヲ謂フ。(通)本來ハ大空ノ義皇ハ大、穹宇ハ天上ヲ指ス。【潘岳賦】「仰「皇穹」兮。歎息。」

【皇極】 天子ガ國民ノ行爲ノ標準タルベキ大朝ノ親王妃及ビ附馬等ノ家はナリ。(清律例篇「庶民者之父」)

【皇祖考】 亡祖父ヲ指稱ス【禮記】曲禮篇「祭ニ王父」曰「皇祖考」。王母曰「皇祖妣」。

【皇祖妣】 亡祖母ヲ指稱ス。(「皇祖考」ヲ見ヨ)

【皇太后】 秦漢以來天子ヲ皇帝ト稱ス故ニ皇帝ノ母ヲ尊ビテ皇太后ト稱ス。【事物紀原】「漢製秦。故號三皇帝。故亦尊レ母曰「皇太后」也。」(卷)

【皇太妃】 天子ノ正室ノ出ニアラザル者之ヲ「諸王」ト曰ヒ。其母ヲ「太妃」ト稱ス。推サレテ皇位ニ即キタルトキハ其生母ヲ尊ビテ「皇太妃」ト稱ス。(「太后」部、太)

【皇帝】 皇帝ノ號ハ秦始皇ニ始マル。【史記】始皇本紀「王綰李斯等議「帝」號。曰「古有二天皇。有二地皇。有「泰王」。泰皇最貴。上尊號「王」爲「泰王」。王曰「去レ泰著レ皇」。采「上古位號」號曰「皇帝」。トアルニ依リテ知ルベシ。然ルニ【事物紀

法ヲ立ツルコトヲ立極ト曰ヒ其大法ヲ皇極ト曰フ。【書經】洪範篇「五。皇極。皇建。其有極。」極ノ義ニ就キテハ鄭玄ハ「極ハ中ナリ天下ノ人ヲシテ各其中ヲ得、其所ヲ失ハシメザルノ義ナリ」ト註シ賈公彥ハ之ヲ補ヒテ「其中正ヲ得其所ヲ失ハシメザルナリ」ト疏ス。尙ホ朱子ハ「至極ノ義、標準ノ名、常ニ物ノ中央ニ在リテ四方之ヲ望ミテ以テ正ヲ取ルナリ」ト註ス。(周官義疏)

【皇華驛】 清制、中央郵便、全國郵便ノ總本局ニシテ兵部直轄ノ下ニ會同館其事務ヲ掌ル(會典兵部)蓋シ此語ハ【詩經】小雅「皇皇者華」篇ニ取ル。其序「君遣二使臣」也。送レ之以「禮樂」。言遠而有「光華」也。

【皇后】 周代ハ天子ノ正妃ハ王妃又ハ后ト曰ヘリ、秦始皇、天子ノ號ヲ皇帝ト曰フト共ニ正妃ヲ皇后ト曰フ。後ノ世多ク之ニ從フ。【事物紀原】「周禮。天子之妃曰「后」。周人稱「王妃」曰「后」。秦號「皇帝」。亦稱「皇后」。后。繼體之君也。周

原「世皇帝記曰五帝之初。有二天黃皇帝。尙書呂刑曰。皇帝清三閭下民。蓋周穆王始以言二唐虞也。トアルニ依レバ其稱ノ起因久シキヲ知ルベシ。(一)實際「書經」呂刑篇ヲ見ルニ、皇帝哀三矜庶戮之不幸。ト記ス。

【皇帝行寶】(ハノ部、八) 寶ヲ見ヨ

【皇帝之寶】(ハノ部、八) 寶ヲ見ヨ

【皇帝信寶】(ハノ部、八) 寶ヲ見ヨ

【皇妣】(ヲ見ヨ)

【皇辟】(ハノ部、八) 人妻ガ亡夫ヲ祭ルノ時ノ尊稱「禮記」曲禮篇、夫曰「皇辟」。注「皇、君也。辟、法也。妻所取レ法也。」

【荒】(部首) (陽韻)

【荒歉】(ハノ部、八) 年、凶荒ニシテ穀物ノ收穫少ナキコトヲ謂フ。「六部成語註解」凶荒之平。五穀少ニ收成一也。

【荒蕪】(ハノ部、八) 未墾地ノ總稱。時サザルヲ「荒」と曰ヒ、鋤カザルヲ「蕪」と曰フ。「唐律」戸婚篇、部

内田囑荒蕪ノ條疏議「不レ耕謂ニ之荒。不レ鋤謂ニ之蕪。(卷十)

【荒服】(ハノ部、八) 王畿ヲ去ル二千里以上二千五百里ニ至ルノ五服中最遠ノ國ヲ稱ス。其王朝ヘ來ルコトノ疏ニシテ一定ノ來朝期ナキノ義ニ取ル(ノ部、五服ヲ見ヨ)

【荒政】(ハノ部、八) (一)歳ノ荒凶ニ際シ被害民ヲ救済スルノ制ナリ。「周禮」地官大司徒之職、荒政ノ要件十二項ヲ規定ス。一「散利」ト曰ヒ二「薄征」ト曰ヒ三「緩刑」ト曰ヒ四「弛力」ト曰ヒ五「舍禁」ト曰ヒ六「去幾」ト曰ヒ七「薄征」ト曰ヒ八「殺哀」ト曰ヒ九「蕃樂」ト曰ヒ十「多昏」ト曰ヒ十一「索鬼神」ト曰ヒ十二「除盜賊」ト曰フ。「散利」トハ積ム所ノ財ヲ散シテ救済スルノ義、「薄征」トハ租稅ヲ輕タスルノ義、「緩刑」トハ窮乏ノ爲メニ罪ヲ犯ス者ハ刑ノ執行ヲ猶豫スルノ義、「弛力」トハ徭役ヲ息ムルノ義、「舍禁」トハ山林川澤ノ禁ヲ舍スルノ義、「去幾」トハ關市ノ幾ハ

謂「察即チ取締ヲ去ルノ義、嘗禮」トハ諸禮ノ儀式ヲ省略スルノ義、「殺哀」トハ喪禮ノ儀式ヲ降殺スルノ義、「蕃樂」トハ樂器ヲ閉藏スルノ義、(即チ歌舞音曲)「多昏」トハ略式ニ依リテ婚姻ヲ爲サシムルノ義、(婚姻ハ六禮ノ正則)「索鬼神」トハ廢祀ヲ求メテ之ヲ修スルノ義、「除盜賊」トハ饑饉ノ年ハ盜賊多シ刑ヲ嚴ニシテ其害ヲ除クノ義ナリ。(周官義)(二)人君ノ國政ヲ荒廢スルノ義、「書經」周官篇、怠忽荒政

【黃】(部首) (陽韻)

【黃衣選人】(ハノ部、八) (ノ引書ヲ見ヨ)

【黃巾】(ハノ部、八) 東漢靈帝ノ時鉅鹿ノ張角黃老ノ教ヲ信奉シ符水呪詛ヲ以テ病ヲ療シ、太平道ト號ス。弟子ヲ各地ニ派遣シ人民ヲ誑惑シ衆數十萬ニ至ル。漢室日ニ衰フルヲ見テ亂ヲ作ス。皆著クルニ黃巾ヲ以テシタルガ故ニ之ヲ「黃巾之賊」ト稱ス。(後漢書)

【黃快船】(ハノ部、八) 運漕船(稅米ヲ運)ノ一名稱ナリ。(下條) (參照)

【黃快丁錢】(ハノ部、八) 租稅銀兩ヲ運漕スル船ノ持主ヨリ毎年壯丁ニ交付スル口錢ヲ謂フ。「六部成語註解」漕船有レ官有レ私。名有二色。有二一幫船。名曰「黃快船」。其管船之戶。毎年應レ交丁口錢兩。

【黃教】(ハノ部、八) 地藏ニ於テハ最初佛教ヲ「紅教」ト稱セリ。其故ハ地藏ニ入りタル佛教ハ薩迦派ニシテ、薩迦派ノ法服ハ凡テ紅色ヲ用キタルニ因ル。又同派ハ佛教ノ教義ニ反シ、妻帯ヲ許シ、且ツ種種ノ奇術ヲ行フヲ以テ特色トス。故ニ宗喀巴ナル者該教ヲ以テ邪教ト爲シ、宗教ノ改革ヲ計リ、其徒ハ皆黃衣黃帽ヲ著セリ。故ニ之ヲ紅教ニ對シテ「黃教」ト稱ス。是レ即チ回教ノ始祖ナリ。

【黃卷】(ハノ部、八) 書物ノコトヲ謂フ。「唐書」狄仁傑傳「狄仁傑爲レ兒時。門人有二被レ害者。吏就詰。衆爭辯。仁傑誦讀不レ置。吏讀レ之。答曰。黃卷中方

與ニ聖賢一對。何暇ア同ニ俗吏ニ語上耶」

【黃考】(ハノ部、八) 考成人ヲ謂フ。「ソノ部、尊事」

【黃金】(ハノ部、八) (ノ部、三幣ヲ見ヨ)

【黃冊】(ハノ部、八) 男女始テ生ルルヲ黃ト爲ス。即チ其出生ヲ記スル簿冊ナリ。清制ハ親王以下開敷宗室ニ至ル貴族生ム所ノ子女ノ生年月日時續産長幼ヲ記入スル帳簿ヲ「黃冊」ト曰フ。即チ戶籍簿ナリ。宗人府ノ保管ニ係ル。(皇朝政初編校)

【黃耳金鈔】(ハノ部、八) 鼎ノコト。「易經」鼎卦「鼎。黃耳金鈔。トアルニ出ツ。宰相ニ喻フ。」「台鈔」ヲ見

【黃鐘】(ハノ部、八) (量衡)ヲ見ヨ

【黃錢】(ハノ部、八) 明代制錢ノ名、京錢ヲ「黃錢」ト曰フ。每文ノ重約一錢六分、七十文、銀一錢ニ値ス。外省ノ錢ヲ「皮錢」ト曰フ、每文ノ重約一錢百文、銀一錢ニ値ス。(續文獻通考)

【黃檗】(ハノ部、八) 清制、戶籍簿(概シテ宗室)ヲ謂フ。「皇朝政治學問答」黃檗。凡婦産生卒。婚嫁。官爵。名。謫。一一備載。婦人犯罪。則銷檗。

【黃勅】(ハノ部、八) 唐制、詔勅ハ初メ白紙ヲ用キタルモ、蟲蛀ノ害アルヲ以テ黃紙ヲ用クルニ至ル。故ニ之ヲ「黃勅」ト謂フ。「事物紀原」唐高宗上元三年以三制勅施行。既爲三永式。用三白紙。多爲蟲蛀。自今已後尙書省頒三下諸州諸縣。並用三黃紙。勅用三黃紙。自三高宗始也。(卷)

【黃天】(ハノ部、八) 後漢黃巾ノ賊長張角自ラ「黃天」ト稱ス。土德ヲ以テ漢ニ代リ天下ニ主タラントスル義ニ取ル。(後漢書)

【黃白】(ハノ部、八) 道士丹藥ヲ燒煉シ化シテ黃金又ハ白銀ト爲ス。之ヲ稱シテ「黃白」ノ術ト爲ス。

【黃門】(ハノ部、八) 漢代ニ始マル官名。初メ「小黃門」ト曰ヒ、歷代「黃門侍郎」アリ。宋代「黃門」ト爲ス。後ノ「門下侍郎」ノ職ナリ。「事物紀原」漢明帝永平中始置「小黃門」。宋初會娶曰。國初黃門初補。止曰「小黃門」。經三恩遷。即爲「黃門」。黃門蓋

漢官也。歷代有二黃門侍郎。今門下侍郎是也。

【五卷】

【黃六】 人ヲ給ムク者ヲ謂フテ「黃六」ト曰フ。乃チ黃巢兄弟六人アリ(唐ノ僖宗時代ニ)巢第六ニ居テ詐欺多シ。故ニ詐欺者ヲ黃六ト爲スニ至レリ。

【劃檢】 (部首) (韻)

清制、度支部ガ稅銀ヲ受領シ、之ヲ或ル費用ニ對シテ、既ニ分配ヲ爲シタルコトヲ謂フ。(光緒三十四年七月政治官報)

【畫衣冠】 (部首) (韻)

【畫衣冠】 (衣冠ニ) 犯罪ノ罪名ヲ衣冠ニ畫キ實刑ヲ科セザルノ謂【漢書】文帝本紀「十三年下レ令曰。盜開有虞氏之時。畫衣冠。異章服。以爲讖。而民弗犯。何治之至也。」

【畫一】 一字ヲ畫クガ如ク整然トシテ亂レザルノ義ナリ。【漢書】曹相國世家「百姓歌曰。蕭何爲レ法。顧若レ畫一。曹參代之。守而勿レ失。」

云云。【宋書】武帝紀「獨ニ削煩苛。較若レ畫一。」

【畫績】 五色ヲ雜フルコト(之工ヲ見ヨ)

【畫黃】 宋代事ヲ奏シテ旨ヲ得ルモノニ二種アリ。大事ヲ「畫黃」ト爲シ小事ヲ「畫黃」ト爲ス。【宋史】職官志「中書省承制畫旨。以授門下省。令宣之。侍郎奉之。舍人行之。留其所所得旨。爲底。大事奏稟。得旨者爲「畫黃」。小事擬進。得旨者爲「畫黃」。

【畫省】 漢代尙書省ノ別名。壁ニ古賢烈士ノ像ヲ畫クニ因ル。【漢官典職】尙書省中。皆以胡粉ニ塗壁。畫古賢烈士。謂之畫省。

【畫堂】 宮中畫ヲ雕割セル室。後汎ク堂舍ノ稱トス。【漢書】元后傳「生戾帝於甲館畫室。爲二世嫡皇孫。後汎稱堂舍。曰畫堂。」

【畫地爲牢】 (牢ヲ爲ル) 地ニ畫キテ獄舍ヲ爲ルコトト君子ハ之ニ入ルコトスラ屑シトセズ。是レ獄吏ノ酷薄ヲ惡ムノ言ナリ。司馬遷「報任安書」故士有畫地爲牢。勢不レ入。削木爲吏。議不レ對。云云。」

【畫卯】 小吏、差役ガ法定ノ時刻ニ出勤シテ出勤簿ニ捺印スルノ類ナリ。【李存義殺賊】「五更飯罷走畫卯。」

【括】 (部首) (韻)

【括籠】 宋代邊境ノ倉米缺乏セシカバ元符元年、民間ノ日常必用ナル分ヲ除クノ外ハ政府之ヲ悉ク買上テ其缺乏ヲ補充ス。之ヲ「括籠」ト謂フ。(テレノ部)

【括髮關械】 被告人ノ髮ヲ括(ヒキク)シテ桎梏ヲ加フコト亡狀慘酷ナルノ義ニ用フ。【漢書】哀帝紀「成王之於大臣。在レ輿爲下。御レ坐爲起。疾病視レ之無レ數。死則臨ニ弔之。廢宗廟之祭。進レ之以レ禮。退レ之以レ義。誅レ之以レ行。按高等罪惡雖レ著。大臣括髮關械。裸躬就答。非レ所。以重國喪。宗廟一也。嘉ハ丞相王嘉ナリ。」

【活】 (部首) (韻)

【活活的】 迅速ナルコトヲ表ハスノ語ナリ。【活見】 (例ヲ見ヨ)

【活口米】 猶ホ販米ト云フニ同ジク不時ノ急ヲ救済スル爲メニ支給スル米ヲ謂フ。(史宋張根)

【活字版】 宋、仁宗慶曆中畢昇ナル者始メテ活字ヲ作ル。膠泥ヲ用キテ字ヲ刻シタルモノナリ。【夢溪筆談】慶曆中有布衣畢昇。爲活版。用膠泥刻字。是レ支那活字ノ濫觴ナリ。元、王楙亦活字印書法アリ。明弘治、嘉靖中、無錫華燧安國、先後シテ銅活字板ヲ創行ス。清、高宗ノ時朝鮮人金簡ナル者棗木ヲ以テ活字ヲ製ス。高宗名ヲ「聚珍板」ト賜フ。「聚珍板」式ニ卷アリ。其法ヲ詳記ス。

【活報】 古書ヲ裝ヒ補綴シタル後ニ白紙ヲ用キテ裏ト爲シ四周ニ護葉ヲ爲ス之ヲ「活報」ト謂フ。一ニ「金鑲玉」トモ稱ス。

【活稅】 每歲増減ヲ免カレザル稅。一定ノ額數ナキモノ、即チ釐金稅ノ如キモノヲ謂フ。【六部成語註解】「新添無一定額數之稅。如三釐金等項一者。」

【活息】 迅速ニ犯罪人ヲ逮捕スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「把賊活活的捉拿注了。」

【活脫】 輕耕録ニ「搏丸ノ伎、一ニ「活脫」ト名ヅクト記ス。俗ニ物ノ相似タルヲ活脫ト爲ス(梁司書直) (語補證)

【活佛】 蒙古語ノ胡圖克圖ヲ漢譯シタルモノニシテ、再來即チ化身ニ因リテ出生セル人ト云フノ義ナリ。所謂活佛轉生トハ再來人出現ノ義ニシテ、喇嘛教祖ノ如キハ即チ是ナリ。(清國行政法卷四)

【裕宿】 (部首) (韻) 母指ヲ以テ「ノ」コトヲ謂フ(研六) 宿直ヲ免除スルノ義ナリ。【善宿續聞】「宋制。館閣官每夜輪二人一直宿。如有レ故不宿。則虛其二夜。謂之「裕宿」。

【裕免】 法律上ノ責任ヲ免ズルコト、我國法ノ免除ノ義ニ當ル。(清律) (警律)

【申】 (部首) (韻)

【申供】 犯人彼此相通ジテ不實ノ申立ヲ爲シ罪ヲ免カレントスルコトヲ謂フ。

【申子】 官署ノ錢穀領收書、申票ト同義ナリ。(申票) (ヲ見ヨ)

【申請】 官民請託シ氣脈ヲ通ジテ不正ノ事ヲ爲スノ義ナリ。【清律】戶律田宅篇「欺隱田糧ノ條附註「移坵換段四句是一事。亦申請移坵換段。云云(八) (卷)

【申票】 民人ガ地丁錢糧ヲ納メタル場合ニ、(必シモ地丁錢糧ニ限ラ) 官ヨリ給付スル憑票(ズ曠課ノ如キ亦然リ) 官ヨリ給付スル憑票即チ領收證ノコトナリ。【六部成語註解】「民人交納地丁錢糧。官給之憑票也。」蓋シ其申票ト云フハ、數幅ヲ買キテ其用ニ備ヘ、納稅者アリタルトキハ、其要項ヲ記入シ、一票ヲ分載シテ納稅者ニ給シ、一紙ハ之ヲ存シ、一紙ハ上司ニ繳ムルニ因ル。

切斷シテ、一端ヲ納稅者ニ給シ、一端ヲ上司ニ繳メ、殘一端ヲ其官署ニ存ズ。泚水ハ日記帳ノコト、即チ申票ノ要項及ビ件數等ヲ毎日之ヲ控ヘ記スルノ義ナリ。

元 (部首) (元) (訓)

【元年】伊藤東涯撰『制度通』古ハ天子諸侯即位ノ年、是ヲ元年ト云フ。唐虞ニハ載ト云ヒ夏ニハ歲ト云ヒ殷ニハ祀ト云ヒ周ヨリコノカマハ年ト云フ。元トハ天子ノ元子ノ元ノゴトヲハシメト云フコトナリ。先君崩御ノ後明年ヲ元年ト云フ、雖レ年改レ元ト云フ是ナリ。秦已前年號ノコトナシ。天子諸侯トモニ元年ヨリ二年、三年ト數ヘテ年ニ隨フテ事ヲ紀ス。【書經】洪範ニ「惟十有三祀。王訪于箕子」トイヘリ。【史記】秦本紀ニハ「維皇帝二十六年」トイヘリ。シカレドモ秦惠文王十四年ニ更メテ元年トス。年號ノ名ハタテザレドモ年號ノ漸是ヨリ始レリ。ソノノチ漢ノ文帝ノ十七年ニ云フ「新垣平。飲三日再中。以爲吉祥。」是ニ

ヨリテアラタメテ後元年トス。天子ノ在位ノ中ニ元年ヲ改ムルコト是ニハジマレリ。景帝ノ時ニ「中元年」後元年ト二度改メラル。武帝即位ノトシ初テ年號ヲ建ラレテ「建元元年」トス。是レ年號ノハジマリナリ。(卷一) 其他ノ元ハ大概音「ゲン」ナリ。(ヲ見ヨ)

冠 (部首) (冠) (訓)

【冠蓋】車ノ冠蓋、仕官者ノ乗ル車ヲ謂フ。【班固賦】冠蓋如雲。七相五公。是レ其一例、又君命ヲ帶ビ車ニテ往來スル者ノ絕エザルコトヲ形容シテ「冠蓋相臨」ト謂フ。【戰國策】「韓使使者求救於秦。冠蓋相望也。」【冠笄】男子ハ二十ヲ弱ト曰ヒ冠ス。女子ハ十五ニシテ笄ス。婚姻ノ契約ヲ締結スルノ資格ヲ有ス。(冠禮) 及ビ「サレ」【冠服】在官者ノ禮服ヲ「冠服」ト曰フ。故ニ仕ニ就クヲ「彈冠」ト曰ヒ仕ヲ致スヲ「掛冠」ト曰フ。(各條ヲ) 見ヨ

冠履倒易 (部首) (冠) (訓)

異ニスルコトヲ謂フ。【後漢書】楊賜傳「冠履倒易。陵谷代處。履雖新必闕ニ於足。何者。上下之分也。」【冠禮】曲禮篇「十年ヲ幼ト曰ヒ學ブ、二十ヲ弱ト曰ヒ冠ス。云云」トアリ。古ハ男子年二十ニ達スレバ成人ノ資格アリト爲シ始メテ冠禮ヲ行ヘリ。冠禮ハ我書時ノ元服ノ禮ニ當ル。但シ天子ハ十二ニシテ冠スルヲ禮トシタリ。其儀式ハ「儀禮」士冠禮ニ詳ナリ。

信 (部首) (信) (訓)

【信】駕ヲ掌ルノ小臣、今ハ商家ノ雇工人ヲ指シテ「堂信」ト爲ス。

信人 (部首) (信) (訓)

【信人】駕(馬)車ニ附(附)フ主トル者、即チ御者ノコトナリ。【詩經】鄘風「定之方中。萬命」

信 (部首) (信) (訓)

彼信人。星言夙駕。序。美。而。文。公。也。其。卒。章。曰。靈。雨。既。零。命。三。彼。信。人。星。言。夙。駕。云云。今ハ「妓女」ヲ指シテ信人ト爲ス。

廿 (部首) (廿) (訓)

【廿兮城】直隸省靈山縣ノ東北ニ在リ。相傳

【廿人】周禮「地官ノ屬ニ「廿人」職アリ。廿人ノ職、曠ノ字、金玉錫石ノ禁令ヲ掌ルノ官、即チ當時ノ礦政ヲ掌リタル者ナリ。尙ホ「禮記」曲禮篇「天子六府。(中)六曰「司貨」」トアリ注「股制。司貨。於レ周爲「廿人」ト記ス。此ニ依レバ股代ハ「司貨」ト曰ヒ、周代改メテ「廿人」ト爲シタルガ如シ。

勸 (部首) (勸) (訓)

【勸解】民間ノ紛争ヲ和解シ訟ナカラシムルノ謂「勸解」。某甲與「某乙」開訟。某甲之母勸解。【勸業道】清末設置ノ官名、各省農工商ノ事ヲ掌ルヲ賦トス。

勸進表 (部首) (勸) (訓)

【勸進表】魏晉六朝凡ソ國ヲ慕ヒテ皇位ニ即

タ者、皆表面誦讀(鼻、瓜)ニ託シテ諸國ノ詔下ルモ誦讀シテ之ヲ辭ス。群臣因テ表ヲ上リテ之ヲ受タルコトヲ勸ムルヲ例トス。之ヲ「勸進表」ト爲ス。

勸農 (部首) (勸) (訓)

【勸農】漢、大農丞十三人ヲ置キ、農業ヲ獎勵ス。是レ直接勸農ノ官ヲ設ケタル始メトス。但シ、勸農ノ事例ハ唐虞三代ニ始マルコト勿論ナリ。【事物紀原】漢承秦置「大農丞」十三人。人部ニ一州。以勸農桑力田一者。此勸農官之始也。唐中宗之世。州郡牧守皆以勸農一名。其官。宋朝會要曰。至道二年七月。直史館陳靖言。天下多賦土流民。請置勸農使。八月以靖爲勸農使。按「行陳許等八州」勸農使。田。云云。

完 (部首) (完) (訓)

【完】肉刑ヲ免ジ頭髮ヲ存シテ一定(城且)ノ勞役ニ服セシムルノ刑、四歲利ヲ期トス。魯漢儀「完。四歲」。漢書「刑法志」諸當レ完者。完爲「城且春」(完城且春) (ヲ見ヨ)

完刑 (部首) (完) (訓)

【完刑】輕罪ニ科スルノ刑、一ニ亦「刑」ト作ル。罪ノ輕ニ至ラズ即チ其贖贖ヲ完ウスル刑ヲ謂フ(晉書刑) (法志)

完聚 (部首) (完) (訓)

【完聚】(一) 缺ヲ完ウシ離ヲ聚メテ舊態ニ復スルノ義、例セバ「迷」ノ子女ヲ其實父母ノ許ニ還ラシメ其家族ノ缺ヲ完ウシ舊態ニ復セシムル類ナリ。【明律】清律「戶律」戶役篇「收留迷失子女」ノ條「被賣之人不坐。給親完聚。」(明律卷四) (二) 城郭ヲ修理シ人民ヲ生聚スルノ義ナリ。【左傳】隱公七年「大叔完聚。云云」其註「完。城郭。聚。人民。」

完半 (部首) (完) (訓)

【完半】納稅ノ義務ヲ他ニ半先シテ果行スルニ完半、全完ノ二種アリ。完半ハ租額ノ半分ヲ前納スルコト、其年雜差ノ半ヲ免ゼラル。全完ハ租額ノ全部ヲ前納スルコト、其年ノ雜差ヲ全免セラル。(ハ、ノ部) (卯) (ヲ見ヨ)

完半銀 (部首) (完) (訓)

【完半銀】清制、應ニ交付スベキ銀兩ヲ交付シ己ニ一半ノ交付ヲ經タルコトヲ謂フ。【六部

成語註解「應交款項。業經交過一半也。」
【完廩】(完ム) 完ハ破損ヲ完ウスルノ義、倉廩ヲ修理スルコトヲ謂フ【孟子】萬章篇「父母使之舜完廩。」

【官】(部首) (寒) (韻)

【官】 官ハ其義二三止マラザルモ法制上ニ於テハ凡ソ二義アリ(一)ハ官職ノ義、【周禮】春官大宗伯「六命賜官」註「朝廷治事處曰官」(二)ハ官吏ノ義、同書各官ノ首序「設官分職」王安石註「官言所司之士。職言所掌之事。」

【官有簿狀】(官ニ簿) 官吏ノ身分來歴ヲ記入シタル簿冊ナリ。秦、封建ノ制廢スルヤ官ニ仕フル者ニ世官ナク分地ナキニ至ルト雖モ魏晉以來官吏ニハ簿狀アリ。之ニ依リテ任用ス。丘濬曰「後世封建之制廢。仕者無二世官。無分地。然魏晉以來。官有簿狀。家有譜系。官之選舉。必係於簿狀。家之婚姻。必係於譜系。云云。」(大學衍義補 卷九十四)

【官員喪禮】

父祖國家ニ功勞アリ其職即チ餘澤ニ因リテ子孫ニ父祖ノ官職ヲ世襲セシムルコトヲ謂フ。製麻ニ二種アリ特恩ヲ以テ其子孫ニ施セシムルヲ「恩麻」ト曰ヒ、父祖國事ニ致シ其後ヲ優卹スルヲ「雜麻」ト曰フ。其順位ハ嫡長子孫ヲ先トシ嫡長子孫ガ亡没、疾病、衰蓋等ノ事故アルトキハ嫡次子孫ニ及ビ嫡次子孫ナキトキハ庶長子孫ニ及ビ庶長子孫ナキトキハ弟姪ニ及ブ法トス。(職制篇-官員喪禮)

【官運官銷】

清制、官ヨリ鹽ノ買上ヲ爲シ又之ヲ各地ノ鹽公堂(鹽ヲ置ク場所、或ニ運搬シ、商買ヲシテ所在ノ人民ニ發賣セシムルコト、現今ノ國家專賣ノ義ナリ。(中國度)ノ買上ヲ爲シ、之ヲ目的地ニ運搬シ、若クバ運搬ニ便利ナル中央食庫ニ存留シ、其原價、運搬費、鹽課、鹽釐等ノ公課ヲ標準トシテ價格ヲ算出シ、其價格ヲ以テ鹽商ニ賣下ヲ爲シ、

ギニ擬官(何官ニ叙スベキヤ)ヲ書スルヲ法トセリ。即チ新舊ノ官名相銜メテ存ジ、兩兩相斷タザルガ故ニ「官銜」ト稱セリ。(封氏見)

【隨國隨筆】官銜者。取ニ其相銜不絶ノ義。如ニ馬之有銜也。然レドモ後世ハ本人ノ功勞又ハ捐納ニ因リテ現在ノ官職ノ外ニ大概其以上ノ官名ヲ授ケテ本人ヲ優遇スルニ至レリ。其現官以外ノ官ハ名譽的ノ官ニシテ實際其職務ヲ執ルニアラズ。之ヲ指シテ「銜」ト曰ヒ現官ヲ指シテ「缺」ト曰フ。「加銜」「指銜」ノ如キ是ナリ。(カノ部)

【官妓】

内廷及ビ公署ニ仕フル倡妓ヲ謂フ。【輟耕錄】ニ「古ハ妓ヲ稱シテ「官婢」ト爲シ亦「官奴」ト曰フ。漢ノ武帝ノ時始メテ官妓ヲ設ク、官妓ノ始ト爲ス。唐宋ノ時尤モ盛行ト爲ス。唐ノ教坊女妓ノ如キ宋ノ太宗ハ官妓ヲ以テ將校ニ賜フ。皆正史ニ見ユ、名宦白居易、蘇東坡ノ如キ亦狎ル、所アリ、明ニモ尙ホ教坊司ノ設アリタリ。清ニ及ビ始メテ之ヲ廢ス」

ト記ス

【官荒】

民荒ニ對シテ、官有地ノ荒蕪セルモノヲ指ス。官荒地ニハ特殊ノ官有地ノ荒地ト無主ノ荒地トヲ包含ス。(清國行政)

【官刑】

【書經】舜典載スル所ノ五刑ノ一、即チ官吏ニ對スル制裁ニシテ鞭刑ヲ指ス。該典「鞭作官刑。」

【官契代錢】

明代ニ於ケル契稅(物ノ賣買對スル)ノ一種、洪武二年ノ令、田宅牛馬等ノ賣買ニハ正稅ノ外ニ、官契代錢(官契ノ手數料)四十六文ヲ徵收スルト爲セリ。(清國行政)

【官戶】

犯罪ニ因リテ官廳ニ隸屬シ其使役ニ充テラレ州縣ニ戶籍ナキ者ヲ謂フ。【唐律】名例篇「同戶相爲隱」ノ條疏議「官戶。隸屬司農。州縣元無二戶貫。」(卷六)

【官勾】

管ハ管理、勾ハ勾當、即チ、一定ノ事務ヲ擔任スルノ義ナリ。【宋朝會要】時並有二規制。行レ之以三二年。已成一定例。可特置。管勾往來國信一所一司。勾。官。管。誤寫。管。

鹽商ハ更ニ若干ノ利益ヲ收メテ販賣ヲ爲スコトヲ謂フ。(中國度)

【官鹽】

私鹽ニ對シテ官許ヲ經、引(札)ヲ受ケテ發賣スル鹽ヲ謂フ。

【官家】

帝者王者ト言フガ如シ。五帝ハ天下ヲ官ト爲ス故ニ其位ヲ賢ニ傳ヘ、三王ハ天下ヲ家ト爲ス、故ニ其位ヲ子ニ傳フルト曰フヨリ來ル。【事物紀原】劉向說苑。鮑白令對「秦始皇曰。天下官。則讓賢。天下家。則世繼。故曰五帝以天下ニ爲レ官。三王以天下ニ爲レ家。蕭濟萬機論曰。五帝官天下。故傳ニ之賢。三王家天下。故傳ニ之子。今指三天下ニ爲ニ官家。則猶言三帝王也。」(卷一)

【官豪勢要】

樞要ノ官職ニ在リテ勢力強キ者ヲ謂フ。(清律)

【官銜】

官銜ノ名ハ「孔子家語」ニ「官有銜」其註「銜治也」トアルニ出ヅ。昔時官アル者ニ官ヲ授クルトキハ先ヅ其本人ノ履歷書ヲ奏呈セシメ、而シテ其履歷書ハ舊官名ヲ前ニ具シ次

【官裁】

官費ヲ以テ柳葉等ノ植栽ヲ爲スコトヲ謂フ。(清、會典事例) 及ビ工部則例

【官司遺捕】

【官城且春】 兗州府城且春ノ反、頭髮ヲ完存シテ男子ハ城且ト爲シ女子ハ春ト爲スノ刑。城且ハ晝ハ外寇ノ侵入ヲ警伺シ、夜暮ハ長城ノ工役ニ服セシムルノ刑ナリ。春ハ外寇(國ノ勞)ニ預ラズ、米ヲ春カシムルノ刑、共ニ刑期四歲ナリ。【漢書】惠帝紀註、「應劭曰。城且者。且起行治城。春者。婦人不レ獲ニ外播。但春ニ作米。皆四歲刑。孟康曰。完。不レ加ニ肉刑。完。創也。同書韓穰傳註「城且。輕刑之名也。晝日何ニ寇虜。夜暮築長城。故曰城且。」

【官商】

官營事業ニ從事セル商人、鹽商ノ類ナリ。【六部成語註解】「奉ニ官准ニ作レ之商。如ニ鹽商之類一也。」

【官尺】

官廳用フル所ノ尺、俗ニ「官尺」ト稱ス。民國度量法定ムル所ニ制アリ。一ヲ「營造尺」ト曰フ。清制ヲ襲用スルモノ、他ノ一ヲ公

尺レト曰フ。佛國ノ米突尺ナリ。皆官尺ト稱ス。

【官守】 官吏一定ノ職分ヲ守ルノ義ナリ。【孟子】公孫丑篇、有「官守者、不得其職、則去。」

【官職】 官ハ官吏、職ハ其掌ル所ノ職務權限ノ義ナリ。(官ノ引)

【官參】 清制、人參採取者ヨリ參課(即チ人參)トシテ抽收スルモノヲ謂フ。官參ハ最モ良質ノモノヲ選取シ、一部ハ内務府ニ送リテ皇室其他ノ費用ニ供シ、他ノ一部ハ之ヲ賣却シテ公費ニ充ツルヲ例トス。(清國行政)

【官紳兼委】 釐金ヲ徵收スルトキ、便宜上官廳本部ヨリ委員ヲ派シ其地方ノ紳士ニ委嘱シ相協力シテ徵收セシムルコト等ノ場合ヲ謂フ。(清國行政)

【官銷】 (官運官銷) (支考)

【官當減贖法】 官當トハ官吏ガ公私罪ヲ犯シタルトキ、其官ト罪トヲ相殺スルコト、減贖トハ前記ノ如ク相殺シテ猶ホ餘罪アルトキハ或ハ減等シ或ハ收贖セシムルコトヲ曰フ。

【官文書印】 餘印ニ對シテ官文書ニ採用スル所ノ印ナリ。【唐律】賊盜篇、盜官文書印ノ條、諸盜官文書印者、徒二年。餘印杖一百。其疏議、印者倍也。謂印ニ文書ニ施行、通二連上下ノ所在信受。故曰「官文書印」云云。(卷十)

【官米】 官ノ發賣スル米穀ノ稱ナリ。貧民救濟ノ目的ニ出ヅ。【事物紀原】宋朝會要曰。天禧元年三月以三京十四場糶米一令。每場日加至二百石。今諸倉糶米疑起。自此。 (卷一)

【官辦】 官廳辦理スル義、即チ「官辦鐵路」ト云ヘバ、民辦鐵路ニ對シテ、官ノ辦理スル鐵道ヲ指スノ類ナリ

【官捕】 官司派遣ノ追捕人(罪人ヲ逮テ捕スル者)ヲ謂フ。【唐律】詐僞篇、詐稱官所捕人ノ條、(略)詐稱官司追捕。 (卷二) 蓋シ官捕ト追捕人トハ同ジカラズ官捕ハ前記ノ如ク官司派遣ノ略語、即チ特ニ或ル事件ノ犯罪人ヲ捕縛スル命ヲ承ケタル者ヲ謂ヒ、捕縛人ハ通常ノ追捕人

之ニ關スル成例ヲ「官當減贖法」ト曰フ。【唐律】名例篇、盜盜略人受財ノ條疏議、若會降有餘罪者、雖從官當減贖法。 (卷三) 其成例本條ハ「以官當」ノ條ナリ。(官當徒ヲ見ヨ)

【官炭】 宋代官賣ノ炭、價ヲ減ジテ賣リ貧民ヲ救済スルヲ目的トス。【事物紀原】宋朝會要曰。大中祥符五年十二月六日帝謂王且曰。民間乏炭。稱二百文。令三司出炭四十萬。減價鬻與貧民。非惟抑高價。且濟人民。六年遂置以備濟民。 (卷一)

【官奴】 (官妓) (支考)

【官督商銷】 清制、政府ガ商賣ノ鹽其他ノ製造販賣ヲ監督スルコト、之ニ對シテ一定ノ公課ヲ徵收シ、其他ノ事ニハ何等ノ干涉ヲ爲ササルヲ法トス。(中國度)

【官媒】 清制、各地方官ニ於テ其管内ニ貧家ノ女又ハ婢女等正式ノ婚姻ヲ爲スニ困難ナル者アルトキハ官、媒約ヲ爲シテ略式ノ婚禮ヲ執行セシメタリ故ニ「官媒」ト稱ス【周禮】媒氏

ノ制ニ倣フモノナリ。(會典)

【官婢】 婦女罪アリテ官ニ沒收セラレ内廷及比公署ノ下婢トシテ使役セラルル者。【漢書】刑法志齊太倉令淳于公ノ女緹縈上書、妾父爲吏。齊中皆稱「廉平」。今生法當刑。 (中) 妾願沒身爲官婢。以贖父。

【官品邑號】 唐制、妃及比夫人ニハ官品及比邑號アリ。官品ハ郡縣縣君等ノ類、邑號ハ國郡縣等ノ名號ナリ。婦人六品以下ハ邑號ナシ。【唐律】名例篇、婦人官品邑號ノ條、諸婦人有官品及邑號。犯罪者各依其品。從二請請減贖當免之律。不得從親屬。疏議、婦人有官品者。依令妃及夫人郡縣縣君等是也。邑號者。國郡縣等名號是也。云云トアリ。(同書)

【官物有印封】 (官物印) 官物ニシテ封印印記アルモノヲ曰フ。其管轄官司ノ認許ヲ經ルニアラザレバ開封スルコトヲ得ズ、擅ニ開封シタル者ハ杖六十ニ處ス。(唐律疏議、官物有印封ノ條)

【官本】 鐵道其他ノ事業ヲ興ス場合ニ官ヨリ支出セル資本ヲ謂フ。(政典)

【官遊】 郷ヲ出デテ仕官ヲ求ムルコトヲ謂フ。【史記】司馬相如傳、吉(吉)曰。長卿(相如)久宦遊。不遂而來過我。

【宦海】 宦途ヲ醜ムノ語ナリ。【仙傳拾遺】顏真卿進士甲科ニ擧ゲラル。道士アリ謂シテ曰。子ハ清簡ノ名アリ以テ世上ヲ度ヘタリ仙官ニ補セラルベシ。宜ク自ラ名宦ノ海ニ沈ムベカラズ。是レ其出所ナリ。

【官學】 官途ニ仕フル學問、宦ニ仕フルノ義アリ。因テ仕官ノ義ニモ用フ。【禮記】曲禮、官學事師。非禮不視。【左傳】宣公二年、驪姬之亂。晉無二公族。及二成公即位。乃宦三卿之嬖。而爲二公族。杜注、宦、仕也。【漢書】樓護傳、以二君卿之才。何必宦學乎。

【宦官】 宮中内殿ニ奉仕スル者侍官ノ一種ナリ。

(タ) 官 宣

リ。古昔ハ「閹人」又ハ「寺人」ト稱ス。獨リ皇室ノミナラズ、侯伯亦之ヲ置キタルコトハ、齊ノ桓公ニ豐刁アリ、晉ノ文公ニ勃鞞アリシニ徴シテ知ルベシ。今其起源ヲ按ズルニ、宦官ハ古來宮刑ニ處セラレ去勢シタル者ヲ用キタルコトハ、史傳ノ記スル所ナリ。若シ夫レ宮刑ト其發生ヲ同ウスルモノトセバ、宮刑ハ唐虞時代ヨリ既ニ五刑ノ一トシテ存ジ、舜之ヲ以テ儉酷ナリトシテ之ヲ宥スニ流刑以下ノ酌減刑ヲ以テシタルコト、【尙書舜典】象以二典刑。流宥二五刑。トアルニ徴シテ知ルベシ。周禮ヲ以テ果シテ周代ノ制ナリトセバ、周禮司寇刑官ニハ、宮刑ニ處シタル者ハ内ヲ守ラシムルノ定アリ。(即チ) 然ラバ則チ宦官ハ少クモ周代ヨリ始マルモノト看ルベシ。然ルニ宦官ガ君上ノ寵遇ヲ得際然勢力ヲ有スルニ至リタルハ、戰國以後秦漢時代ナリ。蘇軾ノ始皇論ニ「夫閹尹之禍。如二毒藥猛獸。未レ有レ不三裂レ肝碎レ首也。自レ有書契以來。惟東漢呂強後唐

張永業二人。號稱善良。豈可望一二於二千
萬。以取必亡之禍。上哉。トアルニ微スルモ、古
來宣官ノ跋扈跳梁ヲ逞ワセシ一斑ヲ推知スル
ニ足ルベシ。【史記】。後幸列傳ヲ觀ルモ、前漢
孝文ノ時、宣官ニ道同(漢書ニハ道談ニ作ル)
北宮泊子ノ徒アリ。又【後漢書】。宣者傳論ニハ
「中興之初。宣官悉用ニ閣人。不復雜調他士。」
ト記ス。後世ニ及ビテハ太監ナル官ヲ設ケ、後
宮ニ侍セシメタリ。大監ハ則チ宣官ナリ。支那
ニ宣官ノ盛ナリシコト殆ド不可議ニ屬ス。然
レドモ「(ロドタス)等ノ記スル所ニ依レバ、
古昔波斯各國ニモ此ノ風甚ダ盛ニシテ、實ダ
ニ王家ノミナラズ、一般富豪ニモ亦之ヲ蓄フ
ルコトヲ許シタリト云フ。」

【官途】 官吏ノ班位(位)及ビ昇降ヲ指シテ
「官途」ト曰フ。要スルニ宣官生活ノ經路ヲ意
義ス。

【寬】 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【寬於失而嚴於故】 (故ニ嚴ニシテ) (過失

犯ハ其罪ヲ寬ニシ故意犯ハ其罪ヲ嚴ニスルノ
謂ナリ。是レ【書經】大禹謨ニ「赦レ過無レ大。刑レ
故無レ小」ノ主義ニ出ヅ。【讀律提綱】「失は無
心。故是有意。如有司出二人罪。失出入爲二公
罪。故出入爲二私罪。固是即凡犯罪者。皆須レ
分二辨是失是故。律中特別著二故字。甚多。皆
以見二失與レ故不口同。故者必從レ嚴。其列舉ノ
例、清律工律河防篇、盜決河防ノ條、刑律斷
獄篇、斷罪不當ノ條。刑律雜犯篇「分列失火
放火。故燒人房屋ノ條等ナリ。(學海堂叢
【寬於初犯而嚴於再犯】 (初犯ニ寬ニ
嚴ニ) 人ハ一旦ノ過失ナキ能ハズ。要ハ過ヲ改
ムルニ在リ。故ニ初犯ハ其罪ヲ寬ニシ、再犯ハ
過ヲ改メズ惡事ヲ再ビスルヲ以テ其罪ヲ嚴ニ
スルノ義ナリ。【讀律提綱】竊盜律固有「初犯
再犯之分。其在二他律。亦嚴ニ於再犯。如「犯罪自
首免罪。再犯不レ准自首。老耆犯罪收贖。再犯不
准二收贖」之類。(學海堂叢
【寬鄉】 (足) (見) (部) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失

【寬疾】 (疾) (寬) (息) (見) (部) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【寬貸】 刑罰ヲ寬大ニ取扱ヒ、可成的宥恕ス
ルノ義ナリ。【宋史】郭忠孝傳「歲起二大獄。忠孝
治二其首。餘悉寬貸。」

【寬平】 法刑ヲ執ルコト、寬大、公平ナルノ義
ナリ。【唐書】刑法志「治以二寬平。民樂二其安。」

【寬征之詔】 租稅ヲ寬免スルノ詔ナリ。【大
學衍義補】「歷下ニ寬征之詔。以難二農民之困。」
(卷二)

換 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【換押】 賈餉ノ一種、概シテ合資營業ナリ。
清代ハ開業ノ免許證札ヲ得ルニハ二百兩ヲ納
ムベキモノトシ又三年毎ニ證札ノ續換ヲ爲シ
其部度同額ノ納金ヲ要セリ。(著支那)氏
【換易】 己レノ瘠薄朽壞ノ田宅(敢テ田宅)ヲ
以テ他人ノ膏腴完好ノ田宅ト換フル等ノ義ニ
用フ。(明律卷五、清律卷八、盜
【換帖】 近人相約シテ兄弟ト爲ル者姓名年籍

家世ヲ東ニ書シ、彼此互ニ換フ。之ヲ「換帖」
ト謂フ。(樂鈞)書
【棺】 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【棺】 屍ヲ斂ムル柩【漢書】刑法志「斂レ棺者。
欲二歲之役。」

【棺槨】 屍ヲ斂ムルノ柩。内ヲ「棺」ト曰ヒ、
外ヲ「槨」ト曰フ。棺ハ完、屍ヲ完全ニ斂ムル
ノ義ニ取リ、廓ハ郭、即チ城ノ外廓ノ如ク棺
ヲ斂フノ義ニ取ル。(明律、清律刑律)
【棺槨】 棺槨ニ同ジ。【北史】魏孝文紀「給二衣
衾。葬レ之不レ得二暴露。」

【款】 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【款】 案件ト曰フガ如シ【宋史】「孝宗臨レ軒
慮レ囚。半先數日令有司進二款案一按閱。」

【款】 (一) 科條ノ義、清代章疏文ニ條ヲ分チテ
陳述スルヲ「列款」ト曰フノ類ナリ。(康熙字典)
(二) 一條ニ條ヲ一「款」ト曰フ「借款」ノ款ハ
此義ナリ。(三) 經費亦之ヲ款ト曰フ。(辭源) (四)

【款引】 犯罪者ノ罪ニ伏スルコトヲ謂フ。【北
史】蘇瓌傳「悉獲二賞贖。贖徒款引。」

【款識】 鐘鼎等ノ器ニ文字ヲ刻スルコト、款
ハ刻ム、識ハ記スナリ。【漢書】郊祀志「鼎細小。
又有二款識。」師古註「款刻也。識記レ之也。」

【款伏】 罪人自ラ罪情ヲ告白シテ罪ニ伏スル
ノ義ナリ。【北史】辛公義傳「罪人聞レ之。咸自款
伏。」

【款服】 寬罪ニ服スルノ謂ナリ。【案陰比事】
「後魏李崇爲二揚州刺史。有二定州流人解思安。
背レ役亡歸。其兄慶實規レ絶二名實。乃認二城外死
尸。詐稱是弟爲二蘇顯甫李蓋所殺。有二女。瓜楊
氏。託レ鬼附二說思安被レ害之苦。李蓋等不レ勝二
其楚。各自款服。云云。」(卷)

灌 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
灌 (部) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
灌 (部) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【灌漿】 灰ノ汁ヲ以テ瓦ノ縫目ニ灌ギ、堅固

ニスルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「以二灰汁一
灌二瓦縫。取二其固」也。」

玩 (部首) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【玩】 (王) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【玩愒】 權臣ノ貨財ヲ食ルコトヲ謂フ。【宋
史】眞德秀傳「杜範方攻二鄧濟之誤。國。且謂其
貪黷更甚二於前。而德秀乃奏言。此皆前權臣玩
愒之罪。」

【玩法詐贓】 玩法ハ法ヲ輕ンジ、己レノ私
意ヲ以テ自由ニ解釋適用スルコト、即チ法官
ガ私利ノ爲メニ不法ノ判決ヲ爲シ被告ノ人ヨリ
收賄スルコトヲ謂フ。【六部成語註解】「爲レ官
者。玩二視國家法度。詐二取民人賄金」也。玩法
ノ語ハ王安石ノ文ニモ「從容調誦。史莫レ玩レ
法。」トアリ。

環 (部) (韻) (寒) (山) (韻) (寒) (故ニ嚴ニシテ) (過失
【環人】 【周禮】秋官司寇ノ屬官、邦國往來ノ
賓客ヲ護衛スルヲ掌ル。其職制、掌二送二逆邦國
之通賓客。以二路節二達。諸四方。舍則授レ館。令二
聚。有二任器。則令レ環レ之。凡門關無レ環。逆送

及レ護。王昭萬註「國野之道五十里。有二候館。則環人授之於賓客者也。令二乘轡。令二野塵氏也。賓客有二任之器。則亦令二環衛之也。門闕無レ幾者。謂賓客出入。環人以二踏節二連之。故門闕無レ幾也。謂三王畿四方之界也。賓客來而進之。去而送之。皆及レ護。丘濬曰。環之爲言。圍也。主賓客往來。爲之守衛。賓客有二隨行之任器。則周圍保護。若二環之無レ隙焉。」(大學衍義補)「同書夏官又「環人。掌二(卷九十九)我師等ノ事ヲ掌ル。」

【管】(部首) (韻) 竹

【管勾】(官勾) (ヲ見ヨ) 【管河道】 清制、河ハ北河、東河、南河ニ大別シ、各河官ヲ置ク、其長官ヲ河道總督ト爲シ、其下ニ管河道ヲ置ク。(嘉慶會典) (卷四十四)

【管庄】 皇族ノ莊田ノ事ヲ管理スル者ヲ謂フ。(六部成語註解)「管理皇家庄田之領催。」

【管送】 管領押送ノ略語ナリ(管領ヲ) 【管莊人】 功臣其他官吏ニ給スル莊田ヲ管理スル者ヲ謂フ。(公田) (ヲ見ヨ)

【管馱兵】 清末新軍制ノ過山隊隊營ニ於ケル兵卒ノ名、一人毎ニ車一輛馱馬二匹ヲ管ス。(清國行政) (法卷四)

【管帶官】 清末新制ノ軍隊編制ニ於テハ營(我大隊)ノ長ヲ「管帶官」ト爲ス。(清國行政) (法卷四)

【管理】 管轄辦理ノ約語、即チ重大ナル事務ヲシテ決滞ナカラシメンガ爲メニ、重臣ヲ以テ其事務ヲ總轄シテ處理セシムルコトヲ謂フ。(清會典)「有管理以重其務。」(典卷六)

【管理三庫大臣】 清制、戶部三庫、即チ銀庫、贖庫、額料庫ノ三庫ヲ管理スル大臣、滿漢各一人特簡(天子)トス。(清國行政法) (卷一) (上)

【管理錢法侍郎】 清制、寶錢局(錢ヲ鑄造)ノ長官ノ官稱、戶部右侍郎滿漢各一名ヲ以テ兼任トス。(清國行政法) (卷一) (上)

【管領】 廣ク取締ルノ義ナリ。【道德指歸論】

「管領天地。無レ不ニ包攝。」

【管刑】 刑ノ執行猶豫ノ義ナリ【周禮】地官太司徒之職、以二克政十有二衆ニ萬民。一曰散利。二曰薄征。三曰緩刑。云云。鄭鈔註「囚羸。民易犯禁。偶而不刑。則犯者益衆。嚴而示禁。則民之犯。或出二手不レ得レ已。姑緩之可也。」王應電註「緩刑。出二輕罪。而使自食其力。耳。又同書秋官司師ノ職、令二移民通財。糾レ守緩刑。降リテ現民國ノ刑法ハ明ニ緩刑ヲ以テ刑ノ執行猶豫ノ制ニ用フ。(第六十三條至第六十五條)

【緩決】 刑律上ノ用語、即決ニ對シ姑ク其處決ヲ緩ニシテ立秋後ニ至リ覆審ヲ爲シ或ハ免罪ニシテ輕クスルヲ謂フ。(ノシノ部) (秋審) (ノシノ部) (見ヨ)

【緩深故之罪】 (深故ノ罪) 漢武帝ガ張湯、趙禹等ヲ以テ法令ヲ條定セシムルニ當リ深期故察ノ罪ヲ輕クシテ提出ノ罪ヲ急ニシタルコトヲ謂フ。【大學衍義補】於レ是進二張湯趙禹之屬。條二定法令。作二見知故縱。監臨部主之法。

緩深故之罪。急ニ條定之。云云。(卷百)

【緩徵】 災荒(旱水ノ爲メ)ニ際シテ其租稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ謂フ。清朝ハ其調查報告ヲ確メタル日ヨリ始メトシ、被害ガ平年作ノ十分、九分、八分ナルトキハ三年間停徵トシ、七分六分五分ナルトキハ二年間停徵トシ、五分以下ハ災ト成サズ。(戶部) (則例) (見ヨ) (又) (韻) (寒)

【觀光】 他國ノ文物光彩ヲ觀察スルノ義。【易經】觀卦「觀國之光。利用賓于王。」象傳「觀國之光。尚レ黃也。」

【觀察使】 唐天下ヲ分チテ十道ト爲シ「巡察司」ヲ置キテ之ヲ管轄セシム。尋デ「按察使」ト改ム。後、又「採訪處置使」ト改メ、至德元年更ニ「觀察使」ト爲ス。戰事アルノ地ニハ別ニ「節度使」ヲ置ケリ。【事物紀原】「唐明皇開元二年置二十道按察採訪處置使。肅宗改曰觀察使。置新唐書方鎮表曰。至德元載。置觀察使。」(大學補卷十八)「一說、唐代始メテ觀察使ヲ置ク。位、亦記ス。」

節度使ニ亞グ。後、節度使ノ兼職ト爲ス。節度使ナキ州ハ特ニ之ヲ置ケリ。一道又ハ數州ヲ領シ。刺史ヲ兼領ス。宋ハ節度、觀察ハ同ジク兼判總領ノ官ト爲ス。清代ハ俗ニ道員ヲ稱シテ觀察ト爲ス。民國ハ初メ觀察使ト爲シ後改メテ「道」ト爲ス。

【觀察處置使】 唐肅宗ノ時、按察採訪處置使ヲ改メテ本官ト爲ス。即チ「觀察使」ノ別名ナリ。(前條ヲ) (見ヨ)

【觀止矣】 見ルモノ善ヲ盡シ美ヲ極ム。此上見ルノ要ナシトノ義ナリ。【左傳】襄公二十九年「觀止矣。雖レ有他樂。吾不ニ敢請一矣。」

【觀象臺】 北京ニ在ル天文臺、明、清時代ハ欽天監ノ司ル所ト爲ス。民國ハ改メテ、中央觀象臺ト爲シ、教育部ニ屬シ、天文ヲ觀測スルコトヲ專管スルコトヲ掌ル。臺長一人、其下ニ技正、鑑定スルコトヲ掌ル。臺長一人、其下ニ技正、技士、主事等ヲ設ケ、天文、曆數、氣象、磁カノ四科ヲ分設ス。

【觀鼎】 君ノ位ヲ觀觀スルコトヲ謂フ。【陸機文】「暴楚頓其觀鼎之志。」猶ホ「問鼎」ノ如シ。(ノシノ部) (問) (見ヨ)

【觀潮會】 陰曆八月八日ヲ以テ觀潮ノ集會ヲ爲スノ會ナリ。錢塘ノ觀潮會最モ盛ナリト云フ。(月令) (廣義)

【還獲】 法官ガ過失ニ因リテ一旦放免シタル罪人ヲ再ビ捕獲スルコトヲ謂フ。【唐律】「斷獄篇」官司出入人罪ノ條(上)「即斷罪失ニ於入者。各減三三。失ニ於出者。各減二五。若未ニ決放。及放而還獲。若因自死。各聽減二。」(卷三) (十)

【還魂紙】 再造(スキカ)ノ紙ヲ曰フ。【天工開物】「北方即寸片角。在地隨レ手拾取再造。名曰二還魂紙。」

【還魂秀才】 官吏登用試験ニ落第シタル者ニ對シ重ネテ試験ヲ爲シ採用スルノ義ニ用フ。

【泊宅編】「開圭解榜出。應被黜。詎有司不
公。重考取已落者七十餘人。時稱遺魂秀才。」
【還正】原ノ地位ニ復スルコトヲ謂フ。(ノイ)部
ヲ以妻爲妾)

【關】(部首) (刑) 唐制、官文書ノ名、一ヲ「關」ト曰ヒ二
ヲ「刺」ト曰ヒ三ヲ「移」ト曰フ。皆諸官司問ニ
於テ相質問スル文書ノ名ナリ。中ニモ關ハ其
事項ノ意思ヲ關通スルノ義ナリ。【事物紀原】
「唐會要曰。唐制諸司相質問。三曰關。關ニ通其
事也。蓋始ニ於唐。宋朝神宗行官制。用唐
事。」(卷)【唐六典】「尙書省中職。諸司相質問。
其義有三。曰關刺移。」【宋書】禮志、亦關文ノ
日アリ。明、清ノ「關提」、「關餉」ノ語ハ此ヨリ
出ツ。

【關尹】周代ノ司關官(關門ノ取)ノ稱ナリ。
一ニ「關令尹」トモ曰フ。【史記】「老子見周衰。
適逢去。至關見關令尹喜。云云。」

【關給】官ヨリ直接軍人ニ兵器其他ノ必要物
ヲ給スルコトヲ謂フ。【明律】清律兵律軍政
篇「私賣軍器」ノ條「凡軍人關給衣甲刀鎗旗
幟。一應軍器。私下貨賣者。杖一百。云云。」
(清律卷十四)蓋シ一説ハ口糧等ノ給領ヲ爲ス
トキ之ヲ監視スルノ義ト爲ス。【六部成語註
解】「監視給領也。」

【關禁】海禁ニ對シ、陸上交通ノ取締ニ關ス
ル制、關口ニ守口官ヲ置キ、通行人及ビ貨物
ニ對シテ一檢査ヲ行ヒ、其携帶セル路引ト
符合スルヤ否ヤヲ驗明シ、然ル後ニ出入ヲ許
ス。(清會典兵部關
禁ノ規定アリ)

【關會】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關子】(會子) (會子)
【關節】關ハ説ノ義、節ハ通ズルノ義、即チ唐
代ハ概シテ要路ノ人ニ贈賄シテ請託スルノ義
ニ用フ。後世亦然リ。【通鑑】唐憲宗紀、胡三省
註「唐人謂相屬請爲關節。此語至今猶然。」

【關棧】稅關附屬ノ倉庫、即チ官設ノ保稅倉
庫ニ屬ス。(清國關稅
手續案内)

【關中侯】魏有功者ヲ賞センガ爲メニ「關中
侯」、「關外侯」等ノ爵ヲ置ク。關中侯ハ第十
七級ニシテ「金印紫綬」ヲ賜ヒ關外侯ハ第十六
級ニシテ「銅印龜紐黑綬」ヲ賜フ。何レモ國邑
ヲ給セズ即チ虛爵ナリ晋之ニ因ル。

【關帝】武神トシテ蜀ノ關羽ヲ奉祀スル尊名
ナリ。毎年仲春仲秋ノ月吉日ヲ選ビテ之ヲ行
ヒ、又毎年五月十三日ニモ之ヲ行フ例トス。

【關提】關會拘提ノ約語即チ甲地ニ於テ罪ヲ
犯セル者ガ乙地ニ逃亡シタルトキ甲地ノ官司
ヨリ乙地ノ官司ニ照會シテ、犯人ヲ拘引スル

ニ關防ノ規定アリ。又關守、防備、提調、督率
等モ不正行爲ヲ防遏スルノ義ニ由リテ之ヲ關
防ト稱ス。【六部成語註解】防關ノ解ニ、關守防
備提調督率。ト記ス。(關防) (二)不正行爲
ヲ防遏スルノ目的ニ供スル地方長官ノ官印ヲ
「關防」ト稱ス。(見ヨ) (三)書畫幅ノ右肩ニ
押ス長方形ノ印ヲ云フ。

【關防印記】關防ト印記トノ二者、俱ニ方
形ノ印ナリ。明初ニ始マル。【野獲編】「本朝
印記。凡爲祖宗所設者。俱方印。後因事添
設。則賜圓印。按劉辰國初事略。太祖因部臣
及布政使用預印空紙一作好事發。議用半印
勸合行移關防。云云。」此ニ依リテ觀レバ兩者
俱ニ官吏ニ給シテ其身分ヲ證明スルト同時ニ
其非行ヲ防グガ爲メニ造リタルモノナリ。

【明律】清律刑律賊盜篇「盜印信」ノ條ニ於テ
ハ「各衙門ノ印信ヲ盜ミタル者ハ首從ヲ分タ
ズ斬ニ處シ關防印記ヲ盜ミタル者ハ杖一百、
刺字ニ處ス」ト規定ス。(信ヲ見ヨ) (印)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【泊宅編】「開圭解榜出。應被黜。詎有司不
公。重考取已落者七十餘人。時稱遺魂秀才。」
【還正】原ノ地位ニ復スルコトヲ謂フ。(ノイ)部
ヲ以妻爲妾)

【關】(部首) (刑) 唐制、官文書ノ名、一ヲ「關」ト曰ヒ二
ヲ「刺」ト曰ヒ三ヲ「移」ト曰フ。皆諸官司問ニ
於テ相質問スル文書ノ名ナリ。中ニモ關ハ其
事項ノ意思ヲ關通スルノ義ナリ。【事物紀原】
「唐會要曰。唐制諸司相質問。三曰關。關ニ通其
事也。蓋始ニ於唐。宋朝神宗行官制。用唐
事。」(卷)【唐六典】「尙書省中職。諸司相質問。
其義有三。曰關刺移。」【宋書】禮志、亦關文ノ
日アリ。明、清ノ「關提」、「關餉」ノ語ハ此ヨリ
出ツ。

【關尹】周代ノ司關官(關門ノ取)ノ稱ナリ。
一ニ「關令尹」トモ曰フ。【史記】「老子見周衰。
適逢去。至關見關令尹喜。云云。」

【關給】官ヨリ直接軍人ニ兵器其他ノ必要物
ヲ給スルコトヲ謂フ。【明律】清律兵律軍政
篇「私賣軍器」ノ條「凡軍人關給衣甲刀鎗旗
幟。一應軍器。私下貨賣者。杖一百。云云。」
(清律卷十四)蓋シ一説ハ口糧等ノ給領ヲ爲ス
トキ之ヲ監視スルノ義ト爲ス。【六部成語註
解】「監視給領也。」

【關禁】海禁ニ對シ、陸上交通ノ取締ニ關ス
ル制、關口ニ守口官ヲ置キ、通行人及ビ貨物
ニ對シテ一檢査ヲ行ヒ、其携帶セル路引ト
符合スルヤ否ヤヲ驗明シ、然ル後ニ出入ヲ許
ス。(清會典兵部關
禁ノ規定アリ)

【關會】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

コトヲ謂フ【清會典】「一面差人。關會該地
方官ニ差遣。協緝。不レ得。擅給批牌。竟行拘
提。」(嘉慶會典
卷四十三)

【關東解】東三省ニ用ケル量ノ名、斛ハ一斛
枘ノ義ナリ。(清會典
戶部)

【關東斗】東三省ニ用ケル量ノ名、斗ハ一斗
枘ノ義ナリ。【六部成語註解】「東三省所用之
斗也。即チ前條ト同義ナリ。」

【關內侯】戰國時代ニハ侯ニ二種アリ。一ハ
國邑ヲ領シ其地ニ主タル者、他ノ一ハ國邑ヲ領
セズ單ニ侯タル爵號ヲ有スル者是ナリ。關内
侯、關中侯、關外侯ノ如キ皆後者ニ屬ス。蓋シ
是レ封建制破壞ノ前提ナリ。【戰國策】「公孫衍
爲三寶履。謂三魏主曰。不レ若與三寶履。關内侯」
而令之。趙。註「侯ニ子關内耳。此時未レ爲
爵。秦漢魏晉等之ニ因ル。」

【關防】(一)不正行爲ヲ防遏スルノ義ナリ。
科場條例ニハ試場ノ不正行爲ヲ防ガンガ爲メ

ニ關防ノ規定アリ。又關守、防備、提調、督率
等モ不正行爲ヲ防遏スルノ義ニ由リテ之ヲ關
防ト稱ス。【六部成語註解】防關ノ解ニ、關守防
備提調督率。ト記ス。(關防) (二)不正行爲
ヲ防遏スルノ目的ニ供スル地方長官ノ官印ヲ
「關防」ト稱ス。(見ヨ) (三)書畫幅ノ右肩ニ
押ス長方形ノ印ヲ云フ。

【關防印記】關防ト印記トノ二者、俱ニ方
形ノ印ナリ。明初ニ始マル。【野獲編】「本朝
印記。凡爲祖宗所設者。俱方印。後因事添
設。則賜圓印。按劉辰國初事略。太祖因部臣
及布政使用預印空紙一作好事發。議用半印
勸合行移關防。云云。」此ニ依リテ觀レバ兩者
俱ニ官吏ニ給シテ其身分ヲ證明スルト同時ニ
其非行ヲ防グガ爲メニ造リタルモノナリ。

【明律】清律刑律賊盜篇「盜印信」ノ條ニ於テ
ハ「各衙門ノ印信ヲ盜ミタル者ハ首從ヲ分タ
ズ斬ニ處シ關防印記ヲ盜ミタル者ハ杖一百、
刺字ニ處ス」ト規定ス。(信ヲ見ヨ) (印)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關差】常關(即チ舊ノ事務ヲ管掌スル長官
ニシテ、中央政府ヨリ差遣シ、一年交代ト爲
スガ故ニ、關差ト稱ス。(戶部
則例)

【關防】(會子) (會子)
【關外侯】(關中侯)
【關庫】海關附屬ノ倉庫、廣東粵海關ノ關庫
ノ如キ其一例ナリ。(戶部
則例)

【關令】 關令尹ノ略、關尹ノ別名ナリ。(關尹ノ見)

【關令尹】 (關尹ノ見)

【勳位】 民國ノ制、凡ソ國家及ビ社會ニ功勞アル者ハ大總統ヨリ勳位ヲ授與ス。(一)大勳位(二)勳一等(三)勳二等(四)勳三等(五)勳四等(六)勳五等ノ六等ニ分チ各其勳勞ト實績トニ照シテ之ヲ授ク。勳位ヲ有スル者ハ法律ニ依リテ一定ノ年金ヲ受ク。終身之ヲ保有ス。但シ刑法上公權ヲ廢奪セラレタル者ハ其權利ヲ喪失ス。

【勳蔭】 清制、父兄ノ勳功ニ藉リテ其子弟ガ官爵ヲ受クルヲ「勳蔭」ト曰フ。

【勳官】 勳功ニ因リテ授ケラルル名譽官。「柱國」若ハ「上柱國」ノ如キ者ヲ指ス(唐律卷二名官ノ條)

【勳章】 民國ノ制(一)大勳章(二)嘉禾章(三)...

白雲章(四)文虎章等アリ。大勳章ハ大總統之ヲ佩帶ス。他ハ大總統分別之ヲ授ク。

【勳符】 勳功ニ因リテ授ケラル、封爵ナリ。「唐書」高祖紀「賜爲二父後二者、襲二勳爵亦襲二勳符」(部首)(圖)

【館驛使】 臨時ニ驛站ノ事務ヲ掌ル小吏ヲ謂フ。「唐書」元和初討二劉闢二、郵傳事繁、詔以二中人二爲二館驛使二。

【館閣】 館ハ史館、昭文館、集賢院ノ三館ヲ指シ、閣ハ祕閣、文淵閣等ヲ指ス。即チ宋代設立ノ官廳、經籍圖書等ヲ藏ムル所、其居ル所ノ官ハ文學侍從ノ臣タリ。「大學衍義補」神宗元豐三年、改二官制二以二崇文院二爲二祕書省二刊二寫分二貯集賢院。史館。昭文館。祕閣經籍圖書。以二祕書郎二主之。云云。丘濬曰ク、宋有二館閣之職。以司二經籍圖書二祕書郎職。掌二收貯整理二校書郎正字職。在二編修校正二云云。明ハ館閣ヲ設ケズ、其職ヲ翰林院ニ併ス。(大學衍義補卷九十四)

【館閣禮】 翰林院學士ガ詔ヲ受ケテ稿スル所

ノ文體、莊嚴典雅ヲ要トス。

【館毅】 我軍卒ガ敵ノ館舍ニ入りテ其貯フル所ノ糧米ヲ食スルコトヲ謂フ。「左傳」成公十六年。「晉人二楚軍二三日殺。註「謂食二楚粟二三日也。」

【館職】 宋代朝廷館閣ノ職、名ハ唐代ヨリ始マルガ如シ。「春明退朝錄」唐制宰相四人。首爲二大書宮使二。次三皆帶二館職二。「宋史」職官志「以二史館昭文館集賢院二爲二三館二(略)直閣直院。則謂二之館職二。」「容齋隨筆」國朝館閣之選。皆天下英俊。然必試而後命。一經二此職二遂爲二名流二其高者曰二集賢殿修撰。史館修撰。直龍圖閣。直昭文館。史館集賢院祕閣。次曰二集賢祕閣校理。官卑者曰二館閣校勘史館檢討二均謂二之館職二。

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

【軍】 (一)軍隊ノ名、【周禮】地官「五師爲一軍」註「一萬二千五百人。周制天子六軍。諸侯大國三軍。次國二軍。小國一軍。」(二)師ノ駐マル

所ヲ「軍」ト爲ス。「左傳」桓公六年「軍ニ於取以特之。」(三)流罪ノ一種邊遠ノ地ニ派遣シ軍役ニ服セシム、一ニ「軍流」トモ稱ス。「軍流」

(四)行政區別ノ名、唐ノ藩鎮ガ各軍鎮ヲ立テタルニ胚胎シ、宋ニ於テハ全國十八路ニ分チ路ノ下ニ府、州、軍、監ヲ列シ、各權知事ヲ置キテ之ヲ治メシメタリ。府ハ「權知府事」ト曰ヒ、州ハ「權知州事」ト曰ヒ、軍ハ「權知軍事」ト曰ヒ、監ハ「權知監事」ト曰フ。其權字ヲ冠シタルハ朝官ヲ以テ兼任セシメタルガ爲メナリ。

【軍代】 (官表)

【軍衛法】 明ノ洪武元年京師ヨリ郡縣ニ達ス皆軍營ヲ立ツ。天下要害ノ地ヲ度リ、一郡ニ保ルモノハ「所」ヲ立テ郡ヲ連ネルモノハ「衛」ヲ設ク。大率五千六百人ヲ以テ「一衛」ト爲シ、一千一百二十八人ヲ以テ「一千戶」ト爲シ、一百十二人ヲ「一百戶」ト爲シ大小懸比シテ以テ軍ヲ成ス。之ヲ「軍衛法」ト謂フ。(明會典兵部)

【軍機】 軍事上機密ノ要件ヲ謂フ。「南史」顧

誠傳「出入臥内。斷二決二軍機。」

【軍機處】 清制、雍正七年ノ創設ニ係ルト雖モ、當初ハ邊境事多ク、軍政上ノ重大問題ヲ議スルニ内廷ト内閣トノ距離遠ク、機密漏洩ノ虞アリシヲ以テ臨時ニ設ケタル一官廳ニ過ギザリシガ雍正及ビ乾隆ノ間西域西藏ト事ヲ構ヘテ軍事上ノ要務多カリシヲ以テ、之ヲ撤廢スルコト能ハズ、遂ニ常設ノ官廳トシテ漸次勢力ヲ増加スルニ至レリ。故ニ軍機處ニ關シテ雍正會典及ビ乾隆會典共ニ何等規定スル所ナク、嘉慶會典始メテ之ヲ編制スルヤ、其職權ハ軍事ノ機密ヲ掌ルニ止マラズ、文武一切ノ機務悉ク其綜攬ニ歸シ、内閣ハ何時シカ其實權ヲ喪ヒ、内閣總理タル内閣大學士ト雖モ、軍機處ニ入ルニ非ザレバ、樞機ニ與ルコトヲ得ズ、眞手ノ宰相ハ軍機大臣タルニ至レリ。「詹曠雜記」(清趙)其由來ヲ記スコト下ノ如シ。「軍機處」本内閣之分局。國初承二前明舊制。機務出納。悉關二内閣。其軍事付二議政王大

臣議奏。康熙中諭旨。或有令二南書房翰林撰擬。此時南書房最爲二親切地。如唐翰林學士掌二内制也。雍正年間。用二兵西北兩路。以二内閣在二太和門外二偏直者。多慮二泄事機。始設二軍需房於隆宗門内。選二内閣中書之謹密者。入直繕寫。後名二軍機處。地近二宮廷。便二於宣召。爲二軍機大臣二者。皆親臣重臣。於是承二旨出。皆在二於此二矣。直虛初僅板數間。(一)卷

【軍官士兵等級】 民國ノ現行海陸軍制ニ於テハ將校士卒ノ等級三等九級制ヲ採用シ上等ヲ「將」ト曰ヒ、中等ヲ「校」ト曰ヒ、初等ヲ「尉」ト曰ヒ、每等上中少ノ三級ニ分チ、軍士ハ上士、中士、下士ノ三級ニ分ツ海陸軍皆同シ。兵卒ハ陸軍ヲ上等兵、一等兵、二等兵ニ分チ海軍ハ一、二、三等兵、及ビ一、二等練兵ニ分ツ

【軍興】 漢制、本ハ軍興ルノ義、終ニ職官ガ財物ヲ徵收シテ軍用ニ供スル義ニ用フ。(漢書)

【軍國】 軍務及ビ國政ヲ謂フ。「國語」晉紀

【軍三安家閑丁】一家ノ中已ニ三人ノ壯丁

軍役ニ充リ、餘丁皆家ニ安心シテ其業ニ従フ

コトヲ謂フ。【六部成語註解】一家之中既有

三丁充ニ軍役一者、餘丁皆不レ派レ役。令之安ニ置

家事。曰ニ軍三安家閑丁。

【軍社】(主)ヲ見ヨ

【軍屬】支那法上軍屬ト曰フハ軍人ノ家族ヲ

指ス。(軍屬)ヲ見ヨ

【軍臺】清朝ニ於ケル郵驛ノ一種、専ラ軍報

ノ送達ヲ掌ルモノヲ謂フ。(會典)

【軍田】屯田ノ一種、明代全國ノ衛所ニ屯田

ヲ附設シ、軍丁ヲシテ耕種セシメ、之ヲ「軍田」

ト稱ス。(明會典)

【軍標】清朝、四川成都將軍ノ管轄ニ屬スル

綠營ヲ謂フ。【會典】兵部「四川成都將軍所屬

綠營爲ニ軍標」

【軍民官司】文武官司ト言フニ同ジク、軍

トハ軍人ヲ管轄スルノ官廳、民トハ人民ヲ管

轄スルノ官廳ナリ【明律】「工律營造篇

「擅造作」ノ條、凡軍民官司。有レ所ニ營造云

云。(明律卷二十九)

【軍容】(一)軍隊ノ容表即チ矛劍ノ類ヲ謂フ

(賦註)(二)行軍ノ儀容ヲ謂フ(新書)

【郡】(部)首(部)首(部)首

【郡】秦始皇二十六年始メテ天下ヲ併合スル

ヤ封建ヲ廢シテ郡縣ノ制ヲ設ケ三十六郡ト爲

シ侯ヲ罷メテ守(或ハ監)ヲ置キ、其下ニ縣ヲ

置キ、其長ヲ令ト爲ス。【事物紀原】秦始皇二

十六年。初辨天下ノ疆、侯置守。始分三十六

郡也。註。史記曰。秦滅三東周。始置三州郡。案

說文。天子地方千里。分爲三百縣。縣四郡。左傳

曰。上大夫受一郡。秦始以三郡置一領縣。(卷

(備考)三十六郡(一)三州(二)河東(三)南

陽(四)南郡(五)九江(六)鄣郡(七)會稽(八)

潁川(九)瑯琊(一〇)泗水(一一)薛郡(一二)

東郡(一三)琅瑯(一四)齊郡(一五)上谷(一

六)漁陽(一七)右北平(一八)遼西(一九)遼

東(二〇)代郡(二一)鉅鹿(二二)邯鄲(二三)

上黨(二四)太原(二五)雲中(二六)九原(二

七)雁門(二八)上郡(二九)隴西(三〇)北地

(三一)漢中(三二)巴郡(三三)蜀郡(三四)黔

中(三五)長沙(三六)京郡ナリ。

【郡尉】秦官ノ名、郡守ノ補佐官、漢景帝都

尉ト改ム。【漢書】百官表「郡尉。秦官。掌佐

守。景帝更ニ名郡尉」

【郡君】婦人ヲ以テ一郡ノ君ニ封ズルコト、

漢代ニ始マル。【事物紀原】漢武帝尊ニ王太后

母戚兒。爲ニ平原君。平原。漢郡。此封ニ郡君。之

始也。(卷)唐ノ制ハ四品官ノ妻ヲ郡君ト爲シ

五品官ノ妻ヲ縣君ト爲セリ。同書。唐制四品

妻爲ニ郡君。五品妻爲ニ縣君。云云。(卷)

【郡縣】秦始皇ノ時封建ヲ廢シテ郡縣制ヲ創

設シタルニ始マル。(郡)首

北齊ノ制ハ郡ヲ上中下ノ三等ト爲シ每等又上

中下ノ差アリ。上ノ上郡ヨリ下ノ下郡ニ至ル

凡テ九等ナリ。縣亦之ノ如クス。隋ハ大體北

齊ノ制ノ如シ。唐ハ近畿ノ州ヲ四輔ト爲シ、其

餘六雄、十望、十緊及ビ上中下ノ差ト爲ス。縣

ハ赤縣、畿縣、望縣、上縣、中縣、下縣ノ六等

ノ差ト爲ス。宋ハ天下ノ諸縣ニ應スルニ赤縣

畿縣ヲ除クノ外四千戸望縣ト爲シ、三千戸

以上ヲ緊縣ト爲シ、二千戸以上ヲ上縣ト爲シ

千戸以上ヲ中縣ト爲シ千戸ニ滿タザルヲ中下

ト爲シ五百戸以下ヲ下ト爲ス。明ハ府ヲ分チ

テ上中下ノ三等ト爲シ、州縣亦之ノ如クス。

上縣ハ編民百里ヲ以テ率ト爲シ、中縣ハ五十

里以上トシ下縣ハ四十里以下トシ其縣ノ百里

ニ過グルモノハ或ハ陞セテ州ト爲シ、或ハ析

シテ一二縣ト爲シ、州ノ人民少ナキ者ハ或ハ

降シテ縣ト爲シタリ。後多少ノ改革アリタル

モ大體ニ於テ之ニ同ジ。(大學衍義

補卷十八)

【郡公】爵名。晉始メテ郡公制度ヲ定ム。恰

モ小國王ノ如シ。之ヲ開國郡公ト謂フ。歷代

之ニ因ル。明初尙ホ郡公ノ封アリシガ後之ヲ

廢ス。(歷代職

【郡主】唐ハ太子ノ女ヲ郡主ト爲シ、親王ノ

女ヲ縣主ト爲ス。降リテ明清ハ親王ノ女ヲ郡

主ト爲シ、郡王ノ女ヲ縣主ト爲ス。按スルニ

東漢ノ公主ニハ縣公主、鄉亭公主ノ別アリシ

モ郡公主ハナカリシガ、晉ニ及ビ始メテ郡公

主アリ、後世ノ郡主ハ此ニ因ル。(明史職

制)【郡守】(郡)首

【郡守縣令】秦諸侯ヲ滅シ其地ヲ以テ郡縣

ト爲シ郡守、丞、尉各一人ヲ置キ縣令

置ク、是レ郡縣制ノ始ナリ。(郡)首

【郡夫人】婦人ノ郡主ニ封セラレタル者ノ號

ナリ。【事物紀原】「通典曰。隋高涼女子洗氏世

爲三南越首領。有功册爲高涼郡夫人。既而

册三國國夫人。此夫人封郡之始也。(卷)

【郡王】封爵名。漢魏王爵アリ。晉武帝子弟

ヲ封建シテ王ト爲ス者二十餘人郡ヲ以テ國ト

爲ス。隋ニ至リ郡王ノ名アリ。唐ヨリ清ニ至

ルマテ之ニ因ル。(源)

【下(部)首(馬)】

【下手】著手ト云フガ如シ。殺人罪ニ於ケル

下手人モ此義ニ外ナラズ。【撰錄】「碑工李仲

寧。太守使レ制。當籍姓名。不レ忍。下手。(下條

參照)

【下手理直者】(下手)者。下手ハ加害者ノ

義、理直者ハ正當ノ理由アル者ノ義ナリ。暇

【開罪(ノ傷害罪)】ニ於テハ加害者ト雖モ正當

ノ理由アル者ハ刑ヲ減ズルヲ法トス。【讀律提

綱】「開殺律內有テ因レ毆瓦傷。後下手理直者。

減ニ三等之條。云云。(學海堂叢

書)【下馬坊】天子諸侯等ノ陵又ハ廟ノ入口ニ立

ツル下馬札ヲ謂フ。車馬ニ乗ル者ハ必ズ車馬

ヲ下馬シテ入ル。

【下馬坊】天子諸侯等ノ陵又ハ廟ノ入口ニ立

ツル下馬札ヲ謂フ。車馬ニ乗ル者ハ必ズ車馬

ヲ下馬シテ入ル。

【下馬坊】天子諸侯等ノ陵又ハ廟ノ入口ニ立

ツル下馬札ヲ謂フ。車馬ニ乗ル者ハ必ズ車馬

ヲ下馬シテ入ル。

【下馬坊】天子諸侯等ノ陵又ハ廟ノ入口ニ立

ツル下馬札ヲ謂フ。車馬ニ乗ル者ハ必ズ車馬

ヲ下馬シテ入ル。

ヨリ下り歩行スルヲ要ス。【唐書】太宗紀「天聰三年。禁三陵前往來之人。不許乘車馬。行。走過必下。于東西兩傍立二下馬坊。示之。」

【下服之刑】

上服ノ刑ハ首ヨリ上ニ施ス。【刑】ノ刑ナルニ對シテ、下服ノ刑ハ首ヨリ下ニ施ス。【刑】ノ刑ヲ謂フ。【周禮】秋官。小司寇之職。以三刺三聽三訊。一曰訊。二曰訊。三曰訊。軍吏。三曰訊。萬民。聽民之所刺。有以施。上服下服之刑。疏。墨劓。施於面。故爲上服。官刑。施於下體。故爲下服。但シ、他ノ一說ハ「上服」ハ重刑「下服」ハ輕刑ナリト爲ス。【周禮】以下、カノ部。【註疏】「下服」ヲ見ヨ。

【京】

【京尹】 尹ハ長「京兆尹」ノ略語ナリ。【京兆尹】 尹ハ長「京兆尹」ノ略語ナリ。【京兆尹】 尹ハ長「京兆尹」ノ略語ナリ。

【京漢鐵路借款】

北京正陽門ヨリ河南省ヲ通過シテ湖北漢江大智門ニ至ル鐵道（長二千八百八里）ノ借款ハ。清光緒二十四年上海ニ於テ鐵

路總公司大臣盛宣懷ト比國合股公司トノ間ニ訂結セラレタル借款、總額ハ一萬一千二百五十萬法（英金四百五十萬磅、庫）ニシテ之ヲ二十萬五千張ニ分チ、内七萬八千張ハ在巴里華俄銀行引受ケタリ。年利ヲ五分トシ每半年三月一日及ビ九月二日支拂ヒ一千九百七年マテ据置キ、其餘ハ以後償還スル契約、次ハ光緒三十一年盛宣懷ト比國公使トノ間ニ續借ノ契約ヲ取結ベリ。總額一千二百五十萬法トシ之ヲ二萬五千張ニ分チ一號五百法トセリ。公利等ノ條件ハ凡テ前者ニ同ジ。本鐵路ハ後ニ清政府ノ回贖スル所ト爲ル。【清國行政法】

【京折】

王畿千里ノ内ヲ謂フ。畿内ト云フガ如シ。【學求魯】

【京官】

清制、外官即チ各外省ノ官吏ニ對シテ、京師ニ在勤スル官吏ノ總稱ナリ。但シ京縣即チ大興、宛平二縣ノ官吏ハ京官ニ準ゼラ

【京兆】

【京兆】 (一)漢代ノ三輔ノ一、今ノ陝西省長安以東華縣ニ至ルノ地ナリ。魏以後建テ、「京兆郡」ト爲ス。(二)今ノ民國ノ京都、明清時代ノ順天府ナリ。

【京報】

今日ノ官報ナリ。支那ニ於テハ明代ヨリ行ハル清朝ハ之ヲ襲用シ、「京抄」、「邸報」又ハ「邸抄」ト稱ス。英人「マイヤース」氏ノ如キハ「支那ノ官報ハ唐朝ヨリ始マリ、世界中最モ古キモノニ屬ス」ト稱ス。要スルニ支那ノ官報ハ其獨創ニ係リ、法令ノ周知ヲ目的トス。今清朝ノ官報ニ付キテ其概要ヲ舉ゲンニ、官報ノ印刷發行ハ提塘官之ヲ掌ル。特ニ「報房」

【京觀】

敵國ノ戰死者ノ尸ヲ積ミタル上ニ土ヲ封シ其上ニ自國ノ戰功ヲ表スルコトヲ謂フ【左傳】宣公十二年「君登黃臺武軍。而收晉尸。以爲京觀。」

【京縣】

清制、順天府ニ於テハ大興、宛平ノ二縣ヲ以テ京縣ト爲シ、順天府ニ直隸セシメ、各

【京控】

訴訟人ガ地方審判又ハ上控（訴）ノ後未ダ意ニ滿タザル所アリテ京師ノ最高級ノ司法機關ニ直訴スルコトヲ謂フ。【刑部】

【京債】

清朝時代ハ京官ガ地方官廳ニ轉任シ又ハ新ニ地方官吏ニ任命セラレタル者ハ、多額ノ旅費ヲ要スルニ拘ラズ、官制上赴任旅費ヲ支給セザルガ故ニ、貧者ハ京師ノ商人ニ就キテ財ヲ借りテ旅費ヲ自辦スルヲ例トス。之ヲ稱シテ「京債」ト謂フ。

【京倉】

北京ノ儲粟所、清制ハ京師ニ十三倉アリ。祿米、南新、舊次、富新、興平ノ五倉ハ朝陽門内ニ在リ。海運、北新ノ二倉ハ東直

門内ニ在リ。太平、萬安ノ二倉ハ朝陽門外ニ在リ。本裕、豐登ノ二倉ハ德勝門外ニ在リ。備濟、裕豐ノ二倉ハ東便門外ニ在リ。通シテ之ヲ「京倉」ト稱ス。

【京察】

京官即チ京師各衙門ニ奉職スル各官吏ニ對シテ行フ所ノ成績査定ニシテ、三年一次之ヲ行ヒ、其臧否ヲ甄別シテ黜陟ヲ行フヲ例トス。【會典】

【京餉】

清制、各省ヨリ中央ノ財務當局廳（戶部、後ニ「度支部」ト）ヘ輸送スル餉銀（中央廳ノ經費ニ）ニシテ、原定京餉ト「額外京餉」トノ二種アリ。前者ハ豫定ノ額ヲ指シ、後者ハ前者ノ不足ヲ補充センガ爲メニ追加スルモノヲ指ス。京餉ノ財源ハ、各省ノ租稅ニシテ各省ハ徵收租稅内ヨリ各其省官廳ノ經費ヲ辨ジ、餘剩ヲ以テ京餉ニ供ス。【會典】

【京抄】

清朝官報ノ名、京報ノ別稱ナリ。【京報】

【京報】

今日ノ官報ナリ。支那ニ於テハ明代ヨリ行ハル清朝ハ之ヲ襲用シ、「京抄」、「邸報」又ハ「邸抄」ト稱ス。英人「マイヤース」氏ノ如キハ「支那ノ官報ハ唐朝ヨリ始マリ、世界中最モ古キモノニ屬ス」ト稱ス。要スルニ支那ノ官報ハ其獨創ニ係リ、法令ノ周知ヲ目的トス。今清朝ノ官報ニ付キテ其概要ヲ舉ゲンニ、官報ノ印刷發行ハ提塘官之ヲ掌ル。特ニ「報房」

【京抄】

今日ノ官報ナリ。支那ニ於テハ明代ヨリ行ハル清朝ハ之ヲ襲用シ、「京抄」、「邸報」又ハ「邸抄」ト稱ス。英人「マイヤース」氏ノ如キハ「支那ノ官報ハ唐朝ヨリ始マリ、世界中最モ古キモノニ屬ス」ト稱ス。要スルニ支那ノ官報ハ其獨創ニ係リ、法令ノ周知ヲ目的トス。今清朝ノ官報ニ付キテ其概要ヲ舉ゲンニ、官報ノ印刷發行ハ提塘官之ヲ掌ル。特ニ「報房」

【京報】

今日ノ官報ナリ。支那ニ於テハ明代ヨリ行ハル清朝ハ之ヲ襲用シ、「京抄」、「邸報」又ハ「邸抄」ト稱ス。英人「マイヤース」氏ノ如キハ「支那ノ官報ハ唐朝ヨリ始マリ、世界中最モ古キモノニ屬ス」ト稱ス。要スルニ支那ノ官報ハ其獨創ニ係リ、法令ノ周知ヲ目的トス。今清朝ノ官報ニ付キテ其概要ヲ舉ゲンニ、官報ノ印刷發行ハ提塘官之ヲ掌ル。特ニ「報房」

【京報】

今日ノ官報ナリ。支那ニ於テハ明代ヨリ行ハル清朝ハ之ヲ襲用シ、「京抄」、「邸報」又ハ「邸抄」ト稱ス。英人「マイヤース」氏ノ如キハ「支那ノ官報ハ唐朝ヨリ始マリ、世界中最モ古キモノニ屬ス」ト稱ス。要スルニ支那ノ官報ハ其獨創ニ係リ、法令ノ周知ヲ目的トス。今清朝ノ官報ニ付キテ其概要ヲ舉ゲンニ、官報ノ印刷發行ハ提塘官之ヲ掌ル。特ニ「報房」

義ナリ。【正韻】爰經切並通形。【禮記】王制篇、刑者側也。刑者成也。一成而不レ可レ變。【下條】刑。

刑 (部) 首 (韻)

【刑】刑ニハ法ト刑罰トノ二義アリ。(一)【爾雅釋詁】「刑常也。法也。尙書」堯典「觀ニ厥刑ニ于二女」。【詩經】我將篤、儀ニ式刑文王之典。同、烈文篇「百辟其刑之」。【周禮】秋官司寇、佐王刑ニ邦國。此等ハ其註何レモ、法也トアリ。蓋シ以上ハ概シテ動詞ナリ。【說文】「灋刑也トアルハ、刑法ヲ意義ス。又之ヲ其文字ノ構造ニ徴スルニ、刑ニ刑又ハ、刑ニ作ル、井ニ法ノ義ヲ有シ、リニ刑罰ノ義ヲ有ス。【易傳】「井者法也。【風俗通】「井者法也。節也。此等ハ前者ニ當リ。【說文】「刀兵也。春秋元命包」刀守井也。飲水之人。入井爭水。陷ニ於泉。刀守之。刺ニ其情也。此等ハ刑法ノ義ニ屬ス。(二)刑罰ノ場合ハ、【玉篇】「刑罰總名也。【說

文】「刑罰、事也。國之刑罰也。【易經】賁卦ノ象「君子以折レ獄致レ刑」。【尙書】大禹謨、刑期ニ于無刑。同書呂刑篇、苗民不レ用レ辜。制以レ刑。惟作ニ五虐之刑。曰レ法。此等ハ刑罰ノ意義ス。要スルニ刑ガ法ト刑罰トノ兩義ヲ兼有スルハ昔時刑アリテ法ナク、刑ヲ以テ啓蒙感好ノ用具ト爲シ、一定ノ條理(即チ)ニ依リテ之ヲ適用シタルガ爲メナリ。故ニ後世法ヲ作り刑ヲ制スルニ至リテハ、刑ハ專ラ刑罰ノ意義スルニ至レリ。【禮記】王制篇「凡作ニ刑罰。輕無レ教。刑者側也。側者成也。一成而不レ可レ變。故君子盡心焉」。是レハ刑法上ニ於ケル意義ヲ示セルモノナリ。刑ハ側ナリ刑ハ成ナリトハ、刑罰ハ恰モ人體ガ四肢五體備ハリテ始メテ一個ノ刑體ヲ成スガ如ク、犯罪ノ要素備ハリテ、始メテ一個ノ刑罰ヲ構成スルコトヲ謂フ。一言之ヲ蔽フヘバ刑ハ五刑ノ略語ナリ。(ノ部ヲ見)

來ノ諸說ヲ左ニ列舉シテ參考ニ供ス。(一)【事物紀原】「尙書呂刑曰。蚩尤作ニ五虐之刑。曰レ法。至レ舜乃命ニ皋陶ニ明ニ五刑也。世本曰。伯夷作ニ五刑ニ誤矣。呂氏春秋又謂ニ皋陶作刑也。(十)【三餘圖筆】「刑字。說文有レ二。在ニ刀部一者。从レ刀从レ斤。云刑罰也。从レ刀从レ斤。戶經切。在ニ井部一者。从レ刀从レ井。云刑罰也。从レ井从レ刀。易曰。井法也。井亦聲。戶經切。日知錄謂。說文以レ刑爲ニ刀守井。穿鑿而違ニ於事理。今考。宋徐鉉校定說文。舊本分部。始レ一終レ亥。刑字下。並無ニ此語。而字書皆引ニ說文云。刑罰也。國之刑罰也。刑井刀。刀守井。飲水之人。入井陷ニ于川。守レ之。刺ニ其情也。則當ニ必有レ所自矣。刑罰ニ稱。而刑罰則到。則刑罰之刑。當レ作刑。刑罰之刑。當レ作刑。自是後人傳寫。併爲ニ一字。耳。論衡四諱篇曰。曲俗微小之說。衆多非レ一。諱レ厲ニ刀井上。恐レ刀隨ニ井中一也。或說以爲刑之

字。井與レ刀也。厲ニ刀井上。井刀相見。恐被レ刑也。則漢人刑罰之刑之不レ皆作刑。可レ證也。(王育生ニ東京之初。其著「(卷十)也。論衡尙在ニ說文之前。其著「(卷十)

【刑】大學衍義補「丘濬ノ按、刑者陰事也。陰道屬義。人君奉レ天出レ治。當レ順ニ天道。肅殺之威。而施。刑害殺戮之事。所以法ニ天時一行。義道也。然秋之爲レ秋。所以成ニ乎春。義之爲レ義。所以全ニ乎仁。有レ春而無レ秋。則生物不レ成。有レ仁而無レ義。則生民不レ安。方ニ天地始造之時。則不レ可ニ以贏。亦猶ニ天地始和之時。不レ可ニ以縮也。是則聖人之用レ刑。雖レ若レ不レ得レ已。而實不レ容レ已也。於ニ不レ容レ已中。而存ニ不レ得レ已之心。不レ容レ已者。上天討レ罪之義。不レ得レ已者。聖人愛物之仁。(卷百七)

【刑案】戸婚田土之案ニ對シテ刑訴事件ヲ指ス。(清律附註及)【刑期于無刑】(刑ハ刑ナキ) 法刑ノ目的ハ天下罪ヲ犯ス者ナカラシメ、刑罰ノ必要ナキ

ヲ期スルニ在リトノ義ナリ。【書經】大禹謨、汝作レ士。明ニ于五刑。以弼ニ五教。期ニ于治。刑期ニ于無刑。

【刑疑惟輕】(刑ノ疑ハシキハ) 刑罰ノ適用ハ罪情疑ハシキ者ハ(罪ノ有無) 寧ロ其罪ヲ輕クスルヲ原則トス。是レ、功疑惟重ノ對ニシテ王道仁恕ノ定則ナリ。【書經】大禹謨、宥過無レ大。罪疑惟輕。功疑惟重。與其殺ニ不辜。寧失ニ不經。好レ生之德。治ニ于民心。茲用不レ犯ニ于有司。

【刑官】執法官ノ通稱、有虞氏ハ「士」ト曰ヒ夏ハ「大理」ト曰ヒ周ハ「司寇」ト曰フ。賈公彥曰。「有虞氏曰士。夏曰大理。周曰大司寇。」(大學補卷百) 蓋シ大司寇ハ司寇ノ長ナリ。(部同條ヲ見)

【刑夾】刑罰ノ具、即チ夾棍、コトナリ。(棍)【刑故無小】(故ヲ刑ス) 故ハ故意犯、故意

ニ罪ヲ犯シタル者ハ其罪小ナルモ之ヲ刑スルヲ原則トス。是レ、宥レ過無レ大ノ對ナリ。【書經】大禹謨、宥レ過無レ大。刑レ故無レ小。云云。【朱熹註】過者。不レ讓而誤犯也。故者。知之而故犯也。過誤所レ犯。雖レ大必宥。不レ忌故犯。雖レ小必刑。即上篇所謂雷災肆赦。怙終賊刑者也。云云。

【刑獄】刑事上ノ訴訟、又ハ刑事上ノ裁判ヲ指稱ス。【刑罪決比】諸ノ斷罪ニ準用スベキ判決例、漢ノ廷尉于定國ガ編纂スル所、合計二萬六千二百七十二條アリ【魏書】刑罰志「于定國爲ニ廷尉。集ニ諸法律。凡九百六十卷。大辟四百九十條。千八百八十二事。死罪決凡三千四百七十二條。決ニ諸斷罪ニ當レ用者。合二萬六千二百七十二條。」

【刑者側也】側ハ形體具備ノ義、即チ刑ヲ科スルニハ必ず犯罪ノ要素具備シテ一箇ノ形體ヲ成ス。此ニ於テ一定刑ヲ適用ス。刑、已ニ

確定スレバ變更スルヲ得ザルノ謂ナリ。【禮記】王制篇、凡作刑罰、輕無赦。刑者罰也。罰者成也。一成而不可變。故君子憲心焉。

【刑者所以輔政】(刑ハ政ヲ輔) 刑法ハ王化ヲ妨害スル者ヲ罰シテ國政ノ圓滿ニ行ハル、

コトヲ輔タルモノナリトノ謂、【大學衍義補】丘濬曰ク、刑者所以輔政也。聖人不レ得レ已而用之。用以輔政之所。不行。獨教之所不レ及耳。非ニ事恃レ此以爲治也。憲宗然ニ李絳之言。非ニ子頤之請。其知三帝王治道之要者歟。(卷百)

【刑賞其威】(刑賞其威) 刑ヲ以テ惡ヲ懲シ賞ヲ以テ善ヲ勸メ即チ刑賞ヲ明シテ恩威ヲ示シ以テ人心ヲ善導スルコトヲ謂フ。【周禮】

天官大宰ノ職制ニハ刑ノ制アリ、其七、刑賞以馭其威。トアルハ此意ナリ。

【刑書】(刑書) 刑ノ書ヲ指シテ、(刑書) 刑ノ書ヲ指シテ、(刑書) 刑ノ書ヲ指シテ、

【刑人於市】(市ニ於テ刑スルニ) 昔時教學旺ニシテ人心靡靡ヲ重ズル時代ハ、罪人ニ對シ

刑ヲ執行スルニハ、特ニ人ノ集合スル市場ニ於テセリ。是レ一ハ以テ公衆ト之ヲ棄ツルノ主義、一ハ以テ衆ヲ戒シムルノ法意ナリ。【孔子家語】刑人於市。與衆棄之也。古者公家不レ審刑人。大夫弗レ變。云云。

【刑政相參】(刑政相參) 政ヲ以テ民ヲ治メ刑ヲ以テ民ヲ戒メ、兩兩兼テ用キルノ義ナリ。

【孔子家語】孔子曰。聖人之治也。必刑政相參焉。太上以德教民。而以禮齊之。其次以政言導民。以刑禁之。刑不利也。化レ之弗變。導レ之弗從。傷義以敗俗。於是乎用刑矣。(七)

【刑措】(刑措) 國民謹嚴、法ヲ犯サズ。刑ヲ用キル必要ナキコトヲ謂フ。措ハ置ク、置キテ用キザルノ義ナリ。【史記】周紀「成康(成王)之際。天下安寧。刑措四十餘年不用。仁君上ニ在リ賢臣下ニ在リ國民其德ニ化シ、罪ヲ犯ス者ナシ。故ニ刑罰ハ之ヲ用フルノ要ナキヲ謂フ。【漢書】文帝紀、禁網疏濶。還釋之爲廷尉。罪疑

者予民。是以刑罰太省。至ニ於斷獄四百。有ニ刑措同之風焉。

【刑鼎】(刑鼎) 鄭ノ簡公ノ三十年其相子產刑書ヲ作リ之ヲ鼎ニ鑄リテ國ノ常法ト爲ス。故ニ稱シテ「刑鼎」又ハ「刑鼎」ト曰フ。時ニ周ノ景王ノ九年ニシテ魯ノ文公ノ四年ナリ。【左傳】昭公六年ノ傳、鄭人鑄刑鼎。トアルハ是ナリ。又晉ニモ刑鼎アリ。獻公ノ時荀寅刑鼎ヲ鑄リ之ニ范宣子爲ル所ノ刑書ヲ刻シテ公示シタリ。

【左傳】二十九年「晉趙鞅荀寅賦三晉國一鼓鐵。以鑄刑鼎。著范宣子所爲刑書焉。」

【刑統】(刑統) 刑律ノ註釋、唐宣宗ノ時張戢ガ「大中刑律統類」ヲ作ル。終ニ五代以後又「刑統」アリ。(事物紀原卷十)

【刑之中】(刑之中) 刑罰ノ要ハ過不及ナリ、其中正ヲ得ルニ在リ。刑罰中正ヲ得レバ善者ハ悅ビ惡者ハ長ル。自ラ刑罰ノ要ナキニ至ル。【書經】大禹謨「刑罰無ニ罪。民協ニ于中。云云」是レ其

原法ヲ示スモノノ一ナリ。同書呂刑篇「士制ニ百姓于刑之中。以敬之。又「稷稷左レ上。明罰左下。灼于四方。罔不惟德之勤。故乃明ニ于刑之中。率ニ又于民ニ懲之。」

【刑罰】(刑罰) 刑ト罰トハ本來ニ二物ニシテ、刑ハ「五刑」ヲ指シ罰ハ「罰金」ヲ指ス。【尚書】呂刑篇「兩造具備。師聽五辭。五辭簡孚。正于五刑。五刑不レ簡。正于五罰。是レ其本義ヲ示ス。然レドモ亦、刑罰ノ二字ヲ以テ犯罪ニ對スル法律上ノ制裁ヲ總稱スルコトアリ。【易經】豫卦「刑罰濟而民服。後世ノ法制ニ於テハ刑ハ主トシテ刑法上ノ制裁ヲ曰ヒ、罰ハ罰金及ビ罰俸即チ行政上ノ處分ニ因ル制裁ヲ曰フ。【義ノハレノ部】(罰)

【刑罰者御人之銜也】(刑罰ハ人ヲ御ナリ) 刑罰ハ宛モ馬ニ銜勒アリテ邊走スルコト能ハザルガ如ク、不規ノ者ヲ制御スル銜勒ナリトノ謂ナリ。【大戴禮】「刑罰者御人之銜勒也。吏者譽也。刑者笑也。天子御者。內史。左

史。手也。以法爲銜勒。以刑爲笑。以人爲手。而御天下。公家不レ審刑人。大夫不レ養士。過ニ之途。不レ與之言。屏諸四方。惟其所之。不レ及以政。不レ欲生之故也。丘濬註「臣按。古者特刑人。其嚴如此。非ニ故絶之也。欲人知所懲而不ニ敢爲惡也。絕其所已然。以懲其所未也。云云。」(大學衍義補卷百一)

【刑罰不中】(刑罰不中) 支那法ニ於テハ刑罰中ヲ得ルヲ以テ斷獄ノ根本的要義トス。中トハ理ノ中ニシテ輕重其宜ヲ得、過不及ナキヲ謂フ。【中レノ部】(從テ「刑罰中セズ」トハ輕重其宜ヲ得ズ、過不及アルコトヲ謂フ。【論語】子路篇「名不レ正則言不レ順。言不レ順。則事不レ成。事不レ成。則禮樂不レ興。禮樂不レ興。則刑罰不レ中。刑罰不レ中。則民無レ所措手足。」【禮記】王制篇全然同一ノ文アリ。故ニ略ス。

【刑部】(刑部) 刑部ノ原ハ周官司寇ニ始マルト雖モ六部ノ一トシテ刑部ヲ設ケタルハ隋ニ始マリ唐ニ至リテ完備ス。六部ハ吏、戶、禮、兵、刑、

工是ナリ。唐ハ刑部ヲ分テテ四部ト爲ス。一ヲ憲部ト曰ヒ二ヲ比部ト曰ヒ三ヲ司門部ト爲シ四ヲ都官部ト爲ス。(各部ヲ) 明初モ之ニ因リタルガ洪武二十三年ニ至リ始メテ改メテ十三部ト爲シ、後又貴州、交趾ヲ以テ十四部ト爲ス。其後交趾部ヲ廢シ惟テ十三部ヲ存ス。【大學衍義補】「自唐以來分爲六部。而刑部分ニ四屬。一曰憲部。二曰比部。三曰司門部。四曰都官部。國初因之。至洪武二十三年。始改爲十三部。後又加以貴州交趾。爲二十四。其後棄交趾。惟存二十三部焉。」(同書卷「流光緒ノ末刑部ヲ改メテ法部ト爲ス。」(本レノ部「法」)

【刑部侍郎】(刑部侍郎) 周禮ノ秋官、小司寇、中大夫レ之ニ當ル。漢以來「尚書侍郎」ト爲ス。但シ南北朝時代後周ノミハ周制ニ因リ司寇ト曰フ。隋唐皆「刑部侍郎」ト爲セリ。唐ハ龍朔中改メテ「司刑少常伯」ト爲シ光宅中「秋官侍郎」ト爲シ天寶中「憲部侍郎」ト爲シ、律令刑法覆按、大理及比諸司應ニ奏スベキ事ヲ掌ル。宋ハ元

豐、正名中、大理卿崔璽符ヲ除シテ之ヲ爲ス。元ハ隋唐宋ノ舊ニ仍リテ刑部侍郎ト爲セリ。

【刑不上大夫】(刑ハ大夫)【禮記】曲禮篇ニ

出ヅル語、昔時禮教ノ旺盛ノ時、士大夫ハ聖教ニ遵ヒテ身ヲ節メ行ヲ慎ミ敢テ犯罪行爲ナキモノト看做シ士大夫ニ加フル刑罰ハ刑書ニ載セズ。若シ罪ヲ犯ス者アラバ自ラ其良心ノ制裁ニ任セテ法官ノ審議以外ニ置ケリ。之ヲ、刑不上大夫ト謂フ。【孔子家語】「冉有問於孔子曰。先王制法。使刑不上於大夫。禮不下於庶人。然則大夫犯罪。不可加刑。庶人之行。不可治於禮。乎。孔子曰。不然。凡治君子。以禮御其心。所以屬之以廉耻之節也。故古之大夫。其有坐三不廉汚穢一而退放者。不謂三之不廉汚穢而退放。則曰置蓋不節。有坐淫亂男女無別者。不謂三之淫亂男女無別。則曰帷幕不修也。有坐三罔上不忠者。不謂三之罔上不忠。則曰

臣節未著。有坐三罷軟不勝任者。不謂三罷軟不勝任。則曰下官不職。有坐三干國之紀者。不謂三干國之紀。則曰行不事不請。此五者大夫既自定有罪之名矣。而猶不認罪。然正以呼之也。既而爲之諱。所以媿耻之。是故大夫之罪。其在三刑之域者。聞而諱。則曰冠蓋不潔。整水加劍。造乎闕而自請罪。云々。【大戴禮】刑不上大夫者。古

【刑部尚書】周ノ秋官ハ刑部ノ祖名、秋官

疏一曰。蓋古有二制。禮疏之以告。文啓。載禮集禮記一以爲此禮。其弟聖又刪去之。止存其首句一耳。云云。(大學衍義) 補卷百七) 周ノ秋官ハ刑部ノ祖名、秋官卿ハ後ノ刑部尚書ニ當ル。漢成帝ノ初メ尚書ニ二千石曹主、郡國二千石ヲ置キ又三公曹主ヲ置キ斷獄ニ任ズ。東漢光武ノ時ハ三公曹主ハ考課ヲ主リ、二千石曹ハ中都官(師諸官)水火、盜賊、辭訟、罪法ヲ掌ラシム。梁ハ初メ漢ニ依リテ三公尚書ヲ置キ刑獄ヲ掌ラシム。大康中三公尚書ヲ省キ、吏部尚書ヲ以テ刑獄ノ事ヲ領セシム。宋ハ始メ、都官尚書ヲ置キ刑獄ヲ掌ラシム。後魏、北齊ハ皆、都官尚書ヲ置ケリ。隋ハ初メ、都官尚書ト曰フ。開皇三年改メテ、刑部ト爲ス。唐ハ之ニ因リタル龍朔二年、刑部太常伯ト改ム。咸亨中故トニ復ス。武后改メテ、秋官尚書ト爲ス。神龍元年舊ニ復ス。天寶中、司憲ニ改メ至德中又舊

ニ復ス。宋ハ刑部ニ尙書、侍郎、郎中等ノ官ヲ置キ、尙書ハ天下刑獄ノ政令ヲ掌リ、侍郎、郎中、員外郎分レテ其事ヲ治ム。元ハ刑部ハ律令格式ヲ掌リ刑名ヲ審定シ奴婢、配隸、閹津、機禁、城門啓閉ノ事ヲ掌ラシム。令及ビ史ヲ置キテ事務ヲ分掌セシメ尙書ヲ以テ其長ト爲ス。

【刑名】刑名ハ五刑ヲ適用スル罪名ノ義、戰國

【刑名師爺】清代ノ地方長官ハ特ニ法律ニ詳シキ者ヲ聘シテ法律顧問ト爲ス。之ヲ、刑名師爺ト謂フ。(ハノ部、幕) 友ヲ見ヨ) 【刑名之學】戰國時代ニ於ケル法家主張ノ學問、儒家ハ刑名ヲ以テ、刑法罪名ノ義ト爲ス者アリ。【史記索隱】「商鞅所爲書號曰法。皆曰刑名。故號曰刑名法術之書。」然ルニ刑ハ形ニ通シ。名ハ君主ノ名ニ依リテ發セラル、命令、即チ法家ハ虛文徒法ヲ排シ法令ハ必ズ之ヲ形ノ上ニ實現スルヲ主義トス。申不害、商鞅等皆然リ。名實一致、即チ法令勵行ヲ主

義トスル學問ヲ、刑名之學ト稱ス。【史記】申不害傳「本ニ於黃老一而主三刑名。」同書商君傳「鞅少好刑名之學。」同書韓非傳「喜刑名法術之學。」註「申商之學。漢吳錯傳學申商刑名於張儀。刑。形。古通。」韓非子「揚權篇」君操其名。臣效其形。形名參同。上下和調。同書主道篇「同合刑名。審三職法式。」其註「刑。形通。形名。謂名實一也。」又同篇「有言者。自爲名。有行者。自爲形。形名參同。」(卷一) 此等ニ對シテハ古來種種ノ解說アルモ中ニ其要ヲ得タルハ津田(鳳卿)邦侯撰「韓子綱領」所レ謂。刑名。形名也。非レ謂三刑貴名之謂一也。(中) 爲二人臣者。陳事而言。君以三其言。授三之事。專以三其事。實三其功。功當三其事。事當三其言。則賞之。功不當三其事。事不當三其言。則罰之。是謂刑名之學。トアル是ナリ。(卷一)

【刑名法術】刑名ハ前述ノ如シ。法ハ法令

衛ハ人主ノ心術ナリ。申不害ハ術ヲ主トシ商鞅ハ法ヲ主トス。【韓非子】定法篇「今申不

害言術。而公孫鞅爲法。術者因任而授官。循名而責實。操殺生之柄。課羣臣之能。者也。此人主之所執也。言。不。失也。法者憲令者。於官府。刑。一本。實。罰必。於民心。賞存。乎慎。法。而罰加。乎。衰。也。犯。令者。也。此人臣之所。師。也。君無。術則。弊。於上。臣無。法則。亂。於下。此。不。可。二。無。皆。帝王之具也。七。同。書。說。疑。篇。凡。術。也。者。主。之。所。執。也。法。也。者。官。之。所。師。也。師。也。也。七。卷。十。

【刑餘】 (一) 宦官ヲ謂フ。【漢書】蓋寬饒傳。以刑餘爲周召。以法律爲詩書。【宋史】宦者四星刑餘之臣也。(二) 教後ノ人ヲ謂フ。汲冢ノ周書。十稔必明。六曰刑餘。其註。刑餘。教徒也。(三) 僧ヲ謂フ。古ニ免刑アリ。頭髮ヲ剃斷ス。僧ハ皆。髮。也。故。云。フナリ。

【刑類】 刑律ヲ分類シテ其要點ヲ摘舉シタルモノ、唐宣宗ノ時、張戡ガ、大中刑律統類ヲ撰シタルニ始マル。(一) 刑ノ部。(二) 刑ノ律。

【刑例】 (刑名) (刑見)

啓。城郭。謂。之。塞。皆。官。民。之。開。閉。不。可。二。一。日。開。故。隨。二。時。而。治。之。(大學衍義補) 卷八十八

【啓奠】 凡ソ皇帝ノ梓宮(御棺)ヲ他所ニ奉移シテ棺ヲ出スノ先ニ奠禮ヲ行フ例トス、之ヲ「啓奠」ト謂フ。六部成語註解。凡皇帝梓宮。奉。移。他。所。啓。棺。之。先。應。行。奠。禮。謂。之。啓。奠。

【啓沃】 啓ハ開クノ義、沃ハ灌クノ義、即チ我赤誠ヲ開キテ灌サズ君ノ心ニ灌クノ謂ナリ。

【書經】 說命篇「啓乃心沃朕心。脚註「啓。開。沃。灌。澆。也。蔡。沈。ノ。註。啓。乃。心。者。開。其。心。而。無。隱。沃。朕。心。者。澆。我。心。而。厭。厭。」

圭 (部首) (齊) 圭

【圭】 瑞玉、上ハ圓、下ハ方ナリ。(一) 天子諸侯ヲ封ズルトキ之ヲ用フ。【說文】瑞玉也。上圓下方。圭以封諸侯。故从重土。(二) 量ノ名【漢書】律曆志「量多少者。不。失。圭。撮。」註「六十四黍爲圭。四圭爲撮。」

【圭臬】 圭ハ日影ヲ測ルニ用キルノ玉、臬ハ

兄 (部首) (又漢) 兄

【兄公】 夫ノ兄ヲ稱スルノ語、俗ニ「兄鍾」ト曰フ。【郭注】今俗呼兄鍾。語之轉耳。云云。

【兄侶】 兄公ノコト、即チ婦人が夫ノ兄ヲ指スノ稱ナリ。【釋名】夫之兄曰公。公君也。君尊稱也。俗間曰兄章。章灼也。章灼。敬。奉。之。也。又曰兄侶。言是己所敬。見之。任。自。屈。齊。也。俗。或。謂。兄。曰。章。又。曰。侶。亦。如。之。也。

【玉篇】 侶。職。容。切。夫之兄也。云云。

【兄章】 夫ノ兄ヲ稱ス。(兄侶) (兄見)

【兄鍾】 夫ノ兄ヲ稱ス。(兄侶) (兄見)

【兄弟之誓不反兵】 (兄弟ノ誓ハ兵) 周代禮教ノ盛ナル時代ニ在リテハ父母ノ復讐ハ勿論、兄弟及ビ朋友ノ復讐モ獎勵セラレタリ。

【兵ヲ反ヘサズトハ其場ニ於テ直チニ復讐ニ着手シ、兵器ヲ反ヘスニ暇ナシトノ謂ナリ。【禮記】曲禮篇「父之讐。弗。與。共。戴。天。兄弟之讐。不。反。兵。云云。」

啓 (部首) (零) 啓

【啓】 意思ヲ表示スルコト口頭ヲ以テスルト文書ヲ以テスルトニ拘ラズ。共ニ之ヲ「啓」ト謂フ。【事物紀原】張璠漢記曰。董卓呼三臺尙書曰「自詣啓事。然後得行。此則啓事得名之始也。魏國職記始云。啓。宋。云。啓。啓。晉。宋。以來。與。表。俱。用。今。止。臣。下。以。相。往。來。也。」(卷二)

【啓行】 天子ノ出御セラル、コトヲ謂フ。【詩經】大雅公劉篇「弓矢維張。于戈威揚。爰方啓行。」

【啓監】 (監) 監國ノ官ヲ設置スルノ謂ナリ (監) (監見)

【啓心郎】 清初各部院ニ此官ヲ置キ諸王貝勒ノ顧問ト爲ス。順治十五年ニ之ヲ廢ス。

【啓塞】 門戶又ハ道橋ヲ作ルヲ「啓」ト曰ヒ城郭又ハ牆壁ヲ築クヲ「塞」ト曰フ。【左傳】定公二年「新作南門。啓。不。時。也。凡。啓。塞。從。時。杜。預。曰。不。時。失。土。功。之。時。門。戶。道。橋。謂。之。啓。」

【啓】 啓ハ開クノ義、沃ハ灌クノ義、即チ我赤誠ヲ開キテ灌サズ君ノ心ニ灌クノ謂ナリ。

【書經】 說命篇「啓乃心沃朕心。脚註「啓。開。沃。灌。澆。也。蔡。沈。ノ。註。啓。乃。心。者。開。其。心。而。無。隱。沃。朕。心。者。澆。我。心。而。厭。厭。」

圭 (部首) (齊) 圭

【圭】 瑞玉、上ハ圓、下ハ方ナリ。(一) 天子諸侯ヲ封ズルトキ之ヲ用フ。【說文】瑞玉也。上圓下方。圭以封諸侯。故从重土。(二) 量ノ名【漢書】律曆志「量多少者。不。失。圭。撮。」註「六十四黍爲圭。四圭爲撮。」

【圭臬】 圭ハ日影ヲ測ルニ用キルノ玉、臬ハ

【圭壁】 (一) 諸侯朝會ノ時ニ執ル所ノ玉ナリ

標準ナリ。從テ法度。標準ノ義ニ用ヒ、人ノ儀表タルベキ者之ヲ「圭臬」ト謂フ。黃佐乾編「乾清宮職」按「日晷。影。星。文。陳。圭。臬。繫。廣輪。」

【圭撮】 量ノ名、六十四黍ヲ圭ト爲シ、四圭ヲ撮(三指ニテ撮)ト爲ス。少量ノ義ナリ。前漢書「律曆志」量多少者。不。失。圭。撮。註「六十四黍爲圭。四圭爲撮。三指撮之也。轉シテ物ノ極メテ些少ナル義ニ使用ス。」

【圭組】 印綬ノコトヲ謂フ。【晉書】「結果葉之圭組。」

【圭田】 世祿常伴ノ外ニ給スル土地、圭ハ潔ノ義、其田ノ收穫ヲ以テ祭祀ニ奉ゼシムルモノナリ。【禮記】王制篇「夫圭田無征。」【孟子】滕文公篇「卿以下必有圭田。圭田五十畝。」朱子ノ註「圭。潔也。所以奉祭祀也。」

【圭表】 日影ヲ測ルノ器、宋書「定時考」閏。莫。近。於。圭。表。又。借。リ。テ。儀。表。ノ。稱。ト。爲。ス。

【圭壁】 (一) 諸侯朝會ノ時ニ執ル所ノ玉ナリ

五等ノ諸侯各其玉ヲ異ニス。【周禮】春官典瑞「公執。二。桓。圭。侯。執。一。信。圭。伯。執。三。射。圭。子。執。二。綬。璧。男。執。一。蒲。璧。」(二) 祭祀ノ時亦之ヲ用フ。【詩經】「圭璧既卒。」(三) 今人自重スルコトヲ「東身圭璧」ト曰フ。

【圭衙】 門旁ノ小戶、其形圭ノ如シ。故ニ名ヅク。【禮記】儒行篇「寡門圭竅。蓬戶甕牖。」

【笑】 (部首) (齊) 笑

【笑】 (一) 奴僕ノ稱、才能アルヲ笑ト曰ヒ才能ナキヲ奴ト曰フ。【禮記】疏「有才能曰笑。無才能曰奴。後遂ニ混合シテ僕ヲ稱シテ笑奴ト爲ス。(二) 官婢ノ別稱、【周禮】天官酒人「笑三百人。註「笑。猶。今。官。婢。通。作。二。溪。侯。笑。奴。也。三。本。同。奴。奴。別。種。即。チ。東。胡。地。ナリ。人物風俗。突厥ト同ジ。族ニ五姓アリ。一ヲ阿曹部ト曰ヒ其管縣六、二ヲ噉米部ト曰ヒ其管縣四、三ヲ奧實部ト曰ヒ其管縣六、四ヲ奴皆部ト曰フ。其管縣四、五ヲ黑訖支部ト曰フ。其管縣三アリ。每部ニ刺史アリ。每縣ニ令アリ。」

リ。會長ハ「奚王」ト號ス。【五代會要】奚本何奴別種。即東胡之地。人物風俗與突厥同。族有五姓。【中略】每部有刺史。每縣有令。會長號奚王。【卷二】

【奚官】(一)馬ヲ養フ賤官、晋代、奚官督アリ。【書】又(二)官官ヲ「奚官」ト曰フ。南朝及北隋ニ「奚官署」アリ。宮人ノ疾病罪罰喪葬等ノ事ヲ守ルコトヲ掌ル。唐ハ「奚官局」ト曰ヒ内侍省ニ屬ス。

【奚官署】(奚官)

【奚官奴】奚官(馬ヲ養フ)ニ付シテ奴ト爲ス者ヲ謂フ。【大學衍義補】晋武帝時。有「部廣者」。坐「盜」官物。當「棄市」。其二幼子宗雲。獨「登聞鼓」。乞「恩求」自沒爲「奚官奴」。以贖「父命」。議者欲「特聽」。減「廣死罪」。爲「五歲刑」。宗等付「奚官」。爲「奴」。【卷百】

【奚隸】(部首) 奴及婢ヲ合稱ス。【周禮】

【契根】清制、契書ノ根ニ附シテ契約ノ正確ヲ保障スルモノ、雍正六年ニ之ヲ定メ、布政使司ヨリ印刷ニ付シ州縣ニ頒給セタリ。然ルニ幾クモナク之ヲ廢シテ、「契尾」(本條ヲ)ノ制ヲ行フニ至レリ。【例卷十】

【契紙】契約書ノコト、動産不動産ノ賣買ヲ爲スニハ、必ズ契紙ヲ立テ官ノ承認ヲ經ルゴトヲ要ス。此ノ慣例ハ遠ク周代ヨリ行ハル。【周禮】大司寇ノ職、以「兩劑」禁「民獄」。兩劑トハ原被兩造ノ所持スル證據書類ナリ。即チ民事裁判ハ證據ニ據リテ裁判シタルコトヲ知ルベシ。

【契稅】田宅其他動産不動産ノ賣買出典等ノ契約ヲ爲ス場合ニ官ニ納ムベキ手数料其由リテ來ル所頗ル久シ。其起原ハ詳ナラザレドモ、東晋ノ時ニハ奴婢馬牛田宅ノ賣買スル者ハ契紙ヲ作ルト否トニ關セズ、價錢一萬ニ付キ賣主ハ三百、買主ハ一百ノ割合ヲ以テ公課ヲ納ムベキモノトシ、之ヲ「散估」ト稱ス。南

北諸朝概ネ此法アリシコトハ、【隋書】食貨志ニ記載ス。唐代ニハ官ヨリ契紙ヲ給シテ契約書ヲ作ラシメ、之ヲ「公驗」又ハ「市券」ト稱ス。宋ハ太宗開寶二年始メテ「民印契錢」ヲ課シ、田宅ノ典賣ニハ二箇月以内ニ契錢ヲ納メシム。崇寧三年牛畜田宅ヲ賣買スル場合ノ契約用紙ヲ官司ヨリ印賣セリ。【文獻通考】元ニハ契本ノ制アリ。【契本】明ニハ洪武二年令ヲ發シ、田宅馬牛等ノ賣買ニハ正稅ノ外官契ヲ發シ、田宅馬牛等ノ賣買ニハ正稅ノ外官契代錢四十文ヲ徵收シタリ。【明會典卷】清初メ土地家屋ノ賣買及ビ買入ニモ之ヲ課シタルモ、後專ラ前者ニ課シ、後者ハ之ヲ免除シタリ。【光緒會典事例卷二百四】

【契刀】漢王莽造ル所ノ錢、其環大錢ノ如ク、其形刀ノ如ク長二寸アリ。文ニ「契刀五百」ト書ス。契字本ト「契」ニ作ル。【漢書王莽傳】

【契尾】清制、田宅典賣ノ效力ヲ保障センガ爲メニ、當事者ヨリ契稅ヲ納メシメ、其原契ニ粘付スルモノニシテ、即チ原書ノ效力ヲ有

【形】(部首) (青) (韻)

【形鹽】虎ノ形ニ作リタル鹽、祭祀ニ供フルニ用フ。【周禮天官】

【形而下】本來ハ器物ノ義、肉眼ヲ以テ見ルコトヲ得ルモノ、即チ道ニ對シテ物質的事物ヲ稱ス。近世ノ「形而下學」ハ此語ヲ採ル。【易經】繫辭傳「形而上者。謂之道。形而下者。謂之器。」

【形而上】形而下ガ器物タルニ對シテ無形物即チ道ヲ指シテ曰フ。近世ノ「形而上學」ハ此語ヲ採ル。【前條】

【徑】(部首) (徑) (韻)

【徑】田間ノ步道ナリ【說文】步道也。徐鍇註「道不レ容レ車。故曰步道。」【周禮】地官遂人「夫間有レ途。途上有レ徑。」註「徑。容二牛馬。」疏「徑。不レ容二車軌。而容二牛馬及人步徑。」

【徑術】術ハ途ト通ズ田間ノ水道ヲ謂フ。【禮記】月令篇「審端二徑術。」註「術與。途通。田間溝

【徑】(部首) (徑) (韻)

【徑】田間ノ畔路、溝上ニ設ケ人馬ノ往復ニ便ズ。【詩經】疏「此溝上即有徑。以通大車。」

【惇】(部首) (惇) (韻)

【惇】孤苦ノ人。兄弟ナキヲ惇ト曰ヒ、老イテ子孫ナキヲ獨ト曰フ【詩經】正月篇「苟矣富人。哀二此惇獨。」

【惇獨】惇獨ハ上解ノ如シ。老イテ妻ナキヲ惇ト曰ヒ、老イテ夫ナキヲ獨ト曰フ。【唐太宗貞觀元年詔】民年八十以上ニ物ヲ給シ。鯨魚疾病ニ因リ自存スル能ハザル者ニ米三斛ヲ給ス。【大學衍義】

【惇】(部首) (惇) (韻)

【惇】惇ハ敬ニ通ジ兄弟ナキ者ヲ謂ヒ。七服ハ穴ナキ者ヲ謂フ。【玉篇】惇、詩「萬家呼二父母。」百里推二惇。【心】(敬) (韻)

【慶會】喜慶ノ事アルニ際シテ催ス賀會ナリ。【南史】劉穆之傳「劉穆之家貧。好往二巷兒

ス。清制ニ於テハ契尾ハ布政使ヨリ豫メ頒布シ、其用ニ備フルモノニシテ、契稅ヲ納メタル者ハ原契ニ粘シ、之ニ番號ヲ附シ、其前編ニ所有者ノ姓名土地ノ面積價格等ヲ細書シ、後編布政使ノ押印アル處ニ之ヲ大書シ、價格千兩以下ノモノハ、契主ノ面前ニ於テ契尾ヲ二分シ、前編ハ之ヲ業戶ニ給シ、後編ハ季冊ト俱ニ之ヲ布政使ニ彙送ス、千兩以上ナルトキハ、契尾ヲ原契ニ附シテ、毎月該官知府若クハ直隸州ニ彙送シ、知府知州之ヲ道員ニ申送シ、道員之ヲ查驗シ、契尾ヲ截斷シテ一ハ十日以内ニ州縣ニ還付シテ業戶ニ渡シ、一ハ布政使ニ彙送ス。【例卷十】

【契本】元代ニ於テハ田宅ノ典賣ニハ親族、隣人、牙保人等契字(即チ)ニ連署シ、官ニ赴キテ一定ノ稅ヲ納メシメ、官ヨリ買主ニ對シテ「契本」(明書)ヲ給シ、其權利ヲ保障ス。每本賣錢三錢ヲ收メシムルヲ法トス。【元典章】(卷十九) (戶部)

家乞食。妻江氏明讓。每禁不令往。江氏後有慶會。穆之猶往。食畢求積。穆云云。【春渚紀聞】章申公父銀青公。年七十集賓親。爲慶會。

【慶士】 鄉士ト言フニ同ジ。(キレノ部、郷)

【慶壽】 天子ノ降誕日、即チ我帝國ノ天長節ナリ。【文獻通考】宋淳熙行ニ上皇帝慶壽禮ニナリ。

【慶成】 祭祀ノ禮成ルコトヲ謂フ。宋會要、郊祀慶成ノ詩アリ。明制ハ郊祀成ツテ後慶成ノ禮ヲ行フ例トセリ。

【掛】 (掛ニ通ズ)。(部首) (卦) (韻)

【掛錫】 僧ノ遊行スルヲ「飛錫」ト曰ヒ止宿スルヲ「掛錫」ト曰フ。【釋氏要覽】僧止所住處。名ニ掛錫。蓋シ西天比丘出行スルトキハ必ズ錫杖ヲ持ス。空中ニ至リテ地ニ著タルヲ得ズ。嗟、牙ノ上ニ掛ケタリトノ故事ニ出ヅト云フ。

【掛印將軍】 明制、凡ソ各省各鎮鎮守總兵ノ副總兵ハ並ニ三等眞署都督(五軍都督府、都督同知、都督僉事)及ビ公侯伯ヲ以テ之ニ充テ、大征討アルトキハ則チ諸鎮將軍或ハ大將軍、副將軍ノ印ヲ掛ケテ出征セシム、之ヲ「掛印將軍」ト稱ス。(續通考)(兵部)

【掛號】 書類其他ノ物件ニ對シテ番號ヲ附スルコトヲ謂フ。(參照)

【掛號郵件】 書留郵便ノコトヲ謂フ。(郵政)

【掛號執據】 書留郵便ノ領收證ヲ謂フ。(郵政)

【挂冠】 自發的ニ官職ヲ辭スルコト即チ「致仕」ノ義ナリ。

【揭勝】 看板ヲ掲出スルコトヲ謂フ。【周伯琦詩】「明朝掲勝醉黃封」。

【敬空】 卑賤ノ者ヨリ尊貴ノ者ニ贈ル文書ノ末尾ニ書スル例トス。己レヲ空クシテ尊貴ノ批判ニ任スノ義ニ出ヅ。【補筆談】「前世卑者。致書于尊者。書尾作「敬空字」(中)如「今批答之類。故紙尾結言「敬空」者。示「行卑不致更有他語」以待尊者之批反耳」。

【敬謝】 本來ハ謝絶ノ義ナリ【史記】漢高祖紀「沛公敬謝先生。方以天下爲事。未暇見」。

【敬節會善堂】 清制、本堂ハ孝子節婦ヲ保護獎勵スル目的ヲ以テ、京師ニ設立ス。當初ハ官民ノ義捐ヲ以テ其經費ヲ辦ジタルモ、後不足ヲ生ジ、順天府等ヨリ補助スルコト、爲ス。(驗捐)

【景】 (部首) (韻)

【景員】 景ハ大ノ義、員ハ均ノ義、即チ政教ノ大ニ行ハレテ恩澤ノ均シク普及スルコトヲ謂フ。【詩經】景員維河。其疏、謂政教大均。如二河之潤也物然也。

【景行】 景ハ大、行ハ人ノ行、即チ高明且ツ正大ナル行ヲ稱ス。【詩經】小雅「高山仰止。景行行止。是レ其出所ナリ」。

【景教】 基督教ニ屬スル「ネストリアン」ノコトナリ。西人ノ記シタル記録ニ依レバ、紀元五百五十一年土耳其ノ首府「コンスタンチノール」ヘ「景教」ヲ傳ヘシ來リタル「ネストリアン」僧ハ、其以前ヨリ久シク支那ニ住居セリト云フ。殊ニ之ニ關スル惟一ノ記録ハ明ノ天啓五年陝西省西安府ニ發見セラレタル石碑ナリ。「大秦景教流行中國之碑」ト刻ス。此碑ハ唐德宗ノ建中二年正月大秦寺僧景淨ノ建立シタルモノ。碑文ニ依レバ太宗ノ貞觀九年大秦國(羅馬)大德阿羅本始メテ經像ヲ持チテ、長

仕ノ義ナリ。前漢末達磨ノ故事ニ出ヅ。【後漢書】達磨傳「前謂二友人曰。三綱絕矣。不レ去禍將及。即解冠挂三東都城門。將家屬浮海。客於遼東。【唐類函】挂冠ノ註「後漢達磨。字慶。見玉莽殺子字一曰。三綱絕矣。不レ去禍及。乃解冠挂三東都城門而歸。(卷六)

【掛】 (部首) (卦) (韻)

【掛印將軍】 明制、凡ソ各省各鎮鎮守總兵ノ副總兵ハ並ニ三等眞署都督(五軍都督府、都督同知、都督僉事)及ビ公侯伯ヲ以テ之ニ充テ、大征討アルトキハ則チ諸鎮將軍或ハ大將軍、副將軍ノ印ヲ掛ケテ出征セシム、之ヲ「掛印將軍」ト稱ス。(續通考)(兵部)

【掛錫】 僧ノ遊行スルヲ「飛錫」ト曰ヒ止宿スルヲ「掛錫」ト曰フ。【釋氏要覽】僧止所住處。名ニ掛錫。蓋シ西天比丘出行スルトキハ必ズ錫杖ヲ持ス。空中ニ至リテ地ニ著タルヲ得ズ。嗟、牙ノ上ニ掛ケタリトノ故事ニ出ヅト云フ。

【掛印將軍】 明制、凡ソ各省各鎮鎮守總兵ノ副總兵ハ並ニ三等眞署都督(五軍都督府、都督同知、都督僉事)及ビ公侯伯ヲ以テ之ニ充テ、大征討アルトキハ則チ諸鎮將軍或ハ大將軍、副將軍ノ印ヲ掛ケテ出征セシム、之ヲ「掛印將軍」ト稱ス。(續通考)(兵部)

【掛號】 書類其他ノ物件ニ對シテ番號ヲ附スルコトヲ謂フ。(參照)

【掛號郵件】 書留郵便ノコトヲ謂フ。(郵政)

【掛號執據】 書留郵便ノ領收證ヲ謂フ。(郵政)

【挂冠】 自發的ニ官職ヲ辭スルコト即チ「致仕」ノ義ナリ。

【揭勝】 看板ヲ掲出スルコトヲ謂フ。【周伯琦詩】「明朝掲勝醉黃封」。

【敬空】 卑賤ノ者ヨリ尊貴ノ者ニ贈ル文書ノ末尾ニ書スル例トス。己レヲ空クシテ尊貴ノ批判ニ任スノ義ニ出ヅ。【補筆談】「前世卑者。致書于尊者。書尾作「敬空字」(中)如「今批答之類。故紙尾結言「敬空」者。示「行卑不致更有他語」以待尊者之批反耳」。

【敬謝】 本來ハ謝絶ノ義ナリ【史記】漢高祖紀「沛公敬謝先生。方以天下爲事。未暇見」。

【敬節會善堂】 清制、本堂ハ孝子節婦ヲ保護獎勵スル目的ヲ以テ、京師ニ設立ス。當初ハ官民ノ義捐ヲ以テ其經費ヲ辦ジタルモ、後不足ヲ生ジ、順天府等ヨリ補助スルコト、爲ス。(驗捐)

【景】 (部首) (韻)

【景員】 景ハ大ノ義、員ハ均ノ義、即チ政教ノ大ニ行ハレテ恩澤ノ均シク普及スルコトヲ謂フ。【詩經】景員維河。其疏、謂政教大均。如二河之潤也物然也。

【景行】 景ハ大、行ハ人ノ行、即チ高明且ツ正大ナル行ヲ稱ス。【詩經】小雅「高山仰止。景行行止。是レ其出所ナリ」。

【景教】 基督教ニ屬スル「ネストリアン」ノコトナリ。西人ノ記シタル記録ニ依レバ、紀元五百五十一年土耳其ノ首府「コンスタンチノール」ヘ「景教」ヲ傳ヘシ來リタル「ネストリアン」僧ハ、其以前ヨリ久シク支那ニ住居セリト云フ。殊ニ之ニ關スル惟一ノ記録ハ明ノ天啓五年陝西省西安府ニ發見セラレタル石碑ナリ。「大秦景教流行中國之碑」ト刻ス。此碑ハ唐德宗ノ建中二年正月大秦寺僧景淨ノ建立シタルモノ。碑文ニ依レバ太宗ノ貞觀九年大秦國(羅馬)大德阿羅本始メテ經像ヲ持チテ、長

仕ノ義ナリ。前漢末達磨ノ故事ニ出ヅ。【後漢書】達磨傳「前謂二友人曰。三綱絕矣。不レ去禍將及。即解冠挂三東都城門。將家屬浮海。客於遼東。【唐類函】挂冠ノ註「後漢達磨。字慶。見玉莽殺子字一曰。三綱絕矣。不レ去禍及。乃解冠挂三東都城門而歸。(卷六)

【掛】 (部首) (卦) (韻)

【掛印將軍】 明制、凡ソ各省各鎮鎮守總兵ノ副總兵ハ並ニ三等眞署都督(五軍都督府、都督同知、都督僉事)及ビ公侯伯ヲ以テ之ニ充テ、大征討アルトキハ則チ諸鎮將軍或ハ大將軍、副將軍ノ印ヲ掛ケテ出征セシム、之ヲ「掛印將軍」ト稱ス。(續通考)(兵部)

【掛錫】 僧ノ遊行スルヲ「飛錫」ト曰ヒ止宿スルヲ「掛錫」ト曰フ。【釋氏要覽】僧止所住處。名ニ掛錫。蓋シ西天比丘出行スルトキハ必ズ錫杖ヲ持ス。空中ニ至リテ地ニ著タルヲ得ズ。嗟、牙ノ上ニ掛ケタリトノ故事ニ出ヅト云フ。

【掛印將軍】 明制、凡ソ各省各鎮鎮守總兵ノ副總兵ハ並ニ三等眞署都督(五軍都督府、都督同知、都督僉事)及ビ公侯伯ヲ以テ之ニ充テ、大征討アルトキハ則チ諸鎮將軍或ハ大將軍、副將軍ノ印ヲ掛ケテ出征セシム、之ヲ「掛印將軍」ト稱ス。(續通考)(兵部)

【掛號】 書類其他ノ物件ニ對シテ番號ヲ附スルコトヲ謂フ。(參照)

【掛號郵件】 書留郵便ノコトヲ謂フ。(郵政)

【掛號執據】 書留郵便ノ領收證ヲ謂フ。(郵政)

【挂冠】 自發的ニ官職ヲ辭スルコト即チ「致仕」ノ義ナリ。

【揭勝】 看板ヲ掲出スルコトヲ謂フ。【周伯琦詩】「明朝掲勝醉黃封」。

【敬空】 卑賤ノ者ヨリ尊貴ノ者ニ贈ル文書ノ末尾ニ書スル例トス。己レヲ空クシテ尊貴ノ批判ニ任スノ義ニ出ヅ。【補筆談】「前世卑者。致書于尊者。書尾作「敬空字」(中)如「今批答之類。故紙尾結言「敬空」者。示「行卑不致更有他語」以待尊者之批反耳」。

【敬謝】 本來ハ謝絶ノ義ナリ【史記】漢高祖紀「沛公敬謝先生。方以天下爲事。未暇見」。

【敬節會善堂】 清制、本堂ハ孝子節婦ヲ保護獎勵スル目的ヲ以テ、京師ニ設立ス。當初ハ官民ノ義捐ヲ以テ其經費ヲ辦ジタルモ、後不足ヲ生ジ、順天府等ヨリ補助スルコト、爲ス。(驗捐)

【景】 (部首) (韻)

【景員】 景ハ大ノ義、員ハ均ノ義、即チ政教ノ大ニ行ハレテ恩澤ノ均シク普及スルコトヲ謂フ。【詩經】景員維河。其疏、謂政教大均。如二河之潤也物然也。

【掛綬】 官印ノ綬ヲ官署内ニ掛ケルコト、即チ「挂冠」ト同ジク自ラ官ヲ辭スルコトヲ謂フ。【元稹詩】「陶君三十七。掛綬出都門」。

【揭竿】 【賈誼文】「揭竿爲旗」。竿ヲ揭ゲテ旗ニ代フルハ倉卒事ヲ舉グルノ意故ニ後世亂ヲ倡フルノ稱ト爲ス。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

【揭曉】 發表ノ義、例ヘバ試験ノ成績ヲ一般ノ人ニ知ラサンガ爲メニ、其成績表ヲ揭示揚ニ掲グル等ノ類ナリ。

ニ集マル。近來ハ「壹業公司」アリ。西洋式ノ
壹器ヲ仿造スル所ナリ。

【景胃】 景ハ大、胃ハ胃子即チ長子、適子
(ニ作ル)ノ敬稱ナリ。【唐律】疏議ノ進表
「景胃以之碩茂。云云。」(同書)

【榮】 (部首) (部) (類)

【榮】 (一) 關門出入ノ時ニ要スル合符、木ヲ削
ミテ造リタルモノ、(「テ」ノ部) (二) 赤油ノ
紺ニテ包ミタル木製ノ職ナリ。(「榮」ノ部)

【榮載】 木製ノ載、王公以下一定ノ官吏ガ外
出ノ時、前驅者ノ携ヘルモノナリ。【漢書】何
奴傳王勃文「榮載遙臨。」【後漢書】「公以下至
二千石。騎吏四人。千石至三百石。騎長二人。
皆帶劍持。榮載。爲前列。」【中華古今注】「載
以木爲之。赤油刷之。亦謂之油載。亦謂之
榮載。王公以下通用以爲前驅。」一定官吏ノ外
出ノトキハ必ズ此物ヲ備フ。故ニ凡ソ直言ヲ
欲セザル官吏ヲ指スニ此語ヲ以テ代名同ト爲
スト云フ。

【榮信】 通信ニ要スル刺符ナリ。【後漢書】賈武
傳「取二榮信一閉三諸禁門。」注「榮。有レ衣載也。漢
官儀曰。凡居宮中。皆施繡子掖門。按二姓名。
當レ入者。本官爲封二榮傳。審二印信。然後受之。」

【磬】 (部) (石) (類)

【磬于甸人】 (甸人ニ) 甸人ハ郊野ヲ掌ルノ
官、凡ソ死刑ハ市ニ於テスルヲ本則ト爲スモ
公族ハ皇室ノ體面ヲ重ンジテ之ヲ甸人ニ託シ
隱所ニ於テ絞殺ス。磬ハ絞殺シテ殺スコトヲ
謂フ。【禮記】文王世子篇「公族其有二死罪。則
磬之于甸人。」蓋シ磬ハ本ト樂器ノ名、絞殺ハ樂
器ノ磬ヲ懸ルニ似タルガ故ニ名ヅクト云フ。

【稽】 (部首) (部) (類)

【稽覈】 決算報告(即チ)ニ對シ、詳細ナル檢
閱ヲ爲スコトヲ謂フ。(「稽」ノ部)

【稽緩】 遲延亦ハ遲滯ノ義ナリ、【唐律】職制

篇「稽緩制書」ノ條アリ。制書ノ施行ヲ遲滯ス
ルノ責任ヲ定メタルモノナリ。(九)

【稽察】 二種ニ使用セラル、一ハ官紀ノ振勵
ヲ期スル目的ヲ以テ各官職ノ事務ヲ検査考察
シテ、其非違ヲ糾スコトヲ謂フ。【嘉慶會典】
「有ニ稽察」以慎ニ其法。他ノ一ハ警察ト同ジク
治安ヲ保護スルノ目的ヲ以テ官兵ヲ各地ニ派
シテ巡察セシムル等ノ場合ニ使用ス。

【稽首】 至敬ノ禮、二説アリ一ハ頭ヲ垂レテ
地ニ至ルヲ謂フ。【周禮】太祝ノ註「稽(本文ニ
作)首拜。頭至地也。他ノ一ハ頭ヲ衝(衝ハ頭
ノ中間)ニ下ルヲ謂フ。【荀子】「平レ衝曰拜。下
衝曰稽首。」

【稽程】 官文書ノ發達ハ一定ノ日限アリ、遲
滯シテ其日限ヲ過グルヲ「稽程」ト謂フ。【唐
律】職制篇「稽緩制書」ノ條、官文書稽程者。
一日笞十。云云。(九)【明律】「清律」亦之ニ因
ル。

【稽廢】 稽ハ稽留ノ略語、軍行ノ如キ一定ノ行

程アルモノヲ故意ニ遲延スルコト、廢ハ用ヲ
廢スルコト、即チ故意ニ行程ヲ遲延シテ用ヲ
廢スルノ義ナリ。【唐律】擅興篇「乏軍興」ノ條
疏議「與軍征討。國之大事。調發征行。有レ所
稽廢者。云云。」(六)

【稽留】 (一) 周代、監獄ノ名、囚人ヲ留置スル
ノ義ニ取ル。(「稽」ノ部) 又(二) 軍行ノ如キ
一定ノ行程アルモノヲ、故意ニ其行程ヲ遲延
スルコトヲ謂フ。【唐律】擅興篇「征人稽留」ノ
條「諸征人稽留者。一日杖一百。云云。」(六)

【經】 (部首) (部) (類)

【經紀】 (一) 綱紀即チ治國ノ大法ヲ謂フ。【管
子】「聖人則之。以建經紀。」(二) 善ク生ヲ營
ムノ義【禮記】月令篇「令レ母レ失レ經紀。」(三) 後
世ハ俗ニ問屋營業人等ヲ指稱ス。【六部成語註
解】「經レ手辦二理商務」之人也。

【經義】 宋代、官吏登用試験ニハ經書ノ文中
ヨリ試験問題ヲ出シ其意義ヲ解釋セシム。故
ニ之ヲ「經義」ト謂フ。明清之ニ沿フ。而モ體裁

稍ク變ジ俗ニ「八股」ト稱シ又「制藝」等トモ
稱ス。

【經過處取】 官吏ガ公務ヲ帶ビテ使スルト
キ其經過スル途中ニ於テ收賄其他ノ不法取得
ヲ爲スコトヲ謂フ。【唐律】職制篇「因使受送
饋」ノ條「諸官人因レ使於二使所二受二送饋。及乞
取者與二監臨二同。經過處取者。減二(一)等。」(卷十)

【經魁】 清制、會試及第者中第一名(即チ最
ニ)會元ノ稱ヲ與ヘ第二名ヨリ第五名マデニ
「經魁」ノ稱ヲ與ヘタリ。(科場)

【經世】 「經」世濟レ民ノ略語即チ國家ヲ經綸
スルコトヲ謂フ。【文中子】「是其家傳七世矣。
皆有二經濟之道。」【宋史】王安石傳「以二文章節
行」高二世。而尤以二道德經濟」爲二己任。」

【經常用度】 國家歳費ニ於テ臨時費ニ對シ
經常費ノコトヲ謂フ。【大學衍義補】「年豐則國
用隨之而隆。年耗則國用亦隨之而尙。以二三
十年之通。制二國用」者。每歲所レ入。折爲二四分。
用二度其三。而儲二積其一。每レ年餘レ一。三年餘レ

三。積三十年。則餘二十年矣。以三十年滿。撤
之法。常留二九年儲蓄之貨。然後計二其見在所レ
有之數。以爲二經常用度之節。云云。」(卷二)

【經手銀】 丙ガ甲乙ノ中間ニ介立シテ銀錢ノ
授受ヲ爲スコト例セバ問屋業者ガ甲ヨリ請
取リテ乙ニ渡ス銀ノ類ナリ。【六部成語註解】
「由二某人手」經過。開銷之銀也。」

【經承】 特ニ六部及ビ諸院ニ奉職スルコトヲ
謂フ。(皇朝掌)

【經制錢】 宋代ニ於ケル加賦ノ名、發運使陳
遵ノ奏定ニ係ル。【鶴林玉露】「宣和中。陳遵以二
發運使」經二制東南七路財賦。因建二議如二夏酒。
鹽糟。商稅。牙稅。典夫頭子錢。樓店錢。皆少增二
其數。謂二之經制錢。至二翁彥國爲二總制使。做二
其法。又收贏焉。謂二之總制錢。經制ハ經理節
制ノ義、陳遵ガ財賦ノ經制ニ當リテ奏定シタ
ルガ故ニ經制銀」ト曰フ。即チ附加稅ノ一種ナ
リ。

【經徵官】 直接租稅ノ徵收ニ當ル官吏ノコト

州縣長官即知州知縣ノ如キ是レナリ(戶部)【經放爲良】(放ヲ經テ)婢ガ家主ノ寵ヲ得テ子ヲ生ミタルトキハ婢タル賤流ヲ開放セラレテ良即チ平民タル身分ヲ取得ス。之ヲ「經放爲良」と謂フ。經放爲良ノ後ハ妾ト爲スコトヲ聽ス。唐律「戶婚篇」以妻爲妾ノ條「以婢爲妾者。徒一年半。各還正之。若婢有レ子。及經放爲良者。聽爲妾」(卷十)蓋シ妾ト爲スコトハ聽スモ妾ト爲スコトハ聽サズ、同條疏議「婢雖經放爲良。豈堪承續之重。律既止聽爲妾。即是不許爲妾。云云。」

【經給】 絲ヲ治メテ秩序ヲ正シタスルコト、其緒ヲ引キテ之ヲ分ツテ經ト爲シ、其類ヲ比シテ之ヲ合スルヲ給ト爲ス。故ニ政治ノ秩序アルニ喩フ。【藝林伐山】「經引レ之。即今之織ニ率織ニ也。論理レ之。即今之織ニ率織ニ也。率而引レ之。使レ之不斷。理而剔レ之。使レ之不斷也。」(增補四書人物)蓋シ本ハ「易經」君子以經綸。トアルニ出ヅ。

上皆之ヲ祭ルガ故ニ廣義ニ於テハ祭祀ノ義ニ解スベシ。(清律卷七戶律戶役)【繼室】 天子諸侯ハ再娶セザルヲ法トス。故ニ正室死亡スレバ其姪婦(所謂)ヲ以テ内事ヲ攝ラシム。之ヲ稱シテ「繼室」と謂フ。【左氏傳】隱公元年「繼室以二聲子」と同、昭公三年「齊侯使晏嬰請二繼室於晉」(一)【繼人後】(人後ヲ)己レノ子孫ヲ以テ他人ノ養子ト爲スコトヲ謂フ。唐律「戶律篇」子孫不得別籍ノ條「若祖父母。父母。令二別籍。及以子孫二安繼人後者徒二年。子孫不坐」(卷十)【繼父】 母ノ再婚ニ伴ハレタル子ヨリ母ノ後夫ヲ指スノ語ナリ。支那ニ於テハ異姓ノ養子ヲ許サズ、又同姓ノ婚姻ヲ許サザルガ故ニ、繼父ト其子トノ間ニハ原則トシテハ父子關係生ゼザルモ、同居シテ撫育セラレタルトキハ、之ヲ「同居繼父」と稱シ、兩ナガラ大功ノ親ナキトキハ、期年ノ喪ニ服シ、大功ノ親アルトキハ「齊衰三月」ノ喪ニ服ス。(八母ヲ見ヨ)

【經歴】 (一)久シキヲ經、遠キヲ歴ルノ義、【書經】君陶高、天命不レ易。天難レ謀。乃其難レ命。弗レ克。經歴嗣前人恭明德。(二)官名、金、樞密院、都元帥府皆此官ヲ置キタリ。元明之ニ因ル。清ハ惟テ宗人府、通政司、都察院、鑾儀衛、布政使司、按察使司、鹽運使司ノ三司及ビ各府等ニ之ヲ置キ出納移文ノ事ヲ掌ラシメタリ。【繫】(部首)(韻)【繫】(部首)(韻)自由ヲ拘束スルノ義ナリ。【史記】賈誼傳「麒麟可二繫而羈。豈曰異二夫大羊。」

【繫世】 世系ヲ記スルコト、父子相代ハルヲ世ト曰ヒ、世ノ出ヅル所ヲ繫ト曰フ。即チ今ノ「譜牒」ノ如シ。尙ホ詳ク言ヘバ父ハ之ヲ昭ト謂ヒ、子ハ之ヲ穆ト謂ヒ、父子相代ハル之ヲ世ト謂フ。而シテ其世ノ出ヅル所、之ヲ繫ト謂フ。即チ家系ノ連絡ヲ意義スルモノニシテ、要スルニ「系譜」ノコトナリ。【周禮】小史「掌二邦國之志。莫二繫世。辨二昭穆」王昭萬ノ註

「父謂ニ之昭。子謂ニ之穆。父子相代。謂ニ之世。世之所レ出。謂ニ之繫。莫二繫世。以知ニ其本所レ出。辨二昭穆。以知ニ其世序。凡此皆有レ書。小史則定而辨レ之。丘濬ノ註「父子相代。謂ニ之世。世之所レ出。謂ニ之繫」(卷五十三)【繫統】 拘束又ハ留滯ノ義ナリ。「一ニ、惡繫」ト曰フ。【說文】繫統也。王篇、拘束也。留滯也。【繼】(部首)(韻)【繼】(部首)(韻)後母ノ兄弟ヲ謂フ。(因話)【繼姑】 夫ノ繼母ヲ謂フ。漢李胡夫人傳「繼姑入レ室。勸養奉事。」

トニ喩フ。南山ノ竹ヲ繫クシテモ悉ク其罪科ヲ書スルコト難シトノ謂ナリ。【通鑑】隋紀「李密移二嶺郡縣。數二燬帝十罪。且曰。繫二南山之竹。書レ罪無レ窮。決二東海之波。流レ惡難レ盡。」【計】(部首)(韻)【計借物】 漢制、郡國ヨリ官文書ヲ送ル使者ヲ計吏ト曰フ。郡國ヨリ朝廷ヘ貢獻スル物品ハ計吏ト俱ニ貢セシム。故ニ郡國ノ貢獻物ヲ「計借物」と曰フ。【禮記】射義註「歲獻。獻ニ國事之書及計借物ニ也。正義。漢時。謂テ郡國送ニ文書ニ之使上爲ニ計吏。其貢獻之物。與ニ計吏ニ俱來。故謂ニ之計借物。」【計贓】(贓ヲ)賊ノ性質ヲ計リ罰スルニ兩法アリ。一ハ「枉法贓」ト曰ヒ他ノ一ヲ「枉法贓」ト曰フ。前者ハ法官ガ收賄シテ法ヲ枉ゲ不法ノ裁判ヲ爲スコトヲ曰ヒ、後者ハ收賄スルモ法ヲ枉ゲザルコトヲ曰フ。【讀律提綱】「律之責レ計レ贓者。有二兩法。一是照ニ枉レ法贓。各主者通ニ算全科一計。一是照ニ不枉レ法贓。各主者通ニ算

【別爲宗】(別ヲ繼ギテ)別子(諸侯嫡ノ次子ハ其ノ長子ヲ以テ己レヲ繼ガシメテ小宗ト爲ス。而シテ其同父兄弟ハ皆之ヲ宗トスルノ謂ナリ。(記註)卷五十二)【繼母】 父ガ正妻ヲ亡ヒテ後妻ヲ娶リタルトキ、前妻ノ子ヨリ其後妻ヲ指スノ語、純然タル親子關係ヲ生ズ。故ニ喪服制ニ於テハ「斬衰三年」ノ喪ニ服ス。【儀禮】喪服傳「繼母與二同母二同。」(八母ヲ見ヨ)【啓】(部首)(韻)隱處ニ就キテ絞殺スルコトヲ謂フ。【禮記】文王世子篇「公族有レ罪。啓ニ之子旬人。」公族ニシテ重罪ヲ犯シタルトキハ斬ヲ免ジ特ニ旬人ニ付シテ絞殺セシメタルモノニシテ國家ノ恩意ニ出ヅ、後世死刑ノ重キ者ヲ棄市(即チ斬)ニ處シ死刑ノ輕キ者ヲ絞ニ處スルハ此義ニ本ヅク。(參照)【竹筴難書】(竹ヲ筴スモ)罪惡簡條多キコ

【繼父】 母ノ再婚ニ伴ハレタル子ヨリ母ノ後夫ヲ指スノ語ナリ。支那ニ於テハ異姓ノ養子ヲ許サズ、又同姓ノ婚姻ヲ許サザルガ故ニ、繼父ト其子トノ間ニハ原則トシテハ父子關係生ゼザルモ、同居シテ撫育セラレタルトキハ、之ヲ「同居繼父」と稱シ、兩ナガラ大功ノ親ナキトキハ、期年ノ喪ニ服シ、大功ノ親アルトキハ「齊衰三月」ノ喪ニ服ス。(八母ヲ見ヨ)

【繼父】 母ノ再婚ニ伴ハレタル子ヨリ母ノ後夫ヲ指スノ語ナリ。支那ニ於テハ異姓ノ養子ヲ許サズ、又同姓ノ婚姻ヲ許サザルガ故ニ、繼父ト其子トノ間ニハ原則トシテハ父子關係生ゼザルモ、同居シテ撫育セラレタルトキハ、之ヲ「同居繼父」と稱シ、兩ナガラ大功ノ親ナキトキハ、期年ノ喪ニ服シ、大功ノ親アルトキハ「齊衰三月」ノ喪ニ服ス。(八母ヲ見ヨ)